令和二年度版　熊本市上下水道事業年報　熊本市上下水道局

令和２年度版

熊本市上下水道事業年報

（令和２年4月1日～令和３年3月31日）

熊本市上下水道局

統計早見表

（令和3年3月31日現在）



（水道）

給水人口【推計人口】708,616人

給水普及率　96.1%

（下水道）

処理区域内人口　660,810人

普及率　90.3%

水洗化率　97.4%



行政区域面積　39,032 ha

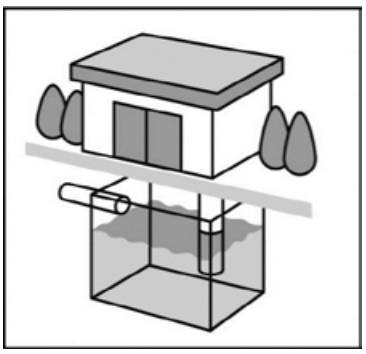
（水道）

給水世帯数　317,635世帯

給水戸数　348,671戸

（下水道）

整備済面積　12,033 ha



（水道）

水源地　38箇所

取水箇所　98箇所

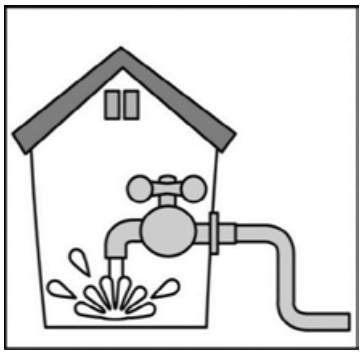
配水施設　45箇所

（下水道）

浄化センター数　5箇所

汚水ポンプ場数　39箇所

※水道の数値は国勢調査による人口及び世帯数を基準とし、集計・算出された人口及び世帯数をもとに算出したもの。
※下水道の数値は、住民基本台帳に記載されている人口（外国人を含む）をもとに算出したもの。



（水道）

年間配水量　79,212千m^3

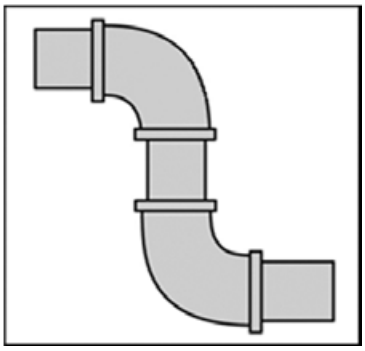
一日平均配水量　217,019m^3

1人1日生活用水使用量　229ﾘｯﾄﾙ

（下水道）

年間処理水量　92,760千m^3

一日平均処理量　254,138m^3



（水道）

有収率　89.6%

有効率　92.5%

耐震適合性のある基幹管路　79.6%

（下水道）

有収率　84.3%

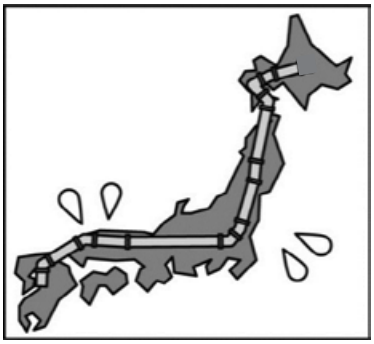
管路の耐震化率　39.4%



（共通）

上下水道局の情報提供に満足している市民の割合　40.0%

上下水道局の広報活動を認知している市民の割合　89.0%



（水道）

導水管延長　43ｋｍ

送水管延長　53ｋｍ

配水管延長　3,454ｋｍ

（下水道）

管路の布設延長　2,719ｋｍ



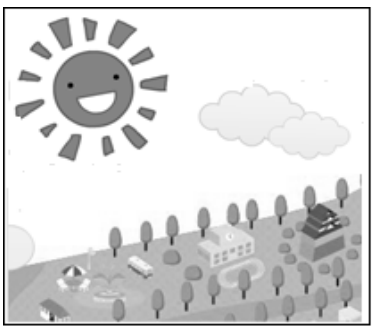
（水道）

水道会計支弁職員数　205人

（下水道）

下水道会計支弁職員数　161人

※管理者、再任用職員を除く



（水道）

地下水推定かん養量　1,534万m^3

自然エネルギーの発電量 263千kWh

（下水道）

汚泥の有効利用率　100%

処理水の再利用量　1,039万㎥

（裏表紙） 統計早見表

第1章 概要

Ⅰ はじめに
1 熊本市の都市像 1
2 日本一の地下水都市 1
3 上下水道局の役割 1
Ⅱ 総括
1 熊本市上下水道事業経営戦略 2
2 令和2年度総括事項 4
(1)水道事業会計
(2)下水道事業会計
(3)工業用水道事業会計
Ⅲ 上下水道局の主な取組
将来像1．快適で安全安心な都市生活を支え続ける（安全安心） 5
(1)水質検査計画（毎年度策定）と水質検査
(2)漏水調査実施計画
(3)水道施設更新計画
(4)第6次拡張事業
(5)下水道の適切な維持管理と計画的な更新
(6)公共下水道の整備（公共下水道の整備計画）
(7)耐震化の推進
(8)浸水対策の推進
(9)災害時対応能力の強化
将来像2．循環型社会の構築に貢献し続ける（環境保全） 9
(1)水循環の保全
(2)資源・エネルギーの循環促進
将来像3．お客さまから信頼されるとともに、質の高いサービスを提供し続ける（信頼） 10
(1)お客さまの視点に立ったサービス提供
(2)お客さまから信頼される職員の育成
将来像4．安定した事業経営（持続） 11
(1)水道事業会計の経理状況
(2)下水道事業会計の経理状況
(3)工業用水道事業会計の経理状況
(4)上下水道局の組織と職員数
Ⅳ 業務指標
1 水道事業 14
(1)水道の普及に関する指標
(2)水道施設・管路に関する指標
(3)水道の維持管理に関する指標
(4)水道事業における環境に関する指標
(5)水道事業会計に関する指標
(6)職員（水道事業会計支弁職員）
2 下水道事業 20
(1)下水道の普及に関する指標
(2)下水道施設・管路に関する指標
(3)下水道の維持管理に関する指標
(4)下水道事業における環境に関する指標
(5)下水道事業会計に関する指標
(6)職員（下水道事業会計支弁職員）

３ 上下水道事業共通 26
(1)行政区域に関する指標
(2)災害に強い上下水道に関する指標
(3)水循環社会の形成に関する指標
(4)環境に配慮した事業運営に関する指標
(5)広報・広聴に関する指標
(6)職員に関する指標

第2章 水道事業統計

Ⅰ 熊本市水道事業の沿革
１ 水道事業のあゆみ 31
２ 拡張事業の推移 32
３ 水道関連年表 38
４ 水道事業主要指標総括表 48
Ⅱ 主要工事
１ 建設改良工事の概況 53
(1)施設改良事業
(2)水道施設整備事業
(3)第6次拡張事業
(4)水道施設更新事業
２ その他工事 55
(1)建設改良工事に伴う給水切替工事
３ 保存工事の概況 56
(1)配水費における維持修繕
(2)給水費における維持修繕
(3)給水工事申込件数
Ⅲ 水道施設
１ 水道の普及状況 57
(参考)住民基本台帳登録数に基づいて算出した給水人口等 57
２ 水道施設総括表 58
３ 機場 62
(1)取水施設
(2)浄水施設
ア 圧力式ろ過設備
イ 次亜塩素酸ナトリウム滅菌設備
ウ 紫外線処理設備
(3)送水施設
(4)配水施設
ア 配水池施設
イ 加圧配水施設
ウ 配水池貯留能力
４ 管路施設 72
(1)口径別
ア 導水管布設延長
イ 送水管布設延長
ウ 配水管布設延長
エ 導・送・配水管布設延長
(2)管路に関する指標
ア 新設管路延長
イ 管路の更新
(3)送・配水管付属器具設置数

５ その他の施設 75
(1)水運用センター関連設備
(2)主な水質検査機器
(3)地下水観測井
６ 水道施設位置図 77
７ 配水系統図 79
８ 熊本市上水道給水区域変遷図 83
Ⅳ 水道の維持管理(取水・配水・漏水防止など)
１ 水源地別年間取水量 85
２ 系統別配水量 86
３ 配水量の分析(年度別) 86
４ 電力使用状況 88
(1)水源地別電力使用量
(2)水源地別電力料金
５ 水質検査結果 92
６ 水質基準適合率 98
(参考)給水栓水質検査地点位置図 98
７ 口径別調定状況 100
８ 用途別調定状況 102
９ 1人1日あたり生活用水量 102
10 漏水防止状況 104
11 配水管等管理関係工事 105
(1)移設及び嵩上げ工事
(2)他工事
(3)維持工事
12 鉛製給水管率 105
Ⅴ 給水装置・加入金
１ 加入金改定の変遷 107
２ 現行手数料 107
３ 加入金口径別収入状況 108
４ 手数料収入状況 108
５ 給水装置工事受付状況 109
Ⅵ 水道事業会計財務統計
１ 経理状況 111
２ 予算決算対照表 112
(1)収益的収入及び支出
(2)資本的収入及び支出
３ 損益計算書 114
４ 貸借対照表 116
５ キャッシュ・フロー計算書 118
６ 性質別支出状況 118
７ 経営分析 120
(1)業務分析比率
(2)財務分析比率
(3)収益率その他

第3章 下水道事業統計

Ⅰ 熊本市下水道事業の沿革
１ 下水道事業のあゆみ 125
２ 下水道法認可・都市計画決定の推移 127
３ 全体計画 132
(1)計画区域
(2)計画汚水量
(3)計画雨水量

４　全体計画と事業計画　135
５　下水道関連年表　136
６　下水道事業主要指標総括表　140
Ⅱ　主要工事
１　建設改良工事の概況（1件5,000万円以上、税込）　143
(1)管渠布設事業
(2)ポンプ場築造事業
(3)処理場築造事業
(4)管渠布設事業（雨水）
２　保存工事の概況　147
Ⅲ　下水道の整備状況
１　下水道の普及状況と面積の推移　149
２　整備面積　149
３　処理区域面積　149
４　管路整備　149
５　都市下水路(雨水幹線)　150
６　ポンプ場　151
(1)ポンプ場調書
(2)マンホールポンプ場調書
７　マンホール数、汚水・雨水ます数　156
８　災害用マンホールトイレ　156
９　浄化センター　156
(1)中部浄化センター
(2)東部浄化センター
(3)南部浄化センター
(4)西部浄化センター
(5)城南町浄化センター
１０　下水道施設位置図　163
１１　熊本市公共下水道事業計画一般図　165
Ⅳ　下水道の維持管理
１　下水道維持管理の概要　167
２　浄化センター・ポンプ場の施設機器更新率　167
３　下水道施設年間電力使用量　167
４　管渠　167
５　ポンプ場揚水量　168
６　年間処理水量・有収水量　169
７　年間汚泥発生量・処分量　170
８　浄化センター水質検査結果　171
Ⅴ　排水設備・受益者負担金
１　受益者負担金制度　175
２　排水設備工事受付状況　175
３　受益者負担金及び分担金調定収納状況　175
４　受益者負担金の減免制度　175
５　受益者負担金の徴収猶予　176
６　受益者負担金減免及び猶予状況　176
７　私道内の公共下水道布設取扱　176
８　排水設備普及促進　177
(1)水洗化の状況
(2)共同排水設備設置への助成
(3)改造資金の融資あっ旋及び利子補給
(4)生活保護世帯に対する助成制度
(5)排水設備工事店の届出及び指定
９　特定事業場等の排除下水の水質規制　179
(1)下水道法及び熊本市下水道条例に基づく下水排除基準
(2)令和2年度事業場立入水質検査実施状況

Ⅵ 下水道事業会計財務統計
1 経理状況 181
2 予算決算対照表 182
(1)収益的収入及び支出
(2)資本的収入及び支出
3 損益計算書 184
4 貸借対照表 186
5 キャッシュ・フロー計算書 188
6 性質別支出状況 188
7 経営分析 190
(1)施設の効率化
(2)施設の効率性
(3)財政状況の健全性

第4章 共通統計

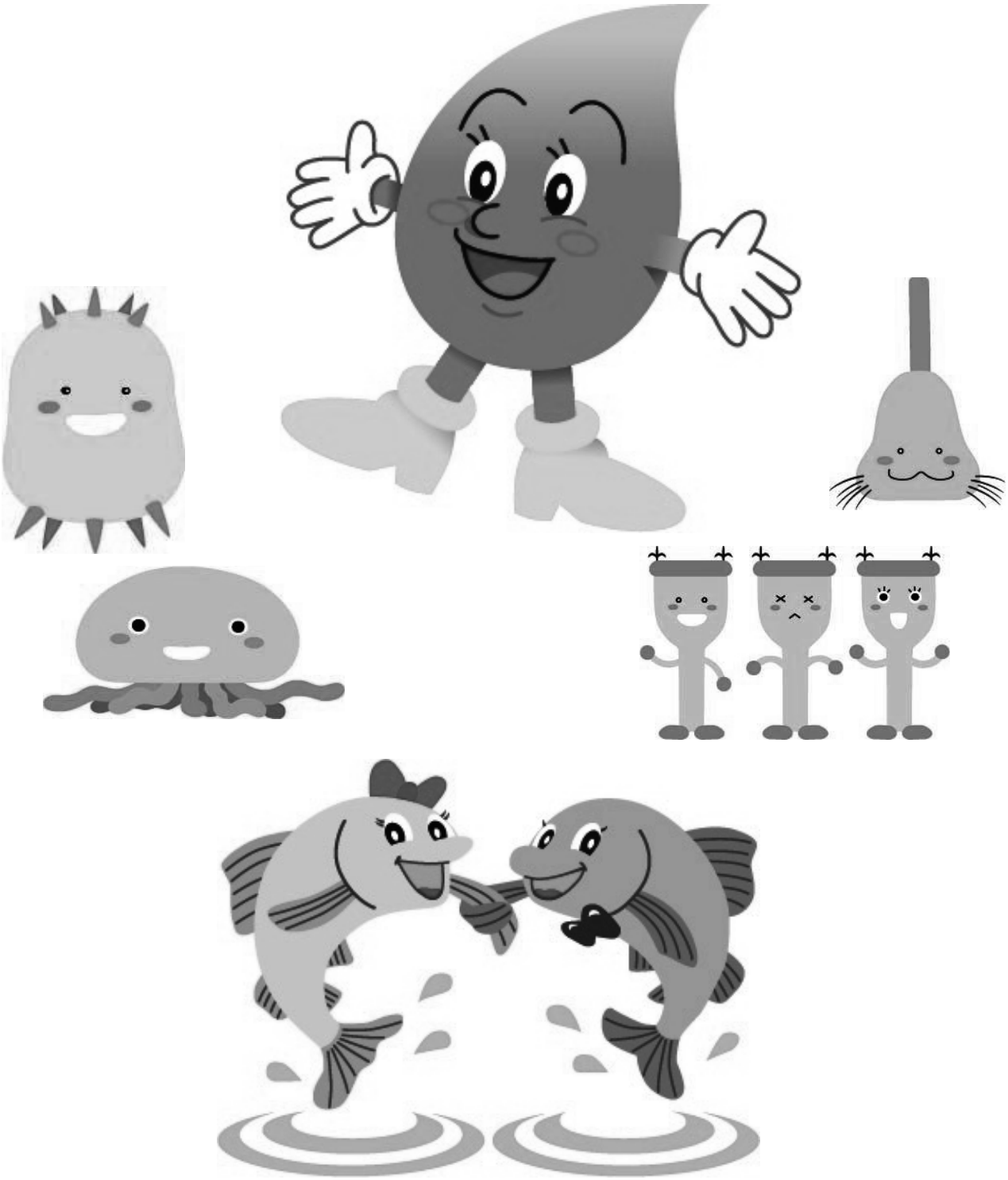
Ⅰ 災害に強い上下水道の確立
1 (水道)災害対策用貯水施設 193
2 (水道)非常用発電・予備電力施設 193
3 (水道)耐震性貯水槽 194
4 (水道)応急給水設備 194
5 (水道)応急給水施設密度 194
6 (水道)配水池耐震化率 195
7 (水道)浄水施設耐震化率 195
8 (水道)ポンプ所耐震化率 195
9 (水道)耐震適合性のある基幹管路の割合 195
10 (水道)水道管路の耐震化率 195
11 (下水道)下水道ポンプ場及び浄化センターの耐震化率 196
12 (下水道)下水道管路の耐震化率 196
13 (下水道)浸水対策における重点6地区の対策率 196
Ⅱ 水循環の保全
1 白川中流域水田を活用した地下水かん養事業 197
2 水源かん養林の整備による地下水かん養 197
3 阿蘇郡西原村の国有林を活用した水源かん養林の整備 197
4 直結給水率 197
5 下水処理水の再利用 198
6 汚水処理率 198
7 高度処理人口普及率 198
Ⅲ 資源・エネルギーの循環促進
1 エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量 199
2 配水量1m^3あたり二酸化炭素排出量 199
3 処理人口1人あたり温室効果ガス排出量 199
4 水道施設における自然エネルギー発電量 199
5 下水汚泥の有効利用 200
6 下水汚泥消化ガス発電 200
Ⅳ お客さまの視点に立ったサービス提供
1 上下水道施設見学者数 201
2 出前講座等参加者数 201
3 ホームページ閲覧数 201
4 アンケート回答者数 202
5 パンフレット等の作成状況 202

Ⅴ 検針・水道料金・下水道使用料
1 検針状況 203
2 水道料金累積収納状況 203
3 下水道使用料累積収納状況 203
4 水道料金収納方法別調定件数 203
5 水道料金改定の変遷 204
6 共同住宅の料金 211
7 量水器 212
(1)年度別設置数
(2)購入状況
(3)量水器出入庫管理状況
(4)量水器改良工事施工状況
8 下水道使用料改定の変遷 214
Ⅵ 組織・機構(令和2年3月31日現在) 217
1 機構図 217
2 事務分掌 218
3 職員数及び配置 221
4 勤続年数別職員構成 222
5 年齢別職員構成 222
(参考資料)令和2年度の組織・機構(令和3年4月1日現在) 223
1 機構図 223
2 事務分掌 224
3 職員数及び配置 227
4 勤続年数別職員構成 228
5 年齢別職員構成 228

第5章 工業用水道事業統計

Ⅰ 工業用水道事業統計 229
1 工業用水道事業の概要 229
2 工業用水道事業の届出 229
3 業務指標 230
4 工事 230
5 料金 230
6 財務統計 230
(1)予算決算対照表
(2)損益計算書
(3)貸借対照表
(4)キャッシュ・フロー計算書

第１章　概要



ウォッタくんと仲間たち

Ⅰ　はじめに

1　熊本市の都市像

熊本市は九州のほぼ中央、阿蘇連山と有明海の間に広がる熊本平野に位置し、水や緑など豊かな自然と先人達の築き上げた旧城下町としての歴史的文化的遺産と風土を合わせ持つ地方中枢都市として着実な発展を遂げてきました。飛鳥時代に託麻の三宅郡（今の出水地方）に肥後の国府「託麻府」が設けられ、これを中心に集落が形作られ大きくなったのが始まりです。

本市は古くから城下町として栄えてきましたが、その体制が整えられたのは加藤清正公の頃からです。清正公は、寺院や商家などを国府のある二本木方面から移転させ、城下町の経営に着手しました。それから明治に至るまでは200有余年間にわたって、肥後熊本の政治を細川氏が行い九州における有数の城下町として栄えました。

明治に入っても本市は、九州における政治、軍事の中心として各種の官庁が置かれるなど大いに賑わいを見せていました。しかし、明治9年に神風連の乱、明治10年には西南の役と相次ぐ戦禍にみまわれ、特に西南の役では全市街が焦土と化しました。その後に復興が始められ、明治22年には市町村制が施行、それまでの「熊本区」は「熊本市」と改められました。大正10年に周辺11ヶ町村との合併により本市の基礎が固められ、九州における政治、経済、教育の中心地として発展を続けました。昭和20年には戦災により、全市街地の3分の1の面積にあたる中心部の約363haが焼失しましたが、戦後めざましい復興をとげました。また、昭和28、32年の大水害も克服し、市民の不断の努力によって今日の隆盛をみることが出来ています。

市制施行当時、人口4万2千余人、面積5.55km²あった城下町ですが、数次にわたる周辺町村との合併や近代的都市機能の集積によって着実な発展を続け、今日では人口約74万人を擁し、九州中央に位置する拠点都市として近隣市町村と共に100万人規模の広域都市圏を形成するに至っています。

また、平成23年3月には九州新幹線が全線開業を迎えました。その開業効果を最大限に生かし魅力と活力あふれる熊本を実現するため、市民の求める多様なニーズに対応できる都市機能の充実に努め、九州中央における拠点性のさらなる向上に向け、平成24年4月1日に政令指定都市に移行しました。



熊本市の位置

2　日本一の地下水都市

熊本市は、古くから「水の都」ともよばれるように、水環境に恵まれた都市です。

なかでも、良質で清れつな地下水は、社会活動のうえで種々の用途に利用されており、人口50万人以上の都市で、上水道用水の全てを地下水で賄っているところは、全国でも例がありません。また、水前寺、江津湖、八景水谷など、人に潤いとやすらぎをあたえる水辺環境も豊かです。

しかし、都市圏の拡大とともに生活水準の向上や産業経済の進展に伴い、水環境への影響が懸念されます。熊本市では、市民の共通財産である地下水を将来にわたって守っていくため、昭和51年に「地下水保全都市宣言」を決議し、昭和52年に「熊本市地下水保全条例」を制定しました。以後、地下水流動機構の解明、白川中流域の転作田を活用した地下水かん養、水源かん養林の整備、雨水浸透の取組、節水市民運動の展開、水文化の保存・継承、地下水質の保全対策など様々な地下水保全の取組を行ってきました。

こうして、平成20年には、熊本市の地下水の質・量の素晴らしさと、その保全に向けた取組が評価され、第10回日本水大賞グランプリを受賞しました。また、平成25年3月には熊本市及び熊本地域の地下水保全の取組が優れた水管理の事例として、日本からは初めて国連「生命の水」最優秀賞を受賞しました。



日本一の地下水都市



国連“生命の水”

3　上下水道局の役割

熊本市の水道事業は、大正13年（1924年）の給水開始以来約90年にわたり、安全で低廉な水道水の安定供給に努めてきました。一方、下水道事業は、昭和23年（1948年）に戦災復興事業の一環として着手して以来約70年にわたり、生活環境の向上や都市型水害の防止に取り組んできました。各々の道を歩んできた水道事業と下水道事業ですが、人口増の鈍化、施設の老朽化と更新需要の増加、耐震化などの災害対策（危機管理）、細やかなお客さまニーズへの対応、水循環型社会における一体的な取組の必要性など近年様々な課題への対応が求められています。

そこで、平成21年度に組織を統合し、上下水道局として新たなスタートを切りました。上下水道事業一体となった効率的な運営のもと、地下水の採取に始まり、安全でおいしい水を安定的に、しかも廉価にお届けするとともに、お使いいただいた水を再度きれいにして地球に戻すことにより、「日本一の地下水都市・熊本」の良好な水循環社会の形成を担ってまいります。

Ⅱ 総括

1 熊本市上下水道事業経営戦略

策定の背景

全国的な課題や大規模災害を背景として、厚生労働省や国土交通省は水道の理想像や下水道の使命、各事業の目指すべき方向性を新水道ビジョン、新下水道ビジョンとして示すとともに、これらのビジョンを踏まえ平成27年に下水道法の改正、平成30年に水道法の改正が行われたところです。

また、総務省は、平成26年に公営企業の経営基盤の強化や経営管理の向上のために中長期の経営の基本計画として「経営戦略」を策定するよう各公営企業に求めています。

平成24年に「熊本市上下水道事業経営基本計画」を策定し、経営理念や基本方針を定め計画的な事業実施や経営基盤の強化に努めてきましたが、今日的な課題を改めて見つめなおすとともに、国が示す事業展望や経営戦略策定要請の趣旨を踏まえ、令和2年3月に「熊本市上下水道事業経営戦略」を策定しました。

この「熊本市上下水道事業経営戦略」は、将来にわたって上質な上下水道サービスを提供し続けるために、これまでの熊本市上下水道事業経営基本計画の取組を継承するとともに、事業を取り巻く環境の変化を踏まえて上下水道事業の目指す将来像と今後10年間の基本方針等を示しています。

計画期間と対象事業

令和2年度～令和11年度（10年間）

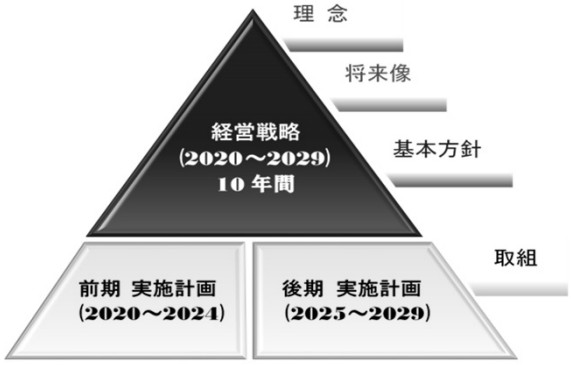
経営戦略に掲げる理念や目指す将来像を実現するために、経営戦略実施計画を策定し、前期5年間及び後期5年間の具体的な取組を設定します。

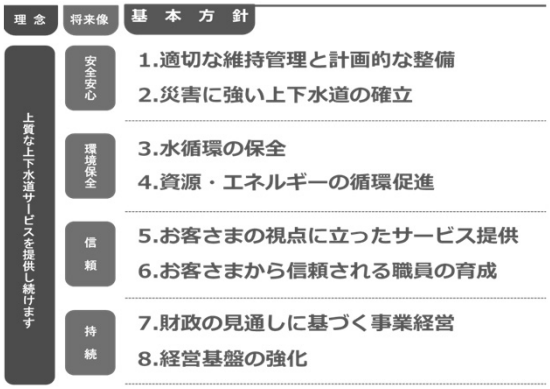
経営戦略及び実施計画の対象事業は、水道事業、公共下水道事業、工業用水道事業の3つです。

理念・目指す将来像・基本方針

上下水道事業の根源的な使命は、いつでも安全でおいしい水をお客さまにお届けする、お使いいただいた水をきれいにして自然にかえす、工業用水の豊富低廉な供給により工業の健全な発展を支えることであり、これらのサービスをより上質に、そしていつまでも提供しつづけることを理念として定めました。

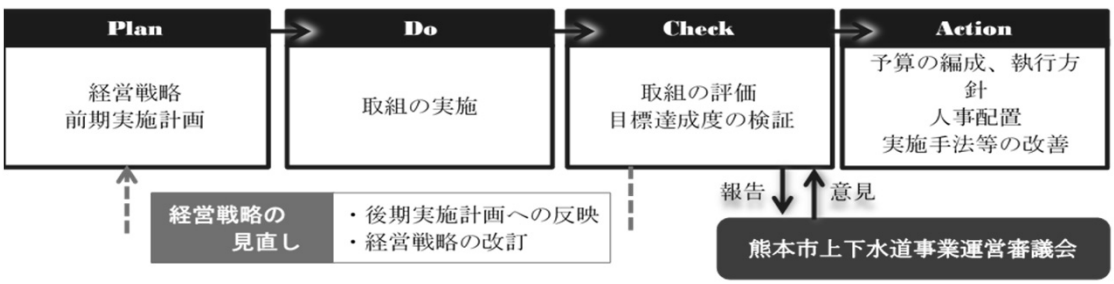
この理念に沿って事業運営にあたりますが、理念に掲げる「上質な上下水道サービス」とは何か、「提供し続ける」とはどういうことなのかについて、4つの目指す将来像として設定し、その実現のために具体的な行動を実践してまいります。





進行管理

経営戦略に掲げた基本方針には、それぞれ目標を設定していますが、この目標が達成されているかどうか毎年度検証し、上下水道局内で評価を実施するとともに、熊本市上下水道事業運営審議会においても評価結果を報告し、専門的な知識やお客さまの視点から意見をいただき取組の着実な推進や改善につなげてまいります。なお、この評価結果は、毎年度上下水道局のホームページ等により公表します。



経営戦略財政見通し

○水をお届けするための経費と財源(収益的収支)　　単位:百万円(税抜)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収益的収入	12,882	12,768	12,676	12,564	12,442	12,326	12,225	12,120	12,001	11,891
(うち料金収入)	11,380	11,266	11,154	11,042	10,932	10,822	10,714	10,607	10,501	10,396
収益的支出	10,304	10,329	10,360	10,338	10,428	10,475	10,580	10,665	10,747	10,928
収支(純損益)	2,578	2,439	2,316	2,226	2,014	1,851	1,645	1,455	1,253	962

○水道施設を作るための経費と財源(資本的収支)　　単位:百万円(税込)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
資本的収入	1,587	1,594	1,620	1,673	1,596	1,694	1,703	1,695	1,666	1,595
(うち企業債)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
資本的支出	9,090	9,293	8,946	8,999	8,790	9,056	8,964	8,900	8,606	7,975
(うち企業債償還金)	1,863	1,903	1,997	2,079	2,062	2,091	1,983	1,934	1,716	1,547
収支	▲ 7,503	▲ 7,699	▲ 7,325	▲ 7,326	▲ 7,193	▲ 7,362	▲ 7,261	▲ 7,205	▲ 6,941	▲ 6,380
企業債残高	32,678	31,774	30,777	29,698	28,636	27,545	26,562	25,628	24,911	24,364

※資本的収支の差額は、減価償却費等の非現金支出による留保資金等で補てんします。

※収益的収支は消費税抜き、資本的収支は消費税込みで表記。

○下水を処理するための経費と財源(収益的収支)　　単位:百万円(税抜)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収益的収入	19,687	19,486	19,462	19,266	19,143	18,833	18,622	18,445	18,350	18,146
(うち使用料収入)	10,378	10,295	10,212	10,130	10,049	9,968	9,888	9,809	9,730	9,652
収益的支出	17,474	17,463	17,139	17,287	17,339	17,129	17,199	17,202	17,290	17,250
収支(純損益)	2,214	2,024	2,323	1,980	1,804	1,704	1,423	1,243	1,060	895

○下水道施設を作るための経費と財源(資本的収支)　　単位:百万円(税込)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
資本的収入	12,295	12,201	12,316	11,969	11,388	11,160	11,142	10,720	10,499	10,309
(うち企業債)	7,293	7,203	7,103	7,012	6,928	6,788	6,716	6,617	6,550	6,491
資本的支出	21,622	21,712	21,958	21,281	19,990	19,305	19,439	18,683	18,186	17,816
(うち企業債償還金)	8,984	9,061	9,060	8,865	8,798	8,278	8,213	7,814	7,344	6,968
収支	▲ 9,327	▲ 9,512	▲ 9,642	▲ 9,311	▲ 8,602	▲ 8,145	▲ 8,297	▲ 7,963	▲ 7,687	▲ 7,507
企業債残高	131,922	130,064	128,107	126,254	124,384	122,894	121,397	120,200	119,406	118,929

※資本的収支の差額は、減価償却費等の非現金支出による留保資金等で補てんします。

※収益的収支は消費税抜き、資本的収支は消費税込みで表記。

2 令和2年度総括事項

(1)水道事業会計

水道事業収益の根幹をなす料金収入は、一般家庭用では南区城南町等における拡張事業の進捗等による給水人口の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により家庭での水需要が増えたことから、有収水量及び料金収入が増加した一方で、営業用などの需要の落ち込みが大きく影響し、料金収入の総額では減収となりました。

水道事業費用においては、職員給与費や維持管理費、支払利息等の減少により事業費用も減少し、約28億3千5百万円の純利益を計上しました。

今後も、人口減少や節水機器の高性能化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による料金収入の減少が危惧されるうえ、老朽化施設の更新や激甚化・頻発化する自然災害への対策に要する経費の増加が見込まれるなど、経営環境はより一層厳しさを増すことが予想されます。

そのようななか、将来にわたって上質なサービスを提供するために、令和元年度に策定しました「熊本市上下水道事業経営戦略」を着実に実施するとともに、人口減少社会を見据え、持続可能な経営基盤を確立していくため、計画に沿った事業運営に取り組んでまいります。

(2)下水道事業会計

下水道事業収益の根幹をなす下水道使用料は、一般家庭用では着実な未普及解消事業の進捗による水洗化戸数の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により家庭での水需要が増えたことから、有収水量が増加したものの、営業用など大口事業者の需要の落ち込みが大きく影響したことから、減収となりました。

一方で、震災関連除却費や支払利息等の減少により事業費用も減少し、約17億7千7百万円の純利益を計上しました。

今後も、人口減少や節水機器の高性能化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による使用料収入の減少が危惧されるうえ、老朽化施設の更新や激甚化・頻発化する自然災害への対策に要する経費の増加が見込まれるなど、経営環境はより一層厳しさを増すことが予想されます。

そのようななか、将来にわたって上質なサービスを提供するために、令和元年度に策定しました「熊本市上下水道事業経営戦略」を着実に実施するとともに、人口減少社会を見据え、持続可能な経営基盤を確立していくため、計画に沿った事業運営に取り組んでまいります。

(3)工業用水道事業会計

工業用水道事業は、有収水量の増加により料金収入は増加、維持管理費等の費用について、料金収入等で賄うことができたため、一般会計からの繰り入れを受けることなく、当年度純利益を計上することができました。

工業用水道を供給する城南工業団地の応急仮設住宅については、令和2年度に解体が終了しており、今後は工業用水道を活用する企業の誘致について、引き続き関係部局との連携を図り、経営の安定化に取り組んでいきます。

Ⅲ　上下水道局の主な取組

将来像1．快適で安全安心な都市生活を支え続ける（安全安心）

（1）水質検査計画（毎年度策定）と水質検査

事業の目的・内容

水質検査計画（水道水が水道法の水質基準に適合し安全であることを保障するため、毎年度策定する水質検査の計画）に基づき定期検査・臨時検査を実施し、供給する水の安全確認と浄水処理の確認を行っている。

また、水質検査結果を水運用に反映させ、良好な水質の維持を図るとともに、水質検査機器の計画的整備や水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）に基づき策定した品質管理マニュアルにより、信頼性保証体制の維持に努めている。

水道GLPマーク

令和2年度の主な実績

定期検査
- 原水（32箇所93本・年3回）
- 浄水（32箇所・年4回）
- 給水栓水（31箇所・年12回）
- 給水栓水（毎日検査）（59箇所・年365回）

臨時検査
- 水質相談に伴う検査、給水開始前検査等　633件

令和3年度の主な取組予定

令和3年度（2021年度）水質検査計画に基づき、定期検査・臨時検査を行い、水の安全確認と浄水処理の確認を行う。

水道GLPに基づき、引き続き水質検査の信頼性確保に取り組み、水道水の品質維持に努める。

（2）漏水調査実施計画

計画の目的

漏水調査を中心とした漏水防止対策により、経済的かつ効率的に、水の有効利用及び有効率の向上を目指す。

事業期間

平成31年度～令和10年度

目標有効率

96.0%（R10）

取組概要

音聴調査と調査機器を利用した複合的な漏水調査
漏水多発地区の集中した漏水調査
中ブロックと位置付けた地区の流量監視
監視型漏水調査の実施及び検証　など



漏水調査の様子

令和2年度の主な実績

漏水多発地区である市内中央部を重点的に漏水調査を実施した。老朽給水管の切替工事による予防的対策を強化し、突発的な漏水による二次災害の防止に努めた。

漏水調査距離：1,934km　　修繕件数　：644件
推定漏水防止量：3,330m^3/日

令和3年度の主な取組予定

漏水防止実施計画に基づき、漏水多発地区を重点的に漏水調査を行う。また、漏水調査により漏水を早期発見、早期修理することで無効水量の削減や二次災害の防止にも努める。今後は、IoTを活用した新たな監視型漏水調査の手法を導入予定である。

(3)水道施設更新計画

事業の目的・事業概要
令和2年3月に策定した熊本市上下水道事業経営戦略を実現・具体化するために必要な水道施設の更新計画。
水道施設について、「適切な維持管理と計画的な整備」「災害に強い上水道の確立」「環境負荷低減策の推進」を図ることを目的とし、アセットマネジメント手法の活用による更新事業費の平準化を図りながら、計画的な更新や耐震化を目指す。

事業期間
令和2年度～令和11年度

総事業費
約343億円

整備内容
①適切な維持管理と計画的な整備
老朽管の更新、老朽施設の更新等
②災害に強い上水道の確立
給水拠点の整備、管路及び施設の耐震化等
③環境負荷低減策の推進
省エネルギー・高効率機器の導入等

整備の効果(令和11年度目標)
耐震適合性のある基幹管路の割合
77.9%(H30)→83.0%
全管路の耐震化率
27.1%(H30)→37.1%
災害対策用貯水施設貯水量
61,050m^3(H30)→68,300m^3

令和2年度の主な実績
施設の更新
富合東部電気室新築工事 等
基幹管路の更新 約2.5km
東区錦ヶ丘、中央区水前寺江津湖公園 等
老朽管の更新 約18.4km
南区富合町釈迦堂、北区清水万石 等

令和3年度の主な取組予定(水道施設更新計画)
施設の更新
秋田配水場内管路整備関連工事 等
基幹管路の更新 約0.5km
中央区帯山旧三菱引込線、中央区水前寺電車通り 等
老朽管の更新 約14.6km
中央区新町、南区富合町木原 等

(4)第6次拡張事業

事業の目的・事業概要
合併した各簡易水道等を統合し、1つの上水道事業として、計画的かつ効率的な上水道施設の整備を推進し、市全域における「安全でおいしい水道水の安定供給」を図る。

事業期間
平成22年度～令和10年度
※平成23年度に第1回変更
※平成24年度に事業の譲受け(届出)
(才木地区簡易水道事業)
※平成29年度に事業の譲り受け(届出)
(高・碇地区簡易水道事業)
※平成29年度に第2回変更

総事業費
約430億円
(当初230億円から変更)

基本計画
計画給水人口
719,000人
計画1日平均給水量
222,000m^3/日
計画1日最大給水量
275,000m^3/日

令和2年度の主な実績
合併町における配水管の布設
南区城南町沈目、丹生宮・永地区 等 約13.8km
基幹管路の新設
和泉配水池～一木配(送)水場、共同溝 等 約3.5km
施設の機能強化
沼山津取水6号さく井工事 等

令和3年度の主な取組予定
合併町における配水管の布設
南区城南町千町・陳内・坂野 等 約11.4km
基幹管路の新設
中央区産業道路 等 約0.8km
施設の機能強化
南部2号井取水ポンプ製作及び据付工事 等

（5）下水道の適切な維持管理と計画的な更新

事業の目的・概要

下水道施設を良好に維持するために、下水管や浄化センターなどの施設の適正な維持管理に努め、計画的に更新し機能保全、機器等の延命化、耐震化などに取り組んでいる。

この下水道施設の機能保全にあたっては、国の長寿命化対策に関する補助を活用し、施設の長寿命化対策や効率的な改築更新を図ることを目的として「下水道施設長寿命化計画」を策定した。

また、平成30年度からは「熊本市下水道ストックマネジメント計画」を策定し（令和元年度計画見直し）、下水道施設の改築更新事業を行っている。令和7年度までに、概ね合流区域内の改築工事が終了予定である。

なお、浄化センター等維持管理を効率的に行うため、5浄化センターのうち4浄化センターを民間委託としている。

令和2年度の主な実績

浄化センター等の改築更新
- 中部浄化センター中央監視装置更新　他
- 東部浄化センター受変電設備更新
- 南部浄化センター送風機設備更新
- 管渠改策工事　（春竹A・B、城東E　他）

令和3年度の主な取組予定

浄化センター等の改築更新
- 中部浄化センター受変電設備更新　他
- 東部浄化センターB系機械濃縮設備更新　他
- 南部浄化センター反応タンク設備更新　他
- 西部浄化センター消毒設備更新　他
- 管渠改築工事　（東町・城東A・B・E・F　他）

（6）公共下水道の整備（公共下水道の整備計画）

事業の目的

生活環境の改善・公衆衛生の向上・公共用水域の水質保全を目的として、公共下水道の整備計画に基づき汚水管等の整備を進め、下水道普及率の向上に努めている。

公共下水道の整備計画

整備区域、整備人口、汚水量などについて定める
・熊本市公共下水道全体計画

全体計画

計画処理面積 13,647ha
計画処理人口 689,400人
計画汚水量（日最大）362,600m^3/日
※北部流域関連を含む

事業計画

処理面積 13,026ha
処理人口 660,830人
汚水量 361,850m^3/日

総事業費

約454億円
（平成24年度～令和3年度までの中長期財政見通し）

令和2年度の主な実績

排水区域面積　約133ha増
- 北区）硯川町・植木町投刀塚　等
- 東区）画図町重富　等
- 西区）松尾町　等
- 南区）御幸木部・城南町東阿高　等

令和3年度の主な取組予定

排水区域面積　約114ha増
- 北区）　硯川町・植木町岩野　等
- 東区）　画図町下無田　等
- 西区）　松尾町近津・池上町　等
- 南区）　城南町赤見・御幸木部3丁目　等

(7)耐震化の推進

上水道施設の耐震化
水道施設更新計画の中で計画的に更新及び耐震化を図っており、合併町の小規模な施設については、第6次拡張事業の中で統廃合を行うとともに計画的に耐震化を進めている。

上水道管路の耐震化
平成17年度からは、すべての管路に耐震管を採用している。また、熊本地震発生以後、熊本市地域防災計画の見直しにより細分化された断層に対する想定地震について、水道管の被害予測を行った。この調査結果をもとに管路更新の優先順位を決定し、耐震化を進めている。

下水道施設の耐震化
令和2年度に、熊本地震の被害状況を考慮し策定した下水道総合地震対策計画(第2期)に基づき施設の耐震化などを進めていく。

令和2年度の主な実績
上水道
耐震化整備(基幹管路の更新) 約2.2km
東区錦ヶ丘、中央区水前寺6丁目 等
下水道
東部浄化センターB系沈砂池ポンプ棟耐震補強工事
中部浄化センターA系滅菌池耐震補強工事
マンホールトイレ整備(10校) 他

令和3年度の主な取組予定
上水道
耐震化整備(基幹管路の更新) 約0.5km
中央区帯山旧三菱引込線、中央区水前寺電車通り 等
下水道
東部汚水18号幹線枝線耐震化工事
マンホールトイレ整備(10校) 他

(8)浸水対策の推進

熊本市では、浸水被害を軽減し、安心で安全な都市環境を実現するため、下水道(雨水)の整備に取り組んでいる。特に浸水被害を受ける可能性が高い地区を6地区選定し、重点的に整備を進めている。


加勢川第6排水区雨水幹線シールド工事

令和2年度の主な実績
鶯川第2排水区
幹線排水路詳細設計 等
井芹川第8・10排水区
雨水ポンプ場詳細設計 等

令和3年度の主な取組予定
鶯川第2排水区
浸水対策施設詳細設計 等
井芹川第8・10排水区
水理模型実験 等

(9)災害時対応能力の強化

応急給水
給水拠点を整備するとともに、運搬給水として応急給水班を編成し、給水車(7台)や給水タンク(34台)で応急給水活動に対応する。また、毎年、応急給水訓練を実施し災害時に備えている。
この他に、19大都市の水道局や九州の9都市の水道局等と災害時における相互応援に関する協定及び覚書を締結し広域連携体制を整備している。

応急復旧
熊本市管工事協同組合と「災害等発生時における応急対策活動の協力に関する協定」を締結しており、その実効性を確保するため、毎年、管路復旧訓練を実施し災害時に備えている(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)。さらに、管路復旧の初動対応に最低限必要となる配管資材を「災害対策用資材」として資材倉庫に確保している。

応急復旧(下水道管渠)
定期的に下水道管渠の点検・清掃・補修を行うとともに、バキューム車(4台)、高圧洗浄車(2台)で下水道管渠応急復旧活動に対応する。また、毎年、下水道管渠復旧訓練を実施し、災害時に備えている(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)。

令和2年度の主な実績
熊本市上下水道局防災訓練(11月)

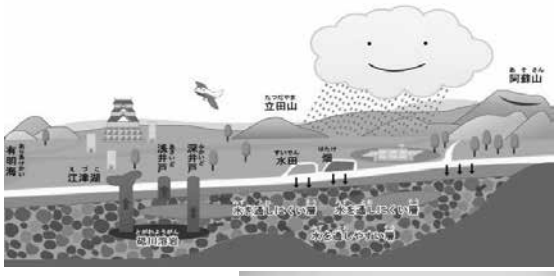
将来像2. 循環型社会の構築に貢献し続ける（環境保全）

(1)水循環の保全

地下水かん養の取組
水源かん養林である「熊本市水道の森」をはじめ、白川中流域の水田たん水事業や水源かん養林整備事業への参画、公益財団法人くまもと地下水財団への参画などにより地下水かん養に取り組む。

地下水質の保全
硝酸態窒素による地下水汚染の防止等を目的とした家畜排せつ物処理施設（東部たい肥センター）の運営への協力や大学・研究機関等への協力を継続する。

有効利用の推進
漏水防止の取組や浄化センターで処理した再生水の利用、本局施設での雨水利用などによる水の有効利用に努める。





白川中流域での地下水かん養

放流水質の確保と高度処理の推進
法令で定められた基準よりも高い目標を設定し、浄化センターの最適な運転管理を図るとともに、事業場等からの排水への監視指導に取り組むことで公共用水域の水質を保全する。また、有明海等の水質改善を図るため窒素やリンの排出量を減少させる高度所施設の整備を進める。

総合的な汚水処理の推進
汚水処理率の向上を図るとともに、農業用集落排水や合併処理浄化槽等とも連携・役割分担することで、汚水をきれいにして自然に還し、水環境・水循環を保全する。

(2)資源・エネルギーの循環促進

再生可能エネルギーの活用
上下水道施設における太陽光発電、小水力発電、下水汚泥処理時に発生するガスを活用した消化ガス発電、下水汚泥の固形燃料化による火力発電への寄与によって室効果ガスの削減を図る。

下水道資源の有効利用
汚泥分解時に発生する消化ガス（メタン等）を、汚泥消化槽での発酵促進のための加温に活用することで、消化ガスの有効活用を図る。平成25年度には、中部浄化センターにおいて消化ガス発電設備の運転を開始し、発電した電力は場内で利用している。また、平成28年度には、東部浄化センターにおいて消化ガス発電設備の運転を開始した。このほか、下水汚泥固形燃料化施設においても、汚泥乾燥工程における熱風熱源の燃料として消化ガスを利用している。
また、下水汚泥のセメント化、コンポスト（肥料）化、固形燃料化により有効活用率100%を達成している。







水道施設の太陽光発電設備　（左）上下水道局本館　（右）八景水谷送水場





（左）下水汚泥固形燃料化施設と（右）燃料化物（炭化固形物）



消化ガス発電設備
（上）中部浄化センター消化ガス発電機（エンジン）
（下）東部浄化センター消化ガス発電設備（ﾏｲｸﾛｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝ）

将来像3. お客さまから信頼されるとともに、質の高いサービスを提供し続ける（信頼）

(1)お客さまの視点に立ったサービス提供

熊本市上下水道事業運営審議会
上下水道事業の経営のあり方や事業の方向性等を総合的に審議し、お客さまのご意見を施策に反映させていくために、「熊本市上下水道事業運営審議会」を設置している。

上下水道アンケート
お客さまのご意見をいただくために、市内の上下水道使用者3,000件を対象にアンケートを実施している。
アンケートの内容は、設問に答えていただく過程で上下水道事業について理解が深まるよう工夫している。

水の科学館
水道・下水道・地下水を中心に、暮らしに欠かすことのできない水について、理解と関心を持っていただくために設置している。見て・触れて・楽しみながら学べる学習施設として、また、水に親しむことが出来る憩いの場として、多くの方にご利用いただいている。

上下水道局ホームページ
お客さまに身近で分かりやすい情報提供のため、上下水道局ホームページを開設し、情報発信を行っている。

上下水道に関する知識の普及啓発事業
施設見学・出前教室・イベント等を通して、上下水道のしくみや役割、地下水の大切さ、水循環、環境に配慮した事業経営等について、お客さまに啓発する。

各媒体への寄稿・パンフレットの作成
市の広報誌や民間のフリーペーパー等に記事を掲載。各種パンフレットを作成し、普及啓発事業等において活用している。

令和2年度の主な実績
上下水道施設見学
出前講座
「水道フェスタ」・「立田山配水池」一般開放
水道週間・下水道の日イベント 等


熊本市水の科学館




水道フェスタ

(2)お客さまから信頼される職員の育成

職員研修の充実
日常業務の着実かつ正確な執行はもとより、これまで培われてきた専門的技術・ノウハウの継承やこれからの時代に求められる知識・能力の向上を図るとともに、意識面での改革にも取り組み、お客さまに信頼される人材を育成する。

国際貢献によるスキルアップ
地下水都市・熊本が培ってきた水運用体制や手法等を、国内にとどまらず世界に向けて発信することで、海外の上下水道事業の課題解決に貢献するとともに、国際業務を通じた職員の知識や技術力の向上に努める。


オンライン研修


再任用職員によるOJT研修（技術の継承）


国外からの視察受け入れ

将来像4. 安定した事業経営（持続）

(1)水道事業会計の経理状況　※千円未満四捨五入

番号		指標名	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1501	決算	収益的収入(税込)	千円	14,285,799	14,351,560	14,443,917	14,361,765	14,102,848
1502		収益的支出(税込)	千円	10,894,541	11,227,770	11,402,939	11,334,668	12,270,667
1503		収益的収支(税込)	千円	3,391,258	3,123,790	3,040,978	3,027,097	1,832,181
1504		資本的収入(税込)	千円	1,750,862	2,076,181	3,296,494	2,296,099	2,524,565
1505		資本的支出(税込)	千円	9,122,728	7,517,455	9,456,414	8,317,596	7,781,068
1506		資本的収支(税込)	千円	△ 7,371,866	△ 5,441,274	△ 6,159,920	△ 6,021,497	△ 5,256,503
1507	損益計算	水道事業収益(税抜)	千円	13,094,549	13,316,093	13,475,515	13,388,370	13,190,629
1508		うち水道料金収入(税抜)	千円	11,491,103	11,591,947	11,694,130	11,806,287	10,943,895
1509		水道事業費(税抜)	千円	10,258,989	10,585,765	10,855,268	10,781,855	11,727,046
1510		水道事業当年度純利益	千円	2,835,560	2,730,328	2,620,247	2,606,515	1,463,583
1511	貸借対照表	貸借対照表　資産の部	千円	133,294,127	132,428,562	129,935,075	125,953,899	123,740,726
1512		貸借対照表　負債の部	千円	58,267,195	60,237,190	60,473,777	59,112,848	59,506,191
1513		貸借対照表　資本の部	千円	75,026,932	72,191,372	69,461,298	66,841,051	64,234,535
1514		利益剰余金	千円	5,778,907	5,621,138	5,547,133	5,498,007	3,720,063
1515		企業債残高	千円	32,277,746	33,140,832	33,635,071	33,733,105	34,023,092
1516	経営分析	供給単価	円/m^3	161.83	165.22	165.40	165.64	163.97
1517		給水原価	円/m^3	129.71	135.27	138.82	135.93	134.37
1518		営業収支比率	%	124.87	123.24	120.80	123.46	125.06
1519		経常収支比率	%	127.79	126.21	122.67	125.04	125.39
1520		料金回収率	%	124.76	122.14	119.15	121.86	122.03

(2)下水道事業会計の経理状況　※千円未満四捨五入

番号		指標名	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
2501	決算	収益的収入(税込)	千円	20,396,120	20,867,488	21,219,904	21,723,771	20,713,136
2502		収益的支出(税込)	千円	17,903,740	18,180,061	18,581,556	19,407,873	19,608,258
2503		収益的収支(税込)	千円	2,492,380	2,687,427	2,638,348	2,315,898	1,104,878
2504		資本的収入(税込)	千円	14,035,643	15,407,162	14,943,134	12,436,715	9,490,728
2505		資本的支出(税込)	千円	22,147,022	22,145,754	22,451,611	18,935,207	16,707,220
2506		資本的収支(税込)	千円	△ 8,111,379	△ 6,738,592	△ 7,508,477	△ 6,498,492	△ 7,216,492
2507	損益計算	下水道事業収益(税抜)	千円	19,312,027	19,972,090	20,374,527	20,871,882	19,917,854
2508		うち下水道使用料収入(税抜)	千円	10,247,051	10,393,230	10,521,225	10,595,550	9,894,212
2509		下水道事業費(税抜)	千円	17,534,982	17,842,672	18,196,165	18,855,700	18,989,522
2510		下水道事業当年度純利益	千円	1,777,045	2,129,418	2,178,362	2,016,182	928,332
2511	貸借対照表	貸借対照表　資産の部	千円	294,107,497	290,770,802	288,636,279	286,088,609	284,259,337
2512		貸借対照表　負債の部	千円	259,528,357	258,006,291	258,011,646	257,642,339	258,522,014
2513		貸借対照表　資本の部	千円	34,579,140	32,764,511	30,624,633	28,446,270	25,737,323
2514		利益剰余金	千円	4,377,045	4,729,418	4,778,362	4,616,183	3,528,332
2515		企業債残高	千円	133,899,744	134,312,534	134,394,875	136,155,484	138,927,704
2516	経営分析	使用料単価	円/m^3	141.65	144.75	145.39	145.89	145.38
2517		汚水処理原価	円/m^3	151.91	154.27	157.28	161.70	166.89
2518		汚水処理原価(分流式経費を除く)	円/m^3	150.00	150.00	150.00	150.00	122.61
2519		汚水処理原価(維持管理費)	円/m^3	64.65	62.75	62.38	64.51	66.21
2520		汚水処理原価(資本費、但し分流式経費を除く)	円/m^3	85.35	87.25	87.62	85.49	56.39
2521		経費回収率(分流式経費を除く)	%	94.4	93.8	96.9	97.3	118.6
2522		使用料回収率(維持管理費)	%	219.1	230.7	233.1	226.2	219.6

(3)工業用水道事業会計の経理状況

番号		指標名	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
－	損益計算	工業用水道事業収益(税抜)	円	5,360,237	5,244,904	5,324,943	6,178,112	9,391,784
－		工業用水道事業費(税抜)	円	4,981,911	4,776,516	4,528,125	4,792,761	9,389,540
－		当年度純利益	円	378,326	468,388	796,818	1,385,351	2,244

(4)上下水道局の組織と職員数

令和3年4月1日には、水相談課及び管路維持課で分担して行っていた水道管路の維持管理に関する業務を一元化して水道維持課とし、管路維持課を下水道維持課として再編することで、事務の効率化を図るとともに、市民、事業者にとって分かりやすい名称としました。





	R3.3.31現在				R3.4.1現在			
	水道事業会計		下水道事業会計		水道事業会計		下水道事業会計	
	事務職	技術職	事務職	技術職	事務職	技術職	事務職	技術職
職員数	81	124	41	120	76	128	40	119
合計	205		161		204		159	

*管理者、再任用短時間を除き、再任用フルタイムを含む。

Ⅳ 業務指標

1 水道事業

(1)水道の普及に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1101	推計人口（世帯）	行政区域内人口(推計人口)	人	737,490	737,598	738,063	738,407	737,812
1102		計画給水人口	人	719,000	719,000	719,000	719,000	703,000
1103		給水区域内人口(推計人口)	人	737,490	737,598	738,063	738,407	736,403
1104		給水人口(推計人口)	人	708,616	706,963	705,889	704,557	701,336
1105		給水普及率(推計人口)	%	96.1	95.8	95.6	95.4	95.2
1106		水道普及率(推計人口)	%	96.1	95.8	95.6	95.4	95.1
1107		行政区域内世帯数(推計人口)	世帯	332,184	328,290	324,676	321,329	317,707
1108		給水世帯数(推計人口)	世帯	317,635	313,528	309,796	306,314	302,197
1109	住民基本台帳人口	行政区域内人口(住民基本台帳)	人	731,426	731,572	731,933	732,217	731,754
1110		給水人口(住民基本台帳)	人	703,124	701,516	700,344	698,955	695,824
1111		普及状況(住民基本台帳)	%	96.1	95.9	95.7	95.5	95.1
1112	面積	行政区域内面積	ha	39,032	39,032	39,032	39,032	39,032
1113		給水区域面積	ha	32,416	32,416	32,416	32,416	32,349
1114	給水戸数(給水件数)		件	348,671	343,705	339,539	335,976	332,573

(2)水道施設・管路に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1201	施設	水源地	箇所	38	38	38	39	40
1202		取水箇所	箇所	98	98	98	99	101
1203		配水施設	箇所	45	45	45	49	51
1204		配水池	池	54	54	54	58	59
1205		配水池貯留能力	日	1.00	0.99	0.98	0.98	0.95
1206		公称施設能力	m^3/日	317,244	317,244	317,244	316,658	313,197
1207	管路	導水管延長	m	43,177	42,671	47,591	47,942	46,556
1208		送水管延長	m	52,930	52,936	58,346	58,290	56,593
1209		配水管延長	m	3,454,051	3,424,071	3,401,801	3,375,769	3,345,725
1210		導・送・配水管合計(管路総延長)	m	3,550,158	3,519,678	3,507,738	3,482,001	3,448,874
1211		管路の新設率	%	0.86	0.60	0.73	0.69	1.00
1212		管路の更新率	%	0.81	0.67	0.73	0.70	0.64
1213	公設消火栓数		個	19,596	19,458	19,354	19,248	19,112
1214	災害対策	災害対策用貯水施設貯水量	m^3	61,450	61,450	61,050	61,050	60,050
1215		応急給水施設密度※	箇所/100km^2	7.4	7.4	7.1	7.1	6.8
1216		配水池の耐震化率※	%	91.2	91.2	91.2	91.1	90.9
1217		浄水施設の耐震化率※	%	90.1	90.1	90.1	89.9	91.4
1218		ポンプ所の耐震化率※	%	75.4	75.4	75.4	75.3	76.0
1219		耐震適合性のある基幹管路の割合	%	79.6	78.0	77.9	77.8	74.9
1220		水道管路の耐震化率	%	29.5	28.2	27.1	26.0	24.9

定義・解説・注釈
熊本県統計調査課にて算出された推計人口（国勢調査による人口及び世帯数を基準とし、住民基本台帳及び外国人登録法などに基づき市に届出のあった出生・死亡などの数を加減して集計算出された数値）。
水道法により認可（又は変更認可）された事業計画に定める計画給水人口の合計。
給水区域内に居住する人口（推計人口をもとに算出）。給水区域外からの通勤者や観光客は含めない。
給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいう（推計人口をもとに算出）。給水区域外からの通勤者や観光客は給水人口には含まれない。
給水人口（推計人口）/給水区域内人口（推計人口）
給水人口（推計人口）/行政区域内人口（推計人口）
熊本県統計調査課にて算出された熊本市の推計世帯数（翌年度4月1日現在）。
水道により給水を受けている世帯数のこと。 熊本県統計調査課にて算出された熊本市の世帯数（翌年度4月1日現在）－未給水世帯の世帯数
年度末現在住民基本台帳に登録された人口。
給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいう（住民基本台帳登録数をもとに算出）。給水区域外からの通勤者や観光客は給水人口には含まれない。
給水人口（住民基本台帳）/行政区域内人口（住民基本台帳）
国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」による区域の面積。
給水区域の面積。
給水契約の対象となっている戸数のこと。各戸検針を行っていない共同住宅も世帯別に基本料金が適用されているものは給水戸数となる。

定義・解説・注釈
取水井戸がある地域の数。
取水井戸の数。
配水池、ポンプ及びバルブ、その他の付属設備から構成される配水のための施設。
給水区域の需要量に応じて適切な配水を行うために、浄水を一時貯える池。
水道水を貯めておく配水池の有効容量が、平均配水量の何日分あるかを示す（配水池有効容量/1日平均配水量）。
各取水井の取水能力の合計。
取水井から浄水処理前の原水を調整池・集水槽に送る管のこと。
調整池・集水槽から飲用可能な状態に処理された水を配水池に送る管のこと。
配水池以降の水を供給する管のこと。
導水管、送水管、配水管の合計。
新設管路（布設替えや増径は含まないが、道路拡幅等に伴い新たに反対側に布設する場合等は含む。）延長/管路総延長
更新された管路延長/前年度における管路総延長
公設の消火栓の数。
災害対策用貯水施設の貯水容量。
応急給水施設数/給水区域面積 ※平成27年度までは応急給水施設数に他部署所管の耐震性貯水槽を含む。
耐震対策の施されている配水池有効容量/配水池等有効容量 ※平成27年度までは旧市内のみ（富合町・城南町・植木町を除く）
耐震対策の施されている浄水施設能力/全浄水施設能力 ※平成27年度までは旧市内のみ（富合町・城南町・植木町を除く）
耐震対策の施されているポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力 ※平成27年度までは旧市内のみ（富合町・城南町・植木町を除く）
耐震適合性のある基幹管路/基幹管路総延長
耐震管延長/管路総延長

(3)水道の維持管理に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1301	取水量	年間取水量※	m^3	79,450,878	79,371,793	80,253,476	80,975,119	82,313,433
1302		原水有効利用率※	%	92.3	90.8	90.7	90.7	87.7
1303	配水量	年間配水(給水)量	m^3	79,211,773	79,709,537	80,608,326	81,431,915	82,269,843
1304		月平均配水量	m^3	6,600,981	6,642,461	6,717,361	6,785,993	6,855,820
1305		1日最大配水量	m^3	9/6 240,750	12/31 231,954	7/19 238,413	7/13 237,792	4/15 280,014
1306		1日最小配水量	m^3	9/7 188,765	1/1 190,338	1/1 187,020	1/1 191,250	416 41,654
1307		1日平均配水量	m^3	217,019	217,786	220,845	223,101	225,397
1308		1人1日最大配水量	リットル	340	328	338	338	399
1309		1人1日平均配水量	リットル	306	308	313	317	321
1310	有収水量	年間有収水量(上水道)	m^3	71,005,900	70,161,394	70,702,534	71,278,764	66,743,778
1311		1日平均有収水量	m^3	194,537	191,698	193,706	195,284	182,860
1312		1人1日平均有収水量	リットル	275	271	274	277	261
1313		有収率(上水道)	%	89.6	88.0	87.7	87.5	81.1
1314	有効水量	年間有効水量	m^3	73,294,928	72,048,628	72,795,163	73,484,740	72,200,094
1315		1日平均有効水量	m^3	200,808	196,854	199,439	201,328	197,808
1316		有効率	%	92.5	90.4	90.3	90.2	87.8
1317	生活用水量	生活用水量	m^3	59,302,416	56,748,000	56,947,102	57,269,273	53,105,001
1318		1人1日生活用水量	リットル	229	219	221	223	207
1319	電力	年間電力量	kWh	44,489,390	44,261,597	44,376,149	44,698,879	45,512,343
1320		配水量1m^3あたり電力量	kWh/m^3	0.562	0.555	0.551	0.549	0.553
1321		年間電力料金	円	729,760,700	754,013,626	756,617,047	701,572,675	673,930,528
1322		配水量1m^3あたり電力料金	円/m^3	9.21	9.46	9.39	8.62	8.19
1323		水質基準適合率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1324		修理件数	件	2,656	2,527	2,786	2,722	5,090
1325		推定漏水防止量	万m^3	237	241	277	195	262
1326		鉛製給水管率※	%	5.68	5.97	6.43	6.93	7.53
1327		直結給水件数	件	276,038	270,075	264,689	260,056	256,681
1328		直結給水率	%	79.2	78.6	78.0	77.4	77.2
1329		量水器据付個数	個	327,366	321,787	316,819	310,585	310,343

(4)水道事業における環境に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1401		上下水道局が参画した地下水の推定かん養量※	万m^3	1,534.1	1,346.4	1,357.9	1,317.1	67.7
1402	エネルギー温暖化対策	エネルギーの使用に伴う上水道事業の二酸化炭素排出量	t-CO^2	15,358	14,234	19,440	20,814	22,735
1403		配水量1m^3あたり二酸化炭素排出量	g-CO^2/m^3	194	179	241	256	276
1404		水道施設における自然エネルギー発電量	kWh	263,293	237,809	273,634	271,098	240,105

定義・解説・注釈
水道事業体の取水施設から取水された年間の総水量。 ※平成27年度までは取水流量計が未整備のため、富合町、城南町、植木町は除く。
年間有効水量/年間取水量 ※平成27年度までは取水流量計が未整備のため、富合町、城南町、植木町を除く値で算出。
配水池などから送り出された水量。
年間配水量/12ヶ月
日量最大の配水量。日付けは最大配水量を記録した日。
日量最小の配水量。日付けは最小配水量を記録した日。
年間配水量/年間日数(365日または366日)
1日最大配水量/給水人口(推計人口)
1日平均配水量/給水人口(推計人口)
料金徴収の対象となった水量。
年間有収水量/年間日数(365日または366日)
1日平均有収水量/給水人口(推計人口)
年間有収水量(上水道)/年間配水(給水)量
使用上有効と見られる水量。有収水量、洗管水量、局業務用、消防用、メーター不感水量、調定減額水量等をいう。
年間有効水量/年間日数(365日または366日)
年間有効水量/年間配水量
用途別調定水量のうち、用途「生活用」の水量。
生活用水量/給水人口(推計人口)
水源地及び配水場などの水道施設で使用した総電力量。
年間電力量/年間配水量
水源地及び配水場などの水道施設で使用した総電力料金。
年間電力料金/年間配水量
水質基準適合回数/検査回数 (毎月給水栓検査)
漏水調査及び一般からの通報受付により、漏水防止等のため修理した件数(配水管修理件数、給水管(公道)修理件数、給水管修理(メーター上流)、弁栓漏水件数)。
漏水調査及び一般からの通報受付により、漏水防止等のため実施した修理により防止された漏水の推計値。
鉛製給水管使用件数/給水件数 ※旧市内(富合町・城南町・植木町を除く)のみ。
受水槽を介さず、配水管の水圧または直結加圧ポンプにより直接給水される給水件数。
直結給水件数/給水件数
量水器(メーター)の据付個数。

定義・解説・注釈
上下水道局が参画した地下水の推定かん養量。 ※平成28年度までは(公財)くまもと地下水財団負担金に相当する推定かん養量は除く。
水道事業で、エネルギーの使用に伴い発生した二酸化炭素量。
上水道事業に伴い発生する二酸化炭素量/年間配水量
水道施設における太陽光発電設備、小水力発電等の自然エネルギーの発電量。

(5)水道事業会計に関する指標　※千円未満四捨五入

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1501	決算	収益的収入(税込)	千円	14,285,799	14,351,560	14,443,917	14,361,765	14,102,848
1502		収益的支出(税込)	千円	10,894,541	11,227,770	11,402,939	11,334,668	12,270,667
1503		収益的収支(税込)	千円	3,391,258	3,123,790	3,040,978	3,027,097	1,832,181
1504		資本的収入(税込)	千円	1,750,862	2,076,181	3,296,494	2,296,099	2,524,565
1505		資本的支出(税込)	千円	9,122,728	7,517,455	9,456,414	8,317,596	7,781,068
1506		資本的収支(税込)	千円	△ 7,371,866	△ 5,441,274	△ 6,159,920	△ 6,021,497	△ 5,256,503
1507	損益計算	水道事業収益(税抜)	千円	13,094,549	13,316,093	13,475,515	13,388,370	13,190,629
1508		うち水道料金収入(税抜)	千円	11,491,103	11,591,947	11,694,130	11,806,287	10,943,895
1509		水道事業費用(税抜)	千円	10,258,989	10,585,765	10,855,268	10,781,855	11,727,046
1510		水道事業当年度純利益	千円	2,835,560	2,730,328	2,620,247	2,606,515	1,463,583
1511	貸借対照表	貸借対照表　資産の部	千円	133,294,127	132,428,562	129,935,075	125,953,899	123,740,726
1512		貸借対照表　負債の部	千円	58,267,195	60,237,190	60,473,777	59,112,848	59,506,191
1513		貸借対照表　資本の部	千円	75,026,932	72,191,372	69,461,298	66,841,051	64,234,535
1514		利益剰余金	千円	5,778,907	5,621,138	5,547,133	5,498,007	3,720,063
1515		企業債残高	千円	32,277,746	33,140,832	33,635,071	33,733,105	34,023,092
1516	経営分析	供給単価	円/m^3	161.83	165.22	165.40	165.64	163.97
1517		給水原価	円/m^3	129.71	135.27	138.82	135.93	134.37
1518		営業収支比率	%	124.87	123.24	120.80	123.46	125.06
1519		経常収支比率	%	127.79	126.21	122.67	125.04	125.39
1520		料金回収率	%	124.76	122.14	119.15	121.86	122.03

(6)職員(水道事業会計支弁職員)

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1601	水道事業会計支弁職員		人	205 (38)	204 (43)	213 (44)	217(36)	221(34)
1602	うち損益勘定職員数		人	166 (38)	167 (42)	171 (40)	176(34)	176(33)
1603	職員1人当たり	年間配水量	m^3/人	386,399	390,733	378,443	375,262	372,262
1604		年間配水量(損益勘定職員)	m^3/人	477,179	477,303	471,394	462,681	467,442
1605		年間有収水量	m^3/人	346,370	343,928	331,937	328,474	302,008
1606		年間有収水量(損益勘定職員)	m^3/人	427,746	420,128	413,465	404,993	379,226
1607		水道料金収入	円/人	56,054,161	56,823,270	54,902,019	54,406,853	49,519,887
1608		水道料金収入(損益勘定職員)	円/人	69,223,512	69,412,856	68,386,725	67,081,176	62,181,222

定義・解説・注釈
営業収入、営業外収入、特別利益の合計額。収益的支出の財源となる収入。実際に執行に必要な税込金額で表示される予算額に対応するため、税込表示。
営業費用、営業外費用、特別損失の合計額。送水や維持管理に要する費用（人件費や施設維持のための電気代、薬品費、修理代等）。実際に執行に必要な税込金額で表示される予算額に対応するため、税込表示。
収益的収入から収益的支出を引いたもの。
企業債、他会計出資金、補助金等、水道の施設を作るための費用（建設改良費・企業債償還金等）の財源となる収入。実際に執行に必要な税込金額で表示される予算額に対応するため、税込表示。
水道の施設を作るための費用（建設改良費・企業債償還金等）。施設の建設や改良等の設備投資に必要な経費など。実際に執行に必要な税込金額で表示される予算額に対応するため、税込表示。
資本的収入から資本的支出を引いたもの。
営業収入、営業外収入、特別利益の合計額。経営の状態を把握するため、消費税抜きで表示。
営業収入のうち水道料金による収入の額。経営の状態を把握するため、消費税抜きで表示。
営業費用、営業外費用、特別損失の合計額。 施設を維持し、水を送るための費用。経営の状態を把握するため、消費税抜きで表示。
水道事業収益から水道事業費用を引いたもの。正の場合は利益を、負の場合は損失を示す。
貸借対照表のうち、水道事業会計が期日（各年度末）現在で保有する固定資産（有形固定資産（土地・建物・構築物等）、無形固定資産、投資）及び流動資産（現金預金、未収金、貯蔵品等）の合計額。
貸借対照表のうち、水道事業会計が期日（各年度末）現在で保有する固定負債（退職給与引当金等）及び流動負債（未払金等）の合計額。
貸借対照表のうち、水道事業会計が期日（各年度末）現在で保有する資本金（自己資本金、借入資本金（企業債等））及び剰余金（資本剰余金（補助金等）、利益剰余金（減債積立金、当年度純利益等））の合計額。
減債積立金（企業債償還など設備投資関係の資本的収支不足額を補てんするための積立）や当年度純利益等。
水道事業会計が期日（各年度末）現在で保有する企業債(負債又は借入資本金)の残高。
有収水量1㎥あたり、どれだけの収益を得ているかを判断する指標。有収水量1㎥あたりの給水収益【給水収益÷年間有収水量】
有収水量1㎥あたり、どれだけの費用がかかっているかを判断する指標。有収水量1㎥あたりの原価【（経常費用−（受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯工事費+長期前受金戻入※）÷年間有収水量】 ※長期前受金戻入は26年度から控除
（営業収益－受託工事収益）/（営業費用－受託工事費）100%以上の事業は健全経営といえる。
（営業収益＋営業外収益）/（営業費用＋営業外費用）100%を超える場合は単年度黒字を表す。
供給単価/給水原価。供給単価と給水原価の関係を表す指標。

定義・解説・注釈
管理者（特別職）を除く職員数。括弧書きについては 再任用職員数を示すが、合計人数からは除く。
管理者（特別職）を除く水道事業の営業活動に係る職員数。括弧書きについては 再任用職員数を示すが、合計人数からは除く。
年間配水量/職員数（水道事業会計支弁職員）
年間配水量/職員数（水道事業会計支弁職員損益勘定職員）
年間有収水量/職員数（水道事業会計支弁職員）
年間有収水量/職員数（水道事業会計支弁職員損益勘定職員）
水道料金収入/職員数（水道事業会計支弁職員）
水道料金収入/職員数（水道事業会計支弁職員損益勘定職員）

2 下水道事業

(1)下水道の普及に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
【再】1112	面積	行政区域内面積	ha	39,032	39,032	39,032	39,032	39,032
2101		市街化区域面積	ha	10,795	10,795	10,795	10,795	10,795
2102		全体計画面積	ha	13,647	13,724	13,724	13,724	13,724
2103		現在整備済面積	ha	12,033	11,899	11,756	11,652	11,565
2104		現在処理区域面積	ha	12,028	11,894	11,752	11,640	11,558
【再】1109	人口（住民基本台帳）	行政区域内人口（住民基本台帳）	人	731,426	731,572	731,933	732,217	731,754
2105		市街化区域内人口（住民基本台帳）	人	640,418	646,444	646,792	648,413	649,217
2106		全体計画人口	人	689,400	666,300	666,300	666,300	666,300
2107		現在排水区域内人口	人	660,810	657,885	656,907	655,441	651,795
2108		現在処理区域内人口	人	660,810	657,885	656,907	655,441	651,795
2109		行政区域内人口に対する普及率	%	90.3	89.9	89.7	89.5	89.1
2110	水洗化	現在水洗便所設置済人口	人	643,661	640,319	638,902	637,190	633,235
2111		水洗化率（人口）	%	97.4	97.3	97.3	97.2	97.1
2112		普及戸数	戸	281,202	276,634	271,197	265,928	262,341
2113		水洗化戸数	戸	273,899	269,251	263,764	258,523	254,871
2114		水洗化率（戸数）	%	97.4	97.3	97.3	97.2	97.1

(2)下水道施設・管路に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
2201	施設	計画処理能力※	m^3/日	362,600	364,900	364,900	364,900	364,900
2202		現在処理能力（晴天）	m^3/日	283,300	283,300	284,000	284,000	284,000
2203		現在処理能力（雨天）	m^3/分	287	279	279	288	279
2204		現在最大処理能力（晴天）	m^3/日	245,622	241,266	247,868	237,506	238,871
2205		現在最大処理能力（雨天）	m^3/分	405	442	397	464	408
2206		浄化センター数	箇所	5	5	5	5	5
2207		ポンプ場数	箇所	39	39	39	38	38
2208	管渠	汚水管延長	km	2,419	2,385	2,350	2,319	2,292
2209		雨水管延長	km	55	55	54	54	54
2210		合流管延長	km	245	245	245	245	245
2211		下水道管路布設延長	km	2,719	2,685	2,649	2,618	2,591
2212		布設延長に対し合流管が占める割合	%	9.0	9.1	9.3	9.4	9.5
2213	災害対策	ポンプ場及び浄化センターの耐震対策実施率	%	33.8	29.9	29.4	26.4	26.0
2214		下水道管路の耐震化率	%	39.4	38.6	37.0	36.4	35.8
2215		重点6地区の対策率	%	58.7	58.7	43.2	43.2	43.2

定義・解説・注釈
国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」による区域の面積。
既に市街地となっている区域や今後、優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域の面積。
将来の地域の状況などに対応した長期的な人口の増加・減少の見込みや財政収支の見込み等を考慮して総合的な見地から設定した区域の面積。
公共下水道により下水を排除することができる区域であり、排除された汚水の処理を行う区域と雨水による浸水の防除を図る区域の面積。
公共下水道により下水を排除することができる地域（排水区域）のうち、排除された汚水の処理を行う区域の面積。
年度末現在住民基本台帳に登録された人口。
既に市街地となっている区域や今後、優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域内人口。
将来の地域の状況などに対応した長期的な人口の増加・減少の見込みや財政収支の見込み等を考慮して総合的な見地から設定した区域内人口。
公共下水道により下水を排除することができる区域であり、排除された汚水の処理を行う区域と雨水による浸水の防除を図る区域内人口。
公共下水道により下水を排除することができる地域（排水区域）のうち、排除された汚水の処理を行う区域内人口。
現在処理区域内人口/行政区域内人口（住民基本台帳）
実際に水洗便所を設置して汚水を下水道で処理している人口（下水道に接続している人口）。
現在水洗便所設置済人口/現在処理区域内人口
現在処理区域内の戸数。
実際に水洗便所を設置して汚水を下水道で処理している戸数（下水道に接続している戸数）。
水洗化戸数/普及戸数

定義・解説・注釈
上水道の給水計画、土地利用形態等を考慮し、生活汚水量、営業排水量、工場排水量、地下水量に区分して算出した計画汚水量を処理できる能力。 ※北部流域関連（北部・植木）、富合（宇土）、河内を除く。
現在有する水処理施設の能力（晴天時）。
現在有する水処理施設の能力（雨天時）。
晴天時に水処理施設に入った日最大処理水量。
雨天時に水処理施設に入った日最大処理水量。
所管となっている全ての浄化センター数。
汚水を浄化センター等へ送るポンプ施設数。
家庭雑排水のみを集めて処理する管渠の延長。
道路等に降った雨水を集めて処理する管渠の延長。
家庭雑排水と道路等に降った雨水を1本の管に集めて処理する管渠の延長。
下水道整備を開始してから、道路等に布設された下水道管の長さ。
下水管布設延長に対する合流管（汚水と雨水を一緒に集め、移送する管）の占める割合。
ポンプ場及び浄化センター耐震対策実施済施設数/ポンプ場及び浄化センター施設総数。
耐震化済延長/整備済延長
重点6地区の改善排水面積/重点6地区の総排水面積

(3)下水道の維持管理に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
2301	処理水量	汚水処理量	m^3	85,825,572	85,442,734	85,918,695	86,802,018	86,747,704
2302		うち市浄化センター処理量	m^3	72,775,359	73,110,073	73,635,854	74,707,418	74,672,910
2303		雨水処理量	m^3	6,934,782	5,925,021	4,990,255	5,270,787	6,440,889
2304		うち市浄化センター処理量	m^3	6,934,782	5,925,021	4,990,255	5,270,787	6,440,889
2305		年間総処理水量	m^3	92,760,354	91,367,755	90,908,950	92,072,805	93,188,593
2306		うち市浄化センター処理量	m^3	79,710,141	79,035,094	78,626,109	79,978,205	81,113,799
2307		現在晴天時平均処理水量	m^3/日	195,704	196,435	199,576	202,219	201,334
2308	有収水量	年間有収水量(下水道)	m^3	72,339,449	71,800,777	72,366,941	72,626,117	68,058,351
2309		有収率(下水道)	%	84.3	84.0	84.2	83.7	78.5
2310		浄化センター・ポンプ場の施設機器の更新箇所数(R1までは更新率%)	箇所	9	89.3	83.3	75.0	70.2
2311	電力	年間電力量	kWh	33,173,029	33,946,805	33,585,297	33,681,858	33,707,200
2312		処理水量1m^3あたり電力量	kWh/m^3	0.416	0.430	0.427	0.422	0.416
2313		年間電力料金	円	518,472,167	551,327,775	561,140,998	545,646,815	515,708,307
2314		処理水量1m^3あたり電力料金	円/m^3	7.17	7.68	7.75	7.51	7.58

(4)下水道事業における環境に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
2401	再生水	再生水利用量	m^3	10,390,014	8,613,548	7,562,862	9,929,128	10,296,057
2402		再生水の使用率	%	13.0	10.9	9.6	12.4	12.7
2403	汚水処理人口普及率		%	97.1	96.6	96.4	96.2	95.9
2405	高度処理人口普及率		%	0	0	0	0	0
2406	エネルギー・温暖化対策	エネルギーの使用に伴う下水道事業の二酸化炭素排出量	t-CO^2	13,763	8,868	13,946	15,078	16,785
2407		下水道事業に係る温室効果ガス発生量(汚泥焼却等によるものも含む)	t-CO^2	19,494	14,710	19,751	22,367	20,894
2408		処理人口1人あたり温室効果ガス排出量	kg-CO^2/人	29.5	22.4	30.1	34.1	32.1
2409		処理水量1m^3あたり温室効果ガス排出量	g-CO^2/m^3	245	186	251	280	258
2410		消化ガス発電量	kWh	5,736,772	5,853,264	5,364,102	4,732,331	4,241,935
2411	汚泥	発生汚泥量(脱水ケーキ)	t	31,343	31,849	30,198	30,077	28,728
2412		汚泥の有効利用量	t	31,343	31,849	30,198	30,077	28,728
2413		汚泥の有効利用率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

定義・解説・注釈
浄化センター（中部、東部、南部、西部、北部(県営)、城南、宇土市(富合町分を受入)）で処理した汚水量。
市営の浄化センター（中部、東部、南部、西部、城南）で処理した汚水量。
浄化センター（中部、東部）で処理した雨水量。
市営の浄化センター（中部、東部）で処理した雨水量。
浄化センター（中部、東部、南部、西部、北部(県営)、城南、宇土市(富合町分を受入)）で処理した総処理水量。
市営の浄化センター（中部、東部、南部、西部、城南）で処理した総処理水量。
実績日平均処理水量（過去1年実績）。
下水道使用料徴収の対象となった汚水の年間水量。
年間有収水量（下水道）/汚水処理量。処理した汚水のうち下水道使用料徴収の対象となる有収水の割合、高いほど不明水等が少なく、効率的である。
下水道施設機器の更新が完了した施設数（令和元年度までは経営基本計画に基づく更新率）
浄化センター、中継ポンプ場、マンホールポンプ場などの下水道施設で使用した総電力量。
電力量/処理水量（市営の浄化センターの総処理水量）
浄化センター、中継ポンプ場、マンホールポンプ場などの下水道施設で使用した総電力料金。
電力料金/処理水量（市営の浄化センターの総処理水量）

定義・解説・注釈
再生水を利用（場内及び場外利用）した1年間の水量。
年間再生水利用量/処理水量。
（下水道処理区域内人口+合併浄化槽処理人口+農業集落排水処理人口）/行政区域内人口 行政区域内人口は、住民基本台帳による。
高度処理を実施している地域の人口/行政区域内人口（住民基本台帳） 下水道維持管理サービス向上のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝE60とは分母が異なる（ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝは、高度処理が必要な区域の人口を分母とする）。
下水道事業で、エネルギーの使用に伴い発生した二酸化炭素量（汚泥の焼却等により発生する二酸化炭素量は除く。）。
下水道事業に伴い発生する二酸化炭素量。※エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素量に加えて、汚泥の焼却等により発生する二酸化炭素量も含む。
下水道事業に伴い発生する二酸化炭素量/処理区域内人口
下水道事業に伴い発生する二酸化炭素量/処理水量（市営浄化センターの総処理水量）
消化ガス発電により発電された電力量。（発電機補機使用電力量を除く）
汚水処理過程で発生した汚泥（脱水ケーキ）の発生量。
固形燃料、セメント、コンポスト等として有効利用（リサイクル）した汚泥量。
汚泥のリサイクル率。汚泥利用量/発生汚泥量

(5)下水道事業会計に関する指標　※千円未満四捨五入

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
2501	決算	収益的収入(税込)	千円	20,396,120	20,867,487	21,219,904	21,723,771	20,713,136
2502		収益的支出(税込)	千円	17,903,740	18,180,061	18,581,556	19,407,873	19,608,258
2503		収益的収支(税込)	千円	2,492,380	2,687,426	2,638,348	2,315,898	1,104,878
2504		資本的収入(税込)	千円	14,035,643	15,407,162	14,943,134	12,436,715	9,490,728
2505		資本的支出(税込)	千円	22,147,022	22,145,754	22,451,611	18,935,207	16,707,220
2506		資本的収支(税込)	千円	△ 8,111,379	△ 6,738,592	△ 7,508,477	△ 6,498,492	△ 7,216,492
2507	損益計算	下水道事業収益(税抜)	千円	19,312,027	19,972,090	20,374,527	20,871,882	19,917,854
2508		うち下水道使用料収入(税抜)	千円	10,247,051	10,393,230	10,521,225	10,595,550	9,894,212
2509		下水道事業費用(税抜)	千円	17,534,982	17,842,672	18,196,165	18,855,700	18,989,522
2510		下水道事業当年度純利益	千円	1,777,045	2,129,418	2,178,362	2,016,182	928,332
2511	貸借対照表	貸借対照表　資産の部	千円	294,107,497	290,770,802	288,636,279	286,088,609	284,259,337
2512		貸借対照表　負債の部	千円	259,528,357	258,006,291	258,011,646	257,642,339	258,522,014
2513		貸借対照表　資本の部	千円	34,579,140	32,764,511	30,624,633	28,446,270	25,737,323
2514		利益剰余金	千円	4,377,045	4,729,418	4,778,362	4,616,183	3,528,332
2515		企業債残高	千円	133,899,744	134,312,534	134,394,875	136,155,484	138,927,704
2516	経営分析	使用料単価	円/m^3	141.65	144.75	145.39	145.89	145.38
2517		汚水処理原価	円/m^3	151.91	154.27	157.28	161.70	166.89
2518		汚水処理原価(分流式経費を除く)	円/m^3	150.00	150.00	150.00	150.00	122.61
2519		汚水処理原価(維持管理費)	円/m^3	64.65	62.75	62.38	64.51	66.21
2520		汚水処理原価(資本費、但し分流式経費を除く)	円/m^3	85.35	87.25	87.62	85.49	56.39
2521		経費回収率(分流式経費を除く)	%	94.4	96.50	96.9	97.3	118.6
2522		使用料回収率(維持管理費)	%	219.1	230.7	233.1	226.2	219.6

(6)職員(下水道事業会計支弁職員)

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
2601	下水道事業会計支弁職員		人	161 (19)	161 (21)	165 (23)	173(19)	177(15)
2602	うち損益勘定職員数		人	117 (17)	117 (18)	123 (21)	131(18)	135(15)
2603	職員1人当たり	処理水量	m^3/人	495,094	490,901	475,663	461,508	458,160
2604		処理水量(損益勘定職員)	m^3/人	681,283	675,514	638,084	609,473	600,698
2605		年間有収水量	m^3/人	449,313	445,968	438,588	419,804	384,510
2606		年間有収水量(損益勘定職員)	m^3/人	618,286	613,682	588,349	554,398	504,136
2607		下水道使用料収入	円/人	63,646,280	64,554,224	63,765,000	61,245,954	55,899,503
2608		下水道使用料収入(損益勘定職員)	円/人	87,581,632	88,831,026	85,538,415	80,882,061	73,290,459

定義・解説・注釈
営業収入、営業外収入、特別利益の合計額。収益的支出の財源となる収入。税込金額で表示される予算額に対応するため、税込表示。
営業費用、営業外費用、特別損失の合計額。汚水処理や維持管理に要する費用(人件費や施設維持のための電気代、薬品費、修理代等)。税込金額で表示される予算額に対応するため税込表示。
収益的収入から収益的支出を引いたもの。
企業債、他会計出資金、補助金等、下水道の施設を作るための費用(建設改良費・企業債償還金等)の財源となる収入。税込金額で表示される予算額に対応するため、税込表示。
下水道の施設を作るための費用(建設改良費・企業債償還金等)。施設の建設や改良等の設備投資に必要な経費など。税込金額で表示される予算額に対応するため、税込表示。
資本的収入から資本的支出を引いたもの。
営業収入、営業外収入、特別利益の合計額。経営の状態を把握するため、消費税抜きで表示。
営業収入のうち下水道使用料による収入の額。経営の状態を把握するため、消費税抜きで表示。
営業費用、営業外費用、特別損失の合計額。 施設を維持し、汚水を処理するための費用。経営の状態を把握するため、消費税抜きで表示。
下水道事業収益から下水道事業費用を引いたもの。正の場合は利益を、負の場合は損失を示す。
貸借対照表のうち、下水道事業会計が期日(各年度末)現在で保有する固定資産(有形固定資産(土地・建物・構築物等)、無形固定資産、投資)及び流動資産(現金預金、未収金、貯蔵品等)の合計額。
貸借対照表のうち、下水道事業会計が期日(各年度末)現在で保有する固定負債(退職給与引当金等)及び流動負債(未払金等)の合計額。
貸借対照表のうち、下水道事業会計が期日(各年度末)現在で保有する資本金(自己資本金、借入資本金)及び剰余金(資本剰余金、利益剰余金(減債積立金、当年度純利益等))の合計額。
減債積立金(企業債償還など設備投資関係の資本的収支不足額を補てんするための積立)や当年度純利益等。
下水道事業会計が期日(各年度末)現在で保有する企業債(負債又は借入資本金)の残高。
有収水量1㎥あたり、どれだけの収益を得ているかを示す値。経営上は汚水処理原価を著しく下回るのは好ましくない。
有収水量1㎥あたり、どれだけの汚水処理費用が掛かるかを示す値。低いほど汚水処理経費が抑制されたことを示す(平成25年度までは国庫補助金分についてみなし償却を実施、26年度からは長期前受金戻入分を控除)
上記指標の計算過程において、汚水処理経費から分流式下水道経費の公費負担分を控除した値(平成25年度までは国庫補助金分についてみなし償却を実施、26年度からは長期前受金戻入分を控除)。
汚水処理原価のうち、維持管理費を示す値。 維持管理費とは、職員人件費を初め、動力費、薬品費、施設修理費、管渠清掃費など。
汚水処理原価のうち、資本費を示す値(平成25年度までは国庫補助金分についてみなし償却を実施、26年度からは長期前受金戻入分を控除)。 資本費とは、減価償却費(企業債償還元金)と企業債支払利息。
汚水処理に要する費用を、下水道使用料でどの程度回収できたかを示す割合で、100%以上であれば、汚水処理に要する費用を使用料収入で賄われていて、経営の健全性を示す(平成25年度までは国庫補助金分についてみなし償却を実施、26年度からは長期前受金戻入分を控除)。
使用料回収率のうち、維持管理費に占める割合。

定義・解説・注釈
管理者(特別職)を除く職員数。括弧書きについては 再任用職員数を示すが、合計人数からは除く。
管理者(特別職)を除く下水道事業の営業活動に係る職員数。括弧書きについては 再任用職員数を示すが、合計人数からは除く。
総処理水量(市営浄化センター)/職員数(下水道事業会計支弁職員)
総処理水量(市営浄化センター)/職員数(下水道事業会計支弁職員損益勘定職員)
年間有収水量/職員数(下水道事業会計支弁職員)
年間有収水量/職員数(下水道事業会計支弁職員損益勘定職員)
下水道使用料収入/職員数(下水道事業会計支弁職員)
下水道使用料収入/職員数(下水道事業会計支弁職員損益勘定職員)

3 上下水道事業共通

(1)行政区域に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
【再】1101	共通	行政区域内人口(推計人口)	人	737,490	737,598	738,063	738,407	737,812
【再】1109	共通	行政区域内人口(住民基本台帳)	人	731,426	731,572	731,933	732,217	731,754
【再】1112	共通	行政区域内面積	ha	39,032	39,032	39,032	39,032	39,032

(2)災害に強い上下水道に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
【再】1214	水道	災害対策用貯水施設貯水量	m^3	61,450	61,450	61,050	61,050	60,050
【再】1215	水道	応急給水施設密度※	箇所/100km^2	7.4	7.4	7.1	7.1	6.8
【再】1216	水道	配水池の耐震化率※	%	91.2	91.2	91.2	91.1	90.9
【再】1217	水道	浄水施設の耐震化率※	%	90.1	90.1	90.1	89.9	91.4
【再】1218	水道	ポンプ所の耐震化率※	%	75.4	75.4	75.4	75.3	76.0
【再】1219	水道	耐震適合性のある基幹管路の割合※	%	79.6	78.0	77.9	77.8	74.9
【再】1220	水道	水道管路の耐震化率※	%	29.5	28.2	27.1	26.0	24.9
【再】2213	下水	ポンプ場及び浄化センターの耐震対策実施率	%	33.8	29.9	29.4	26.4	26.0
【再】2214	下水	下水道管路の耐震化率	%	39.4	38.6	37.0	36.4	35.8
【再】2215	下水	重点6地区の対策率	%	58.7	58.7	43.2	43.2	43.2

(3)水循環社会の形成に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
【再】1401	水道	上下水道局が参画した地下水の推定かん養量	万m^3	1,534.1	1,346.4	1,357.9	1,317.1	67.7
【再】2401	下水	再生水利用量	m^3	10,390,014	8,613,548	7,562,862	9,929,128	10,296,057
【再】2402	下水	再生水の使用率	%	13.0	10.9	9.6	12.4	12.7
【再】2403	下水	汚水処理人口普及率	%	97.1	96.6	96.4	96.2	95.9
【再】2405	下水	高度処理人口普及率	%	0	0	0	0	0

定義・解説・注釈
熊本県統計調査課にて算出された推計人口（国勢調査による人口及び世帯数を基準とし、住民基本台帳及び外国人登録法などに基づき市に届出のあった出生・死亡などの数を加減して集計算出された数値）。
年度末現在住民基本台帳に登録された人口。
国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」による区域の面積。

定義・解説・注釈
災害対策用貯水施設の貯水容量。
応急給水施設数/給水区域面積 ※平成27年度までは応急給水施設数に他部署所管の耐震性貯水槽を含む。
耐震対策の施されている配水池有効容量/配水池等有効容量 ※平成27年度までは旧市内のみ（富合町・城南町・植木町を除く）
耐震対策の施されている浄水施設能力/全浄水施設能力 ※平成27年度までは旧市内のみ（富合町・城南町・植木町を除く）
耐震対策の施されているポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力 ※平成27年度までは旧市内のみ（富合町・城南町・植木町を除く）
耐震適合性のある基幹管路/基幹管路総延長
耐震管延長/管路総延長
ポンプ場及び浄化センター耐震対策実施済施設数/ポンプ場及び浄化センター施設総数
耐震化済延長/整備済延長
重点6地区の改善排水面積/重点6地区の総排水面積

定義・解説・注釈
上下水道局が参画した地下水の推定かん養量。 ※平成28年度までは(公財)くまもと地下水財団負担金に相当する推定かん養量は除く。
再生水を利用（場内及び場外利用）した1年間の水量。
年間再生水利用量/処理水量
（下水道処理区域内人口+合併浄化槽処理人口+農業集落排水処理人口）/行政区域内人口 行政区域内人口は、住民基本台帳による。
高度処理を実施している地域の人口/行政区域内人口（住民基本台帳） 下水道維持管理サービス向上のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝE60とは分母が異なる（ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝは、高度処理が必要な区域の人口を分母とする）。

(4)環境に配慮した事業運営に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
3401	共通	エネルギーの使用に伴う上下水道局の二酸化炭素排出量	t-CO^2	26,600	23,220	33,778	36,513	40,233
【再】1402	水道	エネルギーの使用に伴う上水道事業の二酸化炭素排出量	t-CO^2	15,358	14,234	19,440	20,814	22,735
【再】2406	下水	エネルギーの使用に伴う下水道事業の二酸化炭素排出量	t-CO^2	11,121	8,868	13,946	15,078	16,785
3402	共通	エネルギーの使用に伴う管理業務の二酸化炭素排出量	t-CO^2	121	118	392	620	712
【再】1403	水道	配水量1m^3あたり二酸化炭素排出量	g-CO^2/m^3	194	179	241	256	276
【再】1404	水道	水道施設における自然エネルギー発電量	kWh	263,293	237,809	273,634	271,098	240,105
【再】2407	下水	下水道事業に係る温室効果ガス発生量(汚泥焼却等によるものも含む)※	t-CO^2	19,494	14,710	19,751	22,367	20,894
【再】2408	下水	処理人口1人あたり温室効果ガス排出量	kg-CO^2/人	29.5	22.4	30.1	34.1	32.1
【再】2409	下水	処理水量1m^3あたり温室効果ガス排出量	g-CO^2/m^3	245	186	252	280	258
【再】2410	下水	消化ガス発電量	kWh	5,736,772	5,853,264	5,364,102	4,732,331	4,241,935
【再】2413	下水	汚泥の有効利用率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(5)広報・広聴に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
3501	共通	上下水道施設見学者数	人	31,937	95,761	132,942	113,815	99,928
3502	共通	ホームページ閲覧数	頁	755,822	576,509	566,153	576,430	2,104,339
3503	共通	アンケート回答人数	件	1,751	1,950	2,015	2,099	1,777
3505	共通	情報提供満足度(%)	%	40.0	38.1	36.0	36.3	36.8
3506	共通	広報活動の認知度(%)	%	89.0	86.7	65.2	54.2	53.7

(6)職員に関する指標

番号	指標名		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
【再】1601	水道	水道事業会計支弁職員	人	205(43)	204(43)	213(44)	217(36)	221(34)
【再】1602	水道	うち損益勘定職員数	人	166(42)	167(42)	171(40)	176(34)	176(33)
【再】2601	下水	下水道事業会計支弁職員	人	161(21)	161(21)	165(23)	173(19)	177(15)
【再】2602	下水	うち損益勘定職員数	人	117(18)	117(18)	123(21)	131(18)	135(15)
3601	共通	上下水道局職員数	人	367(57)	365(64)	379(67)	391(55)	399(49)
【再】1603	水道	職員1人当たり年間配水量	m^3/人	386,399	390,733	378,443	375,262	372,262
【再】2603	下水	職員1人当たり処理水量	m^3/人	495,094	490,901	475,663	461,508	458,160
【再】1604	水道	職員1人当たり年間配水量(損益勘定職員)	m^3/人	477,179	477,303	471,394	462,681	467,442
【再】2604	下水	職員1人当たり処理水量(損益勘定職員)	m^3/人	681,283	675,514	638,084	609,473	600,698
【再】1605	水道	職員1人当たり年間有収水量	m^3/人	346,370	343,928	331,937	328,474	302,008
【再】2605	下水	職員1人当たり年間有収水量	m^3/人	449,313	445,968	438,588	419,804	384,510
【再】1606	水道	職員1人当たり年間有収水量(損益勘定職員)	m^3/人	427,746	420,128	413,465	404,993	379,226
【再】2606	下水	職員1人当たり年間有収水量(損益勘定職員)	m^3/人	618,286	613,682	588,349	554,398	504,136
【再】1607	水道	職員1人当たり水道料金収入	円/人	56,054,161	56,823,270	54,902,019	54,406,853	49,519,887
【再】2607	下水	職員1人当たり下水道使用料収入	円/人	63,646,280	64,554,224	63,765,000	61,245,954	55,899,503
【再】1608	水道	職員1人当たり水道料金収入(損益勘定職員)	円/人	69,223,512	69,412,856	68,386,725	67,081,176	62,181,222
【再】2608	下水	職員1人当たり下水道使用料収入(損益勘定職員)	円/人	87,581,632	88,831,026	85,538,415	80,882,061	73,290,459

定義・解説・注釈
上下水道局（水道事業、下水道事業、管理業務）全体で、エネルギーの使用に伴い発生した二酸化炭素量（汚泥の焼却等により発生する二酸化炭素量は除く。）。
水道事業で、エネルギーの使用に伴い発生した二酸化炭素量。
下水道事業で、エネルギーの使用に伴い発生した二酸化炭素量（汚泥の焼却等により発生する二酸化炭素量は除く。）。
管理業務で、エネルギーの使用に伴い発生した二酸化炭素量。
上水道事業に伴い発生する二酸化炭素量/年間配水量
水道施設における太陽光発電設備、小水力発電等の自然エネルギーの発電量。
下水道事業に伴い発生する二酸化炭素量。※エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素量に加えて、汚泥の焼却等により発生する二酸化炭素量も含む。
下水道事業に伴い発生する二酸化炭素量/処理区域内人口
下水道事業に伴い発生する二酸化炭素量/処理水量（市営浄化センターの総処理水量）
消化ガス発電により発電された電力量。（発電機補機使用電力量を除く）
汚泥のリサイクル率。汚泥利用量/発生汚泥量

定義・解説・注釈
水道施設、下水道施設、水の科学館への見学者の数。
ホームページのページ閲覧数。
上下水道に関するアンケートに回答した人数。
上下水道に関するアンケート調査結果。「とても感じる」または「やや感じる」と回答した人の合計を示す。
上下水道に関するアンケート調査結果。「とても感じる」または「やや感じる」と回答した人の合計を示す。

定義・解説・注釈
管理者（特別職）を除く職員数。括弧書きについては 再任用職員数を示すが、合計人数からは除く。
管理者（特別職）を除く水道事業の営業活動に係る職員数。括弧書きについては 再任用職員数を示すが、合計人数からは除く。
管理者（特別職）を除く職員数。括弧書きについては 再任用職員数を示すが、合計人数からは除く。
管理者（特別職）を除く下水道事業の営業活動に係る職員数。括弧書きについては 再任用職員数を示すが、合計人数からは除く。
管理者（特別職）を含む上下水道局の職員数。括弧書きについては 再任用職員数を示すが、合計人数からは除く。
年間配水量/職員数（水道事業会計支弁職員）
総処理水量（市営浄化センター）/職員数（下水道事業会計支弁職員）
年間配水量/職員数（水道事業会計支弁職員損益勘定職員）
総処理水量（市営浄化センター）/職員数（下水道事業会計支弁職員損益勘定職員）
年間有収水量/職員数（水道事業会計支弁職員）
年間有収水量/職員数（下水道事業会計支弁職員）
年間有収水量/職員数（水道事業会計支弁職員損益勘定職員）
年間有収水量/職員数（下水道事業会計支弁職員損益勘定職員）
水道料金収入/職員数（水道事業会計支弁職員）
下水道使用料収入/職員数（下水道事業会計支弁職員）
水道料金収入/職員数（水道事業会計支弁職員損益勘定職員）
下水道使用料収入/職員数（下水道事業会計支弁職員損益勘定職員）

第２章　水道事業統計



立田山送水管布設工事（大正期）



八景水谷送水場（大正期）

Ⅰ　熊本市水道事業の沿革

1　水道事業のあゆみ

熊本市の上水道事業は、大正 13 年に八景水谷を水源地、立田山を配水池として、坪井や新屋敷など中心市街地に給水を開始したのが始まりです。その後、本市が周辺町村との合併などで拡大・発展する中、水需要も増加の一途をたどり、上水道事業はこれに対応するため、新たな水源の確保や水道管の整備などを行い、第1次から第5次までの拡張事業を推進してきました。熊本市水道事業の特徴は、水道水源を 100%天然地下水で賄っている点にあります。熊本の地下水は、雨水が地下に浸透して流れていく間に自然にろ過され、きれいになります。その水質は極めて良質で安定しており、日本屈指のおいしい水として広く知られています。水道の蛇口をひねれば、おいしい天然水が出る、そんな暮らしが熊本にはあります。

一方、上水道事業が施設の拡張から維持管理の時代へと変化する中で、本市も平成9年度から第 2 次配水管整備事業（第 2 期）として、老朽化した水道管を順次更新するとともに、平成 13 年度からは第 3 次施設整備事業として、管路以外の老朽化した上水道施設も計画的に更新しています。また、地震や台風などの災害にも強い水道を構築するために、主要な水源地や配水場の耐震化を行うとともに、緊急遮断弁を設置し緊急貯水量を確保するなど、防災対策強化にも取り組んでいます。

近年では、人口増加の鈍化や市民の節水意識の高揚などにより、水需要の伸びは見込めず、経営環境は厳しさを増しています。このような中で、平成 10 年度から 17 年度まで経営改善計画を立案し、財政の健全化、事業の効率化、組織の活性化などに取り組んできましたが、平成18年度には、健全な経営のもとで、将来にわたり安全で良質な水道水を安定的に供給していくために、熊本市上水道事業の経営の基本方針とこれを達成する手段を定める計画として、「熊本市水道事業経営基本計画」を策定し、平成 21 年度には第 2 次配水管整備事業・第 3 次施設整備事業などの諸事業を引き継ぐとともに、「熊本市水道事業経営基本計画」を実現・具体化するために必要な上水道施設の整備実施計画として、「水道施設整備実施計画」を策定しました。

平成 23 年度には、平成 21 年度の上下水道組織統合や平成 24 年度からの政令指定都市移行などを踏まえ、上下水道のこれまでの取組みを整理再構築し、上下水道局が目指すべき方向性を明らかにするため、「熊本市上下水道事業経営基本計画」を策定しました。

さらに、平成 25 年 3 月に厚生労働省が公表した新水道ビジョンに基づき、平成 26 年度に「水道施設整備実施計画」の中間見直しを行い、全市民がいつでもおいしく水を飲めるような「安心な水道」、地震などの災害に強い「強靭な水道」、健全な運営体制を確保した「水道サービスの持続」を目指しています。

また、平成 20 年度の富合町との合併に伴い 2 つの町営簡易水道を、平成 21 年度の城南町・植木町との合併に伴い両町の 1 つの上水道事業及び 8 つの簡易水道事業を引き継ぎました。これらの水道事業の統合を進めるために、平成21年度には、富合町の簡易水道を熊本市上水道事業に統合するとともに熊本市南部方面の整備を行うために、「第 6 次拡張事業」に着手しました。また、平成 23 年度には、城南町・植木町の上水道事業及び簡易水道事業を統合し、1 つの上水道事業（熊本市水道事業）とする変更認可を受け、これらの施設の再編成や未普及地域の解消などにも取り組んでいます。平成 29 年度には、「第7次総合計画」における人口ビジョンと整合を図った人口予測に基づく水需要予測結果を反映させた変更認可を受け、熊本地震で機能が分断され全市域断水となった教訓を生かし、災害に強い水運用体制の強化を図るため事業計画を見直しました。

2 拡張事業の推移

区分		議決年月日	申請年月日	認可年月日	着工年月日	竣工年月日	基本	
							目標年次	給水人口(人)
	熊本市上水道事業創設	大正 9.12.26	大正10. 1. 8	大正11. 3.20	大正12. 6. 1	大正13.11	昭和16年	100,000
第1次拡張事業	第1期	昭和21. 7.29	昭和21. 8.17	昭和21.10.10	昭和21.11.25	昭和25. 8.22	昭和40年	150,000
	第2期	昭和26. 8. 6	昭和26. 8. 6	昭和26.12.24	昭和25. 8.21	昭和31.11.28	昭和40年	200,000
第2次拡張事業	当初	昭和32.10.24	昭和32.10.15	昭和32.11. 4	昭和33. 1	昭和37. 3.31	昭和46年	345,000
	変更	昭和37.12.27	昭和37.12.17	昭和37.12.28	昭和37. 5.15	昭和40. 3.31	昭和46年	350,000
第3次拡張事業	当初	昭和40.12.14	昭和40.12.10	昭和41. 2.15	昭和41. 4. 1	昭和51. 3.31	昭和55年	425,700
	第1回変更	昭和44. 9.22	昭和44. 9.26	昭和44.10.20	昭和41. 4. 1	昭和51. 3.31	昭和55年	425,700
	第2回変更	昭和46.12.10	昭和46.12.10	昭和47. 1.20	昭和41. 4. 1	昭和51. 3.31	昭和55年	425,700
	第3回変更	昭和47.12.25	昭和47.11.28	昭和48. 1.11	昭和41. 4. 1	昭和54.3.31	昭和55年	461,000
	第4回変更	昭和53.12.22	昭和53.12.18	昭和54. 1. 5	昭和41. 4. 1	昭和56. 3.31	昭和56年	461,000
第4次拡張事業	当初	昭和54.12.14	昭和54.12.19	昭和55. 2.18	昭和55. 4. 1	昭和63. 3.31	昭和65年	615,800
	第1回変更	—	昭和56. 9.11	昭和57. 1.22	昭和55. 4. 1	昭和63. 3.31	昭和65年	615,800
	第2回変更	—	昭和57.10.25	昭和58. 1. 7	昭和55. 4. 1	昭和63. 3.31	昭和65年	615,800
	第1回見直し					昭和65年	昭和65年	557,700
	第2回見直し					平成7年	平成7年	599,000
北部	北部町上水道事業創設			昭和62.12. 2	昭和63. 4	平成8. 3	平成9年	20,000
河内	河内町上水道事業創設			昭和27. 4. 1	昭和27. 7. 1	昭和31.10. 1	昭和37年	4,000
	第1次拡張事業			昭和38.12.27	昭和39. 1.10	昭和39. 3.31	昭和48年	7,200
	第2次拡張事業			昭和41. 3.29	昭和41.12. 1	昭和43. 3.31	昭和51年	7,200
	第3次拡張事業			昭和43. 3.28	昭和45. 8.31	昭和46. 3.31	昭和55年	7,500
	第4次拡張事業			昭和50. 6. 3	昭和50. 6. 3	昭和51. 3.31	昭和59年	7,600
	第5次拡張事業			昭和55. 8. 9	昭和55. 9	昭和57. 3.31	平成6年	8,250
	横山・黒石地区簡易水道事業			昭和48. 7. 9	昭和48. 8	昭和49. 4	昭和49年	300
飽田	飽田町上水道事業創設	昭和50. 3. 5	昭和50. 7.31	昭和50. 8.26	昭和53.12	昭和53. 3	昭和53年	9,000
	第1次拡張事業	昭和60. 3	昭和60. 5.20	昭和60. 6.10	昭和60. 6	昭和60. 7	平成7年	11,000
天明	天明町上水道事業創設		昭和49. 8. 6	昭和49. 9.11	昭和49.11.20	昭和52. 3.19		12,000
	第1次拡張事業当初	昭和59.10.13	昭和59.12. 7	昭和59.12.12				13,000
	変更			昭和63. 4. 5				13,000

計画			変更の主たる理由	総工費（千円）	建設した主な施設	備考
一日最大給水量(㎥)	一人一日最大給水量(ℓ)	総事業費（内起債）（千円）				
24,000	240	2,120		2,280	立田山配水池　1池(2室) (取水井)八景水谷　2本	大正13.11.27　通水
36,000	240	17,000 (17,000)		23,039	旧三菱重工業(株)専用水道施設 水源井6本ほか譲渡 健軍水源地として諸施設を拡張	昭和23.2.25 健軍通水
60,000	300	303,200 (300,700)		308,209	旧三菱水道施設を買収 立田山配水池1池を増設 (取水井)　一本木　1本 亀井　1本、健軍　1本	
102,000	295	760,000 (720,000)		—	川尻配水池　1池 城山配水池　1池 立田山配水池　2池(増設) 徳王配水池　2池	昭和36.12.9 川尻地区通水
103,000	294	798,000 (760,000)		803,098	(取水井)八景水谷1本 城山　2本、亀井　3本 健軍　6本、川尻　1本 一本木　1本	昭和38.3.8 高橋地区通水
165,000	388	2,084,000 (1,770,000)		—	岩倉山配水池　3池 健軍配水池　2池 万日山配水池　2池 徳王配水池　2池(増設) 城山配水池　1池(増設) 小山山配水池　2池 沼山津配水池　2池 (取水井) 麻生田　8本、沼山津 10本、 川尻 1本、八景水谷　1本、 城山 2本、託麻6本、池上4本、 一本木2本、山室2本	昭和45.11.1 旧託麻村水道施設 熊本市へ移管
211,140	496	3,296,182 (2,950,000)	給水量の変更	—		
211,140	496	3,458,000 (3,073,000)	1.浄水方法の変更 2.事業費の変更	—		
283,000	614	11,720,125 (10,324,000)	1.給水区域の変更 2.給水人口の変更 3.給水量の変更	—		
283,000	614	15,523,383 (14,343,300)	1.取水地点の変更 2.目標年次の変更	15,535,791		
370,000	601	23,991,710 (23,504,000)			川尻配水池　1池 秋田配水池　2池 岩倉山配水池　1池 高遊原配水池　1池 (取水井) 庄口　8本、麻生田　1本、 秋田　2本(計画10本)	第2回変更の竣工年月日は、平成8年までに延長 平成3.2.1 北部、河内、飽田、天明、熊本市へ編入、各水道施設熊本市へ移管
370,000	601	28,151,972 (27,901,000)	庄口取水井 2本増設	—		
370,000	601	31,165,066 (30,957,000)	浄水方法の変更	32,214,323 (平成3年度末)		
303,300	544	32,404,039 (31,733,000)	水需要伸びの鈍化			
298,000	497	33,906,158 (32,183,000)	地域ごとの水需要予測の変動			
9,160	458	1,590,400		1,767,570	和泉配水池1池、鶴羽田配水池1池、西梶尾配水池1池	昭和63.4 3地区簡易水道を統合
600	150	28,781				昭和31.11.1　通水
1,440	200	17,300				
2,160	300	19,200				
2,475	330	28,100				
3,268	430	171,300				
3,447	418	194,500				
45	150	15,350				昭和49.5　給水開始 平成7.4 熊本市水道事業に統合
1,965	218	724,118		638,201	(浄水施設)塩素滅菌室、除鉄装置 (配水施設)配水池、配水ﾎﾟﾝﾌﾟ設備 圧力水槽設備、配水管布設、消火栓等 (電気施設)電気計装一式	昭和53.3　通水
4,200	382	187,000		91,302	除鉄槽設備、配水管布設 ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ盤設置	
2,539	212	1,118,000 (585,800)				昭和52.3　通水
3,500	269	251,769 (188,600)	基本計画変更	251,769	配水池(PC造1,300m^3 1池) 配水施設・配水ﾎﾟﾝﾌﾟ(片吸込うず巻) 22m^3/min×55m×37kw×3台 (内可変速用2台、固定使用1台、内1台予備) 配水ﾎﾟﾝﾌﾟ(夜間用、片吸込うず巻)	
3,500	269		取水地点の変更			

区分		議決年月日	申請年月日	認可年月日	着工年月日	竣工年月日	基本	
							目標年次	給水人口(人)
第5次拡張事業	当初	平成 6. 9.30	平成 6.10.27	平成 6.12.16	平成 7. 4. 1	平成 21. 3.31	平成 21年	749,000
	第１回見直し	平成 13.3.27	—	—	同上	同上	同上	697,000
	第２回見直し	平成 17.3.24	—	—	—	—	平成20年度	681,000
	第１回変更	—	平成19.11.22	平成19.12.7	平成 19.12.20	平成 21.3.20	平成28年度	681,000
	軽微な変更	平成19.12.21	平成20.1.31	平成20.1.31 (届出)	—	—	平成28年度	681,000
富合町	富合町北部簡易水道事業（創設）	平成20.3.14	平成20.9.22	平成20.10.1	平成20.10.31	平成25.3.10	平成28年度	3,285
	富合町南部簡易水道事業（創設）	平成20.3.14	平成20.9.22	平成20.10.1	平成20.10.31	平成25.3.10	平成28年度	4,661

計画			変更の主たる理由	総工費（千円）	建設した主な施設	備考
一日最大給水量(㎥)	一人一日最大給水量(ℓ)	総事業費（内起債）（千円）				
368,000	491	43,598,547 (41,000,000)			取水施設 秋田水源地(2･5･7･9号)さく井 改寄水源地(2号)さく井 導水施設 導水管布設 2,995 m 浄水施設 秋田配水場次亜滅菌装置 送水施設 上松尾(第1･2)加圧送水施設 送水管布設 3,546 m 配水施設 健軍配水場更新 高遊原配水池新設 配水管布設 89,941 m	4水道事業及び1簡易水道事業の統合
311,000	446	34,464,440 (23,557,000)			取水施設 秋田水源地(4･6号)さく井 導水施設 導水管布設 896 m 浄水施設 八景水谷送水場次亜滅菌装置 貢送水場次亜滅菌装置 送水施設 八景水谷送水場更新 貢送水場更新 送水管布設 1,201 m 配水施設 岳加圧ポンプ所更新 配水管布設 33,198 m	計画給水人口 749,000人→697,000人 計画給水能力 368,000m^3→311,000m^3 和泉配水系の変更
270,000	396	29,419,769			取水施設 秋田取水4井ﾎﾟﾝﾌﾟ室新築 秋田取水6井ﾎﾟﾝﾌﾟ室新築【H21.3月竣工】 高感度濁度計設置(一本木)【H20.7月竣工】 高感度濁度計設置(八景水谷)【H21.3月竣工】 導水施設 木山川推進 332m 浄水施設 川床次亜滅菌設備 送水施設 戸島送水場施設整備 追分送水場築造【H21.3月竣工】 送水管布設 1,644 m 配水施設 和泉配水池増設 高遊原配水池増設 白浜配水池築造 配水管布設 37,477 m 【H20年度実績:10,700m】	計画給水人口 697,000人→681,000人 計画給水能力 311,000m^3→270,000m^3 高遊原配水系の変更
270,000	396	29,419,769	浄水方法の変更		施設改良事業 紫外線消毒装置設置(一本木) 紫外線消毒装置設置(八景水谷)	一本木･八景水谷水源地への紫外線消毒装置設置に伴う変更認可
270,000	396	29,419,769	給水区域の拡張			下益城郡富合町に建設される九州新幹線熊本総合車両基地への給水を行うための変更届出
1,244	378	120,000 (72,000)		120,000		7地区簡易水道組合が統合
2,056	441	240,000 (148,000)		240,000		9地区簡易水道組合と1地区専用水道組合が統合

区分		議決年月日	申請年月日	認可年月日	着工年月日	竣工年月日	基本	
							目標年次	給水人口(人)
第6次拡張事業	当初	平成21.12.21	平成22.3.2	平成22.3.19	平成22.4.1	令和6.3.31	令和5年度	671,000
城南町	城南町北部地区簡易水道事業（創設）	平成21.12.17	平成22.2.16	平成22.3.15	—	—	平成30年度	464
	城南町南部地区簡易水道事業（創設）	平成21.12.17	平成22.2.16	平成22.3.15	平成23.7.1	平成24.3.20	平成30年度	606
	六田・島田地区（中央地区）簡易水道事業	平成2.3.22	平成2.6.21	平成2.8.2	平成2.4.1	平成4.3.31	平成10年度	490
	城南町中央地区簡易水道事業（変更）	平成19.2.21	平成19.3.19	平成19.3.30	平成19.7.1	平成26.3.31	平成28年度	4,930
	城南町中央地区簡易水道事業（変更）	—	平成21.2.20	平成21.3.3	平成21.3.5	平成26.3.31	平成28年度	4,930
	城南町東部地区簡易水道事業（創設）	平成21.12.17	平成22.2.16	平成22.3.15	平成22.7.1	平成26.3.20	平成30年度	2,333
植木町	植木町中央地区水道事業（創設）	平成21.3.18	平成21.3.24	平成21.4.1	平成21.7.20	平成22.3.20	平成29年度	7,380
	植木町中央地区水道事業（変更）	平成21.12.17	平成22.2.8	平成22.3.4	平成22.7.20	平成29.3.20	平成30年度	13,900
	植木町北部地区簡易水道事業（創設）	平成10.12.24	平成10.12.25	平成10.12.25	平成11.1.20	平成14.3.31	平成20年度	4,240
	植木町北部地区簡易水道事業（変更）	—	平成14.9.10	平成14.9.27	平成14.9.1	平成16.3.31	平成20年度	4,240
	植木町田底地区簡易水道事業（創設）	平成21.12.17	平成22.2.8	平成22.3.4	平成22.7.20	平成29.3.20	平成30年度	2,460
	植木町鹿南西部地区簡易水道事業（創設）	平成13.3.12	平成13.3.27	平成13.7.30	平成13.10.1	平成18.3.31	平成22年度	4,400
	植木町鹿南西部地区簡易水道事業（変更）	平成14.12.19	平成15.3.14	平成15.3.25	平成13.10.1	平成19.3.31	平成23年度	4,400
	植木町大和地区簡易水道事業	平成21.12.17	平成22.2.8	平成22.3.4	平成22.7.20	平成27.3.20	平成30年度	3,700
第6次拡張事業	第1回変更	平成23.12.16	平成24.3.1	平成24.3.31	平成24.4.1	令和11.3.31	令和10年度	703,000
	事業の譲受け	平成24.12.25	平成25.3.1（届出）	平成25.3.1（届出）	平成24.4.1	令和11.3.31	令和10年度	703,000
	事業の譲受け	平成28.12.20	平成29.3.9（届出）	平成29.3.9（届出）	平成24.4.1	令和11.3.31	令和10年度	704,000
	第2回変更	平成30.3.26	平成30.3.26	平成30.3.30	平成30.4.1	令和11.3.31	令和10年度	719,000

計画			変更の主たる理由	総工費（千円）	建設した主な施設	備考
一日最大給水量(㎥)	一人一日最大給水量（ℓ/㎏）	総事業費（内起債）（千円）				
274,000	410	22,999,000 (7,140,000)				富合町北部簡易水道事業と富合町南部簡易水道事業を熊本市水道事業に統合
216	466	0				一地区簡易水道組合が公営化
267	441	47,730 (47,730)				四地区簡易水道組合が統一
284	250	100,000				創設
1,550	314	2,015,175 (1,272,400)	給水区域の拡張			築地水源系の認可
1,550	314	2,021,236 (1,351,400)	取水地点の変更			六田水源の位置変更
858	368	666,097 (666,097)				五地区簡易水道組合が統一
2,549	345	408,597 (239,000)				簡易水道から上水道事業へ変更
4,407	317	2,299,080 (1,470,300)	給水区域の拡張			五霊中央、植木東部、鹿南中央地区拡張
2,188	516	2,558,070 (1,583,600)				創設
2,188	516	62,308	浄水方法の変更			除鉄・除マンガン及び臭気除去設備の設置
861	350	673,260 (435,100)				二地区簡易水道が統合
2,021	459	2,500,000 (1,577,500)				創設
1,420	323	2,442,110 (1,457,700)	給水区域の拡張、水源位置の変更			滴水の一部を拡張
1,205	326	829,920 (538,460)	給水区域の拡張			
275,000	399	43,064,000 (15,131,600)	給水区域の拡張、給水人口・給水量の増加			旧城南町の4簡易水道事業と旧植木町の1水道事業、4簡易水道事業を熊本市水道事業に統合
275,000	399	43,064,000 (15,131,600)	事業の譲受け			旧城南町の民営才木簡易水道事業を熊本市水道事業に統合（平成25年4月1日から給水）
275,000	399	43,064,000 (15,131,600)	事業の譲受け			旧城南町の民営高・碇簡易水道事業を熊本市水道事業に統合（平成29年4月1日から給水）
275,000	389	42,981,650 (12,467,580)	給水人口の増加、水源位置の変更			計画給水人口の変更、取水地点の変更

3 水道関連年表

※ 網掛け部分は、熊本市のあゆみ

年(西暦)	月 日	主 な 事 項
明治 22 (1889)	4 . 1	市町村制施行、熊本市誕生
42 (1909)	12 . 20	第3代辛島市長が上(下)水道計画私案を発表
43 (1910)	2 .	上水道調査費予算(1,000円)を計上
	7 .	上水道調査協議会を設置、調査開始
44 (1911)	10 .	上水道調査完了
45 (1912)	3 . 9	水源地を飽託郡清水村八景水谷(現熊本市八景水谷1丁目)に決定
大正 元 (1912)	10 .	東京帝国大学(現東京大学)教授中島鋭治工学博士を市顧問に委嘱
	12 . 20	市議会に上(下)水道事業につき諮問案を提出、中島博士が実地調査
2 (1913)	1 .	工事設計完了
	4 . 18	市議会から早期実現を市長へ答申
	5 . 5	臨時水道調査課設置
3 (1914)	5 .	水源地を水前寺に変更、同地域の湧水試験開始
4 (1915)	4 . 1	市是調査課新設に伴い臨時水道課を廃止
5 (1916)	6 . 20	市議会で水道計画案を可決、翌21日認可申請
	7 . 21	加勢川流域農民・漁民川尻大慈禅寺にて水道反対の大会を開催
	10 . 20	陸軍省から熊本城内への配水池設置計画を正式に拒絶される
	12 . 10	水道反対派が辛島町相撲館で市民大会を開催
6 (1917)	4 . 1	市是調査課から独立、初めて水道課を設置
	5 . 1	市議会議員改選、水道反対派多数当選
	5 . 19	市議会で認可申請取り下げ建議案を可決
	7 .	国庫補助決定
	8 . 8	水道布設の認可
7 (1918)	3 . 12	水道事務所開設、本格的事業を開始
	10 . 26	八景水谷の地下水調査開始
	11 . 16	八景水谷の地下水調査終了
8 (1919)	6 . 1	市制30周年記念式典を挙行
	12 . 16	水道委員会で八景水谷水源地と下流灌がい水問題を協議
9 (1920)	1 . 9	立田山への送水線測量を開始
	12 .	八景水谷を水源地、立田山を配水池とする新計画を決定
	12 . 26	市議会で新水道布設計画を可決
10 (1921)	1 . 8	工事実施計画を認可申請
	5	八景水谷水源地工事事務所、農民の焼き打ちに遭う
	6 . 1	隣接11カ町村が市編入
11 (1922)	3 . 20	工事実施計画の認可
	8 . 1	水道部誕生
	8 . 13	立田山配水池整地作業に着手
12 (1923)	3 . 1	細川家と立田山配水池用地、無償借受けを契約
	4 .	八景水谷水源地用地買収が終了
	6 . 1	水道工事起工式及び立田山配水池地鎮祭を執行
13 (1924)	8 . 30	市議会で水道使用条例を可決
	9 . 26	水道条例の認可
	10 . 1	同条例施行、水道特別会計が発足
	10 . 13	給水申請の受付開始
	11 . 9	立田山配水池貯水を開始(容量7,500㎥)
	11 . 11	通水テスト終了
	11 . 26	水道工事竣工祭を執行
	11 . 27	**上水道完成、通水式を挙行、営業を開始(坪井、新屋敷など)**
14 (1925)	3 . 20	上水道創設、市電創設を含む三大事業記念共進会開催
	4 . 1	飽託郡出水村が市編入
	8 . 1	荒尾簡易水道が完成

年(西暦)	月 日	主 な 事 項
大正 15 (1926)	5 . 10	電気水道局を新設
昭和 2 (1927)	5 . 1	水道条例を改正、全計量制を実施
3 (1928)	6 . 22	電気水道局廃止、電気局と水道課に分離
6 (1931)	5 .	陸軍特別演習記念拡張工事(2ヶ年継続)を起工
	6 . 1	飽託郡白坪村が市編入
7 (1932)	11 . 24	配水幹線複線化が完成
	12 . 15	飽託郡画図村が市編入
8 (1933)	6 .	水源地拡張基本調査を実施
9 (1934)	11 . 22	上水道通水10周年記念式典を挙行
10 (1935)	4 . 1	料金支払に集金制度を開始
11 (1936)	10 . 1	飽託郡健軍村が市編入
14 (1939)	8 . 1	飽託郡清水村が市編入
	9 . 3	富尾調整池、ポンプ室が完成
	11 . 25	上水道通水15周年記念式典を挙行
15 (1940)	12 . 1	飽託郡日吉村、力合村及び川尻町が市編入
16 (1941)	12 . 8	太平洋戦争開戦
18 (1943)	1 . 18	凍結のため給水管が破損し断水起こる
19 (1944)	4 . 1	水道事業特別会計を廃止、毎月集金を隔月(2ヶ月毎)集金制度に変更
20 (1945)	8 . 15	太平洋戦争終戦
	10 . 16	復興局水道課に改編
21 (1946)	7 . 29	健軍町の旧三菱重工業株式会社の専用水道を利用した健軍水源地計画(第1次第1期拡張工事)を市議会で可決(21年10月10日認可)
	11 . 25	第1次第1期拡張計画の着工
22 (1947)	9 . 17	健軍水源地の水量テスト終了
23 (1948)	2 . 25	健軍水源地通水式を挙行
24 (1949)	4 . 1	水道事業特別会計として再び独立
25 (1950)	8 . 22	第1次第1期拡張工事完了
	12 . 1	旧三菱重工業株式会社の水道施設買収、正式に市上水道施設となる
26 (1951)	8 . 6	第1次第2期拡張工事5ヶ年計画が決定(26年12月24日認可)
27 (1952)	10 . 1	地方公営企業法施行に伴い、同法の適用を受ける
	10 . 1	**水道局が発足**
	11 . 28	一本木水源地が完成
28 (1953)	4 . 1	飽託郡田迎村及び御幸村が市編入
	6 . 26	大水害発生で水源地及び配水池等の水道施設が甚大な被害を受ける
	7 . 1	飽託郡池上村、城山村及び高橋町が市編入
29 (1954)	2 . 28	水道局、旧公会堂(現市民会館)へ移転
	10 . 1	上益城郡秋津村が市編入
30 (1955)	3 . 31	亀井水源地、送水ポンプ室が完成
	4 . 1	飽託郡松尾村が市編入(同村簡易水道を引継)
	10 . 29	立田山配水池増設工事を開始
31 (1956)	2 . 20	指定工事店制度を開始(26店指定)
	3 . 22	谷尾崎簡易水道が完成
	4 . 1	飽託郡託麻村の一部が市編入
	8 . 13	平簡易水道が完成
	10 . 24	第2次拡張工事5ヶ年計画が決定(32年11月4日認可)
32 (1957)	1 . 1	飽託郡小島町、龍田村が市編入
33 (1958)	1 .	第2次拡張工事計画を着工
	4 . 1	機構改革により4課13係
	4 . 1	飽託郡中島村が市編入
	10 . 6	新水道事業給水条例を制定
34 (1959)	1 .	立田山配水池へ送水するため水管橋(竜神橋)を架設(添架送水管径600粍)
	7 . 25	第1回「水道週間」実施。婦人会の施設見学、PR行事を実施

年(西暦)	月 日	主 な 事 項
昭和 34 (1959)	11 . 26	上水道通水35周年記念式典を挙行
35 (1960)	8 .	花岡山加圧ホンプ所新設
	9 . 24	第15回国民体育大会が開催
	12 .	川尻地区に上水道施設を着工
36 (1961)	1 . 5	立田山配水池に1池を増設着工
	5 . 10	機構改革により5課18係
	9 . 9	川尻水源地が完成
	12 . 9	川尻地区、上水道が通水
37 (1962)	4 . 1	機構改革により5課20係
	12 . 28	水道局新庁舎新築起工式(出水町今)
38 (1963)	3 . 1	城山水源地、同配水池(容量630㎥)が完成
	3 . 31	立田山配水池1池、増設(容量5,000㎥)が完成
	12 . 10	水道局庁舎(鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階建、床面積3,480㎡)が完成
		庁舎落成式並びに通水40周年記念式典を挙行
39 (1964)	2 . 4	健軍水源地にディーゼル機関予備発電装置が完成
	5 . 15	水道料金銀行口座自動振替制度を実施
	6 .	開栓・閉栓に伴う量水器取付取外し及び取替、位置変更作業を委託化
39 (1964)	10 . 1	給水条例を水道条例に改正
	11 . 27	立田山配水池で水道記念碑除幕式を挙行
40 (1965)	3 . 31	立田山配水池加圧ポンプ所、岩倉山ポンプ所が完成
	3 . 31	第2次拡張工事が完了
	12 . 14	第3次拡張事業(10ヶ年継続)計画決定(41年2月15日認可)
42 (1967)	4 . 1	機構改革により8課26係
		(収納、配水、水源の3課を新設、給水課を営業課と改称)
	4 . 1	集金業務の委託化開始
	12 . 1	料金調定業務を全面電算委託
43 (1968)	4 . 1	龍田地区(白川中流地区水道企業団給水区)を市引継、第1次移管
	8 . 1	上松尾簡易水道を全面上水道に切替
44 (1969)	3 .	麻生田水源地、同送水ポンプ場が完成
	7 . 15	城山配水池系統、つつじヶ丘高台、万日山高地で出水不良・一部断水が発生
	10 . 27	熊本大学教養部構内埋設のφ600粍送水管が破損
45 (1970)	4 . 1	集金業務を全面委託
	4 . 18	健軍町φ700×φ600粍送水管不断水穿孔工事を断行
	11 . 1	飽託郡託麻村が市編入
46 (1971)	2 .	沼山津水源地が完成
	3 . 20	徳王配水池(容量4,500㎥×1池)を増設
	8 . 9	城山第2配水池(容量2,000㎥×1池)が完成
	10 . 1	機構改革により7課27係(総務課にプロジェクトチーム)
	12 . 1	谷尾崎簡易水道を上水道に切替
47 (1972)	3 . 8	岩倉山配水池(容量7,500㎥×1池)が完成
	4 . 1	龍田地区、第2次移管
	11 . 1	隔月(2ヶ月に1回)検針制度を採用
	12 . 25	第3次拡張事業計画を大幅に変更(48年1月11日認可)
	12 . 25	前受金制度を廃止し、加入金制度を採用(48年4月実施)
48 (1973)	2 . 10	機構改革により2部8課31係、初めて部制(総務部、技術部)を敷く
48 (1973)	7 . 28	熊本市上水道事業計画研究会が発足
	8 . 1	旧託麻村の内、未移管地区(白川中流地区水道企業団給水区)第2次移管
49 (1974)	3 . 25	健軍水源地構内に水質検査室が完成
	5 . 30	健軍配水池(容量12,000㎥×2池)が完成
	5 . 30	「水道記念館」を創設(6月4日オープン)
	6 . 20	八景水谷水源地第2深井戸取水ポンプを設置
	6 . 20	託麻加圧ポンプ所を新設

年(西暦)	月 日	主 な 事 項
昭和 49 (1974)	10 . 22	上水道創設50周年記念式典を挙行(鶴屋デパート7階大ホール)
	11 . 30	麻生田6号井取水ポンプ室が完成
	12 . 25	富尾配水池(容量400㎥×1池)が完成
50 (1975)	2 . 10	八景水谷水源地第1井送水ポンプ場新ポンプを設置
	3 . 20	荒尾配水池(容量200㎥×1池)が完成
	3 . 25	山室送水ポンプ場を新設
	3 . 25	島崎加圧ポンプ所を新設
	5 . 27	機構改革により改良課を廃止し、企画財政室を設置
	9 . 11	公団からの健軍町庄口への中高層団地建設計画申請
51 (1976)	1 . 24	最低気温氷点下7.6度　寒波により水道管破裂6,200件発生
	1 . 26	万日山配水池(容量5,000㎥×1池)が完成
	3 . 22	**「地下水保全都市宣言」を市議会で決議**
	3 . 27	池上水源地が完成
	5 . 13	熊本市上水道事業研究会が発足
	6 . 12	池上水源地に第4号取水井が完成
	7 . 20	池上水源地に第3号取水井が完成
52 (1977)	1 .	健軍町庄口への中高層団地建設について、熊本市上水道研究会から市長に対し建設に適さない旨の調査報告 (その後、建設計画の中止及び当該地を公園予定地として熊本市が取得)
	2 . 19	最低気温氷点下7.8度　寒波により水道管破裂約5,000件発生
	5 . 17	「熊本市地下水保全対策室」を設置
	9 . 30	**「熊本市地下水保全条例」を制定**
	10 . 1	夜間の地下漏水調査を開始
	12 . 10	麻生田水源地に調整池(容量400㎥×1池)を増設
	12 . 17	麻生田水源地の第7号取水井が完成
	12 . 19	沼山津水源地の第7号取水井が完成
	12 . 20	沼山津水源地の第8号取水ポンプ室を建築
53 (1978)	2 . 18	健軍水源地から立田山配水池へのφ700耗送水管破損により水前寺4丁目付近の41世帯が被害
	2 . 28	徳王配水池(容量3,000㎥×1池)を増設
	8 . 1	有効率向上対策委員会が発足
53 (1978)	12 . 18	第3次拡張事業計画、第4回変更申請。目標年次を昭和56年に変更(54年1月5日認可)
54 (1979)	1 . 22	麻生田水源地に第8号井取水ポンプ室が完成
	2 . 28	岩倉山配水池(容量3,750㎥×1池)を増設
	12 . 14	第4次拡張事業計画が決定(55年2月18日認可)
55 (1980)	3 . 31	平地区簡易水道を廃止
	6 . 28	沼山津配水池(容量9,000㎥×2池)が完成
	8 . 30	集中豪雨により、八景水谷、亀井、山室、一本木水源地送水ポンプ室が浸水
56 (1981)	2 . 27	最低気温氷点下7.8度　寒波により水道管破裂約6,000件発生
	3 . 31	小山山配水池(容量3,500㎥×1池)が完成
	8 . 20	託麻水源地に第6号取水井が完成
	8 . 20	沼山津水源地に第9号、第10号井取水設備が完成
	9 . 11	第4次拡張事業計画、第1回計画変更申請(57年1月22日認可)
57 (1982)	3 . 31	川尻配水池(容量4,000㎥×1池)が完成
	4 . 15	企画財政室を企画財政課に改称
	5 . 13	水道局庁舎別館新築が落成(56年4月28日着工)
	10 . 25	第4次拡張事業計画、第2回計画変更申請(58年1月7日認可)
58 (1983)	5 . 31	秋田配水池(容量20,000㎥×2池)が完成
	7 . 19	管理センター一期工事が完成(56年11月5日着工)水源地の無人化スタート
59 (1984)	2 . 23	秋田配水場通水式を実施
	8 . 28	厚生省(現:厚生労働省)の「おいしい水研究会」で全国おいしい水第3位になる
60 (1985)	5 . 28	八景水谷水源地を厚生省の「近代水道百選」に選定
	6 . 3	収納事務処理に端末機を導入

年(西暦)	月 日	主 な 事 項
昭和 60 (1985)	7 . 1	戸島送水場が稼働
61 (1986)	3 .	第4次拡張事業計画第1回見直し
	3 . 15	中期総合経営計画 策定(期間61～65年度)
	4 . 1	施設整備事業を着工(工期61～65年度)
	12 . 10	城山送水場調整池(容量500㎥×2池)、ポンプ室が完成
62 (1987)	4 . 1	水質検査室を水質検査係に改称
	6 . 29	城山配水場が完成
63 (1988)	3 . 29	亀井水源地取水、送水設備及び調整池(容量1, 000㎥×1池)が完成
	5 . 31	岩倉山配水池(容量3,750㎥×1池)を増設
	11 . 1	検針業務を委託試行
平成 元 (1989)	3 . 20	徳王混和池(容量85㎥×1池)が完成
	3 . 31	管理センターが完成
	4 . 1	市制施行100周年記念事業を開催
	11 . 27	上水道創設65周年記念式典を挙行(八景水谷公園)
2 (1990)	1 . 26	最低気温氷点下6.3度 寒波により水道管破裂1,250件発生(H1年度計2,995件)
2 (1990)	3 . 31	秋田水源地第1・3号井取水設備が完成
	3 .	第4次拡張事業計画第2回見直し
	10 . 27	「熊本市水の科学館」(鉄筋コンクリート造、平屋建、床面積1,245㎡)がオープン
3 (1991)	2 . 1	飽託郡(北部町、河内町、飽田町、天明町)が市編入
	2 . 15	託麻水源地に調整池(容量400㎥×1池)を増設
	2 . 25	最低気温氷点下5.9度 寒波により水道管破裂755件発生(H2年度計1,253件)
	3 . 15	高遊原配水池(容量11,000㎥×1池)が完成
	3 . 31	施設整備事業が竣工(工期 昭和61年度～平成2年度)
	3 . 31	第2次配水管整備事業が竣工(工期 昭和60年度～平成2年度)
	3 . 31	熊本地区の集金業務を廃止。料金請求方法、口座制及び納付制
	4 . 1	第2次施設整備事業が着工(工期 平成3年度～平成8年度)
	6 . 4	雲仙普賢岳の噴火による降灰の為、一日最大配水量300,685㎥を記録
	7 .	中期総合経営計画の見直し(期間 平成3年度～平成7年度、項目 57項目)
	9 . 13	飛田水源地2号井トリクロロエチレン汚染により取水停止
	9 . 27	台風19号による停電により高台地区が断水、給水車を出動(28日～30日)
4 (1992)	4 . 1	(財)熊本市水道サービス公社を設立
	5 . 25	西梶尾配水池(容量1,500㎥×1池)が完成
	10 . 1	旧飽託四町の使用水量計量及び水道料金徴収方法を旧熊本市の制度に統一
	12 . 1	水道料金清算業務にハンディーターミナルを導入
5 (1993)	6 . 17	島崎第2配水池(容量600㎥×1池)が完成
	8 . 17	給水タンク車を購入(2台)
	9 . 24	水の缶詰(250ml)を製造
	10 . 1	「火の国フェスタ・くまもと'93」開催
6 (1994)	6 . 22	上水道水源研究会「熊本市上水道水源の確保と地下水の保全に関する答申」
	8 . 1	上水道創設70周年記念式典を挙行(産文会館)
	8 . 6	水の科学館、八景水谷公園にて「こども水のフェスティバル」開催(～8.8)
	8 . 8	水の科学館来館者50万人を突破
	9 . 8	給水タンク車を購入(1台)
	10 . 24	西部水道センター(鉄筋コンクリート造、2階建、床面積823.43㎡)がオープン
	10 . 27	第5次拡張事業計画を申請(6年12月16日認可)
7 (1995)	1 . 19	阪神淡路大震災に給水支援(神戸市2月7日迄)
	1 . 31	最低気温氷点下5.6度 寒波により水道管破裂585件発生
	2 . 7	阪神淡路大震災に復旧支援(芦屋市2月22日迄)
	4 . 1	旧飽託四町の水道事業を統合(簡易水道含む)
	4 . 1	第5次拡張事業計画を開始(目標年次平成20年度)
	4 . 1	3階直結給水を開始
	8 . 28	「明日の水道水源を考える懇談会」を設置

年(西暦)	月 日	主 な 事 項
平成 7 (1995)	9 . 25	「環境保全都市」を宣言
8 (1996)	2 . 3	最低気温氷点下5.8度 寒波により水道管破裂427件発生(H7年度計826件)
	2 . 21	将来の水道水源に関する市民意識調査を実施(～3月8日)
	3 . 29	耐震性貯水槽(容量100㎥)の整備開始(楠中央公園へ設置)
	4 . 1	中核市へ移行
	4 . 15	給水台帳管理システムを運用開始
	5 . 20	北部水道センター(鉄筋コンクリート造、平屋建、床面積1,050㎡)がオープン
	7 . 29	中期総合経営計画の最終報告
9 (1997)	5 . 7	「熊本市水道記念館(旧八景水谷貯水池ポンプ場)」が文化財登録 (煉瓦造平屋建、建築面積99㎡)
	11 . 1	水道局だよりを創刊
10 (1998)	1 . 5	料金管理システムを運用開始
	1 . 5	検針業務にハンディーターミナルを導入
	1 . 25	最低気温氷点下6.1度 寒波により水道管破裂2,900件発生
	2 . 27	明日の水道水源を考える懇談会「熊本市における長期的な水道水源のあり方についての提言」
	3 . 29	健軍水源地の新ポンプ棟が竣工 送水能力を4,182㎥/hから5,500㎥/hに増強 緊急遮断弁の設置による配水池の緊急貯水槽化
	4 . 1	経営改善実施計画を開始(～平成14年度)
	4 . 1	財務会計システムの運用開始
	6 . 30	上松尾～平山配水池間上水道施設落成式
	11 . 6	水道局庁舎本館「公共建築百選」(建設省)に選定
11 (1999)	3 . 19	東部環境工場・戸島送水場間受電設備が完成
	4 . 1	機構改革により9課2室に
	6 . 30	一本木送水場が完成
	9 . 11	第54回国体「くまもと未来国体」開催(夏季:9/11～14、秋季:10/23～28)
	9 . 24	台風18号による停電により高台地区・河内地区が断水、給水車が出動(～27日)
	12 . 31	コンピュータ西暦2000年問題により、一日最大配水量285,004㎥を記録
12 (2000)	4 . 1	直結増圧式給水申請を受付開始
	5 . 31	高遊原配水池の増設工事竣工、(容量11,000㎥×1池)
	6 . 9	漏水計量調査車(電磁流量計搭載)を導入
	7 . 10	包括外部監査(～12月21日)
	10 . 27	水の科学館10周年記念イベント「水のフェスティバル」を開催 (～29日) 水の実験室わくわくを設置
13 (2001)	3 . 27	第5次拡張事業計画、第1回見直し
	7 . 24	水の科学館入館者が100万人を達成
	8 . 1	平成13年度全国高等学校総合体育大会「ひのくに新世紀総体」開催
	10 . 1	管理センターの新システム運用開始
	10 . 25	椅子式階段昇降機を設置(本館)
14 (2002)	4 . 1	時間外業務窓口の委託を開始
	11 . 1	管路情報システムの一部運用を開始
15 (2003)	4 . 1	第二次経営改善実施計画を開始(～平成17年度)
	7 . 26	水俣豪雨災害に給水車1台貸与及び水の缶詰による給水支援
	11 .	管路積算システムを運用開始
	12 . 1	熊本市水道局ホームページを開設
16 (2004)	4 . 1	総合文書管理システムが一部運用開始
	5 . 18	水のペットボトル「くまもとの水」(500ml)を製造
	6 . 6	水道創設80周年記念イベント「水のルネッサンス」を開催
	7 . 19	福井市豪雨災害に水のペットボトル及び水の缶詰による給水支援
	7 . 25	落雷により、約70,000戸で断水及び水圧低下が発生
	9 . 7	台風18号襲来による停電及び機器損傷により断水 西梶尾地区(936戸)・河内地区の一部(168戸)・その他高層建築物へ給水車出動
	10 . 1	コンビニエンスストア・郵便局での料金収納開始

年(西暦)	月 日	主 な 事 項
平成 16 (2004)	10 . 27	日本水道協会第73回総会を開催(～29日)
	11 .	管路情報システムの全面運用開始
	11 . 26	水道創設80周年記念八景水谷送水場整備事業完成式を挙行
	12 . 8	庄口水源地(動植物園)への電車延伸計画が凍結
17 (2005)	3 . 24	第5次拡張事業計画、第2回見直し
	4 . 1	市役所水道料金納入所業務の委託開始
	6 . 10	熊本市管工事協同組合と「災害時の応急復旧活動に関する協定」締結
	6 . 30	熊本地区ライフライン安全安心協力会(水道局、九州電力、西部ガス)と熊本県警との「安全安心まちづくりに関する協定」締結 (7月から検針員・委託集金人が防犯パトロールを開始)
	7 . 1	「私たち市民はどこまで節水できるか」をテーマに節水社会実験を実施
	9 . 7	台風14号の被害により宮崎市及び延岡市に給水支援(宮崎市9/24迄、延岡市9/7)
18 (2006)	1 . 31	和泉配水池(容量4,400㎥×1池)を増設
	2 . 1	水道局公用車の車両リースを開始
	4 . 1	工事管理室を新設
	4 . 1	水の科学館へ指定管理者制度導入
	4 . 1	「水道事業運営審議会」を設置
	5 . 8	熊本オフィシャルウォーター「熊本水物語」の発表会
	5 . 11	「2006世界女性スポーツ会議くまもと」開催(～14日)
	6 . 27	水道事業運営審議会「熊本市水道事業経営計画に関する答申」
	10 . 1	熊本市水道事業経営基本計画 策定
19 (2007)	2 . 22	水道技術研修所を開設(北部水道センター内)
	3 . 15	健軍水源地と八景水谷が熊本水遺産に登録
	3 . 23	亀井水源地 紫外線処理装置を設置
	4 . 25	熊本オフィシャルウォーター「熊本水物語」のリニューアル
	7 . 1	「節水チャレンジ小学校」スタート
19 (2007)	7 . 31	熊本市水道80年史発刊
	8 . 1	熊本市水道80年史発刊記念式の開催
	10 . 21	秋津町秋田で本市最大の配水管φ1350耗配水管漏水(12/28復旧完了)
20 (2008)	1 . 31	第5次拡張事業計画 下益城郡富合町に建設される九州新幹線熊本総合車両基地への給水を行うための変更届出
	1 . 31	高遊原3号配水池の増設工事竣工(容量11，000㎥×1池)
	3 . 14	白浜配水池増設工事竣工(容量300㎥×1池)
	4 . 1	建設課計画調整室を新設
	5 . 27	「ちびっこ節水チャレンジ」スタート
	7 . 1	**「熊本市地下水保全条例」が全面改正され施行**
	7 . 31	一本木水源地 紫外線処理装置を設置
	10 1	水道施設整備実施計画 策定
	10 . 6	下益城郡富合町と合併
	10 . 6	富合営業所設置
	11 . 15	水道局グループウエアシステム稼動
21 (2009)	2 . 27	追分水源池 調整池築造(ステンレス構造 容量200㎥)
	3 . 18	八景水谷水源地 紫外線処理装置を設置
	4 . 1	**下水道部と統合し、上下水道局発足(3部9課5室2センター)**
	4 . 1	上下水道局財務会計システム稼動
	4 . 1	「熊本市水道事業水道施設整備実施計画」開始
	6 . 20	熊本市水の科学館累積入場者数が150万人を突破
	9 . 1	水道料金改定 基本水量制廃止など
	11 . 30	給水タンク車を購入(1台)
22 (2010)	2 . 10	上下水道局別館に太陽光発電設備を設置
	3 . 19	第6次拡張事業計画認可 富合町北部簡易水道事業及び富合町南部簡易水道事業を熊本市上水道事業に統合する

年(西暦)	月 日	主 な 事 項
平成 22 (2010)	3 . 23	下益城郡城南町・鹿本郡植木町と合併
	3 . 23	城南営業所・植木営業所設置
	4 . 1	検針・収納整理・転居等清算業務の民間委託を開始
	7 . 15	島崎配水池工事竣工
		(低区配水池:容量800㎥×1池、高区配水池:容量15㎥×1池)
23 (2011)	1 . 17	最低気温氷点下5.1度　寒波により水道管破裂183件発生(H22年度計371件)
	3 . 11	市役所前に水飲み場、熊本駅西口にウォーターステーション(水飲み場)設置
	3 . 11	東日本大震災発生(M9.0)
	3 . 12	応急給水活動(宮城県村田町3月24日迄、石巻市4月22日迄)、飲料水支援
	3 . 12	九州新幹線全線開業
	4 . 1	計画調整課を新設。管路維持課内に漏水対策室を新設
	9 . 27	水道GLP認定取得
	11 . 11	上下水道局本館解体に伴う閉館式挙行
24 (2012)	1 . 1	経営企画課内に情報システム管理室を新設。
	1 . 21	「立田山配水池」が熊本水遺産に登録される
	2 . 3	最低気温氷点下6.7度。凍結・水道管破裂1,724件発生(H23年度計1,749件)
	3 . 17	熊本市水の科学館がリニューアルオープン
	3 . 28	上下水道局ホームページをリニューアル(本稼動は4月1日)
	3 . 31	第6次拡張事業計画　第1回変更
		(城南町・植木町の水道事業・簡易水道事業を熊本市水道事業に統合)
	3 .	熊本市上下水道事業経営基本計画　策定
	4 . 1	熊本市が政令指定都市に移行
	4 . 1	政令指定都市移行等に伴う機構改革(部制の廃止など)
	7 . 2	九州電力によるセーフティネットとしての計画停電の準備(9月7日迄)
	7 . 11	九州北部豪雨災害
		給水支援を実施(阿蘇市7月25日迄)、慈恩寺加圧所浸水被害
	10 . 1	改正熊本県地下水保全条例施行。地下水採取量の届出制・許可制開始
25 (2013)	3 . 22	熊本市が国連"生命の水"(Water for life)最優秀賞を受賞
	4 . 1	城南町才木地区簡易水道事業(組合営)を譲り受け
	4 . 1	窓口収納業務の民間委託を開始
	11 . 1	上下水道総合管理システムが稼働
	11 . 1	インターネット使用開始・廃止受付サービスを開始
	11 . 1	給水装置工事及び排水設備工事の電子申請受付サービスを開始
26 (2014)	3 . 17	新庁舎開所・業務開始
	3 . 17	戸島送水場調整池の増設工事竣工(容量3,000㎥、2室、RC・SUS複合構造)
	4 . 1	消費税率改定に伴う水道料金等の改定(平成26年8月徴収分より)
	5 . 29	熊本市水の科学館累積入場者数が200万人を突破
	11 . 26	水道創設90周年事業として阿蘇郡西原村に「熊本市水道の森」を創設
	12	水道施設整備実施計画中間見直し(平成21年度～平成33年度までの13年間)
27 (2015)	1 . 30	戸島送水場小水力発電設備設置
	4 .	水運用センター新システム運用開始
	8 . 3	戸島送水場小水力発電設備が稼働
	24～25	台風15号による停電のため断水発生(約9,200戸の断水)
28 (2016)	1 . 25	最低気温氷点下6.5度。凍結・水道管破裂約2,000件発生(約2,800戸の断水)
	4 . 1	料金課お客さまセンターの開設
	4 . 14	熊本地震　前震発生(M6.5)　一日最大配水量280,014㎥
	4 . 16	熊本地震　本震発生(M7.3)　約326,000戸の断水
29 (2017)	4 . 1	城南町高・碇地区簡易水道事業(組合営)を譲り受け
	8 . 1	Web口座振替受付サービスを開始
	8 . 28	南部送水場運用開始
30 (2018)	3 . 30	第6次拡張事業計画　第2回変更
		(計画給水人口、取水地点の変更など)
	9 . 1	モバイル決済(請求書払い)サービスを開始

年(西暦)	月 日	主 な 事 項
令和 2 (2020)	3 .	熊本市上下水道事業経営戦略 策定
		水道施設更新計画策定
	7 . 4	令和2年7月豪雨(熊本県南豪雨災害)
		応急給水活動(人吉市他6市町村 7月4日～8月5日、延べ643人)
		水道被害調査(球磨村 7月12日、2人)
	12.17～20	上下水道局職員の新型コロナウイルス感染に伴う局庁舎本館全フロアの閉鎖

4 水道事業主要指標総括表

区分 / 年度	市人口 (A) 人	給水人口 (B) 人	給水戸数 戸	普及状況 (B／A) %	年間配水量 (C) ㎥	最大配水量 一日 ㎥	最大配水量 一人一日 ℓ	平均配水量 一日 ㎥	平均配水量 一人一日 ℓ
大正 14	144,538	26,920	4,617	18.62	1,146,520	9,913	368	3,141	117
15	150,075	35,955	7,029	23.96	1,907,552	9,258	257	5,224	145
昭和 2	153,458	41,585	8,161	27.10	2,677,088	14,220	342	7,314	176
3	157,853	51,395	10,068	32.56	3,087,477	13,824	269	8,459	165
4	162,815	55,620	10,170	34.16	3,413,259	15,880	286	9,351	168
5	164,386	58,570	11,967	35.63	4,093,376	16,851	288	11,215	191
6	174,822	72,480	14,457	41.46	3,851,973	16,247	224	10,525	145
7	185,501	73,640	14,728	39.70	3,907,318	19,334	263	10,705	145
8	192,409	73,150	14,630	38.02	4,317,573	18,783	257	11,829	162
9	192,485	77,125	15,425	40.07	4,562,524	18,817	244	12,500	162
10	206,485	91,971	15,854	44.54	5,032,072	18,538	202	13,749	149
11	212,750	94,275	16,274	44.31	5,252,488	19,668	209	14,390	153
12	222,597	97,773	16,910	43.92	5,738,986	21,036	215	15,723	161
13	223,954	100,963	17,491	45.08	5,965,789	22,460	222	16,345	162
14	230,951	102,712	17,809	44.47	6,529,751	24,926	243	17,841	174
15	243,486	106,733	18,541	43.84	7,299,507	27,608	259	19,999	187
16	248,278	107,272	18,639	43.21	7,739,003	26,873	251	21,202	198
17	250,655	109,054	18,965	43.51	8,206,254	27,625	253	22,470	206
18	253,745	110,379	19,196	43.50	8,621,788	27,879	253	23,556	213
19	211,011	104,077	18,100	49.32	8,901,944	28,451	273	24,389	234
20	180,643	90,383	15,718	50.03	9,023,133	29,232	323	24,720	274
21	206,016	93,806	16,314	45.53	8,919,011	28,137	300	24,435	260
22	244,166	109,652	17,179	44.91	8,468,874	27,849	254	23,139	211
23	252,547	114,551	18,090	45.36	11,642,926	37,801	330	31,898	278
24	262,291	125,291	19,051	47.77	12,257,466	36,752	293	33,532	268
25	267,506	142,566	21,900	53.29	13,522,146	41,597	292	37,047	260
26	276,897	144,876	23,232	52.32	12,719,086	40,630	280	34,752	240
27	282,375	147,550	24,364	52.25	13,079,858	42,096	285	35,835	243
28	306,474	172,046	27,777	56.14	14,427,705	47,093	274	39,528	230
29	319,612	182,067	30,458	56.97	14,742,747	54,251	298	40,391	222
30	333,251	191,406	32,695	57.44	16,289,002	52,917	276	44,505	233
31	347,040	200,324	35,309	57.72	16,488,347	57,662	288	45,174	226
32	353,099	207,286	37,187	58.70	16,717,779	58,456	282	45,802	221
33	362,166	217,427	40,029	60.04	17,287,455	63,490	292	47,363	218
34	365,388	227,074	43,005	62.15	18,205,473	66,105	291	49,742	219
35	368,854	236,592	45,668	64.14	19,772,635	73,248	310	54,172	229
36	371,952	255,650	50,170	68.73	21,862,977	82,247	322	59,899	234
37	379,175	275,018	55,224	72.53	23,863,366	90,786	330	65,379	238
38	387,361	281,205	61,103	72.60	25,596,907	92,071	327	69,937	249
39	396,734	299,736	67,846	75.55	27,164,141	99,159	331	74,422	248
40	407,279	320,536	74,251	78.70	28,004,077	101,995	318	76,723	239
41	415,668	327,812	80,226	78.86	31,318,148	114,638	350	85,803	262
42	426,630	338,312	86,213	79.30	35,150,229	131,816	390	96,039	284
43	432,716	347,605	92,702	80.33	36,964,685	135,216	389	101,273	291
44	434,596	357,000	97,319	82.15	40,614,583	149,711	419	111,273	312
45	443,557	369,487	103,593	83.30	44,505,360	158,607	429	121,932	330
46	447,200	375,602	108,076	83.99	48,053,261	166,040	442	131,293	350
47	461,127	380,252	113,810	82.46	52,595,777	180,935	476	144,098	379
48	468,431	392,131	121,364	83.71	58,079,406	199,600	509	159,122	406
49	477,450	402,550	128,344	84.31	58,909,416	200,153	497	161,396	401

年間有収水量（D）㎥	有収率（D／C）%	一人一日生活用 ℓ	年間有効水量（E）㎥	有効率（E／C）%	管路延長 km	年間使用電力量 kWh	事業収益 円	事業費 円
						518,926	1,330,006	546,986
						633,760	1,943,161	1,890,767
						833,520	314,815	263,248
						935,046	1,254,555	1,214,663
						1,022,276	333,150	298,438
						1,038,460	337,742	317,811
						1,141,200	479,566	447,081
						1,201,412	416,645	402,215
						1,233,716	1,187,198	1,185,791
						1,377,510	1,095,925	1,090,793
						1,480,010	859,353	847,965
						1,540,670	1,160,448	1,144,404
						1,678,860	370,032	348,506
						1,775,520	427,325	381,680
						1,888,310	429,933	400,254
						2,205,610	432,949	410,028
						2,772,720	439,831	411,854
						2,671,660	461,510	397,650
						2,861,720	589,837	423,830
						3,092,580	532,435	224,613
						3,234,090	391,782	289,265
						3,096,880	4,026,174	3,287,010
						2,938,700	12,945,997	14,191,816
						5,325,556	25,010,325	26,751,939
						5,645,186	45,617,109	42,378,787
						6,421,933	86,360,452	74,326,123
						5,972,611	106,878,068	85,198,787
						6,086,809	93,312,935 26,635,161	80,730,750 32,183,703
						6,500,405	150,988,274	127,588,758
						6,466,906	179,189,971	164,122,386
					259.6	7,154,282	196,658,053	176,622,312
					270.2	5,906,726	212,028,245	193,844,534
					275.0	5,853,433	224,619,486	222,010,794
					296.5	5,819,717	278,623,430	268,459,004
12,869,368	70.69				319.7	5,827,300	293,730,460	251,134,343
13,576,623	68.66				382.4	6,304,399	312,745,556	278,618,101
14,882,565	68.07				423.5	7,047,618	339,005,929	324,446,185
15,914,701	66.69				463.8	7,766,476	372,499,796	386,039,875
17,443,242	68.15		17,512,024	68.41	501.0	8,312,986	455,590,467	431,655,666
19,528,807	71.89		19,570,808	72.05	546.6	9,116,333	653,458,472	495,734,157
20,042,960	71.57		20,061,387	71.64	592.6	9,434,264	670,731,821	545,002,370
22,443,679	71.66		22,455,011	71.70	631.7	10,908,441	759,895,226	583,945,352
25,657,311	72.99		25,684,201	73.07	677.4	12,549,777	865,595,421	695,924,155
27,842,648	75.32		27,881,414	75.43	725.1	13,809,943	944,881,942	795,142,128
30,740,216	75.69		30,786,805	75.80	771.9	15,622,965	1,038,546,474	903,656,124
33,438,791	75.13		33,573,004	75.44	824.1	17,600,210	1,146,288,734	1,092,972,492
36,286,477	75.51		36,441,614	75.84	868.0	19,729,479	1,238,495,894	1,257,459,968
39,724,677	75.53		40,104,505	76.25	925.1	22,933,622	1,331,204,288	1,452,688,938
42,634,025	73.41		43,102,450	74.21	1,018.5	26,203,258	1,817,052,124	1,734,741,130
44,499,309	75.54		44,966,421	76.33	1,095.9	29,109,036	1,951,594,482	2,445,417,766

＊昭和27年度の事業収益・事業費は、上段は4月～12月、下段は1月～3月の計。1月1日より地方公営企業法財務規程を適用。

区分 / 年度	市人口 (A) 人	給水人口 (B) 人	給水戸数 戸	普及状況 (B／A) %	年間配水量 (C) ㎥	最大配水量 一日 ㎥	最大配水量 一人一日 ℓ	平均配水量 一日 ㎥	平均配水量 一人一日 ℓ
昭和 50	489,561	422,081	135,446	86.22	65,318,528	221,702	525	178,466	423
51	496,891	432,500	142,820	87.04	66,464,441	221,150	511	182,094	421
52	504,401	450,422	148,485	89.30	69,966,997	238,330	529	191,690	426
53	510,339	458,535	154,365	89.85	73,219,429	248,461	542	200,601	437
54	516,298	466,172	159,721	90.29	72,655,138	239,512	514	198,511	426
55	525,679	476,013	165,809	90.55	70,918,650	240,808	506	194,298	408
56	532,023	484,083	169,541	90.99	72,805,789	231,860	479	199,468	412
57	538,025	489,705	173,267	91.02	75,146,207	248,066	507	205,880	420
58	544,334	495,628	177,239	91.05	79,347,687	269,339	543	216,797	437
59	550,318	504,057	180,723	91.59	79,699,636	264,377	524	218,355	433
60	554,062	511,458	184,778	92.31	79,477,020	258,601	506	217,745	426
61	559,739	520,913	189,567	93.06	80,146,199	258,719	497	219,579	422
62	564,169	530,749	193,684	94.08	80,521,229	257,155	485	220,003	415
63	568,824	539,899	199,467	94.91	81,946,907	269,921	500	224,512	416
平成 元	573,421	548,608	206,059	95.67	82,808,188	266,175	485	226,872	414
2	624,598	598,058	223,501	95.75	87,194,924	279,907	468	238,890	399
3	629,285	603,358	229,590	95.88	88,110,457	300,685	498	240,739	399
4	634,726	611,346	233,881	96.32	88,289,362	283,408	464	241,889	396
5	637,767	614,909	238,462	96.42	88,413,071	282,466	459	242,228	394
6	640,834	618,797	242,918	96.56	89,337,604	293,642	475	244,761	396
7	648,524	626,920	247,753	96.67	88,280,864	278,156	444	241,205	385
8	651,605	630,654	253,375	96.78	89,492,751	281,475	446	245,186	389
9	654,613	634,333	263,204	96.90	89,353,813	279,350	440	244,805	386
10	657,850	638,049	266,806	96.99	88,720,789	276,492	433	243,071	381
11	659,942	640,748	272,968	97.09	87,812,903	285,004	445	239,926	374
12	661,226	643,042	277,254	97.25	87,983,074	268,362	417	241,050	375
13	664,279	646,609	280,783	97.34	87,607,498	272,878	422	240,021	371
14	666,698	649,364	284,124	97.40	85,648,396	264,744	408	234,653	361
15	667,746	650,652	286,875	97.44	85,060,265	260,871	401	232,405	357
16	668,797	652,010	289,665	97.49	84,414,136	255,967	393	231,272	355
17	667,107	653,811	292,771	98.01	84,031,357	254,412	389	230,223	352
18	667,899	654,819	295,775	98.04	82,294,294	254,915	389	225,464	344
19	668,021	655,150	298,482	98.07	81,114,926	244,905	374	221,625	338
20	677,375	664,244	303,371	98.06	79,665,837	244,493	372	218,263	329
21	728,332	680,128	310,095	93.38	79,118,385	237,588	358	216,763	326
22	732,832	685,152	312,288	93.49	80,445,658	242,293	354	220,399	322
23	734,361	688,916	315,231	93.81	80,100,709	242,262	352	218,854	318
24	737,294	692,456	318,719	93.92	79,959,052	238,696	345	219,066	316
25	738,371	695,171	322,449	94.15	80,541,922	246,121	354	220,663	317
26	739,015	696,539	326,217	94.25	79,340,968	232,249	333	217,373	312
27	739,991	698,967	329,074	94.46	80,435,315	270,459	387	219,769	314
28	737,812	701,336	332,573	95.06	82,269,843	280,014	399	225,397	321
29	738,407	704,557	335,976	95.42	81,431,915	237,792	338	223,101	317
30	738,063	705,889	339,539	95.64	80,608,326	238,413	338	220,845	313
令和 元	737,598	706,963	343,705	95.85	79,709,537	231,954	328	217,786	308
2	737,490	708,616	348,671	96.08	79,211,773	240,750	340	217,019	306

年間有収水量（D）㎥	有収率（D／C）%	一人一日生活用 ℓ	年間有効水量（E）㎥	有効率（E／C）%	管路延長 km	年間使用電力量 kWh	事業収益 円	事業費 円
49,014,005	75.04		49,503,595	75.79	1,138.1	31,859,364	2,253,343,523	2,858,344,069
50,433,034	75.88		50,977,610	76.70	1,200.5	33,901,434	3,749,680,455	3,246,109,204
53,060,518	75.84		53,732,181	76.80	1,276.7	36,602,307	3,943,269,148	3,703,214,562
55,300,928	75.53		55,633,760	75.98	1,326.4	38,924,946	5,043,523,503	4,092,254,842
55,373,711	76.21	216	55,811,885	76.82	1,385.5	39,360,989	5,089,853,705	4,409,254,375
55,515,088	78.28	214	55,941,187	78.88	1,447.0	38,683,882	5,003,670,854	4,890,604,954
58,031,571	79.71	223	58,446,598	80.28	1,487.5	38,925,592	5,318,806,783	5,571,506,818
60,023,870	79.88	231	60,315,993	80.26	1,522.0	39,903,305	5,730,941,428	6,708,710,151
62,700,692	79.02	242	63,754,684	80.35	1,564.2	40,161,886	5,765,590,611	7,350,193,380
63,952,813	80.24	247	64,106,552	80.44	1,607.3	41,686,387	8,818,659,680	8,337,659,910
64,171,117	80.74	247	64,341,527	80.96	1,650.0	42,268,338	9,048,671,054	8,534,168,110
65,090,626	81.21	251	65,225,061	81.38	1,696.6	41,685,623	9,103,631,403	8,773,967,190
66,125,796	82.12	252	66,316,587	82.36	1,759.1	41,077,369	9,277,302,879	9,305,275,470
68,288,986	83.33	258	68,481,962	83.57	1,827.3	41,375,209	9,758,844,798	9,176,855,567
69,311,514	83.70	259	69,539,785	83.98	1,857.6	41,923,869	9,930,626,812	9,778,778,111
74,684,085	85.65	260	74,997,635	86.01	2,259.7	45,877,677	11,106,644,557	11,178,019,578
75,768,929	85.99	262	76,517,731	86.84	2,285.7	47,603,478	10,663,352,318	11,690,115,720
76,066,710	86.16	266	78,191,163	88.56	2,337.4	47,711,510	14,162,931,927	12,253,279,217
75,752,666	85.68	258	77,843,394	88.05	2,374.8	47,689,416	14,204,395,264	12,557,360,350
77,494,380	86.74	257	79,659,818	89.17	2,406.7	49,041,500	14,273,995,756	12,423,651,188
76,726,781	86.91	259	78,877,989	89.35	2,456.4	47,852,859	14,040,799,212	12,386,923,319
77,976,819	87.13	263	80,220,042	89.64	2,534.2	49,498,263	14,513,213,231	12,986,234,795
78,153,170	87.46	272	80,422,682	90.00	2,579.4	49,497,274	14,995,657,214	13,200,668,475
78,310,131	88.27	263	80,642,682	90.89	2,634.3	47,715,168	14,358,675,115	13,383,424,081
77,297,369	88.03	258	79,877,027	90.96	2,632.5	47,692,006	14,130,787,574	12,780,346,176
77,500,629	88.09	259	80,188,360	91.14	2,680.6	48,335,676	14,002,510,438	12,120,903,803
77,391,160	88.34	257	80,124,637	91.46	2,715.1	48,533,227	14,032,000,516	12,452,058,506
76,707,974	89.56	254	79,332,039	92.63	2,750.1	47,125,586	13,839,014,863	11,663,069,276
75,834,485	89.15	246	78,484,247	92.27	2,786.4	46,525,532	13,586,606,538	11,432,957,094
75,515,367	89.46	245	78,132,434	92.56	2,712.2	46,087,405	13,510,173,951	11,472,330,609
75,173,994	89.46	244	77,750,018	92.53	2,729.2	46,293,984	13,473,140,341	11,364,498,596
74,080,771	90.02	242	76,514,283	92.98	2,746.3	45,006,732	13,215,389,723	10,947,784,268
73,554,853	90.68	241	75,970,058	93.66	2,765.2	45,164,442	13,131,231,901	10,865,128,968
72,208,391	90.64	237	74,647,885	93.70	2,857.0	45,004,511	12,918,089,050	10,337,147,846
72,090,905	91.12	237	74,437,187	94.08	3,104.7	45,281,045	12,865,789,864	10,442,811,038
73,298,064	91.12	235	75,691,641	94.09	3,168.5	46,288,158	12,852,188,488	10,599,586,308
72,797,496	90.88	231	75,233,514	93.92	3,218.6	46,428,355	12,797,064,556	10,746,214,763
72,318,699	90.44	229	74,696,305	93.42	3,265.9	45,504,207	12,696,973,073	10,593,119,433
72,102,112	89.52	227	74,397,444	92.37	3,309.7	46,477,336	12,794,328,516	10,924,806,164
71,139,739	89.66	224	73,456,772	92.58	3,366.3	45,174,920	13,266,227,641	12,244,449,686
71,188,608	88.50	223	73,790,473	91.74	3,414.3	44,771,647	13,225,192,499	10,151,496,210
66,743,778	81.13	207	72,200,094	87.80	3,448.9	45,512,343	13,190,629,019	11,727,046,145
71,278,764	87.53	223	73,484,740	90.24	3,482.0	44,698,879	13,388,370,316	10,781,854,834
70,702,534	87.71	221	72,795,163	90.31	3,507.7	44,376,149	13,475,515,466	10,855,268,276
70,161,394	88.02	219	72,048,628	90.39	3,519.7	44,261,597	13,316,093,461	10,585,764,686
71,005,900	89.64	229	73,294,928	92.53	3,550.2	44,489,390	13,094,549,145	102,589,893,340

＊普及状況は、市人口（行政区域内人口）に対する水道の普及状況（水道普及率）を示す。

＊平成20年度の数値は、富合町簡易水道事業を含めた数値。

＊平成21年度の数値は、城南町・植木町を含めた数値。ただし、有収率・有効率・最大配水量・平均配水量・年間配水量、

Ⅱ　主要工事

1　建設改良工事の概況（１件5,000万円以上、税込）

（１）施設改良事業　　（単位　円）

工事番号	工事名	施行内容	工事費	工期
繰越 11443 13433 17281	南区無田口町1671番付近 φ75･50粍配水管布設替他4件工事(その1)	【DKE】　φ100粍　L= 3.7m ソフトシール仕切弁　φ100粍　1ヶ所 【DGXE】　φ75粍　L=879.7m ソフトシール仕切弁　φ75粍　7ヶ所 消火栓(消防利水用)　4ヶ所 【HP】　φ50粍　L=244.8m ソフトシール仕切弁　φ50粍　5ヶ所 ドレーン　2ヶ所 仮設管撤去工　L=793.0m	71,272,443	R元.12.11 R02.11.12
11001	中央区本山1丁目泰平橋付近 φ200粍配水管(添架管)布設替工事	昼間工事 【DGXE】　φ200粍　L=32.0m ソフトシール仕切弁　φ200粍　1ヶ所 【SUS316】　L=143.7m 急速空気弁(フランジ一体型)　1基 夜間工事 【DGXE】　φ200粍　L=47.0m ソフトシール仕切弁　φ200粍　2ヶ所 【DGXE】　φ150粍　L=21.6m ソフトシール仕切弁　φ150粍　2ヶ所 消火栓(消防利水用)　1ヶ所 【SUS316】　L=4.4m	65,816,726	R02.06.01 R03.03.17
11104	東区上南部1丁目5番付近 φ150粍配水管(三協橋添架管)布設替工事	【DGXE】　φ150粍　L=13.1m 【SUS316】　L=79.6m 急速空気弁(フランジ一体型)　1基	50,612,100	R02.09.18 R03.03.26

（２）水道施設整備事業　　（単位　円）

工事番号	工事名	施行内容	工事費	工期
1 (繰越)	健軍水源地特高受変電設備更新工事 (令和2年度債務負担行為設定)	受変電設備工	469,635,971	H31.02.20 R02.07.10
401 (繰越)	東区錦ヶ丘(錦ヶ丘公園～東バイパス)φ700粍配水管シールド工事 (令和元年～令和2年度債務負担行為設定)	泥土圧式ミニシールド工 φ1000ΣL＝1387m　ほか	1,376,232,761	H30.05.07 R02.12.11
5 (繰越)	庄口水源地電力ケーブル他更新工事	立坑土工	224,004,334	R元.05.30 R02.05.29
10 (繰越)	健軍水源地導水管移設工事(3工区)	導水管移設工	81,984,100	R元.12.24 R02.08.03
13 (繰越)	中央区水前寺江津湖公園付近 φ600･300粍配水管推進工事 (令和元年度予算分)	配水管布設工 【DGXE･DNSE】φ600ΣL＝168m　ほか	226,298,143	R元.09.19 R03.03.15
14 (繰越)	中央区水前寺公園23番付近φ75･50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE】　φ75　ΣL＝460.64m 【HP】　φ50　ΣL＝379.41m　ほか	50,083,013	R元.08.20 R02.06.30
20 (繰越)	中央区帯山4丁目帯山小学校付近 φ100･75･50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE･DKE】φ100　ΣL＝637.05m 【DGXE･DKE】φ75　ΣL＝34.66m　ほか	59,373,097	R元.07.10 R02.05.29
22 (繰越)	南区白藤4丁目地内 Φ75･50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE･DKE】φ75　ΣL＝599.30m 【HP】　φ50　ΣL＝203.77m　ほか	52,147,659	R元.08.22 R02.05.29
24 (繰越)	西区池田2丁目･出町地内 φ300･150･100･75･50粍配水管布設替工事(その1)	配水管布設工 【DGXE】　φ300　ΣL＝336.92m 【DGXE】　φ150　ΣL＝118.11m　ほか	110,206,800	R元.10.30 R02.09.30
26 (繰越)	中央区花畑町花畑公園付近 φ300･75粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE･DKE】φ300　ΣL＝224.66m 【DGXE】　φ75　ΣL＝134.48m　ほか	67,565,300	R02.02.18 R02.09.02
43 (繰越)	沼山津取水8号さく井工事	さく井工事、架台移設工、導水管移設工、設備工事	64,309,256	R02.03.25 R03.02.17

（３）第６次拡張事業　　（単位 円）

工事番号	工事名	施行内容	工事費	工期
3 (繰越)	南区近見6丁目地内(共同溝内) φ500粍配水管布設工事	配水管布設工 【DCIP・DNSE・DPNE】φ500　ΣL＝499.37m 【PSP】　φ500　ΣL＝621.23m　ほか	645,962,475	H30.08.22 R02.10.09
34 (繰越)	南区城南町塚原933番地付近 φ100・75・50粍配水管布設工事	配水管布設工 【DGXE】　φ100　ΣL＝316.69m 【DGXE】　φ75　ΣL＝171.08m　ほか	51,152,809	R元.10.30 R02.05.18
40 (繰越)	北区植木6丁目118番(国道3号)付近φ100粍配水管布設工事	配水管布設工 【DGXE・DKE】φ100　ΣL＝1069.41m　ほ	80,266,725	R元.08.27 R02.07.22
5001	沼山津取水6号さく井工事	さく井工事	59,495,645	R02.09.14 R03.03.10
5301	南区城南町赤見水源地～南部送水場間φ300・200粍導水管布設工事	導水管布設工 【DGXE】　φ300　ΣL＝314m 【DGXE】　φ200　ΣL＝351m　ほか	68,286,329	R02.04.30 R03.03.15
5401	南区城南町丹生宮982番地付近 φ100・75・50粍配水管布設工事	配水管布設工 【DGXE】　φ100　ΣL＝1,031m 【DGXE】　φ75　ΣL＝145m　ほか	59,448,613	R02.05.11 R03.02.26
5405	南区城南町千町2080番地付近 φ150・75粍配水管布設工事	配水管布設工 【DGXE】　φ100　ΣL＝691m 【DGXE】　φ75　ΣL＝346m　ほか	63,028,344	R02.04.30 R02.12.28
5409	南区城南町塚原町民グラウンド付近 φ100・75・50粍配水管布設工事	配水管布設工 【DGXE】　φ100　ΣL＝324m 【DGXE】　φ75　ΣL＝342m　ほか	53,390,007	R02.06.01 R03.02.01
5415	南区城南町鰐瀬地内 φ150・100・75・50粍配水管布設工事	配水管布設工 【DGXE・DKE】φ150　ΣL＝497m 【HP】　φ50　ΣL＝538m　ほか	70,020,456	R02.06.09 R03.02.05
5429	南区城南町藤山・塚原地内 φ100・75・50粍配水管布設工事	配水管布設工 【DGXE】　φ100　ΣL＝510m 【DGXE】　φ75　ΣL＝223m　ほか	52,549,752	R02.09.08 R03.03.17
5431	南区城南町東阿高・藤山地内 φ100粍配水管布設工事	配水管布設工 【DGXE】　φ100　ΣL＝1,190m　ほか	63,250,919	R02.09.30 R03.03.15
5701	和泉配水池～一木配(送)水場間 φ300粍補給管布設工事(1工区)	補給管布設工 【DGXE】　φ300　ΣL＝1,200m　ほか	125,053,159	R02.04.30 R03.01.21
5703	和泉配水池～一木配(送)水場間 φ300粍補給管布設工事(2工区)	補給管布設工 【DGXE】　φ300　ΣL＝512m　ほか	54,333,308	R02.04.30 R02.10.21

（４）水道施設更新事業　　（単位 円）

工事番号	工事名	施行内容	工事費	工期
301 (繰越)	健軍取水5号更新工事	井戸更新工事	217,603,623	R02.02.03 R03.03.17
402 (繰越)	中央区水前寺江津湖公園付近 φ600・300粍配水管推進工事 (令和2年度予算分)	配水管布設工 【DGXE・DNSE】φ600 ΣL＝359m 【DGXE】　φ300 ΣL＝64m　ほか	482,875,612	R元.09.19 R03.03.15
1203	健軍1号集水槽杭基礎工事	杭打工事	63,783,626	R02.10.13 R03.02.26
1603	東区若葉1丁目地内 φ100・75・50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE・DKE】φ100　ΣL＝212m 【DGXE・DKE】φ75　ΣL＝384m　ほか	54,304,087	R02.04.30 R02.12.11
1605	北区梶尾町1317番付近 φ100・75・50粍配水管布設替工事	配水管布設替工 【HP】　φ100　ΣL＝181m 【HP】　φ75　ΣL＝381m 【HP】　φ50　ΣL＝757m　ほか	90,828,248	R02.04.30 R03.02.26
1607	南区富合町釈迦堂・上杉地内 φ150・100・75・50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE】　φ150　ΣL＝134m 【DGXE】　φ75　ΣL＝957m　ほか	118,869,300	R02.04.30 R03.02.25
1617	北区清水万石万石川緑地公園付近 φ150・100・50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE】　φ150　ΣL＝204m 【DGXE】　φ100　ΣL＝99m　ほか	73,441,022	R02.04.30 R03.02.12

1621	東区東本町東区役所付近 φ200･150･100粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE】　φ200　ΣL＝285m 【DGXE】　φ150　ΣL＝199m　ほか	53,938,996	R02.06.09 R03.02.17
1641	南区奥古閑町奥古閑小学校付近 φ200･75･50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE･DKE】φ200　ΣL＝203m 【DGXE】　φ150　ΣL＝34m　ほか	85,789,148	R02.06.09 R03.03.12
1643	南区富合町木原 φ100･75･50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE】　φ100　ΣL＝501m 【DGXE･DKE】φ75　ΣL＝676m　ほか	79,715,038	R02.06.16 R03.02.12
1653	西区城山半田2丁目付近他 φ100･75･50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE】　φ100　ΣL＝48m 【DGXE】　φ75　ΣL＝806m　ほか	62,452,432	R02.06.30 R03.02.19
1659	南区出仲間3丁目付近 φ75･50粍配水管布設替工事	配水管布設工 【DGXE】　φ75　ΣL＝459m 【HP】　φ50　ΣL＝262m　ほか	56,522,400	R02.07.07 R03.03.12

2　その他工事

（1）建設改良工事に伴う給水切替工事

（単位　個、円）

工事名及び件数	給水切替個数	工事費
中央区水前寺公園23番付近給水切替 ほか44件	1,436	260,527,631

3 保存工事の概況

（1）配水費における維持修繕

（単位 件、円）

工　事　内　容	件数	給水切替	工事金額	工　期
漏水調査業務で発見した地中漏水による修理(道路等並びに宅地内メーター上流側))修理、これらに伴う老朽化した給水管(鉛管を含む)取替工事等	634	7	142,448,825	R2.4.1～R3.3.31 ほか
他工事に伴う給配水管の移設工事、道路、宅内等の老朽化した給水管(鉛管を含む)取替工事	41	254	49,981,850	R2.4.1～R3.3.31 ほか
通報等による道路等の漏水修理等	965	0	210,365,795	R2.4.1～R3.3.31 ほか
消火栓(本体、鉄蓋等)の維持修繕工事	107	0	41,272,076	R2.4.1～R3.3.31 ほか
通報による漏水等に伴う老朽化した給水管(鉛管を含む)取替工事	182	240	225,152,301	R2.4.1～R3.3.31 ほか
老朽給水管(鉛管)切替工事 [鉛給水管更新事業・入札]	6	14	5,076,242	R2.4.1～R3.3.31 ほか
仕切弁等(本体、鉄蓋等)の維持修繕工事	112	0	27,706,864	R2.4.1～R3.3.31 ほか
他工事に伴う給排水管の移設破損修繕等	72	0	8,098,589	R2.4.1～R3.3.31 ほか
合　計	2,119	515	710,102,542	

（2）給水費における維持修繕

（単位 件、円）

工　事　内　容	委　託	
	件　数	金　額
宅地内のメーター上流側漏水修繕	1,333	96,326,375

（3）給水工事申込件数

（単位 件、円）

	新　設	改　造	その他	合　計
令和元年度	7,434	3,757	36	11,227
令和2年度	6,824	2,856	38	9,718
増△減	△ 610	△ 901	2	△ 1,509

Ⅲ 水道施設

1 水道の普及状況

指標	単位		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
行政区域内人口（推計人口）	人	①	737,490	737,598	738,063	738,407	737,812
給水区域内人口（推計人口）	人	②	737,490	737,598	738,063	738,407	736,403
給水人口（推計人口）	人	③	708,616	706,963	705,889	704,557	701,336
給水戸数（件数）	戸（件）	④	348,671	343,705	339,539	335,976	332,573
行政区域内世帯数	世帯	⑤	332,184	328,290	324,676	321,329	317,707
給水世帯数		⑥	317,635	313,528	309,796	306,314	302,197
普及状況（水道普及率）	%	（③/①）	96.08%	95.85%	95.64%	95.42%	95.06%
普及率（給水普及率）	%	（③/②）	96.08%	95.85%	95.64%	95.42%	95.24%
行政区域面積	km^2		390.32	390.32	390.32	390.32	390.32
給水区域面積	km^2		324.16	324.16	324.16	324.16	323.49

行政区域内人口等は、熊本県統計調査課にて算出された**推計人口**（国勢調査による人口及び世帯数を基準とし、住民基本台帳及び外国人登録法などに基づき市に届出のあった出生・死亡などの数を加減して集計算出された数値）をもとに算出している。

※平成23年度認可変更（第6次拡張事業第1回見直し）に伴い、給水区域が拡大している。
※平成25年度に才木地区簡易水道事業(組合営)を譲受したことにより、給水区域が拡大している。
※平成26年度に行政区域面積の算出方法の見直しに伴い行政区域面積が拡大している。

（参考）住民基本台帳登録数に基づいて算出した給水人口等

指標	単位		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
行政区域内人口（住民基本台帳）	人	①	731,426	731,572	731,933	732,217	731,754
給水区域内人口（住民基本台帳）	人	②	731,426	731,572	731,933	732,217	730,355
給水人口（住民基本台帳）	人	③	703,124	701,516	700,344	698,955	695,824
給水戸数（件数）	戸（件）	④	348,671	343,705	339,539	335,976	332,573
行政区域内世帯数	世帯	⑤	348,125	344,231	340,617	337,323	333,691
給水世帯数	世帯	⑥	332,418	328,321	324,598	321,172	317,046
普及状況（水道普及率）	%	（③/①）	96.13%	95.89%	95.68%	95.46%	95.09%
普及率（給水普及率）	%	（③/②）	96.13%	95.89%	95.68%	95.46%	95.27%

※住民基本台帳登録者数(平成23年度は外国人登録数を含む)をもとに算出
※地方公営企業決算統計（総務省）については、平成20年度決算より、上記数値を採用している。

2 水道施設総括表

施設名称	所在地	取水施設			浄水施設		
		井戸数（本）	ポンプ数（台）	取水能力（m^3/日）	ろ過設備	滅菌設備	紫外線処理
麻生田水源地	北区麻生田5丁目26-1	8	8	31,500	○	○	
一本木水源地	北区飛田4丁目2-15	3	3	10,200		○	○
山室水源地	北区山室6丁目6	2	2	3,400		○	
八景水谷水源地	北区八景水谷1丁目7-3	4	4	18,100		○	○
亀井水源地	北区清水亀井町24-1	4	4	7,300		○	○
健軍水源地	東区水源1丁目1-1	11	4	66,600		○	
秋田水源地	東区秋津町秋田2786	8	8	29,700		○	
庄口水源地	東区健軍4丁目523-5	8	8	44,300			
沼山津水源地	東区秋津町沼山津2910	10	10	50,600		○	
託麻水源地	東区小山5丁目11-1	4	4	7,700		○	
川尻水源地	南区元三町1丁目1-78	2	2	9,300		○	
池上水源地	西区池上町900-3	3	3	6,800		○	
城山水源地	西区上代10丁目6-31	4	4	5,400	○	○	
鶴羽田水源地	北区鶴羽田2丁目5-1	1	1	900		○	
飛田水源地	北区飛田2丁目6-11	1	1	1,000	○	○	
改寄水源地	北区改寄町1281	2	2	2,400		○	
西梶尾水源地	北区西梶尾町436-3	2	2	1,600	○	○	
貢水源地	北区貢町1163-1	1	1	1,400		○	
追分水源地	西区河内町岳863-3	1	1	1,400			
白浜水源地	西区河内町白浜2029	1	1	200		○	
戸島送水場	東区戸島町2636						
岩倉山配水池	北区清水岩倉3丁目7-1						
徳王配水池	北区徳王1丁目7-38						
立田山配水池	中央区黒髪4丁目743						
小山山配水池	東区小山6丁目3634						
高遊原配水池	菊池郡菊陽町曲手1501-1						
万日山配水池	西区春日6丁目1765						
城山配水池	西区上代9丁目8-10、8-20						
和泉配水池	北区和泉町1806-3						
白浜配水池	西区河内町白浜89-2						
川床配水池	西区河内町野出1890-1					○	

（令和2年3月31日現在）

送水施設			配水施設							防災対策用施設		
調整池数（原水槽）	調整池容量（m^3）	ポンプ数（台）	配水池数（池）	配水池容量（m^3）	圧力タンク数（基）	圧力タンク容量（m^3）	ポンプ数（台）	配水方式	主な送・配水先	発電機	2回線受電	緊急遮断弁
3	1,400	3							岩倉山配水池	○		
2	700	3							徳王配水池	○		○
1	400	3							徳王配水池			
2	1,000	4							立田山配水池	○		○
2	1,000	3							立田山配水池			
3	620	3	2	24,000			6	ポンプ加圧式	健軍・秋田配水区	○	○	○
			2	40,000			5	ポンプ加圧式	健軍・秋田配水区	○		
									秋田配水場	○(注2)		
2	18,000	4							戸島送水場			
2	800	3							小山山配水池		○	
			1	4,000			4	ポンプ加圧式	川尻配水区	○		
2	1,000	3							万日山配水池		○	○
2	1,000	3							城山配水池	○		○
			1	1,050			4	ポンプ加圧式	北部配水区 鶴羽田配水場系			
			1	1,570			2	ポンプ加圧式	北部配水区 飛田配水場系			
			1	2,500			3	ポンプ加圧式	北部配水区 改寄配水場系	○		○
			1	1,500			2	ポンプ加圧式	北部配水区 西梶尾配水場系			○
1	500	3							北部配水区 和泉配水池系	○		○
1	200	2							川床配水池			
1	7	2							白浜配水池			
4	5,000	5							高遊原配水池	○	○	○
			3	15,000				自然流下式	岩倉山配水区			○
			3	10,500				自然流下式	徳王配水区			○
		2	4	22,500				自然流下式	立田山配水区			○
			1	3,500				自然流下式	高遊原・ 小山山配水区			○
			3	33,000				自然流下式	高遊原・ 小山山配水区			○
			1	5,000				自然流下式	万日山配水区			
			2	2,630				自然流下式	城山配水区			
			2	5,960				自然流下式	和泉配水区			○
			1	300				自然流下式	白浜配水区			○
			1	500				自然流下式	川床配水区			○

施設名称	所在地	取水施設			浄水施設		
		井戸数（本）	ポンプ数（台）	取水能力（m^3/日）	ろ過設備	滅菌設備	紫外線処理
南部送水場	南区富合町釈迦堂	1	1	1,000		○	
富合東部浄水場(休止)	南区富合町上杉128	1	1	365		○	
新浄水場	南区富合町木原1384	1	1	249		○	
舞原水源地	南区城南町築地777	1	1	1,400			
舞原配水場	南区城南町舞原140-1					○	
赤見水源地	南区城南町赤見1672-5	1	1	1,270		○	
沈目水源地	南区城南町沈目370-1	1	1	600	○	○	
本鰐瀬水源地	南区城南町鰐瀬213-3	1	1	58		○	
高水源地	南区城南町高734-2	1	1	1,400		○	
碇水源地	南区城南町碇158-1	1	1	2,200		○	
一木第1水源地 ・一木配水場	北区植木町一木592-1	1	1	760		○	
一木第2水源地	北区植木町一木185-1	1	1	860			
一木第3水源地	北区植木町一木690-2	1	1	2,520			
山本第1水源地	北区植木町内359-9	1	1	1,200			
山本第2水源地	北区植木町内311-1	1	1	1,700			
山本配水場	北区植木町内831-1				○	○	
大塚第2水源地	北区植木町正清220-3	1	1	310		○	
大塚配水池	北区植木町正清392-2						
西宮原水源地 ・配水池	北区植木町宮原858	1	1	132	○	○	
木留第1水源地 ・木留送水場	北区植木町木留592-1	1	1	700		○	
木留第2水源地	北区植木町円大寺703	1	1	720			
木留配水池	北区植木町木留1052-5						
山口配水池	北区植木町木留1360-64						
加圧施設(15箇所)	島崎、花岡山、平、梅洞、龍田団地、岳、三ノ岳、上松尾第1、第2、大将陣、城南南、植木町北部、西宮原、富応、旭ヶ丘					○(注1)	
令和２年度	合計	98	91	317,244	7	41	3
令和元年度	合計	98	91	317,244	7	41	3
平成30年度	合計	98	91	317,244	7	40	3
平成29年度	合計	99	92	316,658	8	38	3
平成28年度	合計	101	95	313,197	9	37	3
平成27年度	合計	112	107	315,848	10	47	3

(注1)一部設置有り、(注2)庄口水源地は、健軍水源地発電機により運転可能

送水施設			配水施設							防災対策用施設		
調整池数（原水槽）	調整池容量（m^3）	ポンプ数（台）	配水池数（池）	配水池容量（m^3）	圧力タンク数（基）	圧力タンク容量（m^3）	ポンプ数（台）	配水方式	主な送・配水先	発電機	2回線受電	緊急遮断弁
			1	2,000			3	ポンプ加圧式	南部配水区	○		○
1	8.75	2							雁回公園			
									舞原配水池	○		
			1	800			5	ポンプ加圧式	城南配水区 舞原配水場系	○		○
			1	120			2	ポンプ加圧式	城南配水区 赤見配水場系			
			1	135			2	ポンプ加圧式	城南配水区 沈目配水場系			
			1	98			2	ポンプ加圧式	城南配水区 本鰐瀬配水場系			
			1	175			2	ポンプ加圧式	城南配水区 高配水場系	○		
			1	180			2	ポンプ加圧式	城南配水区 碇配水場系	○		
			1	1,400			3	ポンプ加圧式	一木配水池 ・植木配水区一木配水場系	○		
									一木配水池			
									一木配水池	○		
									山本配水池	○		
									山本配水池	○		
			1	1,306			3	ポンプ加圧式	植木配水区 山本配水場系	○		
									大塚配水池			
			1	171				自然流下式	植木配水区 大塚配水池系			
			1	100				自然流下式	西宮原配水池 ・植木配水区西宮原配水池系			
1	60	2							木留調整池 ・木留配水池	○		
									木留調整池			
		2	1	800				自然流下式	山口配水池 ・植木配水区木留配水場系			
			1	50				自然流下式	植木配水区 山口配水池系			
			11	3,050			36	ポンプ加圧式 自然流下式	―	○(注1)		○(注1)
30	31,696	52	54	180,845	0	0	86			30	3	23
30	31,696	52	54	183,895	0	0	86			30	4	23
30	31,696	52	54	183,895	0	0	86			30	4	22
29	31,689	52	58	184,141	0	0	96			30	4	22
29	31,689	52	59	182,430	1	3	101			25	4	21
33	32,522	54	66	183,933	3	9	109			22	4	21

3 機場

(1)取水施設

水源地名	井戸名(認可)	井戸名(運用)	内径(mm)	深度(m)	さく井年月	取水能力(m^3/日)	口径(mm)	全揚程(m)	容量(m^3/H)	モーター容量(kW)	ポンプ台数(台)	井戸数(本)
麻生田	深1号	1号	500 ～ 250	121	S 55.6	3,500	150	48	160	37	8	8
	深2号	2号	450 ～ 250	123	S 43.3	4,000	125	55	120	30		
	深3号	3号	500 ～ 250	120	S 45.3	4,000	200	50	240	75		
	深4号	4号	500 ～ 250	137	S 46.11	6,900	200	60	270	75		
	深5号	5号	500 ～ 250	145	S 48.11	2,500	125	50	170	37		
	深6号	6号	500 ～ 250	146	S 49.2	6,600	200	60	270	75		
	深7号	7号	500 ～ 250	120	S 52.7	2,300	125	50	120	30		
	深9号	9号	500 ～ 250	111	S 55.5	1,700	125	50	96	22		
一本木	浅1号	3号	3,800	9.6	S 27.11	5,100	200	20	300	30	3	3
	深1号	1号	450 ～ 300	100	S 38.8	3,900	150	40	180	37		
	深2号	2号	400 ～ 200	105	S 45.8	1,200	100	100	60	30		
山室	深1号	1号	400 ～ 200	124	S 49.4	1,000	100	45	72	15	2	2
	深2号	1号	400 ～ 200	127	S 51.3	2,400	200	40	210	45		
八景水谷	浅1号	3号	7,500	7.6	T 13.10	7,000	200	21	292	30	4	4
	浅2号	4号	7,500	9.5	T 13.10	7,500	200	18	313	30		
	深1号	1号	300	131	S 37.10	1,600	150	59	85	22		
	深2号	2号	400 ～ 200	140	S 49.1	2,000	150	25	85	11		
亀井	浅1号	4号	3,800	10	S 30.3	4,200	150	17	180	18.5	4	4
	深1号	1号	300	120	S 39.3	500	80	34	40	7.5		
	深2号	2号	300	120	S 39.3	1,600	100	27	80	11		
	深3号	3号	400 ～ 200	140	S 47.7	1,000	100	39	60	15		
健軍	深1号	1号	300	41	R 1.6	500	自噴井				4	11
	深2号	2号	450	41	S 25以前	2,700	150	23	144	18.5		
	深5号	5号	450 ～ 350	39.1	R 3.3	14,600	自噴井					
	深7号	7号	450	41	S 29.8	3,500	自噴井					
	深8号	8号	450 ～ 350	40	S 35.6	9,000	自噴井					
	深9号	9号	550 ～ 450	45	S 38.12	1,400	自噴井					
	深10号	10号	550 ～ 450	60	S 41.3	1,300	自噴井					
	深11号	11号	550 ～ 400	42	S 42.5	11,000	自噴井					
	深12号	12号	500 ～ 300	44.2	S 42.12	6,600	250	27	420	45		
	深13号	13号	650 ～ 400	47.5	S 47.1	8,200	250	24	330	37		
	深14号	14号	550 ～ 400	47	S 48.1	7,800	200	27	300	37		
秋田	深1号	1号	450 ～ 250	87	H 23.9	3,500	150	20	200	18.5	8	8
	深2号	2号	450 ～ 250	201.5	H 9.3	4,200	150	25	126	21		
	深3号	3号	450 ～ 250	210	S 62.3	4,700	200	23	210	30		
	深4号	4号	450 ～ 250	130	H 14.3	3,400	150	15	145	15		
	深5号	5号	450 ～ 250	200	H 8.3	4,200	200	20	210	22		
	深6号	6号	450 ～ 250	130	H 14.3	3,500	150	15	145	15		
	深7号	7号	450 ～ 250	200	H 8.3	3,000	200	20	210	22		
	深9号	9号	450 ～ 250	207	H 9.3	3,200	200	20	210	22		
庄口	深1号	1号	500 ～ 400	45	S 56.1	4,300	200	30	198	26	8	8
	深2号	2号	500 ～ 400	47.2	S 56.1	6,200	200	38	190	37		
	深3号	3号	500 ～ 400	45.6	S 56.1	4,800	200	30	270	37		
	深4号	4号	500	47	S 56.9	5,700	200	30	270	37		
	深5号	5号	500	46.7	S 56.9	5,200	200	30	270	37		
	深6号	6号	500	51	S 56.9	6,300	200	30	276	45		
	深7号	7号	500	51.5	S 57.4	6,600	200	30	270	37		
	深8号	8号	500	51	S 57.4	5,200	200	30	270	37		
沼山津	深1号	1号	500 ～ 300	118.5	H 30.3	5,400	250	30	262	37	10	10
	深2号	2号	500 ～ 250	140.5	S 44.12	6,200	200	17	270	22		
	深3号	3号	500 ～ 250	150	S 46.12	7,200	200	17	287	22		
	深4号	4号	500 ～ 250	155.2	S 46.8	3,200	150	37	125	22		
	深5号	5号	500 ～ 250	160	S 48.3	4,800	200	37	208	37		
(休止)	深6号	6号	500 ～ 250	170	S 48.2	3,500	150	34	146	26		
	深7号	7号	500 ～ 250	170	S 52.2	8,000	250	24	354	37		
	深8号	8号	500 ～ 250	180	R 3.2	3,500	250	31	158	26		
	深9号	9号	500 ～ 250	170	S 56.8	3,900	200	24	180	22		
	深10号	10号	500 ～ 300	128	H 30.4	4,900	200	22	196	22		
託麻	深3号	3号	400 ～ 200	90	S 49.11	1,000	100	75	60	22	4	4
	深4号	4号	500	103.5	S 54.8	3,200	150	95	150	55		
(休止)	深5号	5号	400 ～ 200	81.5	S 50.1	1,000	125	100	90	37		
	深6号	6号	500	107.4	S 55.12	2,500	150	90	144	60		

水源地名	井戸名（認可）	井戸名（運用）	内径（mm）	深度（m）	さく井年月	取水能力（m^3/日）	口径（mm）	全揚程（m）	容量（m^3/H）	モーター容量（kW）	ポンプ台数（台）	井戸数（本）
川尻	深1号	1号	450 ～ 200	200	S 50.3	4,100	150	40	180	37	2	2
	深2号	2号	350 ～ 175	200	S 43.2	5,200	150	30	201	30		
池上	深1号	1号	500 ～ 150	60	S 50.6	3,000	150	20	168	18.5	3	3
	深3号	3号	400 ～ 200	122	S 51.7	2,400	200	30	114	18.5		
	深4号	4号	400 ～ 200	140	S 51.6	1,400	150	15	72	7.5		
城山	深1号	1号	300	120	S 36.2	800	80	44	34	7.5	4	4
	深2号	2号	300 ～ 175	125	S 40.11	1,400	80	48	59	15		
	深3号	3号	400 ～ 250	150	S 56.3	1,100	80	43	46	11		
	深4号	4号	400 ～ 150	125	S 46.3	2,100	100	42	88	18.5		
鶴羽田	深1号	1号	400 ～ 300	152	H 8.3	900	100	79.5	60	18.5	1	1
飛田	深1号	1号	300	151	S 59.3	1,000	100	80	48	18.5	1	1
改寄	深1号	1号	300 ～ 200	150	S 47.3	1,600	100	98	58	22	2	2
	深2号	2号	400	150.5	H 8.3	800	100	85	60	22		
西梶尾	深1号	1号	300	212	H 4.12	1,000	100	95	60	26	2	2
	深2号	2号	300	150	S 45.3	600	80	100	50	22		
貢 （休止）	深1号	1号	300	152	S 48.2	1,400	125	90	72	37	1	1
追分	深井戸	1号	300	140	S 45	1,400	100	95	50	26	1	1
白浜	深井戸	1号	200	152	S 42	200	50		12	0.4	1	1
南部	深井戸	1号	300 ～ 150	202	H 26	1,000	80	15	42	3.7	1	1
富合東部 （休止）	深1号	1号	300	170	S 53	365	100		77	7.5	1	1
新	深1号	1号	200	150	H 16	249	40		15	1.5	1	1
舞原	深1号	1号	200	100	H 21	1,400	100	70	56	22	1	1
赤見	深1号	1号	300	132	H 3	1,270	50	41	9	2.2	1	1
沈目	深1号	1号	200	122.5	H 6	600	50	30	8	2.2	1	1
本鰐瀬	深1号	1号	200	116	H 8	58	40	30	3	2.2	1	1
高	深井戸	1号	200	131	H 13	1,400	40	30	11.4	1.5	1	1
碇	深井戸	1号	200	131	H 9	2,200	50	25	7.8	2.2	1	1
一木	深1号	1号	300	150	H 8	760	80	93	24	11	1	1
	深2号	2号	150	80	H 8	860	80	60	24	7.5	1	1
	深3号	3号	300	180	H 8	2,520	100	75	60	18.5	1	1
山本	深1号	1号	300	152	H 10	1,200	80	80	27	11	1	1
	深2号	2号	300	137	H 10	1,700	125	105	64	37	1	1
大塚	深2号	2号	200	44.6	S 57	310	100	70	96	18.5	1	1
西宮原	深1号	1号	200	90	S 53	132	40	80	12	3.7	1	1
木留	深1号	1号	100	162	H 12	700	80	75	30	11	1	1
	深2号	2号	100	170	H 13	720	80	100	30	15	1	1
合計						317,244					91	98

*浅井戸：不圧地下水を取水する井戸
*深井戸：被圧地下水を取水する井戸

(2) 浄水施設

ア 圧力式ろ過設備

施設名	型式	内径 m	処理能力 m^3／H	速度 m／H	設置台数 常用	予備	計
麻生田	鋼板製密閉型	3.524	234.2	24	6		6
城山第1	鋼板製密閉型	φ1.6×3.0	33.3	18.75	1		1
城山第2	鋼板製密閉型	φ2.0×3.0	58.3	18.75	1		1
城山第3	鋼板製密閉型	φ1.8×3.0	45.8	18.75	1		1
城山第4	鋼板製密閉型	φ2.5×3.0	87.5	18.75	1		1
飛田	鋼板製密閉型		60		1		1
西梶尾	鋼板製密閉型	2.400	83.3	10	1		1
沈目	鋼板製密閉型	φ0.8×2.0	13		1		1
山本	鋼板製密閉型	φ1.8×1.5	31.25	12.3	2		2
西宮原	鋼板製密閉型	φ0.45×1.58	12	75	1		1

イ 次亜塩素酸ナトリウム滅菌設備

施設名	溶液濃度 %	注入能力 l／H	貯槽	制御方法	注入機台数 常時	予備	計
麻生田	6	23.4	3 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
一本木	6	4.1	1.8 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
山室	12	0.7	0.2 m^3 × 1	流量比例	1	1	2
八景水谷	6	7.8	2.5 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
亀井	6	2.3	0.8 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
健軍	6	33.1	6 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
秋田	6	20	6 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
沼山津	6	15	6 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
託麻	6	2.4	2 m^3 × 1	流量比例	2	2	4
川尻	6	3	2 m^3 × 1	流量比例	1	1	2
池上	6	2.3	0.8 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
城山第1	6	1.5	1.0 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
城山第2		2.5		流量比例	1	1	2
城山第3		2		流量比例	1	1	2
城山第4		3.8		流量比例	1	1	2
鶴羽田	12	2.5	0.5 m^3 × 1	定量	1	1	2
飛田	12	2.5	0.5 m^3 × 1	定量	1	1	2
改寄	6	0.96	0.3 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
西梶尾	12	2.5	0.5 m^3 × 1	定量	2		2
貢	12	1.44	0.2 m^3 × 2	流量比例	2	2	4
白浜	12	5	0.05 m^3 × 1	定量	1		1
岳	12	0.29	0.05 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
三ノ岳	6	1.8	0.05 m^3 × 1	定量	1		1
東門寺	6	3.4	0.2 m^3 × 1	定量	1		1
上松尾第2	12	0.29	0.2 m^3 × 1	流量比例	1	1	2
川床	12	5	0.05 m^3 × 2	定量	1	1	2
南部	6	1.8	0.1 m^3 × 2	定量	1	1	2
富合東部(休止)	12	1.8	0.05 m^3 × 2	定量	1	1	2
新	6	1.1	0.05 m^3 × 2	定量	1	1	2

イ 次亜塩素酸ナトリウム滅菌設備（つづき）

施設名	溶液濃度 %	注入能力 l／H	貯槽	制御方法	注入機台数 常時	予備	計
舞原取水	6	1.5	0.2 m^3 × 2	定量	1	1	2
舞原流入	6	0.5	0.1 m^3 × 1	流量比例	1	1	2
赤見	3	1.8	0.1 m^3 × 2	定量	1	1	2
沈目	6	1.8	0.05 m^3 × 2	定量	1	1	2
本鰐瀬	6	1.8	0.05 m^3 × 2	定量	1	1	2
高	12	1.1	0.05 m^3 × 2	定量	1	1	2
碇	6	1.1	0.05 m^3 × 2	定量	1	1	2
一木	12	1.8	0.5 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
山本	12	1.8	0.5 m^3 × 2	流量比例	1	1	2
大塚第2	6	1.8	0.1 m^3 × 2	定量	1	1	2
西宮原	6	1.8	0.1 m^3 × 2	定量	1	1	2
木留	12	1.8	0.3 m^3 × 1	流量比例	1	1	2

ウ 紫外線処理設備

施設名	照射方式	照射量（mJ/cm^2）	処理能力（m^3/H）	設置台数 常用	予備	計
亀井	内照式（低圧水銀ランプ）	40	267	1		1
一本木	内照式（低圧水銀ランプ）	10	458	2		2
八景水谷第3	内照式（低圧水銀ランプ）	10	313	1		1
八景水谷第4	内照式（低圧水銀ランプ）	10	313	1		1

(3) 送水施設

施設名	調整池（集水槽）構造・容量 長さ×幅×深さ（単位m）（池数）	容量 m^3	口径 mm mm	全揚程 m	容量 m^3/H	モーター容量 kW	設置数 台	計 台
麻生田	RC15.45×7.5×3.5(2池)	800	300×200	67	702	180	3	3
	RC15.95×11×3.5(1池)	600						
一本木	RC7×9×9.5(2池)	700	200×100	71	300	90	3	3
山室	RC8.7×13×4(1池)	400	200×150	75	156	55	3	3
八景水谷	RC20.2×5.8×5.4(2池)	1,000	200×150	65	256.8	75	4	4
亀井	RC8.9×14×4.5(2池)	1,000	150	66	156	55	3	3
立田山	（加圧）		300	17	750	55	2	2
健軍	RC φ5.2×8.1(1池)	120	400	16	1,080	75	1	3
	RC φ6.0×7(1池)	150	400	16	1,080	75	1	
	RC φ9.0×7(1池)	350	400	16	1,080	75	1	
沼山津	PC φ34×10(2池)	18,000	300×200	72	900	280	4	4
託麻	RC8.8×13×4(2池)	800	150×150	75	186	75	3	3
戸島	RC22×13×3.5(2池)	2,000	250×200	136	372	220	1	5
	SUS22.5×19×4.1(2池)	3,000		147	568	350	4	
池上	RC15×10×3.5(1池)	500	250×200	87	186	75	3	3
	SUS12×12×4.1(1池)	500						
城山	RC8.9×14×4.5(2池)	1,000	200×150	60	230	75	3	3
貢	SUS14×12×3(1池)	500	125×125	87	120	45	3	3
追分	SUS10×5×4.5(1池)	200	125	80	100	37	2	2
白浜	RC2.65×2.65×1.64(1池)	7	125×125	100	21	11	2	2
新浄水場	FRP2.5×3.5×1.5(1池)	8.75	50	134	10.8	11	2	2
木留	RC5.0×4.0×3.0(1池)	60	100×80	100	66	30	2	2
木留配水池			40	185	1.8	4	2	2
合計	（30池）	31,696					52	52

(4)配水施設

ア 配水池施設

施設名	緊急遮断弁	配水池構造・容量				築造年月
		HWL m	池数	長さ × 幅 × 深さ（直径） m m m	容量 m^3	
岩倉山	有	115	3	RC 36 × 24 × 4.6（2室）	7,500	S 47.3
				RC 36 × 24 × 4.6（1池）	3,750	S 54.2
				RC 36 × 24 × 4.6（1池）	3,750	S 63.3
徳王	有	76.36	3	RC 21.9 × 17.4 × 4（2室）	3,000	S 35.3
				RC 39.9 × 30.9 × 3.85（1池）	4,500	S 46.3
				RC 36.4 × 22.9 × 3.85（1池）	3,000	S 53.2
立田山	有	71.36	4	RC 63.6 × 27.2 × 4.7（2室）	7,500	T 13.11
				RC 38.1 × 28.5 × 4.65（1池）	5,000	S 31.11
				RC 37.3 × 29.5 × 4.65（1池）	5,000	S 37.3
				RC 37.3 × 29.5 × 4.65（1池）	5,000	S 38.3
健軍	有	19	2	PC φ 40.8 × 10（2池）	24,000	S 49.5
秋田		15	2	PC φ 50 × 11（2池）	40,000	S 58.5
小山山	有	134.6	1	RC 22.8 × 18.2 × 4.6（2室）	3,500	S 56.3
高遊原	有	158.5	3	RC 57.8 × 28.3 × 3.5（2室）	11,000	H 3.3
				RC 57.8 × 28.3 × 3.5（2室）	11,000	H 12.5
				RC 57.8 × 28.3 × 3.5（2室）	11,000	H 20.3
川尻		10.3	1	PC φ 25 × 8.2（1池）	4,000	S 57.4
万日山		86	1	RC 24.5 × 29.6 × 3.5（2室）	5,000	S 51.1
城山		50	2	RC φ 12.5 × 6（1池）	630	S 38.3
				PC φ 21.4 × 5.6（1池）	2,000	S 46.8
鶴羽田		69.3	1	PC φ 16 × 5.5（1池）	1,050	H 元.5
飛田		84	1	PC φ 20 × 5（1池）	1,570	S 54.3
改寄	有	86.8	1	PC φ 23.4 × 6（2室）	2,500	H 9.9
西梶尾	有	94.2	1	PC φ 18.2 × 5.9（2室）	1,500	H 4.5
和泉	有	139.1	2	PC φ 16.5 × 7.3（1池）	1,560	H 3.1
				SUS φ 28.1 × 7.1（1池）	4,400	H 18.1
白浜	有	56.2	1	SUS 7.6 × 11 × 4（2室）	300	H 20.3
川床	有	134.25	1	SUS 7.5 × 11 × 3.5（2室）	500	H 17.3
南部送水場	有	8.1	1	SUS 25 × 13.5 × 3（2室）	2,000	H 28

RC：鉄筋コンクリートの略

PC：プレストレスト・コンクリートの略（高強度の鋼材を使用し圧縮応力を加えたコンクリート）

SUS：ステンレス鋼の略

配水ポンプ能力				ポンプ台数			配水方式
口径 mm	全揚程 m	容量 m^3／H	モーター容量 kW	設置台数 台	計 台	運用台数 台	
							自然流下式
							自然流下式
							自然流下式
400 × 300	65	1,380	330	6	6	4	ポンプ加圧式
400 × 250	67	1,284	355	5	5	3	ポンプ加圧式
							自然流下式
							自然流下式
200 × 150	57	264	60	4	4	3	ポンプ加圧式
							自然流下式
							自然流下式
80	40	72	15	4	4	3	ポンプ加圧式
125	70	114	37	2	2	1	ポンプ加圧式
125	65	120	37	3	3	2	ポンプ加圧式
100 × 80	38	174	30	2	2	1	ポンプ加圧式
							自然流下式
							自然流下式
							自然流下式
150	60	226.2	75	3	3	2	ポンプ加圧式

ア 配水池施設（つづき）

施設名	緊急遮断弁	配水池構造・容量				容量	築造年月
		HWL m	池数	長さ × 幅 × 深さ（直径） m m m		m^3	
舞原	有	36	1	SUS	8 × 12.5 × 4（2室）	800	H21
赤見		7.15	1	RC	8 × 2.5 × 3（2室）	120	
沈目		13.6	1	RC	9.6 × 3.5 × 2（2室）	135	
本鰐瀬		26	1	SUS	6.5 × 2.5 × 3（2室）	98	
高		10.4	1	SUS	3 × 6.5 × 4.5（2室）	175	H13
碇		8.1	1	SUS	4.5 × 8 × 2.5（2室）	180	H9
一木			1	SUS	22 × 14 × 5.4（2室）	1,400	
山本			1	SUS	22 × 14 × 5.4（2室）	1,306	
大塚			1	RC	6.2 × 4.8 × 3（2室）	171	
西宮原			1	RC	4.65 × 3.85 × 2.8（2室）	100	
木留			1	PC	14.3 × × 5（2室）	800	
山口			1	SUS	5 × 4 × 2.5（1池）	50	
合計	13		43			180,845	

RC：鉄筋コンクリートの略

PC：プレストレスト・コンクリートの略（高強度の鋼材を使用し圧縮応力を加えたコンクリート）

SUS：ステンレス鋼の略

配水ポンプ能力				ポンプ台数			配水方式
口径 mm	全揚程 m	容量 m^3／H	モーター容量 kW	設置台数 台	計 台	運用台数 台	
65	36	117	5.5	5	5	4	ポンプ加圧式
65	60	36	7.5	2	2	1	ポンプ加圧式
50	55	42.6	5.5	2	2	1	ポンプ加圧式
50	44	30	3.7	2	2	1	ポンプ加圧式
50	60	37.8	5.5	2	2	1	ポンプ加圧式
50	53.5	36	5.5	2	2	1	ポンプ加圧式
250	49	114	22	3	3	2	ポンプ加圧式
250	50	108	30	3	3	2	ポンプ加圧式
							自然流下式
							自然流下式 ポンプ加圧式
							自然流下式
							自然流下式
				50	50	32	

イ 加圧配水施設

施設場所				緊急遮断弁	配水池構造・容量			
	箇所	ポンプ場	配水池		池数	長さ × 幅 × 深さ（直径） m m m		容量 m^3
熊本市上水道事業	1	島崎	1号		1	PC	φ 8.0 × 11.5 (1池)	600
			2号	有(1)	1	SUS	φ 9.45 × 11.5 (1池)	800
	2	花岡山	花岡山		1	鋼板製	φ 3.2 × 3.75 (1池)	30
	3	平	平		2	RC	3.9 × 3.9 × 1.6 (2池)	48
	4	梅洞	梅洞		1	RC	3.0 × 2.0 × 1.5 (1池)	9
	5	龍田団地						
	6	岳	野出		1	RC	3.6 × 2.75 × 2.95 (3室)	92
			大多尾		1	RC	5.4 × 4.0 × 3.0 (2室)	128
	7	三ノ岳	三ノ岳		1	RC	3.4 × 2.55 × 2.5 (2室)	43
	8	上松尾第1	第1受水槽		1	RC	5.0 × 5.0 × 3.0 (2室)	150
			第1	有(2)	1	RC	6.3 × 5.0 × 8.5 (2室)	500
	9	上松尾第2	第2(平山)	有(1)	1	RC	11.6 × 11.6 × 3 (2室)	800
	10	大将陣						
	11	城南南	舞原					
	12	植木町北部	植木山本					
	13	西宮原	西宮原					
	14	富応	木留					
	15	旭ヶ丘	本鰐瀬					
小計				4	11	※受水槽の容量は除く		3,050

RC：鉄筋コンクリートの略

PC：プレストレスト・コンクリートの略（高強度の鋼材を使用し圧縮応力を加えたコンクリート）

ウ 配水池貯留能力

（単位：m^3、日）

	配水池有効容量	1日平均配水量	配水池貯留能力
令和2年度	216,425	217,019	1.00
令和元年度	216,425	217,786	0.99
平成30年度	216,425	220,845	0.98
平成29年度	216,671	223,101	0.97
平成28年度	214,960	225,397	0.95
平成27年度	218,097	219,769	0.99

＊ 配水池有効容量とは、配水池（配水塔含む）の有効容量をいう。（緊急貯水槽は含まない。）

＊ 平成27年度までは旧市内のみの配水池総容量（緊急貯水槽含む）

築造年月	加圧配水ポンプ能力				ポンプ台数			配水方式
	口径 mm	全揚程 m	容量 m^3／H	モーター容量 kW	設置台数 台	計 台	運用台数 台	
H 5.6	100	100	60	37	2	2	1	自然流下式
H 22.3								
S 56.3	80	65	15	5.5	2	2	1	自然流下式
S 55.3	40	150	12	11	2	2	1	自然流下式
S 50.3	40	190	2.4	11	2	2	1	自然流下式
	80	47	37	3.7	3	3	2	ポンプ加圧式
H 15.6	65	237	25.8	30	2	2	1	自然流下式
H 18.8	80	210	80	75	1	1		
S 56	40	125	3.7	5.5	2	2	1	自然流下式
H 10.3								
	65	137	42.6	30	3	3	2	自然流下式
H 10.3	65	146	39	30	3	3	2	自然流下式
	80	63	31.2	3.7	3	3	2	ポンプ加圧式
	100	37	76.2	15	2	2	1	ポンプ加圧式
H 15.6	50	42	24	3.7	2	2	1	ポンプ加圧式
	40	25	16.2	2.2	2	2	1	ポンプ加圧式
				3.7	2	2	1	ポンプ加圧式
H 28.1	80	52.3	31.7	3.7	3	3	2	ポンプ加圧式
					36	36	20	

4 管路施設

(1)口径別

排水管(ドレン)を除く。

平成16年度から管路情報システム(マッピング)の数値を使用。(平成15年度までは「資産台帳」の数値。)

ア 導水管布設延長 (単位:m)

口　径	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
75mm 以下	25	9	2,378	2,441	2,441
100mm	4,568	4,590	4,622	3,985	3,953
150mm	7,476	7,652	9,750	10,955	9,665
200mm	5,707	5,333	5,314	5,248	5,181
250mm	3,348	3,360	3,521	3,522	3,522
300mm	6,967	6,647	6,645	6,680	6,680
350mm	1,508	1,499	1,495	1,490	1,490
400mm	3,098	3,112	3,057	3,058	3,058
450mm	740	740	741	741	744
500mm	1,624	1,628	1,627	1,516	1,516
600mm	2,183	2,186	2,186	2,187	2,187
700mm	635	617	618	491	491
800mm	4,527	4,527	4,525	4,524	4,524
900mm	212	212	213	212	212
1,100mm	160	160	160	160	160
1,200mm	42	42	42	42	42
不　明	357	357	697	690	690
総 延 長	43,177	42,671	47,591	47,942	46,556

＊ 取水井から浄水処理前の原水を調整池・集水槽に送る管のこと。

イ 送水管布設延長

口　径	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
75mm 未満	2,232	2,232	2,576	2,585	2,585
75mm	18	18	3,447	3,210	3,210
100mm	1,457	1,457	2,901	2,899	2,899
150mm	5,328	5,328	5,427	5,435	5,435
200mm	5,044	5,047	5,039	5,048	5,048
250mm	4,342	4,342	4,343	4,353	4,353
300mm	2,193	2,193	2,192	2,192	2,192
350mm	241	241	244	254	254
400mm	9,725	9,725	9,843	9,839	9,839
450mm	214	214	214	214	214
500mm	8,880	8,879	8,879	8,861	7,375
600mm	1,884	1,884	1,885	1,889	1,883
700mm	10,065	10,069	10,069	10,162	10,162
800mm	901	901	902	974	769
900mm	124	124	124	124	124
1,000mm	0	0	0	0	0
1,100mm	162	162	161	161	161
1,200mm	53	53	54	53	53
1,500mm	0	0	0	0	0
不　明	67	67	46	37	37
総 延 長	52,930	52,936	58,346	58,290	56,593

＊ 調整池・集水槽から飲用可能な状態に処理された水を配水池に送る管のこと。

ウ 配水管布設延長

口　径	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
75mm 未満	456,908	445,497	441,091	431,706	422,362
75mm	736,453	729,727	721,516	715,700	706,585
80mm	101	111	111	117	117
100mm	989,280	982,599	979,548	977,322	966,379
125mm	452	455	455	457	457
150mm	670,804	670,155	666,413	660,619	660,408
200mm	219,537	219,455	218,150	218,362	218,252
250mm	60,013	60,380	61,608	62,090	63,923
300mm	116,986	114,342	110,965	106,928	103,813
350mm	19,011	19,011	19,401	19,916	19,916
400mm	40,280	40,280	40,269	40,266	40,094
450mm	4,432	4,432	4,432	4,432	4,432
500mm	47,795	46,514	46,271	45,980	45,198
550mm	576	576	576	576	576
600mm	35,549	35,041	34,514	34,057	33,842
675mm	2,575	2,575	2,570	2,572	2,570
700mm	12,173	10,760	10,762	10,180	10,180
800mm	17,038	17,045	17,032	17,041	17,041
900mm	4,460	4,460	4,459	4,461	4,461
1,000mm	284	284	284	284	284
1,100mm	0	0	0	0	0
1,200mm	117	117	117	118	118
1,350mm	6,836	6,836	6,838	6,835	6,835
1,500mm	42	42	42	42	42
不明	12,349	13,377	14,377	15,708	17,840
総 延 長	3,454,051	3,424,071	3,401,801	3,375,769	3,345,725

＊ 配水池以降の水を供給する管のこと。

エ 導･送･配水管布設延長

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
総 延 長	3,550,158	3,519,678	3,507,738	3,482,001	3,448,874

（2）管路に関する指標

ア　新設管路延長

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
新設管路延長	m	30,480	20,969	25,737	24,190	34,614
管路総延長	m	3,550,158	3,519,678	3,507,738	3,482,001	3,448,874
新設管路率	%	0.86	0.60	0.73	0.69	1.00

＊　新設管路率＝新設管路延長/管路総延長

＊　平成26年度までは、マッピングデータ未整備のため城南町を除いた値で算出している。

イ　管路の更新

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
管路更新延長	m	28,553	23,515	25,378	24,137	21,984
前年度管路総延長	m	3,519,678	3,507,738	3,482,001	3,448,874	3,414,260
管路更新率	%	0.81	0.67	0.73	0.70	0.64

＊　管路更新率＝管路更新延長/前年度管路総延長

＊　平成26年度までは、マッピングデータ未整備のため城南町を除いた値で算出している。

（3）送・配水管付属器具設置数

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
仕切弁	個	41,310	40,797	40,402	39,857	39,391
うち排水弁	個	4,019	3,830	3,689	3,530	3,410
空気弁	個	2,762	2,754	2,732	2,718	2,696
公設消火栓	栓	19,596	19,462	19,354	19,248	19,112
減圧弁	台	96	96	96	96	93

＊　平成16年度から管路情報システム（マッピング）の数値を使用。（平成15年度までは「資産台帳」の数値。）

5 その他の施設

(1)水運用センター関連設備

名　称	主な設備
情報処理設備	監視制御系サーバ(デュアル) 1式
	アプリケーションサーバ 1台
	メンテナンスワークステーション 1台
	データメンテ操作PC 1台
	操作端末装置 3台
	情報表示用PC 1台
	ウィルスチェックPC 1台
	プリンタ 2台
	ネットワーク機器 1式
	GW装置(広域イーサネット網) 1式
	GW装置(携帯網) 1式
	液晶大型表示装置 1式 表示端末装置 2台
遠方監視制御設備	広域ネットワーク網系 41箇所
	携帯網系 41箇所
その他の設備	地震計 1式
	簡易テレメータ装置 13箇所

(2)主な水質検査機器

装置名称	メーカー(※)	型式	台数	設置年度
全有機炭素計 (TOC計)	島津製作所	TOC-Vwp	1	H24
液体クロマトグラフ-タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS)	島津製作所	LCMS-8050	1	H26
誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)	アジレントテクノロジー	Agilent 7800 ICP-MS	1	H30
ガスクロマトグラフ質量分析装置(GC-MS)	島津製作所	GCMS-QP2010 Ultra	1	H25
	日本電子	JMS-Q1500GC	1	H28
パージ・トラップガスクロマトグラフ質量分析装置 (PT-GC-MS)	アジレントテクノロジー	Agilent 5975C	1	H21
	O・I・Analytical	Model 4660 Eclipse		
	島津製作所	GCMS-QP2020NX	1	R1
	ジーエルサイエンス	PT7000		
水銀分析装置	日本インスツルメンツ	マーキュリー RA-4500	1	H24
イオンクロマトグラフ	サーモフィッシャー サイエンティフィック	Dionex Integrion	2	R2
イオンクロマトグラフポストカラム分析装置	サーモフィッシャー サイエンティフィック	Dionex Integrion、PCM-520	2	H29
高速液体クロマトグラフ	日本ウォーターズ	Alliance、e2695	1	R2
濁度色度計	日本電色工業	WA6000	1	H28
フーリエ変換赤外分光光度計(FTIR)	ブルカーオプティクス	ALPHA	1	H22
位相差顕微鏡	オリンパス	BH-2	1	S57
実体顕微鏡	ライカマイクロシステムズ	S8 APO	1	H27
落射蛍光顕微鏡	ニコン	Ni-E	1	H27
リアルタイムPCR装置	タカラバイオ	TP700	1	H27
紫外可視分光光度計	島津製作所	UV-1800	1	H25

※メーカーの名称は購入当時のもの。

(3)地下水観測井(53本)

	管理記号	観測井名		設置場所	地盤	深m	口径mm	観測開始
1	O－ 1	健軍水源地	B	東区水源1丁目1－1	9.9	40	200	S 51．11． 1
2	O－ 2	上の原公園	B	東区健軍本町35	17.7	37	200	S 51． 2． 1
3	O－ 3	上山下公園	B	東区健軍3丁目19－22	21.7	43	200 ～ 150	S 51．11． 1
4	O－ 4	東消防署	A	東区東町4丁目6－17	26.1	24	200	S 52． 2． 1
5	O－ 5	東消防署	B	東区東町4丁目6－17	26.1	41	200	S 52． 2． 1
6	O－ 6	動物園	B	東区健軍5丁目14－2	6.2	46	100 ～ 50	S 59．11． 1
7	O－ 7	東部浄化センター	A	東区秋津町秋田536	7.4	12	100	S 59．11． 1
8	O－ 8	東部浄化センター	B	東区秋津町秋田536	7.5	66	200 ～ 50	S 59．11． 1
9	O－ 9	画図小学校	B	東区下江津8丁目1-6	5.1	52	200 ～ 75	S 53． 4． 1
10	O－ 10	嘉島三郎無田	B	上益城郡嘉島町下六嘉字無田1083	4.7	150	200 ～ 100	S 52． 7． 1
11	O－ 11	嘉島井寺	C	上益城郡嘉島町下六嘉字牧3120	7.7	122	200 ～ 100	S 52． 7． 1
12	O－ 12	秋田第9水源地	C	東区秋津町秋田42	5.1	206	300 ～ 100	S 62． 2． 1
13	O－ 13	秋田配水場	A	東区秋津町秋田2786	5.2	25	100	S 59． 4． 1
14	O－ 14	秋田配水場	B	東区秋津町秋田2786	5.1	70	100 ～ 50	S 59． 4． 1
15	O－ 15	秋田配水場	C	東区秋津町秋田2786	5.1	201	400 ～ 200	S 60． 6． 1
16	O－ 16	沼山津配水場	A	東区秋津町沼山津2910	6.1	31	100	S 55． 4． 1
17	O－ 17	沼山津配水場	C	東区秋津町沼山津2910	6.1	202	100 ～ 32	S 55． 4． 1
18	O－ 18	若葉小学校	A	東区若葉4丁目23－1	11.0	40	200 ～ 80	S 55．11． 1
19	O－ 19	若葉小学校	C	東区若葉4丁目23－1	11.4	195	200 ～ 80	S 56． 1． 1
20	O－ 20	秋津小学校	A	東区秋津3丁目9－20	8.4	36	200 ～ 80	S 55．11． 1
21	O－ 21	秋津小学校	C	東区秋津3丁目9－20	9.0	145	200 ～ 80	S 55．12． 1
22	O－ 22	桜木小学校	C	東区花立2丁目23－1	19.8	197	200 ～ 80	S 55．11． 1
23	O－ 23	西原中学校	C	東区保田窪4丁目9－1	40.0	124	300 ～ 150	S 53． 4． 1
24	O－ 24	戸島送水場	B	東区戸島町2636	42.7	110	150 ～ 80	S 60． 9． 1
25	O－ 25	戸島下桟敷尾	B	東区戸島町2082－1	50.0	120	200 ～ 100	S 54． 6． 1
26	O－ 27	一本木送水場	a	北区飛田4丁目2－15	18.8	17	125	S 60． 4． 1
27	O－ 28	八景水谷公園	a	北区八景水谷1丁目11	16.4	17	125	S 60． 4． 1
28	O－ 29	八景水谷公園	b	北区八景水谷1丁目11	16.3	131	200 ～ 65	S 60． 4． 1
29	O－ 30	城北小学校	a	北区清水新地1丁目4－1	40.4	33	125	S 60． 9． 1
30	O－ 31	亀井送水場	a	北区清水亀井町1	15.7	17	100	S 62． 3． 1
31	O－ 32	亀井送水場	b	北区清水亀井町1	15.7	98	200 ～ 100	S 62． 3． 1
32	O－ 33	池上送水場	a	西区池上町900－1	4.9	10	200	S 57． 9． 1
33	O－ 34	池上送水場	b	西区池上町900－1	4.8	55	125	S 60．10． 1
34	O－ 35	池上第2水源地	a	西区池上町1192－1	4.5	12	200	S 57． 9． 1
35	O－ 36	池上第2水源地	b	西区池上町1192－1	4.6	126	500 ～ 150	S 53． 4． 1
36	O－ 37	城山送水場	a	西区上代10丁目6－31	5	18	100	S 59．11． 1
37	O－ 38	城山送水場	b	西区上代10丁目6－31	5	150	200 ～ 100	S 55． 5． 1
38	O－ 39	川尻配水場	a	南区元三町1丁目1－78	4	10	100	S 59．11． 1
39	O－ 40	川尻配水場	b	南区元三町1丁目1－78	3.8	127	250 ～ 80	S 61． 1． 1
40	O－ 41	麻生田送水場	b	北区麻生田5丁目26－1	66.7	131	200 ～ 100	S 63． 4． 1
41	O－ 42	清水亀井町	a	北区清水亀井町43	14.7	26	150	S 63． 4． 1
42	O－ 43	田迎南小学校	b	南区田井島3丁目12－1	5.7	90	100	H 3． 4． 1
43	O－ 44	健軍水源地	A	東区水源1丁目1－1	10.0	29	100	H 2． 4． 1
44	O－ 45	城山第4水源地	b	西区上代6丁目6－37	5.3	126	200 ～ 80	H 3． 4． 1
45	O－ 46	託麻中原	b	東区小山町1756－2	81.8	131	200 ～ 50	H 元． 2． 1
46	O－ 47	改寄配水場	b	北区改寄町1281	81.0	171	250 ～ 100	H 4． 9． 1
47	O－ 49	改寄町小清水	b	北区改寄町小清水9	42.2	149	250 ～ 100	H 5． 4． 1
48	O－ 50	下硯川町鹿次郎	b	北区下硯川鹿次郎703－5	37.5	151	250 ～ 100	H 5． 4． 1
49	O－ 51	和泉町赤水	a	北区和泉町赤水井川尻481	25.6	11	150	H 6． 4． 1
50	O－ 52	和泉町赤水	b	北区和泉町赤水井川尻481	25.6	150	250 ～ 100	H 6． 4． 1
51	O－ 53	麻生田第3水源地	b	北区楡木6丁目4	63.6	100	250 ～ 150	H 8． 5． 1
52	U－ 2	託麻第2水源地	b	東区小山3丁目5	60.3	82	250	S 53． 4． 1
53	U－ 6	西梶尾水源地	b	北区西梶尾町436－3	88.0	100	200	H 5． 4． 1

柱状図有り…管理記号O
柱状図無し…管理記号U

砥川溶岩の分布地域内
A…砥川溶岩の上層
B…砥川溶岩層
C…砥川溶岩の下層

砥川溶岩の分布しない地域
a…浅層
b…深層

6 水道施設位置図

取水施設

- 1 麻生田水源地
- 2 一本木水源地
- 3 山室水源地
- 4 八景水谷水源地
- 5 亀井水源地
- 6 健軍水源地
- 7 秋田水源地
- 8 庄口水源地
- 9 沼山津水源地
- 10 託麻水源地
- 11 川尻水源地
- 12 池上水源地
- 13 城山水源地
- 14 鶴羽田水源地
- 15 飛田水源地
- 16 改寄水源地
- 17 西梶尾水源地
- 18 貢水源地 (休止)
- 19 追分水源地
- 20 白浜水源地

【富合地区】

- 21 南部水源地
- 22 富合東部水源地 (休止)
- 23 新水源地

【城南地区】

- 24 舞原水源地
- 25 赤見水源地
- 26 沈目水源地
- 27 本鰐瀬水源地
- 28 高水源地
- 29 碇水源地

【植木地区】

- 30 一木第1水源地
- 31 一木第2水源地
- 32 一木第3水源地
- 33 山本第1水源地
- 34 山本第2水源地
- 35 大塚第2水源地
- 36 西宮原水源地
- 37 木留第1水源地
- 38 木留第2水源地

配水施設

- 1 岩倉山配水池
- 2 徳王配水池
- 3 立田山配水池
- 4 健軍配水場
- 5 秋田配水場
- 6 小山山配水池
- 7 高遊原配水池
- 8 川尻配水場
- 9 万日山配水池
- 10 城山配水池
- 11 鶴羽田配水場
- 12 飛田配水場
- 13 改寄配水場
- 14 西梶尾配水場
- 15 和泉配水池
- 16 白浜配水池
- 17 川床配水池

【富合地区】

- 18 南部送水場

【城南地区】

- 19 舞原配水場

【植木地区】

- 20 一木配水場
- 21 山本配水場
- 22 大塚配水池
- 23 木留配水池
- 24 山口配水池

送水施設

- 1 戸島送水場
- 2 沼山津送水場

【植木地区】

- 3 木留送水場

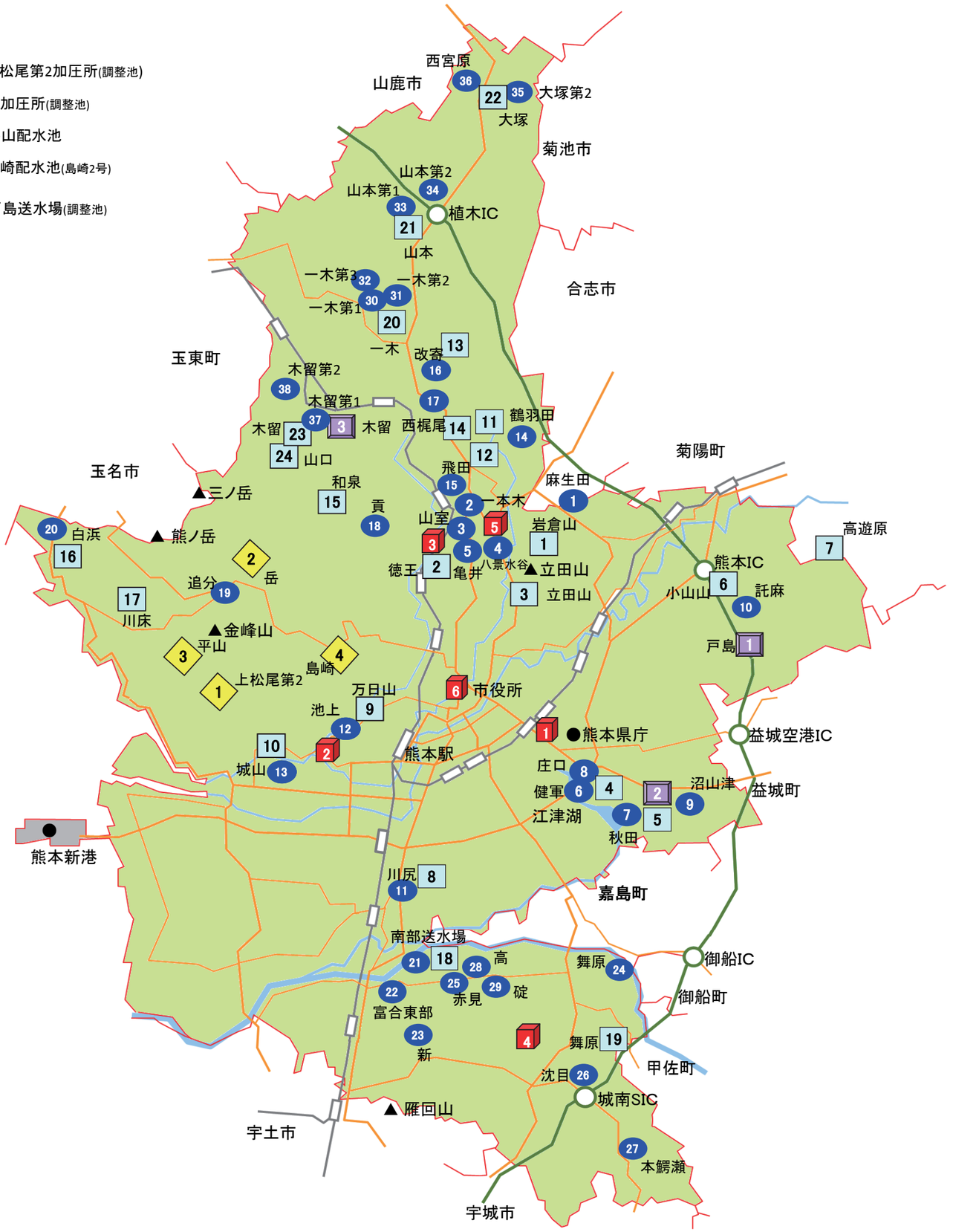
災害対策用貯水施設

- 2 一本木水源地(調整池)
- 4 八景水谷水源地(調整池)
- 11 川尻水源地(配水池)
- 12 池上水源地(調整池)
- 13 城山水源地(調整池)
- 18 貢水源地(調整池)
- 1 岩倉山配水池
- 2 徳王配水池
- 3 立田山配水池
- 4 健軍配水場(配水池)
- 6 小山山配水池
- 7 高遊原配水池
- 13 改寄配水場(配水池)
- 14 西梶尾配水場(配水池)
- 15 和泉配水池
- 16 白浜配水池
- 17 川床配水池
- 18 南部送水場(配水池)
- 19 舞原配水場(配水池)

営業所など

- 1 熊本市上下水道局
- 2 西部上下水道センター
- 3 北部上下水道センター
- 4 南部上下水道センター
- 5 水の科学館
- 6 上下水道料金納入所

- 1 上松尾第2加圧所(調整池)
- 2 岳加圧所(調整池)
- 3 平山配水池
- 4 島崎配水池(島崎2号)
- 1 戸島送水場(調整池)



（令和3年3月31日現在）

7　配水系統図

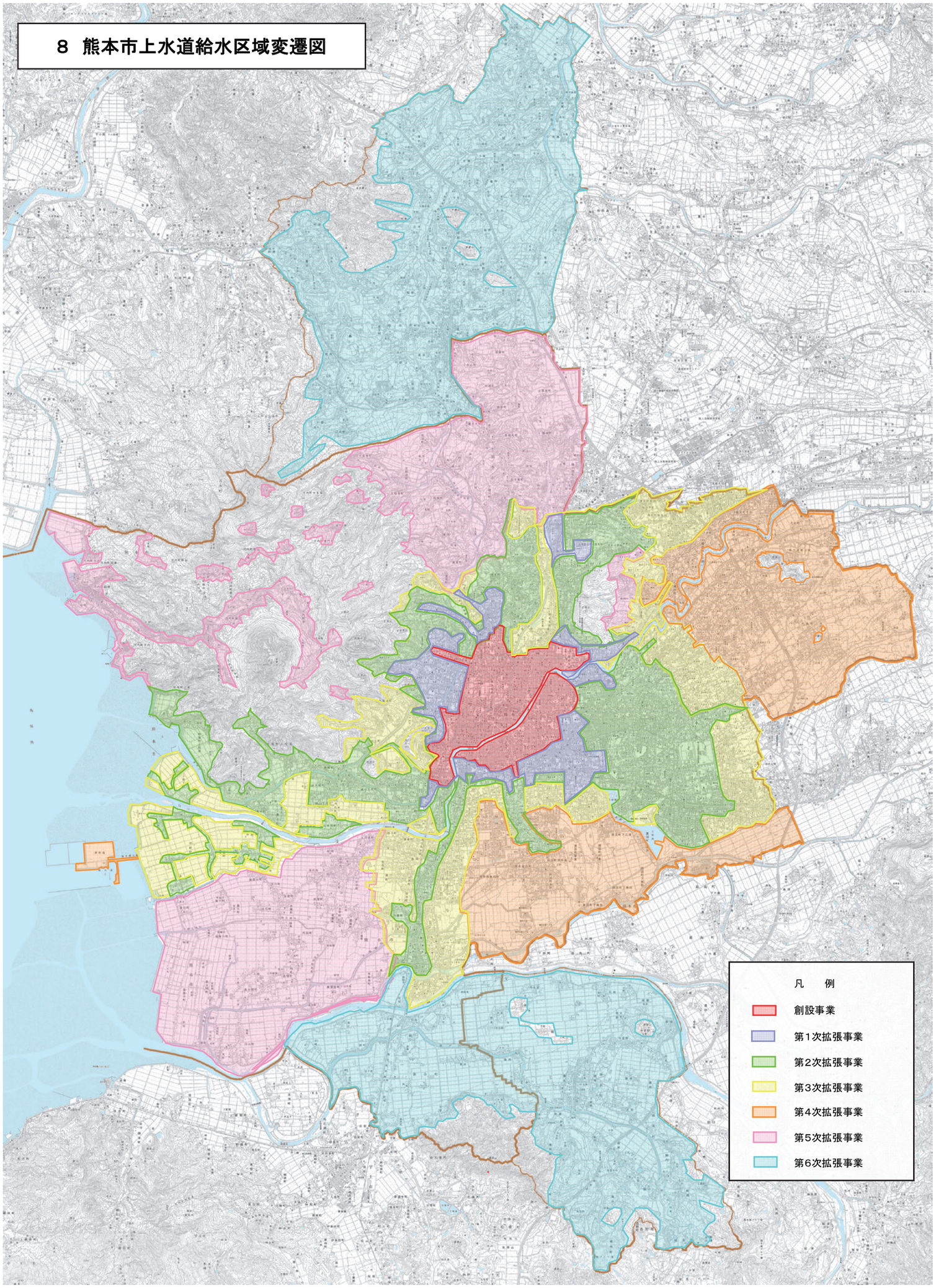

水源地
送水施設
配水施設等
配水場名　池数　配水方式　配水池容量(m3)
配水区・系（配水地域）
麻生田深 8 本 31,500
麻生田
岩倉山 3 池 自然流下 15,000
岩倉山
麻生田、兎谷1･2丁目、大窪、楠、黒髪４丁目、清水（亀井町、新地、東町、本町、万石）、清水岩倉1丁目、下硯川1丁目、高平1･3丁目、龍田2･4～9丁目、龍田陳内3丁目、徳王、榆木、八景水谷、飛田町、飛田3丁目の一部、飛田4丁目、室園町、山室、四方寄町の一部
一本木 浅1本 深2本 10,200
山室 深2本 3,400
一本木
山室
徳王 3 池 自然流下 10,500
徳王
池田2･3丁目、大窪1丁目、津浦町、徳王1丁目、徳王町、稗田町、山室1丁目、池亀町、池田、上熊本3丁目、京町1丁目、島崎2～6丁目、谷尾崎町、出町、花園、京町2丁目、京町本町、京町本丁、千葉城町、二の丸、古京町、本丸、宮内
武蔵ヶ丘
島崎 (2) 池 自然流下 （ 1,400）
島崎
島崎7丁目、島崎3･5丁目の一部、谷尾崎町の一部
鶴羽田深 1 本 900
飛田深 1 本 1,000
鶴羽田 1 池 ポンプ加圧 1,050
飛田 1 池 ポンプ加圧 1,570
鶴羽田
飛田
梶尾町の一部、鶴羽田町、鶴羽田1～5丁目、飛田3丁目の一部
四方寄町の一部、鶴羽田町の一部、飛田1･2･4丁目、飛田3丁目の一部、大窪2丁目の一部、下硯川町の一部
改寄深 2 本 2,400
西梶尾深 2 本 1,600
改寄 1 池 ポンプ加圧 2,500
西梶尾 1 池 ポンプ加圧 1,500
改寄
西梶尾
改寄町、小糸山町、大鳥居町、明徳町、楠野町、鹿子木町、梶尾町の一部、鶴羽田町の一部、植木町（有泉、石川、植木、古閑、舞尾）
鹿子木町の一部、大鳥居町の一部、北追町の一部、硯川町の一部、四方寄町の一部、西梶尾町
貢 0
（貢休止中）
貢
和泉 2 池 自然流下 5,960
和泉
池田2･3丁目一部、和泉町、釜尾町、北迫町、島崎6丁目一部、下硯川町、下硯川1･2丁目一部、硯川町、太郎迫町、徳王町一部、徳王1丁目一部、花園4～7丁目の一部、万楽寺町、貢町、四方寄町一部、立福寺町一部
八景水谷 浅2本 深2本 18,100
亀井 浅1本 深3本 7,300
八景水谷
亀井
立田山 4 池 自然流下 22,500
立田山
山室3・4丁目、打越町、清水町打越、清水（亀井、本町、松崎、室園）、高平1～3丁目、津浦町、八景水谷1丁目、稗田町、室園町、安政町、板屋町、内坪井町、上通町、上林町の一部、辛島町、京町、黒髪1～4丁目、黒髪町坪井、子飼本町、小沢町、古城町、壺川、紺屋今町、上鍛冶屋町、細工町2～4丁目、桜町、島崎1丁目、下通、城東町、新市街、水道町、新町、船場町2・3丁目、船場下1丁目、段山本町、千葉城町、中央街、坪井、手取本町、西子飼町、二の丸、花畑町、古京町、本丸、南坪井町、宮内、妙体寺町、薬園町、山崎町、横手、練兵町、上熊本1・2丁目、島崎3丁目、津浦町、花園1丁目
渡鹿
健軍深 11 本 66,600
庄口深 8 本 44,300
秋田深 8 本 29,700
健軍 2 池 ポンプ加圧 24,000
秋田 2 池 ポンプ加圧 40,000
健軍
秋田
会富町、秋津、荒尾町、荒尾1・2丁目、安政町一部、世安町、井川淵町、出水、出仲間、今町、魚屋町、海路口町、薄場、内田町、江越、画図町、江津、画図東、榎町一部、大江、岡田町、沖新町、奥古閑町、小島（上、下）、小島3･6･7丁目一部、尾ノ上、帯山、鍛冶屋町、春日1～4丁目、上鍛冶屋町、上京塚町、上水前寺、上代2～10丁目、上通町一部、上ノ郷、上林町一部、刈草、川口町、河原町、川渕町、北千反畑町、京塚本町、九品寺、神水、慶徳堀町、健軍、幸田、紺屋町、紺屋阿弥陀寺町、紺屋今町一部、子飼本町一部、国府、湖東、琴平、呉服町、米屋町、琴平本町、護藤町、細工町、栄町、桜木、佐土原、三郎、島町、下江津、十禅寺、城山半田2丁目一部、昭和町、白石町、新大江、新鍛冶屋町、新港、新市街一部、新生、新土河原、新南部、新外、新屋敷、水源、水前寺、水道町一部、菅原町、砂原町、銭塘町、田井島、田崎1丁目、田崎本町、田迎、近見、中央街一部、月出、通町、土河原町、渡鹿、中島町、中唐人町、並建町、西阿弥陀寺町、錦ヶ丘、西子飼町一部、西唐人町、西原2・3丁目、二本木、日吉1丁目一部、沼山津、野口、野中、萩原町、白山、畠口町、八王子町、八反田、花立、浜口町、春竹町春竹、東阿弥陀寺町、東京塚町、東子飼町、東野、東本町、東町、平田、広木町、古桶屋町、古川町、古大工町、平成、保田窪本町、保田窪1・2丁目、本荘、孫代町、松原町、馬渡、南熊本、南千反畑町、南高江町、南高江3～5・7丁目、南坪井町一部、南町、御幸笛田、御幸木部、御幸西、妙体寺町一部、迎町、無田口町、元三町、元三町5丁目、本山、八島2丁目一部、山ノ内1～3丁目、山ノ神、良町、弥生町一部、横紺屋町、万町、流通団地、蓮台寺、若葉
味噌天神
白川中前
江津線
沼山津深 9 本 47,100
沼山津
沼山津
桜木
戸島 高遊原 3 池 自然流下 33,000
託麻深 3 本 6,700
託麻
小山山 1 池 自然流下 3,500
高遊原
小山山
石原、兎谷3丁目、帯山4･6～9丁目、小峯、小山、鹿帰瀬町一部、上南部、黒髪3～8丁目、神園、御領、佐土原3丁目一部、清水岩倉2･3丁目一部、下南部、新南部、龍田1～3･5～9丁目、龍田陳内、龍田町弓削、龍田弓削、戸島、石原、兎谷3丁目、帯山4･6～9丁目、小峯、小山、鹿帰瀬町一部、上南部、黒髪3～8丁目、神園、御領、佐土原3丁目一部、清水岩倉2･3丁目一部、下南部、新南部、龍田1～3･5～9丁目、龍田陳内、龍田町弓削、龍田弓削、戸島、戸島西1･4･5丁目、渡瀬3･8･9丁目一部、中江町、中原町、長嶺西、長嶺東、長嶺南3･4･6～8丁目一部、西原、八反田、平山町一部、保田窪1～5丁目、武蔵ヶ丘、山ノ内1･2･3丁目一部、山ノ内4丁目、弓削町、吉原町
龍田団地 ポンプ加圧（ブースター式）
龍田団地
龍田陣内3丁目の一部、龍田2丁目
野越
川尻深 2 本 9,300
川尻 1 池 ポンプ加圧 4,000
川尻
荒尾2･3丁目、薄場町、刈草1･2丁目、川尻、島町4･5丁目、白藤、近見町、近見7丁目、鳶町、富合町御船手、富合町杉島（緑川以北）、中無田町、野田1～3丁目、日吉、美登里町、南高江1～6丁目、元三町1～4丁目、八幡
平 (2) 池 自然流下 （ 48）
平
池上町平
池上深 3 本 6,800
池上
万日山 1 池 自然流下 5,000
万日山
池上町、春日4～8丁目、上代1・2丁目、合志、島崎3丁目、田崎町、田崎2･3丁目、谷尾崎町、戸坂町、八島町、八島1･2丁目、横手2～4丁目
花岡山 (1) 池 自然流下 （ 30）
花岡山
横手2･3･4丁目の一部、春日4･6丁目の一部、
梅洞 (1) 池 自然流下 （ 9）
梅洞
西松尾町（梅洞）
城山深 4 本 5,400
城山
城山 2 池 自然流下 2,630
城山
池上町の一部、小島1～9丁目、上代、上高橋1･2丁目、上松尾町、城山大塘、城山上代町、城山下代、城山半田、城山薬師、高橋町、中松尾町、西松尾町、松尾1･2丁目、松尾町近津
上松尾第１ (2) 池 自然流下 （ 500）
上松尾
上松尾町
上松尾第２ (1) 池 自然流下 （ 800）
平山
河内町（平山、岳の一部、面木、野出の一部）、上松尾町
追分深 1 本 1,400
追分
岳
野出 (1) 池 自然流下 （ 92 ）
大多尾 (1) 池 自然流下 （ 128 ）
野出
大多尾
河内町（船津の一部、野出、白浜の一部）
河内町（大多尾、東門寺）、貢町の一部、谷尾崎町の一部
三ノ岳 (1) 池 自然流下 （ 43 ）
大将陣 ポンプ加圧（ブースター式）
川床 1 池 自然流下 500
三ノ岳
大将陣
川床
河内町大多尾の一部
河内町岳
河内町（河内、船津の一部）
白浜深 1 本 200
白浜
白浜 1 池 自然流下 300
白浜
河内町（白浜、船津の一部）
南部水源地深 1 本 1,000
南部送水場 1 池 ポンプ加圧 2,000
南部
富合町全域、城南町（阿高の一部、今吉野の一部、隈庄の一部、下宮地、坂野の一部、島田、千町、永、丹生宮、宮地の一部、六田）
富合東部 (0)
（熊本地震で被災し休止中）
新深 1 本 249
富合町木原雁回公園のみ
高深 1 本 1,400
高 1 池 ポンプ加圧 175
高
城南町高
碇深 1 本 2,200
碇 1 池 ポンプ加圧 180
碇
城南町碇
赤見深 1 本 1,270
赤見 1 池 ポンプ加圧 120
赤見
城南町赤見
舞原深 1 本 1,400
舞原 1 池 ポンプ加圧 800
舞原
城南町（阿高、出水、さんさん1･2丁目、塚原、藤山、永、舞原、今吉野、隈庄、宮地、築地、東阿高）
城南部 ポンプ加圧（ブースター式）
城南南部
城南町藤山
沈目深 1 本 600
沈目 1 池 ポンプ加圧 135
沈目
城南町沈目
本鍔瀬深 1 本 58
本鍔瀬 1 池 ポンプ加圧 98
本鍔瀬
城南町鍔瀬
旭ヶ丘 ポンプ加圧（ブースター式）
旭ヶ丘
城南町鍔瀬の一部
一木第１深 1 本 760
一木第２深 1 本 860
一木第３深 1 本 2,520
一木 1 池 ポンプ加圧 1,400
一木
植木町（植木、大井、鞍掛、味取、岩野、小野、広住、一木、投刀塚の一部）、小糸山町の一部、改寄町の一部
山本第１深 1 本 1,200
山本第２深 1 本 1,700
山本 1 池 ポンプ加圧 1,306
山本
植木町（色出、清水、内、山本、豊田の一部、亀甲、今藤、米塚、伊知坊、舟島、平井）
植木町北部 ポンプ加圧（ブースター式）
清水
植木町清水の一部
大塚第２深 1 本 310
大塚 1 池 自然流下 171
大塚
植木町（宮原の一部、正清、田底）
西宮原深 1 本 132
西宮原 1 池 自然流下 100
西宮原 ポンプ加圧（配水池内に水中ポンプを設置）
西宮原
西宮原加圧
植木町宮原の一部
木留第１深 1 本 700
木留第２深 1 本 720
木留
木留 1 池 自然流下 800
山口 1 池 自然流下 50
富応 ポンプ加圧
木留
山口
富応
植木町（木留、円台寺、平野、辺田野、鐙田、荻迫の一部、大和、投刀塚、滴水、後古閑、轟の一部、那智の一部、上古閑、鈴麦、豊岡、平原）
植木町（木留の一部、辺田野の一部）
植木町富応の一部
貢 深 1 本 (1,400) (休止中)
沼山津 6 深 1 本 (3,500) (休止中)
託麻 5 深 1 本 (1,000) (休止中)
富合東部 深 1 本 (365) (休止中)
地震後
大和第１深 1 本 (740) (運用廃止)
大和第３深 1 本 (465) (運用廃止)
富合南部深 1 本 (378) (運用廃止)
湯上・山下深 1 本 (81) (運用廃止)
工業団地への利用考え中。取壊不可
下園深 1 本 (68) (運用廃止)
旭ヶ丘深 1 本 (40) (運用廃止)
工業団地への利用考え中。取壊不可
大塚第１深 1 本 (380) (運用廃止)
託麻 2 深 1 本 (1,500) (休止中)
才木深 1 本 (500) (休止中)
六田深 1 本 (200) (休止中)
榎津深 1 本 (326) (運用廃止)
天明(運用廃止) (1) 池 ポンプ加圧 （ 1,300）
下菌(運用廃止) 1 池 自然流下 （ 13）
湯上･山下(運用廃止) 池 自然流下 （ 0）
才木(運用廃止) 池 ポンプ加圧 （ ）
富合南部(運用廃止) 1 池 ポンプ加圧 （ 238 ）
富合西(運用廃止) 1 池 ポンプ加圧 （ 38 ）
榎津(運用廃止) 1 池 ポンプ加圧 （ 48 ）
新(運用廃止) 1 池 ポンプ加圧 （ 153 ）
吉野(運用廃止) 1 池 ポンプ加圧 （ 9 ）
：路上局
（Ｒ３年３月３１日現在）
公称施設能力 317,244 m3/日
稼働施設 310,979 m3/日
休止施設 6,265 m3/日
運用廃止施設 4,678 m3/日
水源地 38 箇所
井戸本数 98 本
休止中（4本）含む
配水施設 30 箇所 43 池 180,845 m3
加圧配水施設 15 箇所 11 池 3,050 m3
合計 45 箇所 54 池 183,895 m3
※各施設計に（運用廃止）は含まない。

熊本市配水系統図

令和3年3月31日現在

1/25,000

8　熊本市上水道給水区域変遷図



Ⅳ　水道の維持管理（取水・配水・漏水防止など）

1 水源地別年間取水量

（単位：㎥）

	水源地名	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1	麻生田	9,068,947	8,844,793	9,174,093	8,157,011	8,090,703
2	一本木	1,461,747	1,028,739	403,779	1,629,587	2,088,645
3	山室	700,950	708,529	714,998	757,694	746,936
4	八景水谷	5,182,178	5,668,172	5,739,743	5,799,140	5,785,711
5	亀井	2,137,978	2,212,533	2,209,333	2,261,137	2,083,459
6	健軍	19,745,664	21,084,340	24,021,459	22,944,895	23,568,054
7	秋田	8,090,965	9,115,471	9,427,075	8,177,509	9,132,748
8	庄口	11,537,998	9,332,862	8,365,886	9,938,281	8,990,455
9	沼山津	10,917,454	11,401,486	9,434,131	11,315,030	11,327,638
10	託麻	2,502,002	1,497,485	2,124,643	1,622,228	1,796,925
11	川尻	2,555,828	2,391,213	2,449,852	2,374,950	2,499,295
12	池上	669,015	1,137,865	1,196,753	1,127,242	989,476
13	城山	459,202	397,040	460,610	474,271	587,816
14	鶴羽田	83,590	259,000	161,865	240,785	316,264
15	飛田	183,827	183,662	233,605	234,827	224,286
16	改寄	576,058	566,629	558,555	578,681	524,200
17	西梶尾	348,453	350,411	351,724	324,133	358,586
18	貢（休止中）	0	0	0	0	0
19	追分	440,982	436,961	463,752	439,176	413,942
20	白浜	79,107	74,431	69,248	76,772	84,651
21	富合	348,966	348,041	350,287	160,729	527,690
22	城南	723,497	692,858	705,412	790,277	688,645
23	植木	1,636,470	1,639,272	1,636,673	1,550,764	1,487,308
合計(A)		79,450,878	79,371,793	80,253,476	80,975,119	79,609,790
有効水量(B)		73,294,928	72,048,628	72,795,163	73,484,740	72,200,094
原水有効利用率 (B)/(A)		92.3	90.8	90.7	90.7	90.7

平成27年度までは富合町、植木町、城南町を除く

2 系統別配水量

	岩倉山配水区	徳王配水区	立田山配水区	健軍･秋田配水区	高遊原･小山山配水区	川尻配水区
令和2年度	4,950,633	4,234,322	7,241,953	31,738,350	16,034,323	2,808,213
令和元年度	5,283,138	4,268,840	7,592,124	32,048,670	15,873,536	2,740,600
平成30年度	5,333,906	4,149,850	7,755,588	32,296,039	16,089,162	2,629,706
平成29年度	5,447,261	4,205,624	7,868,066	31,928,714	17,245,325	2,770,790
平成28年度	5,638,609	4,233,460	8,046,742	32,364,859	17,523,056	2,772,554
平成27年度	5,383,969	3,915,839	8,012,414	31,402,179	17,347,685	2,655,184
令和2年 4月	414,864	337,550	568,946	2,611,445	1,309,672	228,246
5月	426,793	351,357	589,222	2,688,866	1,347,231	234,639
6月	406,818	347,184	594,693	2,639,354	1,302,588	229,086
7月	410,775	359,723	615,556	2,702,668	1,349,076	233,765
8月	431,579	374,288	618,953	2,757,675	1,387,731	239,125
9月	399,051	359,609	599,788	2,604,485	1,319,524	225,985
10月	411,018	369,986	619,630	2,721,847	1,365,158	238,896
11月	397,780	347,231	592,870	2,626,412	1,311,375	231,200
12月	422,460	358,147	619,779	2,757,098	1,386,859	244,541
令和3年 1月	426,898	361,187	584,428	2,715,054	1,382,149	242,732
2月	384,949	323,182	611,881	2,303,914	1,227,604	219,654
3月	417,648	344,878	626,207	2,609,532	1,345,356	240,344

3 配水量の分析(年度別)

	項目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1	配水量 (m^3)	79,211,773	79,709,537	80,608,326
2	1日最大配水量 (m^3)	9/6 240,750	12/31 231,954	7/19 238,413
3	1日平均配水量 (m^3)	217,019	217,786	220,845
4	1日最小配水量 (m^3)	9/7 188,765	1/1 190,338	1/1 187,020
5	有効水量 (m^3)	73,294,924	72,048,628	72,795,163
6	有収水量 (m^3)	71,005,900	70,161,394	70,702,534
7	無収有効水量 (m^3)	2,289,024	1,887,234	2,092,629
8	洗管用	333,399	33,648	43,543
9	局業務用	148,982	151,125	138,231
10	消防用	1,929	3,059	4,954
11	メーター不感水量	1,415,866	1,409,035	1,562,999
12	調定減額水量	388,848	290,367	342,901
13	無収無効水量 (m^3)	5,916,849	7,660,909	7,813,163
14	有効率 (%)	92.53	90.39	90.31
15	無効率 (%)	7.47	9.61	9.69
16	有収率 (%)	89.64	88.02	87.71
17	配水量に対する無収有効水量の割合 (%)	2.89	2.37	2.60

万日山配水区	城山配水区	北部配水区	河内配水区	天明配水区	富合町	城南町	植木町	総配水量
1,835,032	2,049,774	3,967,426	722,467	0	1,307,747	707,353	1,614,180	79,211,773
1,941,169	1,921,828	3,737,333	730,684	0	1,293,290	668,230	1,610,095	79,709,537
1,972,393	2,022,775	3,932,683	803,868	0	1,309,839	715,281	1,597,236	80,608,326
1,995,633	2,030,249	3,922,848	744,464	0	1,037,886	743,881	1,491,174	81,431,915
2,054,101	2,038,093	3,734,059	753,534	0	947,936	694,631	1,468,209	82,269,843
2,022,080	1,881,192	3,518,285	856,857	0	1,052,327	605,055	1,782,249	80,435,315
145,245	167,611	322,937	58,169	0	105,229	54,967	123,068	6,447,949
153,102	171,255	328,768	59,248	0	105,196	57,237	136,056	6,648,970
153,181	162,700	320,141	58,056	0	101,602	56,306	134,815	6,506,524
159,081	169,942	332,652	61,511	0	104,885	58,525	139,190	6,697,349
163,993	173,633	341,080	63,258	0	111,811	64,237	146,968	6,874,331
157,389	164,909	321,360	57,223	0	107,670	60,303	137,966	6,515,262
152,387	175,366	331,101	58,605	0	110,930	60,230	140,688	6,755,842
146,722	171,466	324,471	57,284	0	108,441	57,653	134,689	6,507,594
157,665	181,690	353,470	61,652	0	118,448	61,686	139,935	6,863,430
152,698	179,354	356,290	65,919	0	116,428	61,639	136,916	6,781,692
139,357	158,304	303,491	58,703	0	104,000	54,673	117,849	6,007,561
154,212	173,544	331,665	62,839	0	113,107	59,897	126,040	6,605,269

平成29年度	平成28年度
81,431,915	82,269,843
7/13 237,021	4/15 280,014
223,101	225,397
1/1 191,250	4/16 41,654
73,484,740	72,200,094
71,278,764	66,743,778
2,205,976	5,456,316
55,217	201,536
148,254	165,839
1,979	2,487
1,577,437	1,614,949
423,089	3,471,505
7,947,175	10,069,749
90.24	87.76
9.76	12.24
87.53	81.13
2.71	6.63

4 電力使用状況

(1)水源地別電力使用量

年度･月次		麻生田水源地	一本木水源地	八景水谷水源地	亀井水源地	健軍水源地
令和2年度		5,968,399	1,597,524	2,212,324	996,873	6,171,096
令和元年度		5,942,703	1,492,513	2,488,203	1,053,921	5,913,929
平成30年度		6,066,246	1,397,672	2,481,390	1,027,470	6,906,553
平成29年度		5,384,566	2,076,077	2,550,942	1,049,508	6,355,650
平成28年度		5,307,603	2,159,345	2,550,804	990,678	7,108,584
令和2年	4月	435,648	142,280	192,845	85,682	489,571
	5月	479,920	150,505	202,753	89,005	503,500
	6月	475,781	142,697	200,387	87,526	498,748
	7月	513,958	132,615	198,452	91,564	494,721
	8月	539,064	140,349	202,565	90,914	536,040
	9月	500,746	136,450	167,976	86,753	524,264
	10月	508,848	134,463	175,107	89,521	546,378
	11月	494,717	124,134	176,186	84,997	494,527
	12月	523,562	126,252	186,818	78,667	545,609
令和3年	1月	541,151	130,162	180,065	73,336	518,016
	2月	453,547	116,129	160,098	66,038	508,683
	3月	501,457	121,488	169,072	72,870	511,039
一日平均	令和2年度	16,352	4,377	6,061	2,731	16,907
	令和元年度	16,237	4,078	6,798	2,880	16,158
	平成30年度	16,620	3,829	6,798	2,815	18,922
	平成29年度	14,752	5,688	6,989	2,875	17,413
	平成28年度	14,541	5,916	6,989	2,714	19,476

年度･月次		秋田配水場	水運用センター	路上局	全加圧配水ポンプ所分	北部地区
令和2年度		3,619,003	15,674	3,674	7,712,638	2,315,587
令和元年度		3,810,093	15,426	3,435	8,066,804	2,319,731
平成30年度		3,958,383	15,275	3,497	7,681,943	2,372,027
平成29年度		3,648,281	15,226	3,511	8,391,795	2,333,682
平成28年度		3,132,314	15,490	3,754	8,476,325	2,271,014
令和2年	4月	320,550	1,273	280	662,673	203,152
	5月	340,375	1,317	279	642,959	205,511
	6月	283,531	1,274	277	625,585	196,975
	7月	328,797	1,397	297	665,941	194,983
	8月	327,268	1,232	318	672,700	205,737
	9月	314,591	1,284	294	631,930	184,427
	10月	329,642	1,380	293	651,704	189,682
	11月	277,940	1,266	290	626,541	182,650
	12月	362,502	1,478	328	655,103	188,904
令和3年	1月	234,209	1,217	398	657,491	192,474
	2月	252,909	1,215	313	584,723	182,002
	3月	246,689	1,341	307	635,288	189,090
一日平均	令和2年度	9,915	43	10	21,131	6,344
	令和元年度	10,410	42	9	22,040	6,338
	平成30年度	10,845	42	10	21,046	6,499
	平成29年度	9,995	42	10	22,991	6,394
	平成28年度	8,582	42	10	23,223	6,222

（単位：kWh）

庄口水源地	沼山津水源地	託麻水源地	川尻水源地	池上水源地	城山水源地
2,044,550	3,862,320	2,243,810	1,029,810	816,811	621,137
1,689,955	4,221,120	1,491,112	969,927	1,001,472	597,115
1,559,610	2,895,150	2,108,967	1,013,425	1,040,922	636,383
1,798,350	3,932,360	1,648,312	948,671	1,053,927	629,488
1,530,336	4,516,300	1,680,519	969,325	1,089,162	669,021
144,305	335,600	130,897	84,272	62,503	50,795
165,734	289,710	194,658	88,788	68,182	51,986
178,796	350,510	189,754	84,065	68,061	50,584
186,885	330,790	195,382	85,763	70,561	52,217
176,080	357,400	203,290	93,341	75,703	56,793
180,410	304,850	195,577	81,428	70,180	51,565
168,592	296,470	200,210	86,218	66,851	51,438
170,493	326,980	174,885	87,159	64,180	49,270
159,335	264,880	195,048	84,663	69,346	52,695
190,962	376,100	196,288	91,746	70,824	56,342
143,465	284,570	174,846	77,017	62,377	47,301
179,493	344,460	192,975	85,350	68,043	50,151
5,602	10,582	6,147	2,821	2,238	1,702
4,617	11,533	4,074	2,650	2,736	1,631
4,273	7,932	5,778	2,777	2,852	1,744
4,927	10,774	4,516	2,599	2,887	1,725
4,193	12,373	4,604	2,656	2,984	1,833

河内地区	天明地区	富合町	城南町	植木町	合　計
861,289	0	465,863	478,872	1,452,136	44,489,390
852,209	0	460,404	456,533	1,414,992	44,261,597
839,522	0	482,843	501,468	1,387,403	44,376,149
814,560	0	219,001	530,073	1,314,899	44,698,879
813,984	0	467,974	462,504	1,297,307	45,512,343
68,949	0	34,442	40,018	119,265	3,605,000
72,014	0	38,635	37,504	122,145	3,745,480
70,701	0	40,860	37,570	118,808	3,702,490
72,238	0	42,545	42,855	129,136	3,831,097
74,661	0	45,919	42,575	127,151	3,969,100
69,607	0	42,548	39,824	126,064	3,710,768
70,138	0	41,205	41,001	126,695	3,775,836
68,012	0	35,948	38,223	120,915	3,599,313
73,054	0	37,423	44,266	127,475	3,777,408
77,803	0	36,850	35,998	122,688	3,784,120
68,912	0	33,004	37,686	103,463	3,358,298
75,200	0	36,484	41,352	108,331	3,630,480
2,360	0	1,276	1,312	3,978	121,889
2,328	0	1,258	1,247	3,866	120,933
2,300	0	1,323	1,374	3,801	121,578
2,232	0	600	1,452	3,602	122,463
2,230	0	1,282	1,267	3,554	124,691

(2)水源地別電力料金

年度･月次		麻生田水源地	一本木水源地	八景水谷水源地	亀井水源地	健軍水源地
令和2年度		96,905,631	28,079,576	36,330,173	15,795,948	93,337,726
令和元年度		101,365,367	27,742,696	41,004,630	17,372,118	93,602,864
平成30年度		102,903,161	27,053,157	41,051,537	17,244,945	104,103,197
平成29年度		86,165,042	33,287,206	38,847,642	16,183,857	90,011,062
平成28年度		79,337,658	31,576,821	35,428,242	13,991,752	100,386,141
令和2年	4月	7,388,003	2,479,364	3,187,957	1,375,993	7,593,626
	5月	7,972,674	2,565,580	3,269,217	1,399,935	7,691,366
	6月	7,976,752	2,490,100	3,271,285	1,396,488	7,762,548
	7月	8,770,882	2,439,763	3,343,078	1,479,237	7,932,522
	8月	9,088,545	2,529,526	3,362,001	1,460,590	8,329,965
	9月	8,435,107	2,453,424	2,897,635	1,393,098	8,289,454
	10月	8,058,575	2,318,728	2,876,806	1,369,669	8,059,496
	11月	7,715,876	2,165,346	2,842,226	1,295,557	7,403,328
	12月	8,066,863	2,179,291	2,951,514	1,219,550	7,840,275
令和3年	1月	8,302,909	2,225,386	2,868,196	1,151,840	7,495,478
	2月	7,212,468	2,072,175	2,660,427	1,081,232	7,420,880
	3月	7,916,977	2,160,893	2,799,831	1,172,759	7,518,788
一日平均	令和2年度	265,495	76,930	99,535	43,277	255,720
	令和元年度	276,955	75,800	112,035	47,465	255,746
	平成30年度	281,926	74,118	112,470	47,246	285,214
	平成29年度	236,069	91,198	106,432	44,339	246,606
	平成28年度	217,363	86,512	97,064	38,334	275,031

年度･月次		秋田配水場	水運用センター	路上局	全加圧配水ポンプ所分	北部地区
令和2年度		64,348,961	300,004	482,196	125,394,766	40,457,993
令和元年度		68,474,644	327,889	483,446	134,967,196	41,769,673
平成30年度		70,944,691	323,980	485,177	129,733,781	43,013,783
平成29年度		60,957,217	324,583	459,070	128,381,497	39,082,099
平成28年度		57,776,553	304,373	408,697	121,730,669	35,385,148
令和2年	4月	5,676,191	28,555	39,837	10,861,895	3,559,000
	5月	5,555,796	28,558	39,785	10,602,557	3,577,536
	6月	5,279,290	24,340	39,970	10,462,956	3,484,594
	7月	5,958,792	27,061	39,998	11,247,209	3,585,557
	8月	5,956,253	22,745	40,123	11,320,432	3,709,333
	9月	5,655,106	24,811	39,601	10,692,649	3,354,895
	10月	5,569,426	27,298	40,147	10,512,886	3,279,250
	11月	4,977,428	24,766	39,723	9,995,276	3,138,141
	12月	5,806,424	25,234	40,752	10,212,766	3,149,032
令和3年	1月	4,469,961	20,532	41,818	10,130,838	3,202,811
	2月	4,695,954	21,664	40,150	9,350,730	3,137,170
	3月	4,748,340	24,440	40,292	10,004,572	3,280,674
一日平均	令和2年度	176,299	822	1,321	343,547	110,844
	令和元年度	187,602	898	1,325	369,773	114,437
	平成30年度	194,369	888	1,329	355,435	117,846
	平成29年度	167,006	889	1,258	351,730	107,074
	平成28年度	158,292	834	1,120	333,509	96,946

（単位：円）

庄口水源地	沼山津水源地	託麻水源地	川尻水源地	池上水源地	城山水源地
25,032,351	57,674,547	35,149,393	20,997,973	15,696,515	11,187,855
23,001,347	63,769,762	27,256,198	19,037,120	18,956,457	11,159,819
21,340,033	49,265,412	34,883,063	18,871,350	19,542,162	11,836,925
22,059,552	56,060,016	26,752,499	16,834,216	18,443,419	11,016,686
17,569,241	55,385,401	25,098,500	15,860,964	17,361,018	10,685,767
1,920,800	5,054,647	2,316,060	2,422,843	1,274,199	940,176
2,129,738	4,536,955	3,046,979	1,778,896	1,333,652	943,696
2,235,579	5,228,147	3,022,183	1,693,901	1,350,290	931,331
2,372,508	5,118,405	3,168,374	1,794,444	1,416,373	970,606
2,236,446	5,394,975	3,242,084	1,945,364	1,490,722	1,039,523
2,250,778	4,777,325	3,108,486	1,727,481	1,377,923	955,265
2,037,286	4,508,806	3,040,596	1,694,066	1,282,419	919,036
2,011,515	4,732,066	2,705,439	1,671,962	1,210,905	865,960
1,881,720	4,083,973	2,914,402	1,557,155	1,263,326	909,985
2,162,065	5,119,735	2,917,573	1,674,595	1,283,916	966,565
1,710,255	4,244,701	2,711,864	1,454,123	1,161,654	850,866
2,083,661	4,874,812	2,955,353	1,583,143	1,251,136	894,846
68,582	158,012	96,300	57,529	43,004	30,652
62,845	174,234	74,470	52,014	51,794	30,491
58,466	134,974	95,570	51,702	53,540	32,430
60,437	153,589	73,295	46,121	50,530	30,183
48,135	151,741	68,763	43,455	47,564	29,276

河内地区	天明地区	富合町	城南町	植木町	合　計
15,611,244	0	8,704,207	10,441,908	27,831,733	729,760,700
16,106,127	0	9,247,147	10,393,471	27,975,655	754,013,626
15,735,545	0	9,313,823	11,412,172	27,559,153	756,617,047
14,385,802	0	5,533,416	11,441,582	25,346,212	701,572,675
13,358,639	0	9,696,172	9,324,374	23,264,398	673,930,528
1,292,867	0	712,997	879,867	2,305,459	61,310,336
1,322,644	0	755,336	834,536	2,347,628	61,733,064
1,324,597	0	801,014	857,373	2,314,262	61,947,000
1,373,699	0	835,049	997,743	2,605,700	65,477,000
1,398,139	0	883,203	987,586	2,584,384	67,021,939
1,304,510	0	792,823	899,177	2,523,720	62,953,268
1,257,459	0	745,340	866,588	2,387,144	60,851,021
1,217,508	0	634,857	811,206	2,235,194	57,694,279
1,265,752	0	653,747	897,717	2,322,023	59,241,501
1,319,483	0	640,301	759,459	2,238,172	58,991,633
1,221,713	0	596,887	791,150	1,937,018	54,373,081
1,312,873	0	652,653	859,506	2,031,029	58,166,578
42,771	0	23,847	28,608	76,251	1,999,344
44,126	0	25,335	28,475	76,646	2,060,147
43,111	0	25,517	31,266	75,505	2,072,923
39,413	0	15,160	31,347	69,442	1,922,117
36,599	0	26,565	25,546	63,738	1,846,385

5　水質検査結果（令和２年度 熊本市上水道事業給水栓水年間平均値）

	検査項目	採水地点 ＼ 水質基準	1	2	3	4
			鹿帰瀬公民館	武蔵ヶ丘西公園	島崎一丁目公園	島崎二丁目公園
	水温	℃	19.6	19.5	20.2	20.2
水質基準項目	一般細菌	100 個 ／ mL 以下	0	0	0	0
	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
	カドミウム及びその化合物	0.003 mg ／ L 以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	水銀及びその化合物	0.0005 mg ／ L 以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
	セレン及びその化合物	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	鉛及びその化合物	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ヒ素及びその化合物	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	0.001	<0.001	0.001
	六価クロム化合物	0.02 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	亜硝酸態窒素	0.04 mg ／ L 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg ／ L 以下	4.95	2.28	4.04	3.39
	フッ素及びその化合物	0.8 mg ／ L 以下	0.12	0.18	0.20	0.28
	ホウ素及びその化合物	1.0 mg ／ L 以下	0.04	0.06	0.15	0.17
	四塩化炭素	0.002 mg ／ L 以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,4-ジオキサン	0.05 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジクロロメタン	0.02 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	トリクロロエチレン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ベンゼン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	塩素酸	0.6 mg ／ L 以下	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
	クロロ酢酸	0.02 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	クロロホルム	0.06 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ジクロロ酢酸	0.03 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジブロモクロロメタン	0.1 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	臭素酸	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	総トリハロメタン	0.1 mg ／ L 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	トリクロロ酢酸	0.03 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ブロモジクロロメタン	0.03 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ブロモホルム	0.09 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ホルムアルデヒド	0.08 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	亜鉛及びその化合物	1.0 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	鉄及びその化合物	0.3 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	銅及びその化合物	1.0 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	ナトリウム及びその化合物	200 mg ／ L 以下	12.9	13.0	19.2	23.5
	マンガン及びその化合物	0.05 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	塩化物イオン	200 mg ／ L 以下	9.8	8.8	14.1	18.7
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg ／ L 以下	91	83	74	67
	蒸発残留物	500 mg ／ L 以下	204	192	195	199
	陰イオン界面活性剤	0.2 mg ／ L 以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	ジェオスミン	0.01 μg／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	2-メチルイソボルネオール	0.01 μg／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	非イオン界面活性剤	0.02 mg ／ L 以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	フェノール類	0.005 mg ／ L 以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3 mg ／ L 以下	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3
	pH 値	5.8以上8.6以下	7.1	7.3	7.3	7.5
	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	色度	5 度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	濁度	2 度以下	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
	残留塩素	0.1 mg ／ L 以上	0.2	0.2	0.2	0.2

「＜」は未満であることを示す。

5	6	7	8	9	10	11	12
白藤下田公園	近津公民館	沖西公園	熊本市 上下水道局	笛田中央公園	楠北公園	西梶尾公園	葉山 自由ヶ丘公園
20.7	20.5	19.5	20.2	19.7	19.7	18.6	19.2
0	0	0	0	0	0	0	0
不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
0.002	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
1.72	2.55	2.41	3.51	3.24	4.74	4.59	4.49
0.19	0.20	0.12	0.15	0.16	<0.05	<0.05	<0.05
0.07	0.09	0.04	0.04	0.05	0.06	<0.02	<0.02
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	0.08	<0.06
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
<0.01	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
23.8	21.4	11.4	12.6	12.9	13.3	14.3	14.6
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
12.1	13.8	7.8	9.5	9.6	8.6	11.1	10.6
66	77	71	84	85	79	65	67
202	207	172	191	195	189	199	211
<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3
7.5	7.4	7.3	7.1	7.1	7.4	7.1	7.0
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

	検査項目	採水地点 / 水質基準	13	14	15	16
			明徳体育館	鶴羽田公園	小川内公園	白浜公民館
	水温	℃	19.6	19.7	20.5	18.7
水質基準項目	一般細菌	100 個 ／ mL 以下	0	0	0	0
	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
	カドミウム及びその化合物	0.003 mg ／ L 以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	水銀及びその化合物	0.0005 mg ／ L 以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
	セレン及びその化合物	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	鉛及びその化合物	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ヒ素及びその化合物	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	六価クロム化合物	0.02 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	亜硝酸態窒素	0.04 mg ／ L 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg ／ L 以下	4.92	4.88	2.91	2.29
	フッ素及びその化合物	0.8 mg ／ L 以下	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	ホウ素及びその化合物	1.0 mg ／ L 以下	<0.02	0.07	<0.02	<0.02
	四塩化炭素	0.002 mg ／ L 以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,4-ジオキサン	0.05 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジクロロメタン	0.02 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	トリクロロエチレン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ベンゼン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	塩素酸	0.6 mg ／ L 以下	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
	クロロ酢酸	0.02 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	クロロホルム	0.06 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ジクロロ酢酸	0.03 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジブロモクロロメタン	0.1 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	臭素酸	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	総トリハロメタン	0.1 mg ／ L 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	トリクロロ酢酸	0.03 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ブロモジクロロメタン	0.03 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ブロモホルム	0.09 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ホルムアルデヒド	0.08 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	亜鉛及びその化合物	1.0 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	鉄及びその化合物	0.3 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	銅及びその化合物	1.0 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	ナトリウム及びその化合物	200 mg ／ L 以下	11.2	15.5	7.0	7.2
	マンガン及びその化合物	0.05 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	塩化物イオン	200 mg ／ L 以下	8.3	11.4	5.2	5.4
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg ／ L 以下	64	78	55	45
	蒸発残留物	500 mg ／ L 以下	182	195	130	117
	陰イオン界面活性剤	0.2 mg ／ L 以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	ジェオスミン	0.01 μg／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	2-メチルイソボルネオール	0.01 μg／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	非イオン界面活性剤	0.02 mg ／ L 以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	フェノール類	0.005 mg ／ L 以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3 mg ／ L 以下	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3
	pH 値	5.8以上8.6以下	7.5	7.4	7.8	7.9
	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	色度	5 度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	濁度	2 度以下	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
	残留塩素	0.1 mg ／ L 以上	0.2	0.2	0.2	0.2

「<」は未満であることを示す。

17	18	19	20	21	22	23	24
芳野コミュニティセンター	銭塘校区ふれあい広場	南田尻公民館	雁回公園	赤見公民館	杉上地域コミュニティセンター	碇公民館	尾窪南公民館
18.1	19.8	20.1	17.7	21.1	19.8	22.0	21.3
0	0	0	0	0	0	0	0
不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
0.002	<0.001	0.001	0.002	0.001	0.004	0.002	0.002
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
2.73	3.18	2.46	0.34	2.35	2.34	0.42	2.13
0.12	0.17	0.16	0.10	0.16	0.20	0.18	<0.05
0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.07	0.07	0.02
<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.01	<0.01	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
0.01	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
15.3	13.0	13.9	32.3	14.2	31.4	43.6	18.3
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
10.1	9.5	14.1	39.4	14.8	9.8	17.6	10.5
67	86	91	68	92	48	25	109
173	200	204	175	204	193	180	196
<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3
7.8	7.2	7.2	8.0	7.3	7.7	7.9	7.8
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

	検査項目	採水地点 / 水質基準	25	26	27	28
			沈目公民館	鰐瀬公民館	味取公民館	芦原公民館
	水温	℃	20.9	21.3	19.3	21.3
水質基準項目	一般細菌	100 個 ／ mL 以下	0	0	0	0
	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
	カドミウム及びその化合物	0.003 mg ／ L 以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	水銀及びその化合物	0.0005 mg ／ L 以下	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
	セレン及びその化合物	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	鉛及びその化合物	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ヒ素及びその化合物	0.01 mg ／ L 以下	0.002	0.004	0.001	0.003
	六価クロム化合物	0.02 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	亜硝酸態窒素	0.04 mg ／ L 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg ／ L 以下	0.17	0.63	5.81	4.46
	フッ素及びその化合物	0.8 mg ／ L 以下	0.27	0.27	<0.05	<0.05
	ホウ素及びその化合物	1.0 mg ／ L 以下	0.11	0.12	<0.02	<0.02
	四塩化炭素	0.002 mg ／ L 以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,4-ジオキサン	0.05 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジクロロメタン	0.02 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	テトラクロロエチレン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	トリクロロエチレン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ベンゼン	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	塩素酸	0.6 mg ／ L 以下	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
	クロロ酢酸	0.02 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	クロロホルム	0.06 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ジクロロ酢酸	0.03 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ジブロモクロロメタン	0.1 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	臭素酸	0.01 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	総トリハロメタン	0.1 mg ／ L 以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	トリクロロ酢酸	0.03 mg ／ L 以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ブロモジクロロメタン	0.03 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ブロモホルム	0.09 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	ホルムアルデヒド	0.08 mg ／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	亜鉛及びその化合物	1.0 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	0.02
	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	鉄及びその化合物	0.3 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	銅及びその化合物	1.0 mg ／ L 以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	ナトリウム及びその化合物	200 mg ／ L 以下	32.9	36.3	12.6	13.6
	マンガン及びその化合物	0.05 mg ／ L 以下	<0.001	0.002	<0.001	<0.001
	塩化物イオン	200 mg ／ L 以下	27.0	4.3	9.8	7.3
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg ／ L 以下	52	45	58	80
	蒸発残留物	500 mg ／ L 以下	167	148	190	208
	陰イオン界面活性剤	0.2 mg ／ L 以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	ジェオスミン	0.01 μg／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	2-メチルイソボルネオール	0.01 μg／ L 以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	非イオン界面活性剤	0.02 mg ／ L 以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	フェノール類	0.005 mg ／ L 以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3 mg ／ L 以下	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3
	pH 値	5.8以上8.6以下	8.2	8.3	7.1	7.0
	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	色度	5 度以下	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	濁度	2 度以下	<0.10	<0.10	<0.10	<0.10
	残留塩素	0.1 mg ／ L 以上	0.3	0.2	0.2	0.2

「<」は未満であることを示す。

29	30	31
西宮原公民館	合志川河川公園	田原坂公園
18.7	20.6	19.5
0	0	0
不検出	不検出	不検出
<0.0003	<0.0003	<0.0003
<0.00005	<0.00005	<0.00005
<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001
0.003	0.006	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002
<0.004	<0.004	<0.004
<0.001	<0.001	<0.001
3.23	<0.10	0.74
<0.05	0.26	<0.05
<0.02	0.04	<0.02
<0.0002	<0.0002	<0.0002
<0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001
<0.06	0.09	<0.06
<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001
<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	0.002	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001
<0.004	<0.004	<0.004
<0.002	<0.002	<0.002
<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	0.002	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001
<0.01	<0.01	<0.01
<0.01	<0.01	<0.01
0.02	<0.01	<0.01
<0.01	<0.01	<0.01
11.6	18.5	6.6
<0.001	<0.001	<0.001
5.0	4.3	3.7
45	53	43
163	126	104
<0.02	<0.02	<0.02
<0.001	<0.001	<0.001
<0.001	<0.001	<0.001
<0.005	<0.005	<0.005
<0.0005	<0.0005	<0.0005
<0.3	<0.3	<0.3
7.3	8.3	8.2
異常なし	異常なし	異常なし
異常なし	異常なし	異常なし
<0.5	<0.5	<0.5
<0.10	<0.10	<0.10
0.2	0.2	0.2

6 水質基準適合率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
水質基準適合率	%	100	100	100	100	100
	基準適合回数	372	369	387	408	385
	検査回数	372	369	387	408	385

※ 水質基準に関する省令に規定する水質基準51項目の基準の適合状況。
※ 毎月定期的に給水栓で水質検査を実施。

（参考）令和2年度給水栓水水質検査地点位置図



※地点番号は、「5 水質検査結果」の採水地点番号と対応しています。

7 口径別調定状況

年度・月次	13㎜			20㎜		
	延戸数	水量	金額(税込)	延戸数	水量	金額(税込)
令和2年度	2,569,614	39,495,543	5,999,932,091	1,042,722	16,072,619	2,800,522,307
令和元年度	2,531,226	37,795,115	5,665,151,688	1,028,020	15,468,242	2,675,902,336
平成30年度	2,496,088	37,830,955	5,635,932,657	1,016,123	15,504,030	2,659,761,860
平成29年度	2,472,130	37,977,169	5,660,476,638	1,007,382	15,573,465	2,667,975,337
平成28年度	2,465,402	35,661,997	5,220,112,498	984,334	14,241,762	2,403,895,878
令和2年 4月	199,790	2,877,384	437,237,465	96,952	1,433,945	248,427,260
5月	226,268	3,699,106	562,257,009	76,428	1,223,418	213,870,999
6月	200,062	3,034,439	461,369,511	96,774	1,500,028	258,035,855
7月	226,992	3,526,873	534,247,685	76,550	1,175,951	207,290,293
8月	200,594	2,955,797	449,608,715	96,882	1,467,997	254,020,376
9月	227,324	3,700,491	562,464,487	76,688	1,225,463	215,139,722
10月	201,026	2,965,046	450,961,832	97,016	1,463,925	253,637,297
11月	227,752	3,543,040	537,051,630	76,824	1,183,560	209,062,250
12月	201,262	2,972,132	452,363,106	97,118	1,476,252	255,419,346
令和3年 1月	228,106	3,633,327	551,423,066	76,970	1,214,808	213,912,460
2月	201,706	3,091,025	471,249,798	97,222	1,531,997	263,933,238
3月	228,732	3,496,883	529,697,787	77,298	1,175,275	207,773,211

年度・月次	50㎜			75㎜		
	延戸数	水量	金額(税込)	延戸数	水量	金額(税込)
令和2年度	113,406	3,668,353	918,150,277	71,778	2,473,733	618,646,229
令和元年度	113,664	3,950,473	1,000,677,532	72,092	2,734,337	695,230,193
平成30年度	111,232	4,013,902	1,014,137,850	73,585	2,888,895	735,327,306
平成29年度	108,370	3,948,998	991,839,946	72,650	2,911,968	742,453,656
平成28年度	108,308	3,716,184	937,414,172	70,866	2,780,737	716,249,054
令和2年 4月	11,750	315,281	72,984,434	7,376	190,423	41,964,514
5月	7,072	269,253	72,390,546	4,578	153,135	40,294,349
6月	11,750	305,594	69,043,680	7,378	189,123	41,088,324
7月	7,148	287,994	78,782,999	4,582	183,665	49,860,281
8月	11,750	327,872	76,239,275	7,378	244,771	58,562,522
9月	7,142	309,088	84,786,586	4,582	203,064	55,573,553
10月	11,748	315,674	72,521,388	7,378	241,802	57,498,497
11月	7,152	303,808	83,319,003	4,580	202,326	55,548,330
12月	11,748	324,227	75,054,188	7,378	236,046	55,796,941
令和3年 1月	7,146	299,606	81,457,041	4,582	201,833	55,213,810
2月	11,748	325,494	74,081,342	7,422	230,632	53,046,472
3月	7,252	284,462	77,489,795	4,564	196,913	54,198,636

年度・月次	浴場営業用			一時用		
	延戸数	水量	金額(税込)	延戸数	水量	金額(税込)
令和2年度	48	12,680	733,443	13,611	134,292	77,494,856
令和元年度	53	10,718	673,565	17,514	212,665	120,914,185
平成30年度	60	10,188	640,721	20,061	214,474	121,606,758
平成29年度	60	11,257	682,243	18,469	243,799	138,234,033
平成28年度	60	11,662	690,431	11,848	144,736	82,057,699
令和2年 4月	6	1,730	100,446	1,171	9,640	5,565,729
5月	2	321	12,710	1,237	12,203	7,047,033
6月	6	1,868	108,915	1,189	12,632	7,294,792
7月	2	349	14,404	1,210	10,807	6,240,865
8月	6	1,873	109,157	1,075	10,990	6,346,538
9月	2	427	19,123	1,201	14,339	8,280,583
10月	6	1,869	109,096	1,021	6,685	3,860,412
11月	2	197	11,440	1,279	15,751	9,096,003
12月	6	1,942	113,513	1,023	9,097	5,253,357
令和3年 1月	2	93	11,440	1,120	12,422	7,173,519
2月	6	1,921	111,759	1,006	10,901	6,285,754
3月	2	90	11,440	1,079	8,825	5,050,271

（単位：戸(件)、m^3、円）

25㎜			40㎜		
延戸数	水量	金額(税込)	延戸数	水量	金額(税込)
197,014	3,811,496	792,300,919	135,384	4,315,424	1,128,504,589
196,463	4,101,444	847,404,638	135,230	4,671,098	1,217,666,171
196,134	4,256,542	869,832,522	135,413	4,742,196	1,224,020,752
195,662	4,399,416	894,210,871	134,666	4,840,380	1,243,170,174
195,322	4,219,415	861,255,965	133,550	4,663,574	1,204,114,355
18,330	317,299	65,280,272	12,984	349,824	87,250,042
14,454	308,808	64,988,108	9,556	343,191	93,275,580
18,480	311,587	63,026,678	13,014	338,671	83,218,717
14,468	312,775	66,403,913	9,544	362,995	99,976,812
18,472	321,615	65,782,436	13,008	363,656	91,213,818
14,434	323,545	68,389,374	9,548	374,617	102,614,454
18,398	324,615	66,850,579	13,012	361,517	90,753,807
14,486	318,393	67,453,845	9,562	389,488	106,522,887
18,392	326,655	66,903,848	12,966	350,277	87,687,424
14,444	319,383	67,530,098	9,606	367,934	100,154,090
18,286	329,048	66,876,857	12,974	364,313	90,486,816
14,370	297,773	62,814,911	9,610	348,941	95,350,142

100㎜			150㎜		
延戸数	水量	金額(税込)	延戸数	水量	金額(税込)
13,222	784,384	222,834,551	96	237,376	80,418,426
13,272	924,328	265,434,374	89	292,974	96,481,128
13,273	991,932	285,959,404	84	249,420	82,177,471
13,236	1,091,869	318,231,244	92	280,443	92,133,113
13,612	1,036,131	304,610,231	96	267,580	87,691,895
1,168	57,351	15,762,555	8	17,191	5,903,920
1,036	56,425	16,116,735	8	18,653	6,321,018
1,168	54,878	14,870,891	8	17,598	6,030,332
1,036	70,605	20,600,140	8	18,716	6,335,604
1,168	62,983	17,540,632	8	24,285	8,148,800
1,036	89,275	26,499,013	8	26,621	8,853,449
1,168	62,495	17,365,595	8	23,874	8,022,696
1,036	76,190	22,354,249	8	17,562	5,967,478
1,168	59,285	16,246,528	8	24,711	8,287,488
1,036	74,080	21,641,354	8	15,308	5,264,666
1,168	59,485	16,200,852	8	18,203	6,216,738
1,034	61,332	17,636,007	8	14,654	5,066,237

合計		
延戸数	水量	金額(税込)
4,156,895	71,005,900	12,639,537,688
4,107,623	70,161,394	12,585,535,810
4,062,053	70,702,534	12,629,397,301
4,022,717	71,278,764	12,749,407,255
3,983,398	66,743,778	11,818,092,178
349,535	5,570,068	980,476,637
340,639	6,084,513	1,076,574,087
349,829	5,766,418	1,004,087,695
341,540	5,950,730	1,069,752,996
350,341	5,781,839	1,027,572,269
341,965	6,266,930	1,132,620,344
350,781	5,767,502	1,021,581,199
342,681	6,050,315	1,096,387,115
351,069	5,780,624	1,023,125,739
343,020	6,138,794	1,103,781,544
351,546	5,963,019	1,048,489,626
343,949	5,885,148	1,055,088,437

8 用途別調定状況

年度・月次	生活用			官公署用		
	延戸数	水量	金額(税込)	延件数	水量	金額(税込)
令和2年度	3,852,002	59,302,416	9,403,641,032	27,078	874,888	292,470,638
令和元年度	3,804,901	56,748,000	8,896,206,930	27,245	983,767	318,897,402
平成30年度	3,764,423	56,947,102	8,864,004,732	27,132	1,053,777	338,313,088
平成29年度	3,731,296	57,269,273	8,908,700,012	27,152	1,037,227	333,248,432
平成28年度	3,704,444	53,105,001	8,124,025,067	27,242	1,027,513	325,271,418
令和2年 4月	325,028	4,743,311	755,464,702	1,542	70,530	23,278,556
5月	314,476	5,113,271	806,696,738	2,982	64,803	22,435,178
6月	325,256	5,006,702	795,039,485	1,544	67,960	22,583,034
7月	315,348	4,863,570	767,848,999	2,976	64,666	22,309,700
8月	325,854	4,860,613	774,107,209	1,544	87,179	28,421,417
9月	315,692	5,097,994	805,950,552	2,962	81,101	27,104,447
10月	326,306	4,868,890	775,926,271	1,542	97,193	31,641,979
11月	316,280	4,909,305	777,399,482	2,966	60,620	20,823,311
12月	326,490	4,873,173	775,004,783	1,540	81,520	26,539,775
令和3年 1月	316,696	5,026,396	794,356,778	2,966	64,734	22,025,004
2月	326,924	5,090,113	809,461,709	1,540	73,292	24,162,653
3月	317,652	4,849,078	766,384,324	2,974	61,290	21,145,584

年度・月次	営業用			工場用		
	延件数	水量	金額(税込)	延件数	水量	金額(税込)
令和2年度	155,664	5,195,235	1,310,503,789	7,586	476,826	130,002,824
令和元年度	154,889	6,341,503	1,627,778,341	7,639	489,122	131,474,789
平成30年度	152,813	6,359,712	1,622,355,242	7,681	510,600	135,563,223
平成29年度	147,036	6,554,697	1,687,052,119	7,808	526,992	139,120,619
平成28年度	136,126	6,195,211	1,560,668,040	7,950	560,614	147,477,679
令和2年 4月	11,738	339,248	81,446,718	562	23,083	5,970,370
5月	14,152	476,218	122,700,596	710	60,163	16,858,948
6月	11,800	303,648	73,946,960	562	20,623	5,299,271
7月	14,142	522,110	134,560,104	710	59,749	16,754,529
8月	11,750	344,903	83,571,447	560	22,341	5,733,965
9月	14,214	565,903	148,381,412	704	57,579	15,996,244
10月	11,716	343,288	81,790,177	560	21,863	5,526,051
11月	14,312	564,559	148,051,796	704	57,476	16,011,191
12月	11,780	350,274	83,640,448	554	23,532	6,063,109
令和3年 1月	14,174	559,505	145,838,848	706	54,972	15,263,807
2月	11,772	340,853	81,879,756	556	21,365	5,457,159
3月	14,114	484,726	124,695,527	698	54,080	15,068,180

9 1人1日あたり生活用水量

	生活用水量（m^3）	給水人口（人）	1人1日あたり生活用水量(ﾘｯﾄﾙ)
令和2年度	59,302,416	708,616	229.28
令和元年度	56,748,000	706,963	221.03
平成30年度	56,947,102	705,889	222.70
平成29年度	57,269,273	704,557	207.45
平成28年度	53,105,001	701,336	223.20

（単位：戸(件)、m^3、円）

学校用			病院用			事務所用		
延件数	水量	金額(税込)	延件数	水量	金額(税込)	延件数	水量	金額(税込)
10,958	1,593,804	501,428,331	18,378	2,416,618	693,399,847	75,936	1,063,830	279,293,576
10,910	1,911,945	586,728,919	18,033	2,510,600	713,073,573	75,440	1,106,841	285,935,687
10,834	2,051,380	625,765,026	17,734	2,572,158	727,408,575	74,636	1,147,018	292,295,732
10,708	2,070,368	631,553,023	17,466	2,590,281	732,765,904	74,346	1,185,687	299,386,163
10,658	2,049,561	620,939,073	17,340	2,591,480	730,386,619	74,210	1,173,697	294,090,825
872	94,140	30,148,984	1,406	198,184	57,812,829	7,620	95,763	24,084,807
956	71,209	23,970,699	1,628	212,973	60,305,053	4,990	78,926	21,414,208
868	80,945	26,593,073	1,412	191,556	55,740,257	7,618	89,079	22,752,966
960	141,929	44,352,094	1,630	206,506	58,509,520	5,016	85,173	23,147,911
866	172,124	53,402,366	1,428	195,051	56,662,821	7,588	94,080	23,740,683
958	149,026	46,401,155	1,650	218,362	62,130,925	5,038	89,833	24,452,030
864	148,923	46,353,512	1,424	188,795	54,724,171	7,606	92,634	23,577,537
962	155,493	48,576,880	1,642	208,827	59,193,507	5,042	86,342	23,641,495
860	157,496	49,098,909	1,430	192,018	55,681,498	7,628	94,700	23,955,460
966	140,354	44,049,280	1,644	204,898	57,996,594	5,068	81,092	22,097,657
862	138,717	43,276,612	1,434	193,853	56,341,905	7,652	95,966	24,421,163
964	143,448	45,204,767	1,650	205,595	58,300,767	5,070	80,242	22,007,659

その他			合計		
延件数	水量	金額(税込)	延件・戸数	水量	金額(税込)
9,293	82,283	28,797,651	4,156,895	71,005,900	12,639,537,688
8,566	69,616	25,440,169	4,107,623	70,161,394	12,585,535,810
6,800	60,787	23,691,683	4,062,053	70,702,534	12,629,397,301
6,905	44,239	17,580,983	4,022,717	71,278,764	12,749,407,255
5,428	40,701	15,233,457	3,983,398	66,743,778	11,818,092,178
767	5,809	2,269,671	349,535	5,570,068	980,476,637
745	6,950	2,192,667	340,639	6,084,513	1,076,574,087
769	5,905	2,132,649	349,829	5,766,418	1,004,087,695
758	7,027	2,270,139	341,540	5,950,730	1,069,752,996
751	5,548	1,932,361	350,341	5,781,839	1,027,572,269
747	7,132	2,203,579	341,965	6,266,930	1,132,620,344
763	5,916	2,041,501	350,781	5,767,502	1,021,581,199
773	7,693	2,689,453	342,681	6,050,315	1,096,387,115
787	7,911	3,141,757	351,069	5,780,624	1,023,125,739
800	6,843	2,153,576	343,020	6,138,794	1,103,781,544
806	8,860	3,488,669	351,546	5,963,019	1,048,489,626
827	6,689	2,281,629	343,949	5,885,148	1,055,088,437

10 漏水防止状況

					令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
0	漏水調査分		漏水調査距離	km	1,934	1,951	2,479	2,380	2,666
1			配水管修理件数	件	23	1	21	16	46
2			推定防止量	m^3/日	298	7	343	86	451
3			給水管(公道)修理件数	件	256	202	218	201	253
4			推定防止量	m^3/日	1,788	1,204	2,051	1,253	1,495
5			給水管(メータ上流)修理件数	件	357	311	390	352	305
6			推定防止量	m^3/日	1,233	955	1,604	968	1,235
7			弁栓漏水修理件数	件	8	3	6	2	27
8			推定防止量	m^3/日	11	4	8	1	46
9		小計	修理件数	件	644	517	635	571	631
10		小計	推定防止量	m^3/日	3,330	2,170	4,006	2,308	3,227
11	一般受付分		配水管修理件数	件	100	95	95	86	338
12			推定防止量	m^3/日	1,766	5,759	1,952	1,483	6,227
13			給水管(公道)修理件数	件	839	951	911	802	1,573
14			推定防止量	m^3/日	6,086	7,007	6,418	5,758	10,500
15			給水管(メータ上流)修理件数	件	1,056	952	1,136	1,240	2,342
16			推定防止量	m^3/日	5,003	5,212	6,116	5,084	14,301
17			弁栓漏水修理件数	件	17	12	9	23	206
18			推定防止量	m^3/日	17.0	40.0	5	21	658
19		小計	修理件数	件	2,012	2,010	2,151	2,151	4,459
20		小計	推定防止量	m^3/日	12,872	18,018	14,491	12,346	31,686
21	合計		修理件数	件	2,656	2,527	2,786	2,722	5,090
22			推定防止量(一日)	m^3/日	16,202	20,188	18,497	14,654	34,913
23			推定防止量(年間)	万m^3/年	237	241	277	195	262

＊ 件数は実際の修理数であり、調査手直し等だけの件数は含まない。

11 配水管等管理関係工事

(1) 移設及び嵩上げ工事

(単位:件)

区分 / 年度	移設・破損修理						嵩上げ		
	13mm	20mm	25mm	40～50mm	75mm	計	仕切弁	消火栓	計
令和2年度	34	44	25	11	16	130	100	83	183
令和元年度	36	58	23	12	9	138	140	93	233
平成30年度	19	51	21	11	3	105	78	57	135
平成29年度	40	65	28	19	17	169	105	74	179
平成28年度	36	63	22	9	12	142	143	103	246

(2) 他工事

(単位:件、円)

区分 / 年度	他工事									
	道路		下水道		NTT		その他		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	29	49,276,431	44	71,221,717	0	0	22	28,564,519	95	149,062,667
令和元年度	44	65,748,085	81	129,047,478	0	0	13	11,072,794	138	205,868,357
平成30年度	21	37,491,803	58	120,053,124	0	0	13	27,030,286	92	184,575,213
平成29年度	38	141,636,682	37	130,431,587	1	2,301,480	19	47,489,358	95	319,557,626
平成28年度	67	183,374,717	87	163,742,277	0	0	28	107,098,575	182	454,215,569

(3)維持工事

(単位:件、円)

維持工事	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
件数	158	409	380	692	30
金額	72,606,307	94,309,272	138,602,750	243,798,766	590,829,162

12 鉛製給水管率

(単位:件、%)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
鉛製給水管使用件数	18,933	19,665	20,896	22,364	24,108
給水件数	333,417	329,369	324,733	322,772	320,294
鉛製給水管率	5.68	5.97	6.43	6.93	7.53

*富合町、城南町、植木町を除く

Ⅴ 給水装置・加入金

1 加入金改定の変遷

（単位：円）

実施年月日 / 口径区分	昭和48年4月1日	昭和51年4月1日	昭和59年4月1日	平成元年4月1日	平成9年4月1日	平成21年9月1日	平成26年4月1日	令和元年10月1日
13mm	10,000	30,000	60,000	加入金は、左記の基準額に100分の103を乗じて得た額とする。	加入金は、左記の基準額に100分の105を乗じて得た額とする。	63,000	64,800	66,000
20mm	20,000	60,000	120,000			126,000	129,600	132,000
25mm	30,000	90,000	180,000			189,000	194,400	198,000
40mm	100,000	300,000	600,000			630,000	648,000	660,000
50mm	180,000	540,000	1,200,000			1,260,000	1,296,000	1,320,000
75mm	350,000	1,050,000	3,000,000			3,150,000	3,240,000	3,300,000
100mm	700,000	2,100,000	6,000,000			6,300,000	6,480,000	6,600,000
150mm	1,000,000	3,000,000	12,000,000			12,600,000	12,960,000	13,200,000

※ 増径工事については、新旧メーター口径に係る基準額の差額
※ 平成21年9月改定は、加入金の総額表示に伴う改定
※ 平成元年4月・平成9年4月・平成26年4月・令和元年（2019年）10月改定は、消費税率改定に伴う改定

2 現行手数料

種別	基準		金額
給水装置工事事業者指定審査手数料	新規	1件につき	10,000円
	更新	1件につき	10,000円
設計審査手数料	1件につき		1,000円
工事検査手数料	メーター口径が20mm以下のとき	1件につき	2,500円
	メーター口径が25mm以上40mm以下のとき	1件につき	5,000円
	メーター口径が50mm以上のとき	1件につき	7,000円

※給水装置工事事業者指定更新手数料は、水道法改正に伴い令和元年10月に新設。同時に指定審査手数料も改定。

3 加入金口径別収入状況

年度・月次	新設分									
	13mm		20mm		25mm		40mm		50mm	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	3,483	229,884,000	760	100,320,000	64	12,672,000	17	11,220,000	2	2,640,000
令和2年 4月	348	22,968,000	27	3,564,000	5	990,000	0	0	0	0
5月	325	21,450,000	50	6,600,000	12	2,376,000	1	660,000	0	0
6月	391	25,808,400	38	5,016,000	6	1,188,000	2	1,320,000	0	0
7月	227	14,985,600	17	2,244,000	5	990,000	4	2,640,000	0	0
8月	222	14,652,000	88	11,616,000	6	1,188,000	1	660,000	1	1,320,000
9月	327	21,582,000	156	20,592,000	9	1,782,000	1	660,000	1	1,320,000
10月	280	18,480,000	100	13,200,000	3	594,000	2	1,320,000	0	0
11月	316	20,856,000	98	12,936,000	7	1,386,000	1	660,000	0	0
12月	245	16,170,000	8	1,056,000	1	198,000	2	1,320,000	0	0
令和3年 1月	202	13,332,000	4	528,000	3	594,000	0	0	0	0
2月	253	16,698,000	116	15,312,000	4	792,000	1	660,000	0	0
3月	347	22,902,000	58	7,656,000	3	594,000	2	1,320,000	0	0
令和元年度	3,260	213,062,400	954	124,432,800	101	19,810,800	28	18,264,000	4	5,232,000
平成30年度	3,559	230,623,200	1,248	161,740,800	84	16,329,600	19	12,312,000	1	1,296,000
平成29年度	2,891	187,431,840	734	95,126,400	70	13,608,000	15	9,720,000	12	15,552,000
平成28年度	2,915	182,904,480	735	94,575,600	80	15,454,800	17	9,946,800	6	7,776,000

4 手数料収入状況

（単位:件、円）

年度・月次	工事検査手数料		設計審査手数料		給水装置工事事業者指定(更新)審査手数料	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和2年度	12,720	32,465,500	13,188	13,188,000	119	1,190,000
令和2年 4月	1,153	2,929,500	1,197	1,197,000	12	120,000
5月	1,117	2,894,000	1,166	1,166,000	6	60,000
6月	1,244	3,216,000	1,287	1,287,000	14	140,000
7月	1,130	2,916,000	1,201	1,201,000	8	80,000
8月	1,045	2,731,500	1,104	1,104,000	20	200,000
9月	1,116	2,864,000	1,156	1,156,000	19	190,000
10月	1,095	2,816,000	1,139	1,139,000	7	70,000
11月	1,018	2,622,000	1,039	1,039,000	6	60,000
12月	1,028	2,504,000	1,018	1,018,000	10	100,000
令和3年 1月	780	1,859,000	778	778,000	6	60,000
2月	929	2,376,000	983	983,000	4	40,000
3月	1,065	2,737,500	1,120	1,120,000	7	70,000
令和元年度	14,993	39,022,000	15,668	15,668,000	97	936,000
平成30年度	15,846	40,886,500	16,418	16,418,000	18	144,000
平成29年度	14,804	38,531,500	15,318	15,318,000	35	280,000
平成28年度	11,897	30,856,500	12,271	12,271,000	27	216,000

（単位:件、円）

75mm		100mm		150mm		増径分		合計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
0	0	0	0	0	0	2,115	170,676,000	6,441	527,412,000
0	0	0	0	0	0	150	9,570,000	530	37,092,000
0	0	0	0	0	0	176	14,520,000	564	45,606,000
0	0	0	0	0	0	218	16,170,000	655	49,502,400
0	0	0	0	0	0	424	29,436,000	677	50,295,600
0	0	0	0	0	0	277	18,150,000	595	47,586,000
0	0	0	0	0	0	114	8,844,000	608	54,780,000
0	0	0	0	0	0	193	17,820,000	578	51,414,000
0	0	0	0	0	0	116	12,408,000	538	48,246,000
0	0	0	0	0	0	148	15,048,000	404	33,792,000
0	0	0	0	0	0	117	10,758,000	326	25,212,000
0	0	0	0	0	0	91	10,890,000	465	44,352,000
0	0	0	0	0	0	91	7,062,000	501	39,534,000
0	0	0	0	0	0	2,392	194,850,000	6,739	575,652,000
1	3,240,000	0	0	0	0	2,171	181,116,000	7,083	606,657,600
0	0	0	0	0	0	2,015	153,187,200	5,737	474,625,440
1	1,080,000	0	0	0	0	1,888	165,268,080	5,642	477,005,760

5 給水装置工事受付状況

（単位:件）

年度・月次	件数			備考
	新設	改造	計	
令和2年度	6,824	2,856	9,680	
令和2年 4月	546	284	830	
5月	616	238	854	
6月	680	257	937	
7月	694	214	908	
8月	620	214	834	
9月	665	170	835	
10月	623	205	828	
11月	576	217	793	
12月	454	342	796	
令和3年 1月	347	229	576	
2月	480	213	693	
3月	523	273	796	
令和元年度	7,434	3,757	11,191	
平成30年度	7,696	3,920	11,616	
平成29年度	6,533	4,306	10,839	
平成28年度	6,622	2,938	9,560	

Ⅵ 水道事業会計財務統計

1 経理状況

令和2年度の経理状況は、次のようになりました。

事業収益は、130億9千4百万円で前年度に比べ2億2千2百万円（1.7%）の減収となりました。そのうち料金収入は、114億9千1百万円で前年度に比べ1億1百万円（0.9%）の減収となりました。

また、事業費の主な内容は、職員給与費16億1千万円、維持管理費33億5千万円、企業債支払利息4億7千5百万円、減価償却費46億7千5百万円などであり、全体で102億5千9百万円となり、前年度に比べ3億2千7百万円（3.1%）の減少となりました。その結果、純利益は28億3千5百万円となり、前年度に比べ1億5百万円の増益となりました。

一方、資本的収入は、企業債10億円、補助金3千2百万円、負担金1億9千2百万円、加入金5億2千7百万円で合計17億5千1百万円となりました。

また、資本的支出は、建設改良費72億6千万円、企業債償還金18億6千3百万円で合計91億2千3百万円となりました。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、73億7千2百万円となり、これについては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5億5千2百万円、減債積立金18億6千3百万円及び損益勘定留保資金49億5千7百万円で補てんしました。

2 予算決算対照表

(1) 収益的収入及び支出

区分	令和2年度		令和元年度	
	予算額	決算額	予算額	決算額
1 事業収益	14,149,511,000	14,285,798,551	14,045,331,000	14,351,560,501
1 営業収益	13,184,703,000	13,291,996,513	13,082,964,000	13,344,846,205
2 営業外収益	960,619,000	988,300,058	958,631,000	1,003,267,834
3 特別利益	4,189,000	5,501,980	3,736,000	3,446,462
4 特別利益(災害)	0	0	0	0
1 事業費用	11,297,031,000	10,894,541,109	11,478,578,000	11,227,770,387
1 営業費用	10,373,952,000	10,065,450,230	10,579,739,000	10,342,695,655
2 営業外費用	899,830,000	812,246,172	851,355,000	844,467,519
3 特別損失	18,249,000	16,844,707	42,484,000	40,607,213
4 予備費	5,000,000	0	5,000,000	0
5 特別損失(災害)	0	0	0	0
収益的収支差額	2,852,480,000	3,391,257,442	2,566,753,000	3,123,790,114

(2) 資本的収入及び支出

区分	令和2年度		令和元年度	
	予算額	決算額	予算額	決算額
1 資本的収入	2,365,414,000	1,750,861,850	2,601,182,000	2,076,180,778
1 企業債	1,638,500,000	1,000,000,000	1,938,500,000	1,300,000,000
2 補助金	33,981,000	32,099,000	30,845,000	30,845,000
3 負担金	192,933,000	191,350,850	131,837,000	169,618,218
4 加入金	500,000,000	527,412,000	500,000,000	575,652,000
5 固定資産売却代金	0	0	0	65,560
1 資本的支出	11,248,241,540	9,122,727,855	10,547,272,653	7,517,454,573
1 建設改良費	9,375,155,540	7,259,642,444	8,733,358,653	5,713,541,572
2 企業債償還金	1,863,086,000	1,863,085,411	1,794,240,000	1,794,239,630
3 補助金返還金	0	0	9,674,000	9,673,371
4 予備費	10,000,000	0	10,000,000	0
資本的収支差額	△ 8,882,827,540	△ 7,371,866,005	△ 7,946,090,653	△ 5,441,273,795

収益的収支と資本的収支差額	△ 6,030,347,540	△ 3,980,608,563	△ 5,379,337,653	△ 2,317,483,681

（税込、単位：円）

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
14,116,419,000	14,443,916,638	13,961,183,000	14,361,765,440	14,101,558,000	14,102,848,425
13,029,487,000	13,300,542,868	13,021,169,000	13,388,567,022	12,336,193,000	12,377,261,566
937,647,000	961,899,466	933,349,000	941,704,703	951,626,000	921,433,949
149,285,000	181,275,027	6,665,000	21,928,715	4,939,000	9,039,515
0	199,277	0	9,565,000	808,800,000	795,113,395
11,645,542,000	11,402,938,881	11,600,340,000	11,334,667,633	12,769,155,000	12,270,666,827
10,762,107,000	10,535,087,359	10,615,903,000	10,360,783,890	9,836,196,000	9,429,827,017
858,238,000	848,190,311	867,996,000	870,690,280	863,856,000	865,559,601
20,197,000	19,661,211	106,341,000	98,114,854	28,557,000	28,315,210
5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	0
0	0	5,100,000	5,078,609	2,035,546,000	1,946,964,999
2,470,877,000	3,040,977,757	2,360,843,000	3,027,097,807	1,332,403,000	1,832,181,598

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
3,790,424,024	3,296,494,130	4,010,199,000	2,296,098,814	3,064,376,000	2,524,565,071
2,335,700,000	1,697,200,000	2,374,700,000	1,435,300,000	2,245,100,000	1,842,700,000
859,814,024	847,285,723	1,004,820,000	175,244,000	229,953,000	78,057,000
94,528,000	143,836,104	101,649,000	120,711,163	115,207,000	109,649,342
500,000,000	606,657,600	440,000,000	474,625,440	474,116,000	489,134,160
382,000	1,514,703	89,030,000	90,218,211	0	5,024,569
11,532,257,288	9,456,414,088	11,568,531,825	8,317,596,457	10,439,832,602	7,781,067,988
9,727,023,288	7,661,180,678	9,833,243,825	6,592,309,146	8,668,126,602	6,019,362,857
1,795,234,000	1,795,233,410	1,725,288,000	1,725,287,311	1,761,706,000	1,761,705,131
0	0	0	0	0	0
10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000	0
△ 7,741,833,264	△ 6,159,919,958	△ 7,558,332,825	△ 6,021,497,643	△ 7,375,456,602	△ 5,256,502,917

△ 5,270,956,264	△ 3,118,942,201	△ 5,197,489,825	△ 2,994,399,836	△ 6,043,053,602	△ 3,424,321,319

3 損益計算書

科目	令和2年度 金額	令和2年度 構成比	令和元年度 金額	令和元年度 構成比
1 事業収益	13,094,549,145	100.0	13,316,093,461	100.0
1 営業収益	12,102,637,474	92.3	12,310,946,408	92.4
1 給水収益	11,491,102,750	87.7	11,591,947,108	87.1
2 負担金	468,619,427	3.5	497,634,446	3.7
3 受託工事収益	96,070,297	0.7	165,701,227	1.2
4 その他営業収益	46,845,000	0.4	55,663,627	0.4
2 営業外収益	986,742,824	7.6	1,001,815,836	7.5
1 受取利息	5,780,772	0.1	5,514,340	0.1
2 他会計補助金	56,703,000	0.4	42,826,000	0.3
3 補償金	0	0.0	44,885,162	0.3
4 長期前受金戻入	900,482,350	6.9	883,551,501	6.6
5 雑収益	23,776,702	0.2	25,038,833	0.2
3 特別利益	5,168,847	0.1	3,331,217	0.1
1 固定資産売却益	0	0.0	0	0.0
2 過年度損益修正益	4,900,207	0.1	3,186,397	0.1
3 その他特別利益	268,640	0.0	144,820	0.0
4 特別利益（災害）	0	0.0	0	0.0
1 負担金	0	0.0	0	0.0
2 国（県）補助金	0	0.0	0	0.0
3 他会計補助金	0	0.0	0	0.0
4 雑収益	0	0.0	0	0.0
1 事業費用	10,258,989,340	100.0	10,585,764,686	100.0
1 営業費用	9,747,208,146	94.8	10,027,966,419	94.6
1 原水費	1,169,418,095	11.3	1,180,946,821	11.1
2 配水費	1,441,869,577	14.0	1,643,338,756	15.5
3 給水費	582,522,547	5.6	558,237,538	5.2
4 受託工事費	132,043,982	1.3	173,262,961	1.6
5 業務費	763,819,533	7.4	812,756,365	7.7
6 総係費	891,864,445	8.7	885,420,792	8.4
7 減価償却費	4,675,491,376	45.6	4,683,665,566	44.2
8 資産減耗費	90,178,591	0.9	90,337,620	0.9
2 営業外費用	495,654,970	4.9	519,887,504	5.0
1 支払利息及び企業債取扱諸費	475,311,614	4.6	515,201,278	4.9
2 雑支出	20,343,356	0.3	4,686,226	0.1
3 特別損失	16,126,224	0.3	37,910,763	0.4
1 固定資産売却損	0	0.0	496,000	0.0
2 過年度損益修正損	16,077,840	0.2	37,414,763	0.4
3 その他特別損失	48,384	0.1	0	0.0
4 特別損失（災害）	0	0.0	0	0.0
1 原水費	0	0.0	0	0.0
2 配水費	0	0.0	0	0.0
3 給水費	0	0.0	0	0.0
4 受託工事費	0	0.0	0	0.0
5 業務費	0	0.0	0	0.0
6 総係費	0	0.0	0	0.0
7 過年度損益修正損	0	0.0	0	0.0
当年度純利益	2,835,559,805		2,730,328,775	

（税抜、単位: 円、%）

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	構成比
13,475,515,466	100.0	13,388,370,316	100.0	13,190,629,019	100.0
12,332,450,678	91.5	12,416,476,462	92.7	11,468,983,573	87.0
11,694,130,090	86.8	11,806,287,833	88.2	10,943,895,512	83.0
444,191,954	3.3	416,519,168	3.1	419,813,997	3.2
136,675,334	1.0	139,537,861	1.0	61,930,564	0.5
57,453,300	0.4	54,131,600	0.4	43,343,500	0.3
961,740,146	7.1	940,824,708	7.0	919,669,911	7.0
5,862,583	0.0	6,303,016	0.0	7,424,952	0.1
50,738,000	0.4	52,482,000	0.4	52,305,000	0.4
6,359,864	0.0	6,369,219	0.1	0	0.0
861,090,066	6.4	845,833,794	6.3	828,571,931	6.3
37,689,633	0.3	29,836,679	0.2	31,368,028	0.2
181,125,365	1.4	21,504,146	0.2	8,768,984	0.0
143,914,651	1.1	176,257	0.0	3,696,103	0.0
5,499,496	0.0	10,160,513	0.1	5,072,881	0.0
31,711,218	0.3	11,167,376	0.1	0	0.0
199,277	0.0	9,565,000	0.1	793,206,551	6.0
0	0.0	0	0.0	23,835,551	0.2
199,277	0.0	9,565,000	0.1	492,090,000	3.7
0	0.0	0	0.0	273,946,000	2.1
0	0.0	0	0.0	3,335,000	0.0

10,855,268,276	100.0	10,781,854,834	100.0	11,727,046,145	100.0
10,253,766,102	94.4	10,091,698,889	93.6	9,204,036,377	78.5
1,218,263,440	11.2	1,193,138,556	11.1	1,072,200,573	9.1
1,766,671,637	16.2	1,685,138,142	15.6	1,300,963,860	11.1
593,608,687	5.4	596,964,105	5.5	592,680,064	5.1
157,944,329	1.5	147,760,943	1.4	83,015,623	0.7
832,340,246	7.7	813,054,352	7.5	847,731,475	7.2
906,532,298	8.4	994,080,305	9.2	714,917,388	6.1
4,616,212,021	42.5	4,515,811,411	41.9	4,445,028,480	37.9
162,193,444	1.5	145,751,075	1.4	147,498,914	1.3
583,292,351	5.4	591,118,451	5.6	675,923,548	5.8
548,976,608	5.1	581,858,825	5.5	614,221,780	5.3
34,315,743	0.3	9,259,626	0.1	61,701,768	0.5
18,209,823	0.2	94,335,078	0.8	27,352,309	0.2
1,125	0.0	35,486,451	0.3	18,544	0.0
18,208,698	0.2	58,848,627	0.5	14,303,237	0.1
0	0.0	0	0.0	13,030,528	0.1
0	0.0	4,702,416	0.0	1,819,733,911	15.5
0	0.0	4,702,416	0.0	152,302,041	1.3
0	0.0	0	0.0	701,507,065	6.0
0	0.0	0	0.0	450,426,063	3.9
0	0.0	0	0.0	1,593,104	0.0
0	0.0	0	0.0	60,589,288	0.5
0	0.0	0	0.0	448,873,522	3.8
0	0.0	0	0.0	4,442,828	0.0
2,620,247,190		2,606,515,482		1,463,582,874	

4 貸借対照表

勘定科目	借			
	令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比	金額	構成比
1 固定資産	116,511,526,555	87.4	114,585,973,338	86.5
(1) 有形固定資産	116,452,196,155	87.4	114,526,523,098	86.5
イ 土地	3,236,694,044	2.4	3,236,694,044	2.4
ロ 建物	5,944,048,473	4.5	5,974,918,462	4.4
ハ 構築物	98,364,109,084	73.8	95,250,621,315	71.9
ニ 機械及び装置	7,408,655,380	5.6	7,263,567,680	5.5
ホ 車両運搬具	8,502,951	0.0	10,915,257	0.0
ヘ 工具器具及び備品	179,811,129	0.1	154,752,457	0.2
ト リース資産	309,292,300	0.2	415,941,100	0.4
チ 建設仮勘定	1,001,082,794	0.8	2,219,112,783	1.7
(2) 無形固定資産	9,330,400	0.0	9,450,240	0.0
イ 施設利用権	491,400	0.0	611,240	0.0
ロ 電話加入権	8,839,000	0.0	8,839,000	0.0
(3) 投資	50,000,000	0.0	50,000,000	0.0
イ 出資金	50,000,000	0.0	50,000,000	0.0
2 流動資産	16,782,600,932	12.6	17,842,588,812	13.5
(1) 現金預金	14,133,724,245	10.6	14,253,330,467	10.8
(2) 未収金	1,884,080,641	1.4	1,933,258,264	1.5
(3) 貯蔵品	147,625,333	0.1	154,487,968	0.1
(4) 前払金	617,170,713	0.5	1,501,512,113	1.1
資産合計	133,294,127,487	100.0	132,428,562,150	100.0

勘定科目	令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比	金額	構成比
3 固定負債	32,193,654,577	24.2	33,452,736,927	25.3
(1) 企業債	30,374,357,605	22.8	31,277,746,235	23.6
(2) リース債務	227,267,124	0.2	334,969,164	0.3
(3) 引当金	1,592,029,848	1.2	1,840,021,528	1.4
4 流動負債	4,447,201,635	3.3	5,111,331,473	3.8
(1) 企業債	1,903,388,630	1.4	1,863,085,411	1.4
(2) リース債務	107,702,040	0.1	115,491,864	0.1
(3) 未払金	2,204,347,508	1.6	2,914,898,151	2.2
(4) 前受金	15,583,956	0.0	15,907,741	0.0
(5) 引当金	145,258,000	0.1	145,448,000	0.1
(6) その他流動負債	70,921,501	0.1	56,500,306	0.0
5 繰延収益	21,626,339,346	16.2	21,673,121,626	16.4
負債合計	58,267,195,558	43.7	60,237,190,026	45.5
6 資本金	69,003,884,954	51.8	66,326,093,823	50.1
(1) 自己資本金	69,003,884,954	51.8	66,326,093,823	50.1
7 剰余金	6,023,046,975	4.5	5,865,278,301	4.4
(1) 資本剰余金	244,140,028	0.2	244,140,028	0.2
イ 受贈財産評価額	52,947,229	0.0	52,947,229	0.0
ロ 補助金	189,828,159	0.2	189,828,159	0.2
ハ 負担金	1,364,640	0.0	1,364,640	0.0
(2) 利益剰余金	5,778,906,947	4.3	5,621,138,273	4.2
イ 減債積立金	1,080,261,731	0.8	1,096,569,868	0.8
ロ 当年度未処分利益剰余金	4,698,645,216	3.5	4,524,568,405	3.4
資本合計	75,026,931,929	56.3	72,191,372,124	54.5
負債・資本合計	133,294,127,487	100.0	132,428,562,150	100.0

（税抜、単位: 円、%）

方					
平成30年度		平成29年度		平成28年度	
金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	構成比
113,990,214,191	87.7	111,506,037,418	88.5	110,157,449,921	89.0
113,930,636,911	87.7	111,446,325,898	88.5	110,097,589,641	89.0
3,237,156,044	2.5	3,238,671,872	2.6	3,341,185,738	2.7
5,990,977,682	4.5	5,743,191,102	4.5	5,982,703,513	4.7
95,281,133,329	73.2	92,962,144,614	73.7	90,658,665,659	73.2
7,538,019,937	5.8	7,977,735,345	6.3	7,834,553,196	6.3
14,278,515	0.0	17,092,933	0.0	7,512,951	0.0
177,197,872	0.2	200,754,813	0.3	224,682,647	0.3
414,991,900	0.4	407,213,440	0.4	485,067,280	0.5
1,276,881,632	1.0	899,521,779	0.7	1,563,218,657	1.3
9,577,280	0.0	9,711,520	0.0	9,860,280	0.0
738,280	0.0	872,520	0.0	1,021,280	0.0
8,839,000	0.0	8,839,000	0.0	8,839,000	0.0
50,000,000	0.0	50,000,000	0.0	50,000,000	0.0
50,000,000	0.0	50,000,000	0.0	50,000,000	0.0
15,944,861,099	12.3	14,447,861,845	11.5	13,583,276,399	11.0
12,858,370,237	9.9	11,389,587,619	9.0	10,918,999,203	8.8
1,939,114,456	1.5	1,894,167,521	1.5	1,829,476,163	1.5
148,122,693	0.1	187,706,312	0.1	148,924,520	0.1
999,253,713	0.8	976,400,393	0.8	685,876,513	0.6
129,935,075,290	100.0	125,953,899,263	100.0	123,740,726,320	100.0

貸		方			
平成30年度		平成29年度		平成28年度	
金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	構成比
34,206,428,173	26.3	34,307,745,575	27.3	34,813,097,899	28.2
31,840,831,646	24.5	31,937,871,276	25.4	32,297,804,686	26.1
355,106,052	0.3	355,708,368	0.3	439,790,544	0.4
2,010,490,475	1.5	2,014,165,931	1.6	2,075,502,669	1.7
4,510,497,037	3.4	3,781,316,690	2.9	3,629,438,738	2.9
1,794,239,630	1.4	1,795,233,410	1.4	1,725,287,311	1.4
93,085,200	0.1	84,082,176	0.1	84,082,140	0.1
2,390,592,082	1.8	1,665,877,656	1.3	1,591,897,591	1.3
16,413,740	0.0	16,871,989	0.0	19,389,180	0.0
146,563,000	0.1	146,935,000	0.1	145,113,000	0.1
69,603,385	0.0	72,316,459	0.0	63,669,516	0.0
21,756,852,285	16.7	21,023,786,393	16.7	21,063,654,560	17.0
60,473,777,495	46.5	59,112,848,658	46.9	59,506,191,197	48.1
63,669,770,347	49.0	61,098,649,242	48.5	60,270,077,311	48.7
63,669,770,347	49.0	61,098,649,242	48.5	60,270,077,311	48.7
5,791,527,448	4.4	5,742,401,363	4.6	3,964,457,812	3.2
244,394,474	0.1	244,394,474	0.2	244,394,474	0.2
53,201,675	0.0	53,201,675	0.0	53,201,675	0.0
189,828,159	0.1	189,828,159	0.2	189,828,159	0.2
1,364,640	0.0	1,364,640	0.0	1,364,640	0.0
5,547,132,974	4.3	5,498,006,889	4.4	3,720,063,338	3.0
1,131,652,374	0.9	0	0.0	0	0.0
4,415,480,600	3.4	5,498,006,889	4.4	3,720,063,338	3.0
69,461,297,795	53.5	66,841,050,605	53.1	64,234,535,123	51.9
129,935,075,290	100.0	125,953,899,263	100.0	123,740,726,320	100.0

5 キャッシュ・フロー計算書

項目	令和2年度
1.業務活動によるキャッシュ・フロー	6,697,886,369
当年度純利益	2,835,559,805
減価償却費	4,675,491,376
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 4,214,070
長期前受金戻入額	△ 900,482,350
受取利息及び受取配当金	△ 5,780,772
支払利息	475,311,614
固定資産売却損益(△は益)	0
固定資産譲渡損益(△は益)	48,384
固定資産の修正(特別利益)	0
長期前受金戻入額の修正(特別利益)	△ 737,841
減価償却累計額の修正(特別損失)	8,105,318
未収金の増減額(△は増加)	53,391,693
未払金の増減額(△は減少)	△ 710,550,643
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,862,635
前払金の増減額(△は増加)	884,341,400
引当金の増減額(△は減少)	△ 247,294,680
前受金の増減額(△は減少)	△ 323,785
その他流動負債の増減額(△は減少)	14,421,195
長期前受金収益化累計額の修正他(特別利益)	0
有形固定資産の除却	83,267,932
小計	7,167,417,211
利息及び配当金の受取額	5,780,772
利息の支払額	△ 475,311,614
2.投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,954,407,180
有形固定資産の取得による支出	△ 6,657,431,030
有形固定資産の売却による収入	0
国庫補助金等による収入	32,099,000
補助金返還金	0
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	191,350,850
加入金による収入	479,574,000
特定収入見合い消費税(4条)	0
3.財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 863,085,411
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,000,000,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,857,387,407
その他の企業債の償還による支出	△ 5,698,004
4.資金増加額(又は減少額)	△ 119,606,222
5.資金期首残高	14,253,330,467
6.資金期末残高	14,133,724,245

6 性質別支出状況

項　目	令和2年度		令和元年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
1. 職員給与費	1,610,295,361	15.70	1,612,750,911	15.24
うち退職給付費	131,411,000	1.28	85,097,000	0.80
2. 維持管理費	3,349,720,783	32.65	3,562,973,207	33.66
動力費	664,178,617	6.47	694,976,856	6.57
薬品費	17,740,106	0.17	17,929,900	0.17
修繕及び材料費	478,647,538	4.67	473,388,499	4.47
委託料	1,157,542,816	11.28	1,194,919,736	11.29
その他	1,031,611,706	10.06	1,181,758,216	11.16
3. 支払利息	475,311,614	4.63	515,201,278	4.87
4. 減価償却費	4,675,491,376	45.58	4,683,665,566	44.24
5. 受託工事費等	148,170,206	1.44	211,173,724	1.99
6. 特別損失(災害)	0	0.00	0	0.00
費用合計	10,258,989,340	100.00	10,585,764,686	100.00

（税抜、単位：円）

令和元年度	平成30年度	平成29年度
6,446,433,088	7,058,630,202	6,074,083,278
2,730,328,775	2,620,247,190	2,606,515,482
4,683,665,566	4,616,212,021	4,515,811,411
△ 5,167,390	△ 40,304,899	△ 4,227,157
△ 883,551,501	△ 861,090,066	△ 845,833,794
△ 5,514,340	△ 5,862,583	△ 6,303,016
515,201,278	548,976,608	581,858,825
496,000	△ 143,914,651	△ 176,257
0	1,125	35,486,451
2,424,462	△ 36	0
0	△ 36	0
0	△ 4,642,036	△ 60,464,201
11,023,582	△ 4,642,036	△ 60,464,201
524,306,069	724,714,426	73,980,065
△ 6,365,275	39,583,619	△ 38,781,792
△ 502,258,400	△ 22,853,320	△ 290,523,880
△ 170,347,947	△ 4,675,456	△ 59,153,738
△ 505,999	△ 458,249	△ 2,517,191
△ 13,103,079	△ 2,713,074	8,646,943
200,239	△ 101,802	0
75,287,986	138,625,410	135,320,936
6,956,120,026	7,601,744,227	6,649,639,087
5,514,340	5,862,583	6,303,016
△ 515,201,278	△ 548,976,608	△ 581,858,825
△ 4,557,233,228	△ 5,491,814,174	△ 5,313,507,551
△ 5,277,168,075	△ 7,121,244,112	△ 6,139,325,182
65,000	145,429,354	90,394,468
30,845,000	847,285,723	175,244,000
△ 9,673,371	0	0
169,618,218	143,836,104	120,711,163
529,080,000	561,720,000	439,468,000
0	△ 68,841,243	0
△ 494,239,630	△ 98,033,410	△ 289,987,311
1,300,000,000	1,697,200,000	1,435,300,000
△ 1,794,239,630	△ 1,795,233,410	△ 1,725,287,311
0	0	0
1,394,960,230	1,468,782,618	470,588,416
12,858,370,237	11,389,587,619	10,918,999,203
14,253,330,467	12,858,370,237	11,389,587,619

（税抜、単位：円、%）

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	構成比
1,715,703,098	15.81	1,797,807,863	16.67	1,615,958,473	13.78
129,296,000	1.19	207,799,000	1.93	48,501,000	0.41
3,798,222,397	34.99	3,639,578,298	33.76	3,121,735,569	26.62
703,612,628	6.48	656,177,121	6.09	609,530,455	5.20
16,768,898	0.15	17,578,620	0.16	17,523,328	0.15
477,589,714	4.40	392,750,779	3.64	321,911,170	2.74
1,233,762,996	11.37	1,203,241,405	11.16	1,135,806,205	9.69
1,366,488,161	12.59	1,369,830,373	12.71	1,036,964,411	8.84
548,976,608	5.06	581,858,825	5.40	614,221,780	5.24
4,616,212,021	42.52	4,515,811,411	41.88	4,445,028,480	37.90
176,154,152	1.62	242,096,021	2.25	110,367,932	0.94
0	0.00	4,702,416	0.04	1,819,733,911	15.52
10,855,268,276	100.00	10,781,854,834	100.00	11,727,046,145	100.00

7 経営分析

	分析項目	算式	令和2年度		令和元年度
(1) 業務分析比率	1 負荷率 (%)	1日平均配水量 / 1日最大配水量 × 100	217,019 / 240,750 × 100	90.14	93.89
	2 施設利用率 (%)	1日平均配水量 / 公称施設能力(m^3/日) × 100	217,019 / 317,244 × 100	68.41	68.65
	3 最大稼動率 (%)	1日最大配水量 / 公称施設能力(m^3/日) × 100	240,750 / 317,244 × 100	75.89	73.12
	4 配水管使用効率 (m^3/m)	年間配水量 / 導送配水管延長	79,211,773 / 3,550,158	22.31	22.65
	5 固定資産使用効率 (m^3/万円)	年間配水量 / 有形固定資産	79,211,773 / 11,645,220	6.80	6.96
	6 損益勘定職員一人当り給水戸数 (戸)	給水戸数 / 損益勘定所属職員数	348,671 / 241	1,447	2,046
	7 損益勘定職員一人当り給水人口 (人)	給水人口(推計人口) / 損益勘定所属職員数	703,124 / 241	2,918	4,176
	8 損益勘定職員一人当り有収水量 (m^3)	年間有収水量 / 損益勘定所属職員数	71,005,900 / 241	294,630	417,627
	9 損益勘定職員一人当り営業収益 (千円)	営業収益－受託工事収益 / 損益勘定所属職員数	12,006,567 / 241	49,820	72,293
	10 職員一人当り有形固定資産 (千円)	有形固定資産 / 損益勘定職員数＋資本勘定所属職員数	116,452,196 / 286	407,176	558,666
	11 給水原価 (円/m^3)	経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯工事費+長期前受金戻入) / 年間有収水量	9,209,971,904 / 71,005,900	129.71	135.27
	12 供給単価 (円/m^3)	給水収益 / 年間有収水量	11,491,102,750 / 71,005,900	161.83	165.22

	分析項目	算式	令和2年度		令和元年度
(2) 財務分析比率	1 固定資産構成比率 (%)	固定資産 / 資産合計 × 100	116,511,526,555 / 133,294,127,487 × 100	87.41	86.53
	2 自己資本構成比率 (%)	資本金＋剰余金＋評価等差額+繰延収益 / 負債資本合計 × 100	96,653,271,275 / 133,294,127,487 × 100	72.51	70.88
	3 固定資産対長期資本比率 (%)	固定資産 / 資本金＋剰余金＋評価等差額+固定負債+繰延収益 × 100	116,511,526,555 / 128,846,925,852 × 100	90.43	90.00
	4 固定比率 (%)	固定資産 / 資本金+剰余金+評価等差額+繰延収益 × 100	116,511,526,555 / 96,653,271,275 × 100	120.55	122.08
	5 流動比率 (%)	流動資産 / 流動負債 × 100	16,782,600,932 / 4,447,201,635 × 100	377.37	349.08

平成30年度	平成29年度	平成28年度	説　明
92.63	93.08	80.49	施設効率を判断する指標。平均配水量と最大配水量の割合示す。数値が大きいほど効率的となる。施設の効率性については、施設利用率、最大稼働率を併せて判断する必要がある。
69.41	69.90	71.97	施設効率を判断する指標。平均配水量と配水能力の割合示す。数値が大きいほど効率的となる。施設の効率性については、負荷率、最大稼働率を併せて判断する必要がある。
74.94	75.09	89.41	将来の水需要に対応すべき先行投資の適正を示す指数。最大配水量と配水能力の割合を示す。施設の効率性については、負荷率、施設利用率を併せて判断する必要がある。
22.98	23.20	23.79	配水管が効率的に使用されているかを判断する指標で、数値が大きいほど効率的となるが、水融通管等が増えれば数値は下がる。
7.08	7.25	7.47	施設の効率性を判断する指標。数値が大きいほど効率的となる。
1,974	1,898	1,879	労働生産性を給水戸数で判断する指標。この数値は高いほど良い。
4,104	3,981	3,962	労働生産性を給水人口で判断する指標。この数値は高いほど良い。
411,061	402,705	377,083	労働生産性を有収水量で判断する指標。この数値は高いほど良い。
70,906	69,361	64,447	労働生産性を営業収益で判断する指標。この数値は水道料金の供給単価によって大きく変わる。
532,386	511,222	495,935	職員一人当りの有形固定資産を判断する指標。この数値は高いほど良い。
138.82	135.93	134.37	有収水量1m^{3}当りについて、どれだけの費用がかかっているかを判断する指標。有収水量1m^{3}当りの原価。
165.40	165.64	163.97	有収水量1m^{3}当りについて、どれだけの収益を得ているかを判断する指標。有収水量1m^{3}当りの売値。

平成30年度	平成29年度	平成28年度	説　明
87.73	88.53	89.02	資産構成の適正度を判断する指標。過大な固定資産は、固定費の増大と資金の固定化をもたらすことになり、比率は低いほうが良い。
70.20	69.76	68.93	自己資本調達度を判断する指標。負債資本の中に占める自己資本の比率であり、この率が高いほど他人資本が入らず企業経営が健全であるといえる。
90.88	91.27	91.71	固定資産がどのような財源で構成されているかを判断する指標。100%以下であることが要求され、100%を超える場合は、不良債務が発生していることを意味する。比率は低いほうが良い。
124.96	126.91	129.14	財務的安全性を判断する指標。自己資本に対する固定資産の比率であり、数値は小さい方が望ましい。
353.51	382.09	374.25	支払能力を判断する指標。数値は大きいほど良く、200%以上あることが望ましい。

	分析項目	算式	令和2年度		令和元年度
(2) 財務分析比率	6 当座比率 (%)	現金預金＋未収金 / 流動負債 × 100	16,017,804,886 / 4,447,201,635 × 100	360.18	316.68
	7 現金預金比率 (%)	現金預金 / 流動負債 × 100	14,133,724,245 / 4,447,201,635 × 100	317.81	278.86
	8 総資本回転率 (回)	営業収益－受託工事収益 / (期首総資本＋期末総資本)÷2	12,006,567,177 / 73,609,152,027	0.16	0.17
	9 自己資本回転率 (回)	営業収益－受託工事収益 / (期首自己資本＋期末自己資本)÷2	12,006,567,177 / 95,258,882,513	0.13	0.19
	10 固定資産回転率 (回)	営業収益－受託工事収益 / (期首固定資産＋期末固定資産)÷2	12,006,567,177 / 115,548,749,947	0.10	0.11
	11 流動資産回転率 (回)	営業収益－受託工事収益 / (期首流動資産＋期末流動資産)÷2	12,006,567,177 / 17,312,594,872	0.69	0.72
	12 未収金回転率 (回)	営業収益－受託工事収益 / (期首未収金＋期末未収金)÷2	12,006,567,177 / 1,908,669,453	6.29	6.27
	13 貯蔵品回転率 (回)	期首貯蔵品＋当年度受入高－期末貯蔵品 / (期首貯蔵品＋期末貯蔵品)÷2	59,644,772 / 151,056,651	0.39	0.52
	14 減価償却率 (%)	減価償却費 / 有形固定資産＋無形固定資産－土地－建設仮勘定＋減価償却費 × 100	4,675,491,376 / 116,899,241,093 × 100	4.00	4.12

	分析項目	算式	令和2年度		令和元年度
(3) 収益率その他	1 総資本利益(損失)率 (%)	当年度純利益(純損失) / (期首総資本＋期末総資本)÷2 × 100	2,835,559,805 / 73,609,152,027 × 100	3.85	3.85
	2 総収支比率 (%)	総収益 / 総費用 × 100	13,094,549,145 / 10,258,989,340 × 100	127.64	125.79
	3 営業収支比率 (%)	営業収益－受託工事収益 / 営業費用－受託工事費 × 100	12,006,567,177 / 9,615,164,164 × 100	124.87	123.24
	4 経常収支比率 (%)	営業収益＋営業外収益 / 営業費用＋営業外費用 × 100	13,089,380,298 / 10,242,863,116 × 100	127.79	126.21
	5 企業債元金償還額対給水収益(%)	建設改良のための企業債償還元金 / 給水収益 × 100	1,857,387,407 / 11,491,102,750 × 100	16.16	15.48
	6 企業債利息対給水収益(%)	企業債利息 / 給水収益 × 100	475,311,614 / 11,491,102,750 × 100	4.14	4.44
	7 企業債元利償還額対給水収益(%)	建設改良のための企業債元利償還額 / 給水収益 × 100	2,338,397,025 / 11,491,102,750 × 100	20.35	19.92
	8 企業債償還元金対減価償却費比率(%)	建設改良のための企業債償還元金 / 減価償却費－長期前受金戻入 × 100	1,857,387,407 / 3,775,009,026 × 100	49.20	47.22
	9 減価償却額対営業収益 (%)	減価償却費 / 営業収益 × 100	4,675,491,376 / 12,102,637,474 × 100	38.63	38.04
	10 職員給与費対営業費用 (%)	職員給与費 / 営業費用 × 100	1,610,295,361 / 9,747,208,146 × 100	16.52	16.08
	11 職員給与費対給水収益 (%)	職員給与費 / 給水収益 × 100	1,610,295,361 / 11,491,102,750 × 100	14.01	13.91

平成30年度	平成29年度	平成28年度	説　　明
328.07	351.30	351.25	流動負債に対する支払能力を判断する指標。数値は大きいほうが良く、支払準備率を表し100%以上あることが望ましい。
285.08	301.21	300.85	流動負債に対する支払能力を判断する指標。即座の支払能力を示す。数値は大きいほうが良く、支払準備率を表し100%以上あることが望ましい。
0.18	0.19	0.18	総資本の活動状況を判断する指標。数値が大きいほど総資本の利用が効率よく活発になされていることを示す。
0.20	0.20	0.19	自己資本の活動状況を判断する指標。数値が大きいほど自己資本が効率よく活発になされていることを示す。
0.11	0.11	0.10	固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを判断する指標。数値が大きいほど、施設などの固定資産が有効に稼動していることを示す。
0.80	0.88	0.84	流動資産がどの程度経営活動に利用されているかを判断する指標。数値が大きいほど、流動資産が有効に稼動していることを示す。
6.36	6.59	6.01	未収金の回収状況を判断する指標。数値が大きいほど、未収期間が短く未収金が早く回収されるを示す。
0.63	0.47	0.42	貯蔵品の入出庫状況を判断する指標。
4.05	4.04	4.05	固定資産に投下された資本の回収状況を判断する指標。数値が大きいほど資本として内部留保されていることを示す。

平成30年度	平成29年度	平成28年度	説　　明
3.84	3.98	2.30	投下された資本と利益の関係から、経営の効率性、収益性を判断する指標。数値が大きいほど良い。
124.14	124.18	112.48	損益計算上、総収益で総費用をまかなうことができるかどうかを示す。100%以上の事業は健全経営といえる。
120.80	123.46	123.96	総収益比率と違い営業外収支や受託工事収支といった企業本来の活動とは直接結びつかない収支を除外して企業固有の経済活動に着目した指標。100%以上の事業は健全経営といえる。
122.67	125.04	125.39	企業の経常的な活動における収益性を表す指標。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を表す。
15.35	14.61	16.10	企業債の元金償還額がどの程度経営要因になっているかを判断する指標。数値が小さいほうが良い。
4.69	4.93	5.61	企業債利息がどの程度経営要因になっているかを判断する指標。数値が小さいほうが良い。
20.05	19.54	21.71	企業債の元利償還がどの程度経営要因になっているかを判断する指標。数値が小さいほうが良い。
47.81	47.01	48.71	投下資本の回収と再投資とのバランスを見る指標。100%を超えると再投資を行う際に企業債等の外部資金に頼ることになる。数値が小さいほうが良い。
37.43	36.37	38.76	減価償却費がどの程度経営要因になっているかを判断する指標。数値が小さいほうが良い。
16.73	17.81	17.56	営業費用に対する職員給与費の割合を示す。数値が小さいほうが良い。
14.67	15.23	14.77	職員給与費がどの程度経営要因になっているかを判断する指標。数値が小さいほうが良い。

第３章　下水道事業統計



昭和２８年６月白川大水害の様子



昭和３０年代の下水道整備の様子

Ⅰ　熊本市下水道事業の沿革

1　下水道事業のあゆみ

古くから米作農業を産業の主体としたわが国では、し尿は有用な肥料として最近まで使用され、有価物としてはほぼ完全に農業へ移送されていました。このことは、廃棄物としていた欧米とは異なり、わが国ではし尿が環境悪化や水質汚濁の原因とはなりませんでした。しかし一面では、下水道の普及の遅れをもたらす原因ともなりました。

明治維新以後、人口の都市集中が始まると生活環境の悪化が顕著化し、度々コレラなどの伝染病が流行したことから、対策として明治 24 年水道法、次いで明治 33 年下水道法が制定されました。しかし、下水道は既に着工していた東京をはじめ、一部都市で市街地の雨、汚水の排除を主眼とした事業が進められたにすぎず、折からの富国強兵政策の推進のなかで経済的な問題から、国家規模での事業推進とはなりませんでした。

第二次世界大戦後、昭和 30 年代後半の飛躍的な経済成長に伴い、その弊害として各種の公害が発生しました。いわゆる水質汚濁を原因とする公害病の水俣病、イタイイタイ病などで、大きな社会問題となりました。一般に公害国会と呼ばれる昭和 45 年国会において、水質汚濁防止法の制定をはじめ公害対策基本法、下水道法等々の改正が行われ公害の発生に歯止めが掛けられました。

この中で下水道法は「公共用水域の水質の保全に資することを目的とする」とされ下水道計画の規模は、各市町村の自由選択ではなく、河川、海湾などに設定された水質基準を達成する事を第一義として、少なくとも市街化区域を網羅して策定する事と義務付けられ水質汚濁防止の決め手として位置付けられました。

このような時代背景のなか、熊本市では第三代辛島格市長が明治 45 年市議会に「上下水道いずれを先行すべきか」について諮問したのに対し、議会は「収入の伴う上水道を先行すべし」と答申し、上水道が着手され下水道整備は見送られました。

その後、大正 13～15 年にかけて腸チフスが大流行し、改めて下水道の必要性の認識が高まりました。昭和 2 年には、九州帝国大学教授西田精博士の指導により、当時としてはかなり精度の高い「熊本市改良下水道計画」が完成しました。しかしながら、これも主に経済的な理由により実現に至りませんでした。

第二次世界大戦後の昭和 23 年、戦災復興事業の一環として戦火に見舞われた中心市街地などを対象に面積 278ha、計画人口 48,000 余人で下水道事業がスタートしました。昭和 28 年には全体計画にも着手し、排水面積 2,548ha、計画人口 32 万人、事業費 47 億円として市議会の成案を受けました。

また、同じ昭和 28 年 6 月には白川の氾濫による未曾有の大水害に見舞われ、この水害で市街地が壊滅的な被害を受けたことから、下水道整備への世論が高まり、事業を軌道にのせることが出来ました。

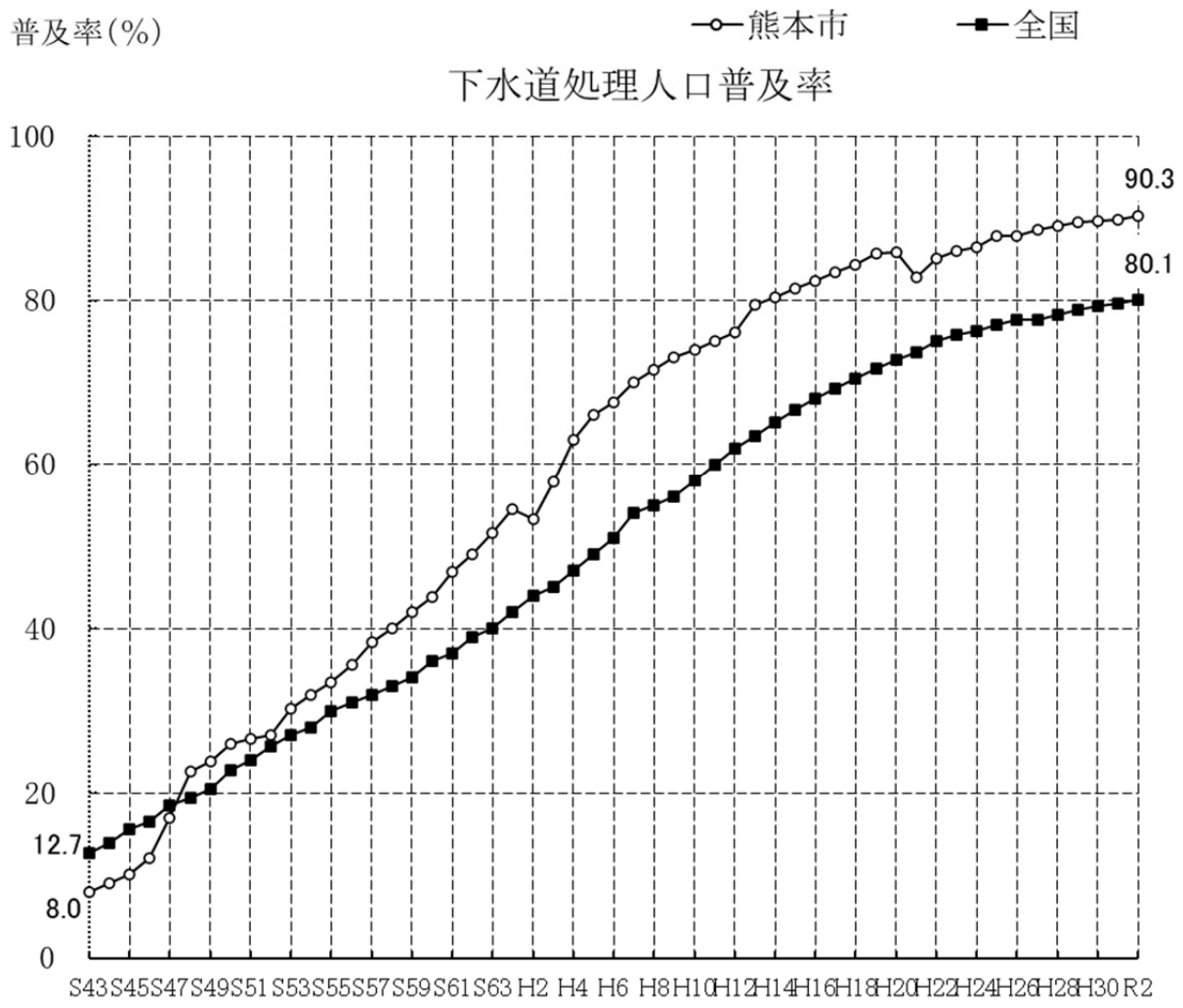
昭和 30 年代には、浸水排除を主眼とした本格的な整備に移行し、さらに公共用水域の水質保全が問われる中、昭和 51 年、それまでの合流式下水道から分流式での整備に転換し、計画区域を随時拡大し、事業を推進していきました。

特に、当時急速な市街化の進展により、熊本市の湧水のシンボル的な存在である江津湖は流域の藻器堀川、健軍川等に流れ込む生活雑排水で水質が悪化し、瀕死の状態に追い込まれ、市民の間で生態系への影響が懸念されるなど、対策が強く求められていました。

そこで、市は官民一丸となっての「江津湖クリーン作戦」を展開し、下水道では江津湖流域内の整備を重点的に行うため、モデル事業の採択を受け、昭和 61 年から平成 2 年までに 500ha 以上の整備を短期間で行いました。これにより、河川・湖の水質が大幅に改善され、藻器堀川では、平成 6 年に鮎の自然遡上も確認されました。

現在、熊本まちづくりの分野別重点プランである「安全で快適な都市基盤の整備」の主軸として、市街化区域をベースとした下水道整備を行っており、令和 2 年度の整備済面積 12033ha、処理区域内人口 660,810 人、行政人口に対する普及率は 90.3%（外国人登録人口含む）となっています（全国下水道処理人口普及率（未確定）%：令和2年度末）。人口普及率が80%を超えた今では、整備区域の拡大とともに維持管理にも重点をおいた事業経営に移行する必要があります。このため、維持管理を計画的に効率よく行い、経営状況を明確にするため、平成 18 年 4 月 1 日から地方公営企業法の一部（財務）を適用し、さらに平成 21 年 4 月 1 日からは、同法の全部を適用するとともに、本市水道局と組織統合し、新たに上下水道局としてスタートしました。

今後は、整備（未普及区域の解消）を進めるとともに、管渠、処理施設の老朽化に伴う改築・更新や都市化の進展に伴う浸水被害の解消、処理水・汚泥・消化ガスの有効利用等について、令和元年度策定した「熊本市上下水道事業経営戦略」に基づき、計画的かつ効率的に取り組んでいきます。



＊ 平成 2 年度、熊本市の普及率の減少は、旧飽託郡 4 町合併による。

＊ 平成 21 年度の熊本市の普及率の減少は、旧植木町、旧城南町合併による。

＊ 平成 22 年度の全国普及率は、東日本大震災の影響で調査不能な市町村があるため、岩手県・宮城県・福島県の 3 県を除く。

＊ 平成 23 年度の全国普及率は、東日本大震災の影響で調査不能な市町村があるため、岩手県・福島県の 2 県を除く。

＊ 平成 24 年度からの全国普及率は、東日本大震災の影響により調査不能な市町村があるため福島県を除く。

2 下水道法認可・都市計画決定の推移

年(西暦)	月	主な事項
昭和 23 (1948)	12	戦災復興区画整理事業の一環として市役所周辺の市街地に認可を受け、下水道事業に着手 対象面積278ha、対象人口48,886人、事業費167,000千円
25 (1950)	7	都市計画決定　対象面積44ha
32 (1957)	1	下水道法変更認可 対象面積640ha、対象人口118,121人、事業費1,316,011千円
	10	都市計画の変更 対象面積2,548ha、対象人口320,000人
37 (1962)	6	下水道法変更認可 対象面積711ha、対象人口134,298人、事業費2,119,763千円
44 (1969)	3	下水道法変更認可 対象面積990ha、事業費6,571,833千円 都市計画の変更 対象面積2,612ha、対象人口378,239人
47 (1972)	7	下水道法変更認可 対象面積1,053ha、事業費11,779,988千円
48 (1973)		熊本市公共下水道基本計画策定　面積9,772ha
50 (1975)	1	都市計画の変更 面積2,730ha
	8	下水道法変更認可 対象面積2,260ha、対象人口163,500人、事業費81,542,057千円
55 (1980)		熊本市公共下水道基本計画変更 面積10,034ha
56 (1981)	7	都市計画の変更 面積4,735ha
	8	下水道法変更認可 対象面積3,393ha、対象人口242,600人、事業費128,631,657千円
57 (1982)	9	下水道法変更認可 対象面積3,510ha、対象人口250,000人、事業費145,571,037千円
58 (1983)	11	都市計画の変更 面積7,218ha(北部流域関連処理区1,652ha含む)
59 (1984)	1	熊本北部流域関連公共下水道の下水道法認可 対象面積503ha、対象人口31,800人、事業費18,784,000千円
	3	下水道法変更認可(単独公共) 対象面積4,779ha、対象人口318,100人、事業費148,894,437千円

年(西暦)			月	主な事項
昭和	62	(1987)		熊本市公共下水道基本計画変更 面積10,080ha
			9	都市計画の変更 面積7,292ha
			11	下水道法変更認可(単独公共) 対象面積5,013ha、対象人口328,400人、事業費164,927,841千円
	63	(1988)	2	下水道法変更認可(北部流域関連) 対象面積503ha、対象人口31,800人、事業費20,488,000千円
平成	2	(1990)	7	都市計画の変更 面積8,778ha
			11	下水道法変更認可(単独公共) 対象面積6,949ha、対象人口451,200人、事業費230,460,422千円 下水道法変更認可(北部流域関連) 対象面積912ha、対象人口53,000人、事業費29,646,400千円
	3	(1991)	2	旧飽託4町合併に伴い、北部町下水道計画区域の編入 対象人口65,600人、事業費32,750,628千円
	4	(1992)	12	都市計画の変更 面積9,392ha
	5	(1993)	2	下水道法変更認可(北部流域関連) 対象面積1,548ha、対象人口73,100人、事業費44,051,628千円
	6	(1994)	2	熊本市公共下水道基本計画変更 計画面積12,750ha、計画人口738,628人
			4	都市計画の変更 面積12,389ha
			8	下水道法変更認可(単独公共) 対象面積8,899ha、対象人口522,400人、事業費310,330,904千円
			9	武蔵ヶ丘処理区の廃止(63ha)、北部流域関連処理区に編入 下水道法変更認可(北部流域関連) 対象面積2,306ha、対象人口101,600人、事業費65,678,799千円
	8	(1996)	12	下水道法変更認可 対象面積8,932ha、対象人口515,700人、事業費319,001,121千円
	10	(1998)	8	都市計画の変更 西部浄化センター放流渠
	12	(2000)	3	処理水再利用基本計画策定
	13	(2001)	3	下水道法変更認可 対象面積8,932ha、対象人口515,700人、事業費350,443,200千円
			7	熊本市公共下水道基本計画変更 計画面積12,280ha、計画人口718,000人

年(西暦)	月	主な事項
平成　15　(2003)	3	下水道法変更認可 処理水再利用計画
	10	都市計画の変更 面積　汚水12,511ha、雨水12,455ha
	11	下水道法変更認可(単独公共) 対象面積8,859ha、対象人口516,450人、事業費418,471,651千円 下水道法変更認可(北部流域関連) 対象面積2,278ha、対象人口122,710人、事業費61,720,293千円
17　(2005)	7	下水道法変更認可(単独公共) 対象面積8,859ha、対象人口516,450人、事業費419,450,851千円 合流式下水道改善計画の追加
	12	下水道法変更認可(単独公共) 対象面積8,859ha、対象人口516,450人、事業費420,885,851千円 南部浄化センター汚泥焼却炉(1号炉)の廃止 下水汚泥乾燥施設の東部環境工場への設置
19　(2007)	7	下水道法変更認可(北部流域関連) 対象面積2,278ha、対象人口123,000人、事業費58,867,263千円
20　(2008)	10	旧富合町との合併に伴い富合処理区域の編入
21　(2009)	3	熊本市公共下水道基本計画変更 計画面積(熊本市12,280ha＋旧富合町425ha)12,705ha 計画人口(熊本市706,000人＋旧富合町9,000人)715,000人 事業費　(628,411,000千円＋16,279,600千円) 下水道法変更認可 計画面積(熊本市11,136.1ha＋旧富合町220.8ha)11,356.9ha 計画人口(熊本市639,450人＋旧富合町4,640人)642,090人 事業費　(420,885,851千円＋7,859,269千円)
22　(2010)	2	都市計画の変更 面積　汚水12,511ha 雨水12,457ha (加勢川第6排水区　雨水調整池追加)
	3	熊本市公共下水道基本計画変更 計画目標年次　平成32年(2020年)→平成40年(2028年) 人口減少及び社会情勢の変化に伴うフレーム・原単位の変更
	3	下水道法認可変更 対象面積　汚水9,497ha、対象人口526,870人 事業費375,624,051千円 ポンプ施設 花畑ポンプ場　廃止 新花畑ポンプ場　追加 処理施設 中部浄化センターに消化ガス発電設備を追加 東部浄化センターに高度処理施設を追加 南部浄化センターに汚泥固形燃料化施設を追加

年(西暦)	月	主な事項
		貯留施設 中部浄化センター、東部浄化センター、及び坪井ポンプ場に 雨水滞水池を追加 植木町・城南町と合併 計画面積(熊本市12,705ha＋旧植木町423ha＋旧城南町550ha) 13,678ha 計画人口(熊本市647,000人＋旧植木町14,600人＋旧城南町16,400人) 678.000人 事業費 (熊本市256,473,572千円＋旧植木町6,615,600千円＋ 旧城南町9,464,000千円)272,553,172千円
22 (2010)	4	下水道法認可変更(北部流域関連) 対象面積 2,315ha、対象人口120,600人、事業費53,758,917千円
23 (2011)	2	都市計画法認可変更(北部流域関連) 対象面積 2,285ha、対象人口119,200人、事業費53,285,737千円
	3	下水道法認可変更(単独公共:城南町) 対象面積 436ha、対象人口11,300人、事業費13,584,550千円
	3	下水道法認可変更(流域関連:植木町) 対象面積 215ha、対象人口7,500人、事業費5,973,300千円
24 (2012)	2	下水道法認可変更(単独公共) 処理・排水区域の変更 面積 汚水9,497ha、雨水8,975ha (坪井川第3排水区 雨水調整地追加) 管渠延長の変更 延長 汚水226,990m(新花畑P、内田Pによる変更) 合流 7,130m(新花畑Pによる変更) 雨水108,370m(加勢川第6排水区による変更) ポンプ施設 内田ポンプ場(汚水)追加 貯留施設 坪井ポンプ場 雨水滞水池 削除 加勢川第6排水区 雨水調整池 変更 坪井川第3排水区 雨水調整池 追加 対象面積9496.1ha、対象人口526,870人、事業費390,177,426千円
24 (2012)	3	都市計画の変更 熊本都市計画下水道の変更 汚水 約13,233ha(排水区域の変更、植木ポンプ場の名称変更) 雨水 約12,812ha
25 (2013)	3	熊本市公共下水道全体計画変更 計画目標年次 平成40年度 計画区域面積 13,724ha 計画処理人口 666,300人
26 (2014)	3	下水道法事業計画変更(単独公共) 処理・排水区域の変更 面積 汚水10,106ha、雨水9,352ha

年(西暦)	月	主な事項
		管渠延長の変更 延長　汚水251,990m 　　合流　7,130m 　　雨水114,530m 対象人口535,650人、事業費426,706,276千円 下水道法事業計画変更(北部流域関連) 処理・排水区域の変更 面積　2,631ha 管渠延長の変更 延長　汚水58,580m 処理人口125,700人、事業費62,484,996千円 下水道法事業計画変更(他団体接続:富合町) 処理・排水区域の変更 面積　288.8ha 管渠延長の変更 延長　12,640m 対象人口4,750人、事業費10,036,007千円
27　(2015)	11	下水道法事業計画変更(単独公共) 処理・排水区域の変更 面積　汚水10,106ha(変更なし) 　　雨水9,352ha(0.03ha追加) 処理方法の変更 　東部浄化センター
30　(2018)	11	下水道法事業計画変更(単独公共、北部流域関連、他団体接続・富合) 改正下水道法(平成27年11月施行)に伴う施設等の維持管理に関する方針の追加
31　(2019)	3	都市計画の変更 熊本都市計画下水道の変更 汚水　約13,257ha(排水区域の変更) 雨水　約12,812ha(変更なし)
令和　2　(2020)	2	下水道法事業計画変更(単独公共) 処理・排水区域の変更 面積　汚水10,106ha(0.4ha追加) 　　雨水9,352ha(変更なし)
令和　2　(2020)	10	都市計画の変更 熊本都市計画下水道の変更(下水管渠・その他施設) 　管渠延長の変更 　ポンプ場の追加
令和　2　(2020)	11	下水道法事業計画変更(単独公共) 　管渠延長の変更 　ポンプ施設の追加 　貯留管の追加
令和　3　(2021)	3	熊本市公共下水道全体計画変更 　計画目標年次　令和17年度 　計画区域面積　13,647ha 　計画処理人口　689,400人

3　全体計画
(1)計画区域

将来の都市像の予想に基づく今後の下水道整備のあり方を検討するため、令和17年度を目標とした熊本市公共下水道全体計画の見直しを令和2年度に行った。
本市の公共下水道は、平成22年3月に合併した旧城南町・旧植木町を加えた市域(39,032ha)のうち、市街化区域を中心に周辺集落を含めた区域を全体計画区域(13,647ha)と定めている。この基本計画区域を中部・東部・南部・西部・北部・河内・富合・城南及び植木の9つの処理区分に分割し、効率的に整備を行い、その他の市域を農業集落排水事業及び合併処理浄化槽設置事業で整備を行なうこととしている。

《全体計画》

区　分		基本計画	排除方式
中部処理区	処理面積(ha)	1,549	合流
	処理人口(人)	98,500	(643ha)
	汚水ポンプ(箇所)	3	分流
	雨水ポンプ(箇所)	3	(906ha)
	汚水・雨水ﾎﾟﾝﾌﾟ(箇所)	2	
東部処理区	処理面積(ha)	4,355	合流
	処理人口(人)	278,400	(216ha)
	汚水ポンプ(箇所)	13	分流
	雨水ポンプ(箇所)	―	(4,139ha)
	汚水・雨水ﾎﾟﾝﾌﾟ(箇所)	1	
南部処理区	処理面積(ha)	1,846	分流
	処理人口(人)	95,200	
	汚水ポンプ(箇所)	5	
	雨水ポンプ(箇所)	―	
	汚水・雨水ﾎﾟﾝﾌﾟ(箇所)	1	
西部処理区	処理面積(ha)	2,138	分流
	処理人口(人)	71,700	
	汚水ポンプ(箇所)	4	
	雨水ポンプ(箇所)	1	
富合処理区	処理面積(ha)	410	分流
	処理人口(人)	7,900	(宇土市終末処理場へ)
	汚水ポンプ(箇所)	1	
	雨水ポンプ(箇所)	―	
城南処理区	処理面積(ha)	560	分流
	処理人口(人)	15,200	
	汚水ポンプ(箇所)	―	
	雨水ポンプ(箇所)	―	
小計	処理面積(ha)	10,858	
	処理人口(人)	566,900	
北部処理区 (北部流域関連)	処理面積(ha)	2,352	分流
	処理人口(人)	110,100	(熊本北部浄化センターへ)
	汚水ポンプ(箇所)	5	
	雨水ポンプ(箇所)	―	
植木処理区 (北部流域関連)	処理面積(ha)	437	分流
	処理人口(人)	12,400	(熊本北部浄化センターへ)
	汚水ポンプ(箇所)	1	
	雨水ポンプ(箇所)	―	
小計	処理面積(ha)	2,789	
	処理人口(人)	122,500	
合計	処理面積(ha)	13,647	
	処理人口(人)	689,400	

（2）計画汚水量

上水道の給水計画、土地利用形態等を考慮し、生活汚水量、営業排水量、その他汚水量、地下水量及び工場排水量に区分し、それぞれの水量を積み上げて算出した。

《処理区分別計画汚水量》

		処理区名	中部処理区	東部処理区	南部処理区	西部処理区	北部処理区	富合処理区	植木処理区	城南処理区	合　計
処理面積（ha）			1,549	4,355	1,846	2,138	2,352	410	437	560	13,647
処理人口（人）			98,500	278,400	95,200	71,700	110,100	7,900	12,400	15,200	689,400
計画汚水量㎥／日	生活汚水量	日　平　均	22,660	64,030	21,900	16,490	25,320	1,820	2,850	3,500	158,570
		日　最　大	30,040	80,740	29,030	20,800	31,940	2,290	4,090	4,410	203,340
		時間最大	45,310	121,100	43,800	31,190	47,890	3,440	6,140	6,610	305,480
	営業汚水量	日　平　均	17,770	19,490	7,620	5,750	7,710	550	870	1,060	60,820
		日　最　大	23,530	23,660	9,990	7,070	9,350	670	1,240	1,290	76,800
		時間最大	35,550	36,190	15,240	10,740	14,310	1,030	1,860	1,980	116,900
	その他汚水量	日　平　均	—	800	—	900	—	240	—	—	1,940
		日　最　大	—	800	—	1,200	—	240	—	—	2,240
		時間最大	—	3,800	—	1,700	—	480	—	—	5,980
	地下水量	日　平　均	8,270	20,880	5,720	4,110	6,050	430	810	840	47,110
		日　最　大	8,270	20,880	5,720	4,110	6,050	430	810	840	47,110
		時間最大	8,270	20,880	5,720	4,110	6,050	430	810	840	47,110
	工場排水量	日　平　均	5,180	6,710	9,900	2,390	6,390	150	1,300	670	32,690
		日　最　大	5,180	6,710	9,900	2,390	6,390	150	1,300	670	32,690
		時間最大	10,360	13,420	19,800	4,780	12,780	300	2,600	1,340	65,380
	合　計	日　平　均	53,880	111,910	45,140	29,640	45,470	3,190	5,830	6,070	301,130
		日　最　大	67,020	132,790	54,640	35,570	53,730	3,780	7,440	7,210	362,180
		時間最大	99,490	195,390	84,560	52,520	81,030	5,680	11,410	10,770	540,850
	採用値	日　平　均	53,900	112,000	45,200	29,700	45,500	3,200	5,900	6,100	301,500
		日　最　大	67,100	132,800	54,700	35,600	53,800	3,800	7,500	7,300	362,600
		時間最大	99,500	195,400	84,600	52,600	81,100	5,700	11,500	10,800	541,200

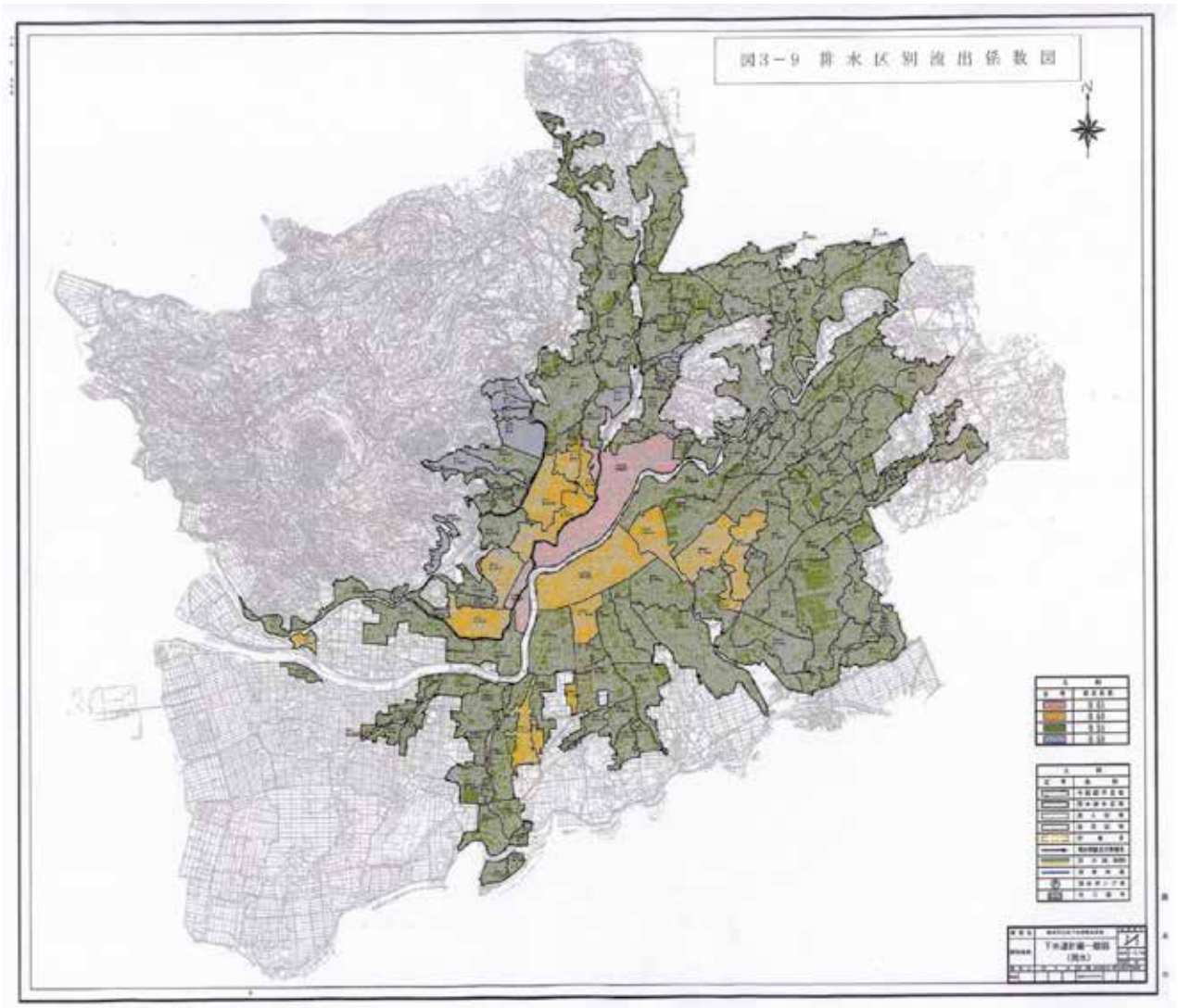
(3)計画雨水量

熊本市では、最低限の対応として地域への重大な被害の発生は回避するべく、過去の大水害発生時の時間最大降雨量を目安に確率年を設定した。具体的には昭和28年の白川大洪水(59.2mm/時)及び昭和55年の8.30水害(56.0mm/時)の時間雨量を目安とし、10分間雨量20mm、1時間雨量60mmの降雨に対応可能な施設計画とするべく、確率年を5年と設定した。

確　率　年	5年確率	※城南は7年確率
確率強度公式	I=6,060/t+41(60mm/時) *注1	I=7,270/t+47

(注1) 採用時間雨量強度公式は、岩井法による10分、60分の確率雨量(試料:熊本地方気象台S.16～H.10の58年間)から最小二乗法により算出した値を採用した。

河川流域ブロック別流出係数 *注2



(注2) 雨水渠設計に用いる流出係数は地域特性を考慮して必要に応じ排水区(吐口)単位に決定するものとする。

4 全体計画と事業計画

熊本市の将来の都市像を想定し、将来的な下水道整備の計画として「全体計画」を定めています。
全体計画の区域のうち、下水道法に基づく予定処理区域の下水道整備を進めています。昭和23年278haでスタート以来区域の拡大を重ね、現在の事業計画の区域面積は13,026haであり、整備済み面積は12,033haとなっています。この区域について、早期整備完了を目指し事業を進めています。

	全体計画（最新計画変更 R3年3月）			事業計画（最新事業計画変更 R2年11月）		
	面積(ha)	人口(人)	水量(m^3/日)	面積(ha)	人口(人)	水量(m^3/日)
中部	1,549	98,500	67,100	1,548	86,400	64,500
東部	4,355	278,400	132,800	4,352	267,900	145,300
南部	1,846	95,200	54,700	1,844	92,920	52,300
西部	2,138	71,700	35,600	1,863.4	70,600	31,200
富合	410	7,900	3,800	288.8	4,700	2,380
城南	560	15,200	7,300	499	13,600	6,100
小計	10,858	566,900	301,300	10,395.2	536,120	301,780
北部(北部流域関連)	2,352	110,100	53,800	2,323.6	114,510	55,820
植木(北部流域関連)	437	12,400	7,500	307.2	10,200	4,750
小計	2,789	122,500	61,300	2,630.8	124,710	60,570
合計	13,647	689,400	362,600	13,026	660,830	362,350

5 下水道関連年表

年(西暦)	月	主な事項
明治 45 (1912)	12	第3代 辛島 格市長「上水道・下水道いずれかを先に実施すべきか」市議会に諮問
大正 2 (1913)	4	上記諮問に対し「収入の伴う上水道を先行するを可とする」との市議会答申
13 (1924)		腸チフスの流行により、下水道の必要性の認識高まる(～T15)
昭和 2 (1927)	5	九州帝大教授西田精博士の指導を受け、熊本市改良下水道の調査着手
6 (1931)	3	調査報告書完成。熊本市改良下水道計画ができたが、事業費は400万円の巨額を要するため、財政上の理由により事業は実現せず。
23 (1948)	12	**戦災復興区画整理事業の一環として市役所周辺の市街地に認可を受け下水道に着手。対象面積278ha、対象人口48,886人、事業費167,000千円。**
33 (1958)	4	下水道課新設 職員25人
34 (1959)	8	下水道使用料改定
35 (1960)	5	下水道使用料徴収開始
37 (1962)		西部汚水処理場の建設に着手
43 (1968)	1	西部汚水処理場の処理開始、熊本市水洗便所改造資金貸付規則施行
44 (1969)	8	下水道事業受益者負担金徴収開始
45 (1970)	5	下水道課を下水道管理課と下水道建設課に分割 職員100人
	8	秋津下水処理場の建設に着手
46 (1971)	3	熊本市下水道条例公布(同名の旧条例は廃止)
	4	同条例施行
	9	機構改革に伴い下水道部に昇格 職員113人 下水道管理課・下水道建設課・西部汚水処理場にて構成
47 (1972)	4	「熊本市共同排水設備助成規則」公布、施行
	11	下水道部に秋津下水処理場を新設
	12	下水道部を再編成 職員113人 下水道建設課を下水道建設課と下水道計画課に分割 西部汚水処理場を蓮台寺下水処理場に改称 秋津下水処理場の処理開始
48 (1973)	12	熊本市生活扶助世帯水洗便所改造助成規則公布、施行
50 (1975)		蓮台寺下水処理場を農業用水再利用へ実用化する試験に着手
	12	熊本市都市計画下水道受益者負担に関する条例公布
51 (1976)	4	同条例施行
	10	下水道使用料改定
53 (1978)	7	私道に対する公共下水道布設取扱要綱制定
54 (1979)	12	熊本市生活保護世帯水洗便所改造助成金交付規則公布
55 (1980)	1	同規則施行
57 (1982)		蓮台寺処理場処理水農業用水再利用に向け現地実証試験開始(～S59)
57 (1982)	9	川尻下水処理場の建設に着手
59 (1984)	4	下水道使用料改定
	8	熊本北部流域関連公共下水道の建設着手
60 (1985)		蓮台寺処理場処理水の農業用水再利用実用化 対象田225ha、対象戸数529戸 供給水量25,000～30,000㎥/日(6月中旬～10月中旬) アピール下水道「水前寺、江津湖クリーン作戦」採択 (モデル期間 昭和61年度～平成2年度)
62 (1987)	3	川尻下水処理場処理開始
63 (1988)	9	川尻下水処理場 汚泥焼却炉の建設に着手
平成 元 (1989)	1	下水道使用料改定
	3	熊本北部流域下水道浄化センターの処理開始
2 (1990)	5	川尻下水処理場汚泥焼却炉(30t/日)運転開始
	8	小島下水処理場の建設に着手

年(西暦)	月	主な事項
平成 2 (1990)	12	各処理場の名称変更
		蓮台寺下水処理場 → 中部浄化センター
		秋津下水処理場 → 東部浄化センター
		川尻下水処理場 → 南部浄化センター
		小島下水処理場 → 西部浄化センター
3 (1991)	9	下水道資料展示コーナー開設(東部浄化センター内)
4 (1992)	4	下水道技術センター設立
	5	楠団地処理場 用地所管替え 6,136.44㎡(教育委員会施設課)
	9	南部浄化センター2号汚泥焼却炉建設開始
5 (1993)	1	中部浄化センター処理水の蓮根栽培用水利用への実用化試験に着手
	6	下水道使用料改定
6 (1994)	11	下水道施設改築基本計画策定
7 (1995)	1	武蔵ヶ丘団地処理場の廃止(処理場敷地4,040㎡)
		北部流域関連処理区へ切り替え
	4	私道に対する公共下水道布設取扱要綱改定
	6	南部浄化センター2号汚泥焼却炉(50t/日)運転開始
8 (1996)	6	熊本市西部浄化センター処理水放流及び水産振興検討委員会設置
9 (1997)	1	下水道台帳システム事前調査着手
	5	下水道使用料改定
10 (1998)	3	西部浄化センター処理水放流の関係7漁業協同組合と覚書締結
	9	下水道着手50周年記念行事
12 (2000)	9	建設大臣賞「甦る水100選」に"甦れ江津湖、下水道クリーン作戦"が選ばれ受賞
13 (2001)	3	新世代下水道支援事業 水環境創造事業
		水循環再生型(梅洞地区・小島地区・高砂地区)採択
13 (2001)	4	下水道使用料改定
14 (2002)	3	西部浄化センター処理開始
		(当初より運転管理業務は民間へ委託)
15 (2003)	11	下水道施設改築基本計画(変更) 策定
		加勢川第6排水区(東町地区雨水貯留浸透事業)
		"ウォーター・コントロール・スクラム事業"
		(実施期間 平成16年度～平成19年度)
	6	熊本市下水道事業運営審議会の設置
17 (2005)	3	合流式下水道緊急改善計画承認
	4	熊本市下水道事業「中・長期経営計画」に関する意見書答申
	6	地域再生計画認定
		"熊本市「水と緑の都」水循環再生計画"
		(事業期間 平成17年度～平成21年度)
	8	熊本市下水道事業「中・長期経営計画」 策定
	11	下水道使用料改定
	12	熊本市下水道事業の設置等に関する条例公布
18 (2006)	3	下水道施設改築基本計画の一部変更
		1号焼却炉(汚泥乾燥施設)の改築更新の追加
		施設改築計画の計画年次、工事費の見直し
		熊本市下水道事業会計規則公布
	4	熊本市下水道事業の設置等に関する条例施行
		熊本市下水道事業会計規則施行(地方公営企業法の一部(財務)適用)
19 (2007)	12	熊本市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例公布
20 (2008)	3	下水道施設改築基本計画の一部変更
	9	南部浄化センター1号汚泥焼却炉運転停止(廃止)
	11	浸水対策重点6地区の整備計画の承認
		汚泥処理処分計画の見直し承認(ゴミ混焼→燃料化リサイクル率100%)

年(西暦)	月	主な事項
平成 21 (2009)	4	熊本市水道事業等及び下水道事業の設置等に関する条例施行
		熊本市下水道事業の設置等に関する条例廃止
		(地方公営企業法の全部適用・上下水道局の設置)
		河川課へ下水道事業(雨水)の移管
		南部浄化センターの運転管理業務の民間委託を開始
	6	熊本市合流式下水道緊急改善計画 同意
		熊本市水道事業等及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正
		(旧富合町の基本計画見直しに伴う変更)
	9	下水道使用料改定
22 (2010)	1	熊本市下水道事業 「中・長期経営計画」 策定見直し
	3	熊本市水道事業等及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正
		(城南町、植木町の合併に伴う変更)
	4	検針・収納整理・転居等清算業務の民間委託開始
	6	熊本市水道事業等及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正
		(熊本市、旧城南町の基本計画見直しに伴う変更)
23 (2011)	3	東日本大震災被災地支援活動(下水道施設被災状況調査)
24 (2012)	1	「横手の井芹川旧河川」が熊本水遺産に登録される
	3	熊本市水の科学館が下水道に関する展示も加えリニューアルオープン
		熊本市上下水道事業経営基本計画 策定
		熊本市下水道長寿命化計画(中部処理区:城東D地区) 策定
	4	政令指定都市移行等に伴う機構改革(部制の廃止など)
	7	九州電力によるセーフティネットとしての計画停電の準備
		九州北部豪雨災害によりﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ場(吉原町・龍田陳内4丁目)浸水被害
	12	熊本市公共下水道施設長寿命化計画(第1期:浄化センター・ポンプ場) 策定
25 (2013)	3	熊本市下水道総合地震対策計画 策定
		「熊本市下水道事業基本計画」策定
	4	南部浄化センター内において下水汚泥固形燃料化施設の運用を開始
		中部浄化センターにおいて消化ガス発電事業を開始
		東部浄化センターの運転管理業務の民間委託を開始
		窓口収納業務の民間委託を開始
	11	上下水道総合管理システムが稼働
	12	熊本市下水道長寿命化計画(中部処理区:城東C・E地区) 策定
		熊本市公共下水道施設長寿命化計画(第1期:浄化センター・ポンプ場)第1回変更
26 (2014)	3	新庁舎開所・業務開始
		新花畑ポンプ場築造工事竣工(汚水ポンプ4台、雨水ポンプ2台)
	4	熊本市下水道条例一部改正に伴う下水道使用料の改定(平成26年7月徴収分より)
	8	熊本市公共下水道施設長寿命化計画(第1期:浄化センター・ポンプ場)第2回変更
27 (2015)	2	熊本市公共下水道施設長寿命化計画(第1期:浄化センター・ポンプ場)第3回変更
		新世代下水道支援事業 水環境創造事業 水循環再生型(畠口地区)採択
	3	熊本市下水道長寿命化計画(中部処理区:城東A・B・F地区、東部処理区東町地区) 策定
	7	災害対策として白川中学校にマンホールトイレを設置
	12	熊本市公共下水道施設長寿命化計画(第1期:浄化センター・ポンプ場)第4回変更
28 (2016)	3	熊本市公共下水道(合流区域)管路施設長寿命化計画 策定
	4	平成28年熊本地震発生
		東部浄化センターにおいて消化ガス発電事業を開始
	9	平成28年度(第9回)国土交通大臣賞＜循環のみち下水道賞＞
		レジリエント部門受賞 ～熊本地震におけるマンホールトイレの活用～
29 (2017)	3	熊本市下水道総合地震対策計画 第1回変更
30 (2018)	3	熊本市下水道ストックマネジメント計画 策定
	6	熊本市上下水道事業経営基本計画中間見直し策定
31 (2019)	2	東部浄化センターB－3系増設工事開始
	3	熊本市下水道ストックマネジメント計画 第1回変更
	4	東部浄化センターにおいて家畜排せつ物分離液の受入れ開始

年(西暦)	月	主な事項
	9	平成元年度(第12回)国土交通大臣賞＜循環のみち下水道賞＞ イノベーション部門受賞　下水道施設を活用した家畜排せつぶつのエネルギー利用と地下水保全
	9	平成元年度(第12回)国土交通大臣賞＜循環のみち下水道賞＞ 広報・教育部門受賞　運動会でマンホールトイレ～遠く離れた2つの都市からの発信～
令和　2　(2020)	3	「熊本市上下水道事業経営戦略」策定 熊本市下水道ストックマネジメント計画　第2期策定
	7	令和2年7月豪雨(熊本県南豪雨災害) 下水道施設の被害状況調査(人吉市　7月８日～7月13日、延べ82人)
	12	上下水道局職員の新型コロナウイルス感染に伴う局庁舎本館全フロアの閉鎖
令和　3　(2021)	3	熊本市公共下水道全体計画策定(R3～R17) 熊本市下水道総合地震対策計画　第2期策定(R3～R7)

6 下水道事業主要指標総括表

区分 / 年度	行政区域内人口 (A) 人	処理区域内人口 (B) 人	普及率 (B/A) %	水洗化人口 (C) 人	水洗化率 (C／B) %	市域面積 (D) ha	整備済面積 (E) ha	普及率（面積） (E/D) %
昭和 23	252,547	45	0.02				0.31	
24	258,791	131	0.05				1	
25	267,506	232	0.09				2	
26	275,424	378	0.14				3	
27	274,343	1,195	0.44				8	
28	296,347	1,405	0.47				10	
29	319,622	4,467	1.40				31	
30	333,251	4,553	1.37				31	
31	347,040	6,802	1.96				48	
32	353,099	7,860	2.23				56	
33	362,166	8,816	2.43				64	
34	365,388	10,325	2.83				77	
35	368,854	14,003	3.80				103	
36	371,952	21,436	5.76				155	
37	379,175	34,054	8.98				247	
38	387,361	39,063	10.08				283	
39	396,734	41,458	10.45				306	
40	407,279	43,721	10.73			17,172	325	1.89
41	415,668	48,520	11.67			17,172	364	2.12
42	426,630	52,751	12.36			17,172	401	2.33
43	432,716	57,011	13.18			17,172	434	2.53
44	434,596	60,979	14.03			17,172	465	2.71
45	443,557	70,135	15.81			17,172	534	3.11
46	447,200	83,756	18.73			17,172	634	3.69
47	461,127	92,785	20.12			17,172	711	4.14
48	468,431	108,100	23.08			17,172	891	5.19
49	477,450	116,481	24.40			17,172	952	5.54
50	489,561	131,700	26.90			17,172	1,065	6.20
51	496,891	136,900	27.55			17,172	1,142	6.65
52	504,401	145,300	28.81			17,172	1,262	7.35
53	510,339	159,700	31.29			17,172	1,433	8.34
54	516,298	170,200	32.97			17,172	1,573	9.16
55	525,679	181,000	34.43			17,172	1,719	10.01
56	532,023	194,400	36.54			17,172	1,895	11.03
57	538,025	211,000	39.22	167,792	79.52	17,172	2,201	12.82
58	544,334	224,500	41.24	179,074	79.77	17,172	2,425	14.12
59	550,318	237,400	43.14	196,032	82.57	17,172	2,673	15.56
60	554,062	248,100	44.78	212,804	85.77	17,172	2,908	16.93
61	549,904	257,500	46.83	238,962	92.80	17,173	3,911	22.77
62	554,904	271,700	48.96	253,967	93.47	17,173	4,220	24.57
63	561,103	288,700	51.45	269,361	93.30	17,173	4,591	26.73
平成 元	565,676	307,800	54.41	284,722	92.50	17,173	5,066	29.50
2	617,160	321,128	52.03	298,328	92.90	26,621	6,134	23.04
3	621,929	329,000	52.90	317,944	96.64	26,621	5,800	21.79
4	627,542	382,243	60.91	354,721	92.80	26,621	6,338	23.81
5	627,919	411,565	65.54	375,323	91.19	26,621	6,676	25.08
6	633,644	431,388	68.08	393,426	91.20	26,621	6,900	25.92
7	637,670	442,309	69.36	410,307	92.76	26,625	7,271	27.31
8	640,889	454,950	70.99	424,308	93.26	26,625	7,652	28.74
9	644,114	474,075	73.60	440,415	92.90	26,625	7,979	29.97
10	647,348	488,919	75.53	454,694	93.00	26,625	8,167	30.67
11	650,015	500,679	77.03	465,630	93.00	26,673	8,340	31.27
12	653,748	508,420	77.77	470,797	92.60	26,673	8,609	32.28
13	666,795	519,768	77.95	483,384	93.00	26,673	8,644	32.41
14	659,453	526,666	79.86	495,066	94.00	26,677	8,912	33.41
15	660,539	534,641	80.94	507,375	94.90	26,706	9,015	33.76
16	661,406	541,918	81.93	517,532	95.50	26,708	9,132	34.19
17	658,467	548,671	83.33	524,858	95.66	26,631	9,263	34.78
18	659,329	556,516	84.41	533,698	95.90	26,722	9,458	35.39
19	663,252	564,617	85.13	540,846	95.79	26,723	9,465	35.42
20	672,609	578,074	85.95	554,431	95.91	28,682	10,107	35.24
21	727,955	602,566	82.78	576,987	95.75	38,953	10,604	27.22
22	729,048	620,130	85.06	597,493	96.35	38,953	10,793	27.71
23	729,189	628,728	86.22	607,492	96.62	38,954	10,925	28.05
24	731,815	633,038	86.50	612,514	96.76	38,954	11,112	28.53
25	732,877	643,344	87.78	622,006	96.68	38,954	11,287	28.98
26	733,516	645,030	87.94	625,654	96.99	39,032	11,391	29.18
27	733,638	650,323	88.64	631,272	97.07	39,032	11,466	29.38
28	731,754	651,795	89.07	633,235	97.15	39,032	11,565	29.63
29	732,217	655,441	89.51	637,190	97.22	39,032	11,652	29.85
30	731,933	656,907	89.75	638,902	97.26	39,032	11,756	30.12
令和 元	731,572	657,885	89.90	640,319	97.33	39,032	11,899	30.49
2	731,426	660,810	90.35	643,661	97.40	39,032	12,033	30.83

浄化センター（市営のみ）箇所	ポンプ場数（中継ポンプ場）箇所	ポンプ場数（雨水ポンプ場）箇所	マンホール数 箇所	汚水・雨水ます数 箇所	管路延長 km	年間総処理水量（市営浄化センターのみ）㎥	下水道使用料（税抜）円
					0.0		
					0.2		
					0.5		
					0.7		
					2.2		
					2.7		
					7.3		
					7.5		
					11.7		
					14.7		
					17.5		
					22.2		
					28.6		
					43.7		
					56.0		10,942,858
					65.5		17,961,869
					72.4		25,941,906
2					77.2		25,767,321
2					86.4		30,099,205
2					96.9		34,923,655
2					108.4		37,404,424
2					120.5		43,121,164
2	1				144.1		46,747,819
2	1				173.7		52,941,343
2	2				196.5		54,147,824
2	2				241.3		77,777,475
2	5				256.6		88,352,505
2	5		8,240	25,816	282.7	35,179,120	100,792,690
2	5		8,728	27,039	299.2	36,135,000	240,008,861
2	5		9,438	29,032	324.2	37,230,000	402,243,536
2	6		10,813	32,619	372.8	33,360,000	413,944,393
2	8		11,768	35,231	410.8	42,282,000	422,998,228
3	10		12,443	36,972	436.2	42,746,000	445,790,648
3	10		13,530	40,103	476.0	42,141,000	474,426,596
3	11		15,044	44,321	529.8	37,975,000	495,049,975
3	13		16,449	47,805	573.6	44,160,000	530,872,883
3	16		17,852	51,930	621.5	44,241,000	862,485,897
3	16		19,254	56,115	674.3	46,522,000	1,000,789,145
3	16		20,570	59,823	737.8	50,284,000	1,055,079,469
3	20		21,942	64,004	797.4	54,723,000	1,092,186,887
3	21		23,401	67,817	866.1	58,002,000	1,172,148,646
3	23		25,770	75,001	962.9	55,856,000	2,333,265,803
3	25		28,561	81,859	1,137.4	59,590,000	2,425,897,467
3	25		31,577	89,103	1,244.2	69,164,000	2,503,946,503
3	25		34,460	95,520	1,346.8	64,031,000	2,614,009,670
3	26		36,472	100,443	1,419.0	74,807,000	3,273,000,451
3	28		37,711	103,305	1,469.0	65,431,000	3,882,235,396
3	29		39,518	107,363	1,558.1	69,786,000	4,026,268,241
3	30		41,973	112,335	1,639.4	72,394,000	4,149,697,162
3	32	1	44,651	117,088	1,720.6	75,150,000	5,614,091,366
3	32	1	45,837	119,531	1,778.2	74,934,000	6,330,344,739
3	32	1	47,526	122,947	1,833.0	74,781,575	6,288,575,802
3	32	2	49,520	127,045	1,891.0	77,109,957	6,520,593,254
4	33	2	50,426	129,020	1,901.2	71,399,540	8,355,009,037
4	34	2	51,947	132,142	1,971.1	75,422,184	9,096,531,829
4	34	2	53,519	134,868	2,004.3	82,273,508	9,177,024,910
4	35	2	54,434	137,174	2,038.6	79,269,597	9,292,496,807
4	35	2	55,326	139,740	2,076.7	77,372,771	7,497,575,485
4	35	2	56,318	141,930	2,109.1	82,117,675	10,675,784,636
4	36	2	57,600	145,163	2,157.1	77,304,556	10,643,917,656
4	37	2	58,659	147,114	2,234.5	78,324,997	10,511,887,512
5	37	2	60,065	149,175	2,351.5	74,509,991	10,502,195,425
5	37	2	61,377	151,061	2,396.3	77,673,525	10,569,505,321
5	37	2	62,912	152,764	2,426.6	79,968,322	10,546,380,767
5	37	2	64,536	154,592	2,467.7	78,127,112	10,514,913,767
5	38	2	65,984	155,948	2,511.5	77,260,777	10,577,867,349
5	38	2	67,221	157,441	2,544.5	76,160,629	10,454,249,664
5	38	2	68,304	159,141	2,566.1	77,584,690	10,562,333,347
5	38	2	69,194	160,396	2,591.1	81,094,241	9,894,211,743
5	38	2	69,797	161,197	2,618.0	79,840,938	10,595,550,266
5	39	2	70,830	162,614	2,649.0	78,484,342	10,521,225,082
5	39	2	70,830	164,260	2,684.2	79,035,094	10,393,230,499
5	39	2	73,905	166,356	2,718.2	79,710,141	10,247,051,356

Ⅱ 主要工事

1 建設改良工事の概況（1件5,000万円以上、税込）

(1)管渠布設事業

（単位 円）

工事番号	工 事 名	施行内容	工事費	工 期
9314 (繰越)	都市計画事業 西部汚水11号幹線枝線下水道築造工事(9314工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 561.4m 管きょ工(推進) VPφ200 39.0m SPφ250 10.0m ほか	70,430,712	R元.09.26 R02.07.15
9212 (繰越)	都市計画事業 西部汚水11号幹線枝線下水道築造工事(9212工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 202.8m 管きょ工(推進) VPφ200 570.1m SPφ300 15.7m ほか	188,239,057	R元.11.28 R02.11.09
9206 (繰越)	都市計画事業 西部汚水11号幹線枝線下水道築造工事(9206工区)(その2)	管きょ工(開削) PRPφ200 343.9m 管きょ工(推進) VPφ200 210.2m SPφ400 47.8m ほか	264,095,652	R元.10.17 R03.03.17
9305 (繰越)	都市計画事業 西部汚水17号幹線枝線下水道築造工事(9305工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 329.3m 管きょ工(推進) VPφ200 149.8m SPφ250 4.0m ほか	86,438,368	H31.04.25 R02.05.31
9318 (繰越)	都市計画事業 西部汚水17号幹線枝線下水道築造工事(9318工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 249.0m 管きょ工(推進) SPφ250 35.3m ほか	54,217,680	R02.03.17 R02.06.26
9215 (繰越)	都市計画事業 西部汚水29号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9215工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 1,287.1m VUφ150 63.3m 管きょ工(推進) VPφ200 10.0m ほか	124,916,171	R元.07.19 R02.10.30
9214 (繰越)	都市計画事業 西部汚水17号幹線枝線下水道築造工事(9214工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 40.9m 管きょ工(推進) VPφ200 389.2m SPφ250 102.6m ほか	214,312,998	R元.06.27 R03.01.22
9312 (繰越)	都市計画事業 西部汚水3号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9312工区)その2	管きょ工(開削) VUφ200 428.0m PEφ75 135.5m 管きょ工(推進) SPφ350 14.2m ほか	101,677,814	R02.02.06 R02.11.20
9213 (繰越)	都市計画事業 西部汚水1号幹線枝線下水道築造工事(9213工区)その3	管きょ工(開削) PRPφ200 624.1m PRPφ150 62.0m 管きょ工(推進) VPφ200 78.8m ほか	129,684,364	R元.12.26 R03.03.12
8236 (繰越)	都市計画事業 西部汚水1号幹線枝線下水道築造工事(8236工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 832.3m 管きょ工(推進) VPφ200 172.8m SPφ450 315.2m ほか	384,830,393	H31.04.25 R03.01.29
9209 (繰越)	都市計画事業 西部汚水29号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9209工区)その2	管きょ工(開削) PRPφ150 204.5m PRPφ200 857.6m 管きょ工(推進) VPφ200 137.5m ほか	182,821,625	R元.10.17 R02.11.30
9208 (繰越)	都市計画事業 西部汚水29号幹線枝線外枝線下水道築造工事 (9208工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 604.1m 管きょ工(推進) VPφ200 348.5m SPφ300 48.9m ほか	165,374,994	R元.08.29 R02.12.14

工事番号	工 事 名	施行内容	工事費	工 期
9307 (繰越)	都市計画事業 西部汚水17号幹線枝線外枝線下水道築造工事 (9307工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 452.4m 管きょ工(推進) VPφ200 30.2m SPφ450 48.0m ほか	96,352,723	R元.09.26 R03.01.20
0320	都市計画事業 西部汚水29号幹線枝線外枝線下水道築造工事(0320工区)	管きょ工(開削) PRPφ150 593.8m 管きょ工(推進) SPφ300 8.0m VPφ200 94.1m ほか	100,015,899	R02.06.23 R03.03.18
0203	都市計画事業 西部汚水22号幹線枝線外枝線下水道築造工事(0203工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 320.4m 管きょ工(推進) VPφ200 222.7m SPφ350 32.9m ほか	149,518,994	R02.04.30 R03.02.19
0319	都市計画事業 西部汚水29号幹線枝線下水道築造工事(0319工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 220.5m 管きょ工(推進) VPφ200 156.5m SPφ300 10.0m ほか	76,694,371	R02.07.30 R03.02.26
0308	都市計画事業 西部汚水29号幹線枝線下水道築造工事(0308工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 167.5m 管きょ工(推進) VPφ200 545.1m SPφ300 5.1m ほか	148,059,081	R02.06.01 R03.02.26
0202	都市計画事業 南部汚水29号幹線及び枝線外枝線下水道築造工事(0202工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 574m 管きょ工(推進) HPφ250 408m SPφ300 7m	253,200,797	R02.06.01 R03.03.15
9202 (繰越)	都市計画事業 南部汚水20号幹線及び枝線外枝線下水道築造工事(9202工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 733m PEφ75 28m 管きょ工(推進) VPφ250 218m VPφ200 148m SPφ250 3m ほか	206,089,842	H31.04.25 R02.09.30
9203 (繰越)	都市計画事業 東部汚水48号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9203工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 482m PRPφ150 82m PEφ150 34m 管きょ工(推進) SPφ400 231m VPφ200 83m	190,084,189	R元.07.04 R02.09.30
9232 (繰越)	都市計画事業 西部汚水12号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9232工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 181m VUφ200 79m 管きょ工(推進) VPφ200 259m	88,472,365	R02.02.06 R02.11.30
9601 (繰越)	南部汚水17号幹線下水道改築工事 (9601工区)	管きょ更生工 反転・形成工法(自立管)φ450 154m マンホール改築工 マンホール管口可とう化工、マンホール浮上抑制工 ほか	83,714,158	R02.01.23 R02.07.31
9315 (繰越)	都市計画事業 西部汚水10号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9315工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 323m PEφ75 46m ユニット式マンホールポンプ設置工 1箇所 ほか	76,905,913	R元.07.04 R03.02.15
9204 (繰越)	都市計画事業 中部汚水1号幹線枝線外枝線下水道築造工事(その2)(9204工区)	管きょ工(開削) VU・PRPφ200 517m 管きょ工(推進) HP φ250 442m ほか	287,182,205	R元.10.10 R02.12.24
9207 (繰越)	都市計画事業 南部汚水4号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9207工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 727m 管きょ工(推進) VP φ200 213m ほか	171,065,306	R元.10.30 R02.11.30
9227 (繰越)	都市計画事業 南部汚水4号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9227工区)	管きょ工(開削) PRPφ200 208m 管きょ工(推進) VP φ200 385m ほか	170,212,529	R02.01.23 R02.11.23

工事番号	工 事 名	施行内容	工事費	工 期
9201 (繰越)	都市計画事業　東部汚水64号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9201工区)	管きょ工(開削) PRPφ200　425m 管きょ工(推進) VP　φ200　336m　ほか	258,907,748	R元.07.19 R02.10.20
9301 (繰越)	都市計画事業　中部汚水1号幹線枝線下水道築造工事(9301工区)	管きょ工(開削) VUφ200　677m VUφ150　12m 管きょ工(推進) HP　φ300　75m　ほか	114,365,047	R元.09.04 R02.08.31
9224 (繰越)	都市計画事業　中部汚水1号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9224工区)	管きょ工(開削) VUφ200　616m	77,106,243	R元.09.26 R02.06.19
9313 (繰越)	都市計画事業　富合西部汚水1号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9313工区)	管きょ工(開削) PRPφ150　307m VUφ150　32m 管きょ工(推進) VPφ150　458m VUφ150　37m	210,284,214	R元.08.08 R02.07.31
9222 (繰越)	都市計画事業　鳥場汚水幹線枝線下水道築造工事(9222工区)	管きょ工(開削) PRPφ200　222m PEφ75　90m 管きょ工(推進) VPφ200　272m VUφ200　5m	117,059,886	R元.08.22 R02.04.30
9220 (繰越)	都市計画事業　西部浄化センター放流管布設工事(その5)(9220工区)	DCIPφ700(開削) L=149m DCIPφ700(推進)L=60m	250,559,119	R元.08.29 R02.06.12
9225 (繰越)	都市計画事業　赤見汚水幹線及び枝線下水道築造工事(9225工区)	管きょ工(開削) PRPφ150　933m PEφ100　50m 管きょ工(推進) VPφ150　8m　VPφ200　228m VUφ150　9m	190,614,972	R元.08.29 R02.09.30
9221 (繰越)	都市計画事業　城南汚水幹線枝線下水道築造工事(9221工区)	管きょ工(開削) PRPφ150　903m 管きょ工(推進) VUφ150　20m HPφ250　210m 管きょ内面被覆工 42m	202,454,315	R元.10.17 R02.11.30
9228 (繰越)	都市計画事業　阿高汚水幹線枝線下水道築造工事(9228工区)	管きょ工(開削) PRPφ150　140m VUφ150　243m PEφ75　52m 管きょ工(推進) VPφ150　74m HPφ250　43m	96,721,323	R元.10.17 R02.06.30
9218 (繰越)	都市計画事業　岩野小野汚水幹線枝線下水道築造工事(9218工区)	管きょ工(開削) VUφ150　548m PEφ150　290m 管きょ工(推進) VPφ150　107m	88,572,108	R元.10.25 R02.05.29
9226 (繰越)	都市計画事業　西部浄化センター放流管布設工事(その9)(9226工区)	管きょ工(開削) DCIPφ700　458m DCIPφ200　4m	157,375,912	R02.02.06 R03.02.26
9229 (繰越)	都市計画事業　北部汚水57号幹線枝線外枝線下水道築造工事(9229工区)	管きょ工(開削) VUφ150　1506m GXφ75　428m 管きょ工(推進) VPφ150　115m	168,341,214	R02.02.06 R03.01.05
`0302	都市計画事業　富合西部汚水3号幹線枝線下水道築造工事(0302工区)	管きょ工(開削) PRPφ150　383m 管きょ工(推進) VPφ150　279m VPφ200　150m VUφ150　29m	206,994,624	R02.04.30 R03.02.26

工事番号	工 事 名	施行内容	工事費	工 期
`0314	都市計画事業 阿高汚水幹線枝線下水道築造工事(0314工区)	管きょ工(開削) PRPφ150 818m 管きょ工(推進) VUφ150 33m	82,017,515	R02.04.30 R03.02.26
`0307	都市計画事業 城南汚水幹線枝線下水道築造工事(0307工区)	管きょ工(開削) VUφ150 699m 管きょ工(推進) HPφ250 277m	186,273,347	R02.06.30 R03.02.26
19-203	公共下水道(城東B地区外)管渠改築工事(第19－203工区)	管路(管きょ更生工) 反転・形成工法(自立管) φ250～φ600 L＝478.0m 布設替工法 φ450 L＝141.8m 部分修繕 φ450～φ600 L＝ 4.2m	101,718,537	R元.11.06 R02.07.31
19-313	不明水対策(東部処理区:健軍地区)管渠更生工事(第19－313工区)	管路(管きょ更生工) 製管工法(複合管) φ1800 L＝106.6m	61,422,249	H31.01.23 R02.06.12
19-204	公共下水道(城東D地区外)管渠改築工事(その1)(第19－204工区)	管路(管きょ更生工) 製管工法(複合管) φ1000～φ1100 L＝107.3m 反転・形成工法(自立管) φ250～φ400 L＝ 7.7m 布設替工法 φ300 L＝ 21.3m	50,725,400	R02.03.05 R02.10.23
20-306	不明水対策(東部処理区:健軍地区)管渠更生工事(第20－306工区)	管路(管きょ更生工) 鋼管工法(複合管) φ1200 L＝148.4m	56,786,500	R02.11.04 R03.03.17

(2)ポンプ場築造事業

(単位 円)

工事番号	工 事 名	施行内容	工事費	工 期
9004 (繰越)	都市計画事業 流通団地ポンプ場その他電気設備工事	流通団地ポンプ場電気設備工事 受電設備 1式 自家発電設備 1式 運転設備 1式 計装設備 1式 江津ポンプ場電気設備工事 受変電設備 1式	88,385,000	R02.2.19 R03.1.29
0009	都市計画事業 渡鹿第2ポンプ場主ポンプ機械設備その他工事	主ポンプ機械設備 1式 主ポンプ電気設備 1式	57,662,000	R02.7.14 R03.3.17

(3)処理場築造事業

(単位 円)

工事番号	工 事 名	施行内容	工事費	工 期
9001 (繰越)	都市計画事業 中部浄化センターB－2系反応タンク機械設備その他工事	B－2系反応タンク機械設備工事 1式 防食工事 1式	190,461,342	R元.07.18 R02.05.29
9002 (繰越)	都市計画事業 東部浄化センターA－1系反応タンク機械設備その他工事	A－1系反応タンク機械設備工事 1式 防食工事 1式	248,305,822	R元.07.18 R02.05.29
9006 (繰越)	都市計画事業 東部浄化センターB系分水タンク機械設備その他工事	機械設備工事 1式 土木工事 1式 浚渫 1式	224,592,602	R02.02.19 R03.03.24
9007 (繰越)	都市計画事業 東部浄化センターB系分水タンクその他電気設備工事	運転操作設備 1式 計装設備 1式 受変電設備 1式 監視制御設備 1式	159,928,792	R02.04.08 R03.03.17
9008 (繰越)	都市計画事業 南部浄化センターNo. 2機械濃縮機その他機械設備工事	南部浄化センター 機械濃縮設備 1式 トラックスケール設備 1式 濃縮槽まわり配管 1式	224,418,149	R02.01.29 R03.03.17

工事番号	工 事 名	施行内容	工事費	工 期
9009 (繰越)	都市計画事業 南部浄化センターNo. 2機械濃縮機その他電気設備工事	No. 2機械濃縮機電気設備工事 運転操作設備 1式 計装設備 1式 中央監視制御設備 1式 No. 3重力濃縮電気設備工事 運転操作設備 1式	85,140,000	R02.01.19 R03.03.17
9010 (繰越)	都市計画事業 南部浄化センター1系－1反応タンク機械設備工事	1系－1反応タンク設備 1式	193,380,000	R02.03.11 R03.03.05
	熊本市公共下水道南部浄化センター汚泥処理設備(下水汚泥由来繊維利活用システム)の建設工事委託に関する協定 (令和元年度債務負担行為設定)	南部浄化センター ・汚泥貯留槽基礎(土木) 1式 ・薬注、脱水設備(機械) 1式 ・汚泥処理運転操作設備(電気) 1式	(令和元年度) 106,000,000 (令和2年度) 190,540,000 (計) 296,540,000	R元.08.14 R03.03.31
(繰越)	熊本市公共下水道東部浄化センターB－3系水処理施設の建設工事委託に関する協定 (平成30年度債務負担行為設定)	水処理施設基礎工 1式	(平成30年度) 622,000,000 (令和元年度) 1,305,000,000 (令和2年度) 415,239,000 (検査額累計) 2,342,239,000	H30.12.20 R03.08.31
(繰越)	熊本市公共下水道東部浄化センターB－3系水処理施設の建設工事委託に関する協定(その2) (令和元年度債務負担行為設定)	送風機施設(建築) 1式 反応タンク施設(土木) 1式 反応タンク施設(建設) 1式 導入渠(土木) 1式 防食塗装工事(土木) 1式 機械基礎工事(土木) 1式	(令和元年度) 305,000,000 (令和2年度) 325,962,000 (検査額累計) 630,962,000	H30.12.20 R04.03.31
`0603	都市計画事業 南部浄化センター脱臭機械他設備に伴う土木工事(0603工区)	脱臭設備基礎 1式、トラックスケール築造	51,479,948	R02.04.30 R03.01.15
`0604	都市計画事業 中部浄化センターB消化槽躯体撤去工事(0604工事)	消化槽撤去 1式	58,055,543	R02.09.30 R03.03.17

(4)管渠布設事業(雨水)

(単位 円)

工事番号	工 事 名	施行内容	工事費	工 期
(繰越)	都市計画事業 坪井川第3排水区雨水調整池築造工事(第3期)	土工 1式 護岸工 1式 底張工 1式 仮設工 1式	197,749,399	R元.07.19 R02.06.05

2 保存工事の概況

(単位 件、円)

工事内容	数量	工事金額(円)
公共下水道等緊急工事(清掃・補修)	260	199,688,088
人孔、小口径汚水桝の改良工事	291	279,071,761
道路管理者等の工事に伴う公共下水道改良工事	117	169,684,881
合 計	668	648,444,730

Ⅲ 下水道の整備状況

1 下水道の普及状況と面積の推移

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
行政区域内人口	人	731,426	731,572	731,933	732,217	731,754
全体計画人口	人	689,400	666,300	666,300	666,300	666,300
市街化区域内人口	人	640,418	646,444	646,792	648,413	649,217
現在排水区域内人口	人	660,810	657,885	656,907	655,441	651,795
現在処理区域内人口	人	660,810	657,885	656,907	655,441	651,795
行政区域内人口に対する普及率	%	90.3	89.9	89.7	89.5	89.1
行政区域内面積	ha	39,032	39,032	39,032	39,032	39,032
全体計画面積	ha	13,647	13,724	13,724	13,724	13,724
市街化区域内面積	ha	10,795	10,795	10,795	10,795	10,795

*人口は、住民基本台帳登録数(平成23年度までは外国人登録数を含む)をもとに算出している。
*平成26年度に行政区域面積の算出方法の見直しに伴い行政区域面積が拡大している。

2 整備面積

(ha)

	中部処理区	東部処理区	南部処理区	西部処理区	北部処理区	富合処理区	植木処理区	城南処理区	合計	年度末時累計
R2末時累計	1,484	4,194	1,639	1,557	2,306	212	217	424	12,033	
令和2年度	9	12	18	63	4	9	4	14	133	12,033
令和元年度	8	33	19	49	14	6	9	5	143	11,899
平成30年度	5	23	1	20	1	16	29	9	104	11,756
平成29年度	2	10	1	9	5	6	47	7	87	11,652
平成28年度	4	27	18	32	2	0	12	4	99	11,565

*各年度に整備した面積を示す。
*年度末時累計は、各年度末時の整備済面積を示す。

3 処理区域面積

(ha)

	中部処理区	東部処理区	南部処理区	西部処理区	北部処理区	富合処理区	植木処理区	城南処理区	合計	年度末時累計
R2末時累計	1,484	4,194	1,638	1,553	2,306	212	217	424	12,028	
令和2年度	9	12	18	63	4	9	4	14	133	12,028
令和元年度	8	33	19	48	14	6	9	5	142	11,894
平成30年度	5	27	1	24	1	16	29	9	112	11,752
平成29年度	2	6	1	8	5	6	47	7	82	11,640
平成28年度	4	27	18	30	2	0	17	4	102	11,558

*各年度に整備した面積を示す。
*年度末時累計は、各年度末時の整備済面積を示す。

4 管路整備

(m)

	中部処理区	東部処理区	南部処理区	西部処理区	北部処理区	富合処理区	植木処理区	城南処理区	合計	年度末時累計
R2末時累計	341,293	928,410	374,950	382,207	465,172	59,476	65,608	101,113	2,718,229	
令和2年度	2,503	2,584	4,144	14,283	1,678	2,418	1,462	4,950	34,022	2,718,229
令和元年度	2,388	6,578	4,779	10,790	5,411	1,840	1,860	1,728	35,373	2,684,206
平成30年度	2,196	4,516	351	4,610	488	5,091	9,544	4,005	30,800	2,648,833
平成29年度	527	2,705	486	3,135	1,182	2,204	13,789	2,856	26,884	2,618,033
平成28年度	1,250	5,610	3,345	9,398	490	0	2,859	2,038	24,990	2,591,149

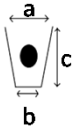
*各年度に整備した管路延長を示す。
*年度末時累計は、各年度末時の整備済面積を示す。
*管路延長の内訳と合計は小数点以下の端数の関係上一致しない場合がある。

5 都市下水路(雨水幹線)

都市下水路とは、市街地において雨水を排除する排水路を整備し局部的な浸水を防止するための施設であり、本市では昭和33年の高橋都市下水路をはじめとした、13箇所に整備を行ってきた。現在では全ての計画事業が完了し、雨水幹線の認可を受けている。

旧都市下水路一覧表

雨水幹線及び枝線名	旧都市下水路名	集水面積(ha)	計画排出量(㎥/s)	都決延長(m)	施行済延長(m)	事業内容	執行事業費(百万円)	執行年度
坪井川雨水3号幹線	高橋	159	6.98	882	779	⊎ 4.61×3.20×2.30 ⊎ 1.50×1.20×1.10	14	S33～S35
坪井川雨水5号幹線枝線	春日	63	2.33	1,485	1,317	・1.8×1.9～ ・1.2×1.0	31	S34～S37
坪井川雨水6号幹線	旧井芹川	41	3.45	1,169	918	⊎ 2.50×1.50×1.70	16	S35～S37
健軍川雨水2号幹線	帯山	76	5.82	1,840	1,474	・2.15×1.99～ ・1.50×1.45	51	S39～S41
加勢川雨水5号及び5-1号幹線	出水	41	3.13	1,370	1,370	⊙1.50～⊙ 1.00 ⊎1.00×0.80、底張	66	S42～S46
井芹川雨水8号幹線枝線	段山	38	3.78	490	467	⊙1.50～⊙0.80	36	S45～S48
白川雨水8号幹線	新南部	43	4.29	800	668	⊙1.65～⊙1.10 1.10×1.30～0.90×1.00	45	S46～S48
加勢川雨水3号幹線	湖東	77	13.90	1,560	983	底板工 ⊎ 3.50×3.00×2.56	254	S47～S56
井芹川雨水10号幹線	山之下	57	7.19	1,640	1,058	・ ⊙2.2～⊙ 2.0 ・2.00×2.00～1.50×1.05	406	S48～S56
加勢川雨水6号幹線	秋津	313	11.43	3,570	3,868	⊎ 3.50×3.00×2.56 ～ ⊎ 2.40×2.00×1.127	334	S38～S41 S50～S56
井芹川雨水13号幹線	上熊本	110	14.36	930	685	・ ⊙ 2.0～⊙ 1.35 ・ ⊎4.5×1.4～⊎ 4.0×1.3 ・ 3.90×1.05～1.85×1.85	366	S57～H1
白川雨水14号及び15号幹線	竜田	95	10.85	1,810	1,987	・2.5×3.3～2.1×1.5 ・ ⊙1.80～⊙ 1.20	1,118	S55～H5
健軍川雨水7号幹線	月出	81	11.96	2,000	1,992	・2.25×2.25 ⊙ 2.4～⊙ 0.8	740	S55～H4

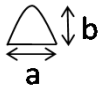


開渠 a×b×c



円形管 直径＝a

● a×b ⇒



馬蹄形渠

6 ポンプ場

熊本市の地形は、概して北東に高く南西に低いが比較的平坦である。本市は分流式の汚水整備を行っているが、一部合流式区域をもち、中継ポンプ場(39箇所)、雨水ポンプ場(2箇所)を合わせ41箇所、マンホールポンプ場328箇所が完成している。

(1)ポンプ場調書(令和2年度末)

処理区	ポンプ場	稼動年月	計画排水面積(ha)	計画排水量			現有排水能力						防災対策用施設	
				晴天時(㎥/時)	雨天時(㎥/時)	雨水量(㎥/時)	汚水ポンプ			雨水ポンプ			発電機	2回線受電
							台数(台)	口径(mm)	揚水量(㎥/時)	台数(台)	口径(mm)	揚水量(㎥/時)		
中部	新花畑(合-汚水・雨水)	H26.4	113.7	302	2,193	6,548	4(1)	250～450	2,275	2	700	6,552	○	－
	坪井(合)	S47.6	3.3	7	2,452	－	3	200	720	－	－	－	－	－
	本山(合-雨水)	S49.6	65.4	－	－	27,860	－	－	－	2	900	13,824	○	－
	世安(合-汚水・雨水)	S49.7	250.0	666	2,009	77,548	3(1)	450	2,964	4	1,200	47,927	○	○
	花畑第2(合-雨水)	S55.6	－	－	－	6,869	－	－	－	2	700	7,200	○	－
	島 崎	S59.11	146.8	389	－	－	2(1)	300	608	－	－	－	－	－
	新 島 崎	H9.8	368	832	－	－	2(1)	350	720	－	－	－	○	－
	和 泉	H9.9	28.3	191	－	－	2(1)	200	191	－	－	－	○	－
東部	湖 東(合)	S49.3	1,449.6	2,894	3,254	－	4(1)	500	5,678	－	－	－	－	○
	神 水	S53.8	24.0	47	－	－	2(1)	150	133	－	－	－	－	－
	戸井の外	S55.7	72.6	148	－	－	2(1)	200	360	－	－	－	－	－
	渡 瀬	S59.1	704.0	1,404	－	－	3(1)	350	2,040	－	－	－	○	－
	出 水	S57.9	77.7	155	－	－	2(1)	200	270	－	－	－	－	－
	渡 鹿	S59.1	54.5	108	－	－	2(1)	200	216	－	－	－	－	－
	健 軍	S59.5	59.0	119	－	－	2(1)	200	180	－	－	－	－	－
	渡鹿第2	S59.10	39.7	79	－	－	2(1)	200	150	－	－	－	－	－
	長 嶺	S63.3	30.6	61	－	－	2(1)	150	108	－	－	－	○	－
	江 津	S63.3	169.8	338	－	6,012	3(1)	250	965	2	500～800	6,012	○	－
	西 無 田	S63.12	23.2	47	－	－	2(1)	200	163	－	－	－	－	－
	端 地	H2.3	41.2	83	－	－	2(1)	200	144	－	－	－	○	－
	沼 山 津	H3.1	66.8	133	－	－	2(1)	200	144	－	－	－	－	－
	下 津 留	H9.8	20.6	40	－	－	2(1)	150	137	－	－	－	○	－
南部	南 熊 本	S54.5	71.8	119	－	－	2(1)	150	139	－	－	－	－	－
	菅 原	S54.5	14.2	22	－	－	2(1)	100	29	－	－	－	－	－
	大 渡	S62.4	41.9	68	－	－	3(1)	150	149	－	－	－	－	－
	流通団地	S62.7	59.7	97	－	－	2(1)	150	97	－	－	－	○	－
	平 田	H2.11	459.7	749	－	68,270	2(1)	400	1,290	3	800～1,350	68,400	－	○
	南 高 江	H6.10	490.1	799	－	－	2(1)	350	846	－	－	－	○	－
西部	花 園	H7.3	137.0	148	－	－	2(1)	300	572	－	－	－	－	－
	花園第2	H9.3	73.8	79	－	－	2(1)	250	205	－	－	－	－	－
	小 島	H20.3	165.2	176	－	－	2(1)	150	144	－	－	－	○	－
	内 田	H31.2	233.1	14	－	－	2(1)	100	76	－	－	－	○	－
北部	飛 田	H1.8	174.2	223	－	－	3(1)	100	169	－	－	－	○	－
	坪井第2	H5.5	98.1	137	－	－	2(1)	200	284	－	－	－	－	－
	井 川 道	H7.4	7.2	7	－	－	2(1)	100	19	－	－	－	○	－
	西 里	H13.4	23.8	16	－	－	2(1)	150	55	－	－	－	○	－
	芭 蕉 鶴	H16.10	29.5	40	－	－	2(1)	100	90	－	－	－	○	－
富合	富 合	H14.10	288.8	155	－	－	2(1)	150	204	－	－	－	○	－
植木	植 木	H20.1	307.2	306	－	－	3(1)	150	390	－	－	－	○	－
－	春日雨水	H9.10	58.6	－	－	30,647	－	－	－	6	800	32,400	○	－
－	小山田雨水	H12.4	156.4	－	－	27,511	－	－	－	4	1,000	32,400	○	－

中部	新川橋(合)	S49	－	－	－	－	－	－	－	3	200～400	1,740	－	－
西部	高橋稲荷ｹﾞｰﾄ	H14.3	7.87	－	1,800	1,800	－	－	－	2	400	1,800	○	－

＊ ポンプ場名称の後の(合)は合流区域内にあるポンプ場を示す。江津ポンプ場と平田ポンプ場は、雨水分流地区で汚水、雨水併設ポンプ場。

＊ ポンプ台数の( )内数字は、その内の予備ポンプ数。

＊ 春日雨水ポンプ・小山田雨水ポンプ・新川橋ポンプ場・高橋稲荷ゲートは河川課及び西部土木センターにて管理。

＊ 新川橋ポンプ場及び高橋稲荷ゲートポンプ場は暫定ポンプ場。

(2)マンホールポンプ場調書(令和2年度末)

処理区	マンホールポンプ場	築造年	ポンプ能力				
			台数(台)	口径(mm)	揚程(m)	揚水量(m^3／分)	出力(kW)
中部	中(1)田崎	S51	1	65	7.2	0.38	1.5
	中(2)二本木No.1	S62	2	150	3.8	5.2	15
	中(3)二本木No.2	S48	1	80	1.3	0.3	1.5
	中(4)二本木No.3	S48	1	80	0.5	0.3	1.5
	中(5)横手No.1	S60	2	80	7.7	0.7	2.2
	中(6)花畑ミニ	S52	2	65	7	0.4	1.5
	中(7)本丸	S55	2	100	12.6	0.5	5.9
	中(8)千葉城	S55	2	100	10	0.3	3.7
	中(9)出町	S48	2	80	10.5	0.8	2.2
	中(11)安巳橋	S50	2	80	8	0.5	2.2
	中(12)井出ノ口	S50	1	80	7.7	0.7	2.2
	中(13)大甲橋	S50	1	80	10	0.4	1.5
	中(15)九品寺No.2	S53	2	80	13	0.5	5.5
	中(16)必由館高校前	S63	2	80	4	0.72	2.2
	中(17)池の上No.1	H2	2	80	10.5	0.8	2.2
	中(18)池の上No.2	S63	2	80	11.7	1.1	3.7
	中(19)江原中前	H2	2	80	4.3	0.262	2.2
	中(20)田崎市場No.1	H3	2	80	3.2	0.23	2.2
	中(21)田崎市場No.2	H3	2	80	9.7	0.23	2.2
	中(22)黒髪	H6	2	80	3.2	0.036	2.2
	中(23)平成	H6	2	80	1.17	0.403	2.2
	中(24)稗田	H9	2	80		0.028	2.2
	中(25)池亀町No.1	H9	2	100	8.9	0.57	3.7
	中(26)池亀町No.2	H10	2	100	7.6	1.18	3.7
	中(27)池田3丁目	H12	2	80	10.5	0.8	2.2
	中(28)池田4丁目No.1	H14	2	80	10.04	0.636	2.2
	中(29)池田4丁目No.2	H14	2	100	16.95	0.497	5.5
	中(30)池田2丁目	H15	2	80	7.47	0.28	2.2
	中(31)蓮台寺3丁目	H16	2	80	3.56	0.16	1.5
	中(32)池田3丁目No.2	H17	2	80	13.5	0.28	2.2
	中(33)池田2丁目No.2	H18	2	65	8.4	0.197	1.5
	中(34)池田2丁目No.3	H18	2	65	12	0.18	2.2
	中(35)池田3丁目No.3	H18	2	65	9.9	0.159	1.5
	中(36)徳王	H19	2	100	35	0.28	22
	中(37)池亀町No.3	H19	2	80	13.2	0.637	5.5
	中(38)稗田町No.2	H20	2	65	5.8	0.159	1.5
	中(39)稗田町No.3	H20	2	65	10.3	0.159	2.2
	中(40)貢町No.2	R2	2	50	10.5	0.071	0.75
	雨(1) 水道町	H10	1	80	1.99	0.8	2.2
東部	東(1)大江下その2	S62	2	80	5	1.18	1.5
	東(2)渡鹿鶴橋	S50	1	80	7.7	0.7	2.2
	東(3)大江ブロック壁横	S50	2	80	7.7	0.7	2.2
	東(4)大江公民館横	S50	1	80	7.7	0.7	2.2
	東(5)新屋敷	S48	2	100	7.7	0.7	2.2
	東(6)九品寺No.1	S50	2	150	5	5.7	15
	東(7)神水苑裏	S50	2	80	10	1	5.5
	東(8)出水1丁目	S52	2	80	10	0.7	3.7
	東(9)水前寺公園裏	S53	2	65	4	0.14	2.2
	東(10)水前寺公園横	S53	2	65	15	0.1	1.5
	東(11)八丁馬場電停横	S54	1	65	5.3	0.474	1.5
	東(12)湖東No.1	S58	2	80	10	0.95	4.5
	東(13)湖東No.2	S58	2	80	10	0.95	4.5
	東(14)堀の内	S59	2	80	7.1	0.46	2.2
	東(15)健幹15号	S58	2	150	9.24	1.3	13
	東(16)健幹16号	S58	2	150	8	2.2	13
	東(17)健幹17号	S59	2	80	4.3	0.57	1.5
	東(18)江津湖公園	S59	2	150	18	1.8	13
	東(19)健幹11号	S59	2	80	3.77	0.4	2.2
	東(20)湖東No.3	S59	2	80	6.8	0.4	1.5
	東(21)湖東No.4	S59	2	80	16.3	0.66	5.5
	東(22)保田窪本町	S60	2	80	10.8	0.2	2.2
	東(23)若葉No.1	S60	2	80	10.8	0.2	2.2
	東(24)保田窪No.1	S61	2	80	9.52	0.5	2.2
	東(25)小碩橋	S61	2	100	17.7	0.9	7.5
	東(26)保田窪No.2	S62	2	80	9.5	0.5	2.2
	東(27)河童堀	S62	2	80	9.5	0.5	2.2
	東(28)若葉No.2	S63	2	80	5	0.35	2.2
	東(29)若葉No.3	S63	2	80	5	0.21	5.5
	東(30)若葉No.4	S63	2	80	7	0.21	2.2
	東(31)帯山5丁目	H1	2	80	4.89	0.418	2.2
	東(32)保田窪No.3	S63	2	80	5.8	0.8	2.2
	東(33)中無田	S63	2	80	8.4	0.33	2.2
	東(34)湖東P前	H1	2	80	8	1	2.2
	東(35)藻器堀川橋横	H1	2	100	16.3	0.906	5.5
	東(36)長嶺町	H1	2	80	4.85	0.45	2.2
	東(37)長嶺橋前	H1	2	80	4.1	0.296	2.2
	東(38)江津1丁目	H2	2	80	3.5	0.343	2.2
	東(39)下南部その1	H3	2	65	13	0.283	2.2
	東(40)出水6丁目	H4	2	100	10.13	1	3.7

処理区	マンホールポンプ場	築造年	ポンプ能力				
			台数(台)	口径(mm)	揚程(m)	揚水量(m^3／分)	出力(kW)
東部	東(41)下南部その2	H4	2	80	12.04	0.396	2.2
	東(42)下南部その3	H4	2	65	12.1	0.159	1.5
	東(43)下南部その4	H4	2	100	16.8	1.04	5.5
	東(44)小楠公園	H4	2	80	4.66	0.156	2.2
	東(45)下南部団地	H5	2	100	6.72	0.836	5.5
	東(46)帯山1丁目	H4	2	100	4.5	1.176	2.2
	東(47)下南部2丁目	H5	2	80	17	0.55	3.7
	東(48)長嶺東	H9	2	80	3.9	0.1	2.2
	東(49)長嶺東その2	H10	2	80	11.8	0.17	2.2
	東(50)八反田	H10	2	80	10.5	0.03	2.2
	東(51)上南部町	H10	2	80	5.8	0.042	2.2
	東(52)長嶺東その3	H10	2	150	6.86	0.244	5.5
	東(53)長嶺東その4	H10	2	150	9.46	0.33	5.5
	東(54)東部青果裏	H11	2	80	10.5	0.8	2.2
	東(55)秋津3丁目	H11	2	80	13	0.4	2.2
	東(56)若葉No.5	H11	2	80	10	0.78	2.2
	東(57)長嶺東2丁目	H14	2	80	5.6	0.5	2.2
	東(58)保田窪5丁目	H14	2	65	2.97	0.16	1.5
	東(59)保田窪3丁目	H14	2	80	5.69	0.29	2.2
	東(60)若葉No.6	H17	2	80	6	0.471	2.2
	東(61)戸島1丁目	H17	2	150	17.3	2.46	15
	東(62)保田窪本町No.2	H19	2	65	3.9	0.159	2.2
	東(63)石原3丁目	H19	2	80	19.4	0.36	5.5
	東(64)秋津1丁目	H19	2	65	5.5	0.159	2.2
	東(65)秋津3丁目公園	H19	2	65	4.5	0.159	2.2
	東(66)水前寺3丁目東	H19	2	65	4.6	0.159	2.2
	東(67)水前寺3丁目西	H19	2	65	5.5	0.159	2.2
	東(68)戸島7丁目	H19	2	100	13.2	0.708	3.7
	東(69)江津2丁目	H22	2	50	4.5	0.12	0.4
	東(70)下江津1丁目	H22	2	65	6.1	0.159	1.5
	東(71)吉原町	H22	2	80	23.4	0.468	7.5
	東(72)弓削町№1	H22	2	100	18.8	0.893	5.5
	東(73)弓削町№2	H24	2	65	5.3	0.159	1.5
	東(74)鹿帰瀬町	H24	2	80	18.3	0.387	5.5
	東(75)良町4丁目	H28	2	65	9	0.36	1.5
	東(76)湖東ポンプ場裏	H28	2	50	4.6	0.16	0.75
	東(77)平山公民館前	H29	2	50	3.7	0.16	0.4
	東(78)江津1丁目No.2	H30	2	65	5.2	0.159	0.75
	東(79)下無田No.1	H30	2	100	8.6	1.207	3.7
	東(80)江津1丁目No.3	H30	2	50	3.6	0.159	0.4
	東(81)下無田No.2	R1	2	65	8	0.64	2.2
	東(82)下無田No.3	R2	2	65	6.9	0.159	0.75
南部	南(1)元三	S62	4	80		0.2	2.2
	南(3)川尻公会堂	S63	2	80	3.2	0.3	2.2
	南(4)近見No.1	H2	2	80	5.1	0.2	2.2
	南(5)田迎	H3	2	100	11.4	1.169	5.5
	南(6)外城	H5	2	80		0.765	3.7
	南(7)島町	H9	2	80	4.23	0.463	2.2
	南(8)近見No.2	H10	2	80	2.91	0.06	2.2
	南(9)杉島No.1	H22	2	80	14.4	0.36	3.7
	南(10)杉島No.2	H23	2	65	5	0.159	1.5
	南(11)杉島No.3	H24	2	65	8.4	0.159	1.5
	南(12)杉島No.4	H24	2	65	8.4	0.159	1.5
	南(13)南熊本5丁目	H24	2	150	9.8	2.1	5.5
	南(14)白藤5丁目	H25	2	65	7.1	0.215	1.5
	南(15)護藤町	H26	2	150	17.0	2.276	11
	南(16)御幸木部	H30	2	80	10.6	0.931	3.7
西部	西(1)城西No.1	H4	2	80	1.87	1.2	2.2
	西(2)城西No.2	H7	2	80	15.29	2.6	5.5
	西(4)慈恵病院寮前	H7	2	80	4.24	0.85	2.2
	西(5)横手No.2	H7	2	80	6.79	0.52	2.2
	西(6)京町	S58	2	80	5.5	0.6	1.5
	西(7)上熊本	S63	2	80	3.66	0.36	2.2
	西(8)製粉前	S63	2	80	8.7	0.9	2.2
	西(9)附属中北	H1	2	80	4.2	0.32	2.2
	西(10)井芹中前	H2	2	80	2.54	0.5	2.2
	西(11)カンカン坂No.1	H3	2	80	3.18	0.186	2.2
	西(12)カンカン坂No.2	H3	2	100	5.54	1.65	5.5
	西(13)花園No.1	H7	2	80	18.53	0.45	5.5
	西(14)花園No.2	H7	2	80	16.25	0.07	2.2
	西(15)花園No.3	H7	2	80	15.47	0.03	2.2
	西(16)慈恵病院北	H7	2	80	3.18	0.168	2.2
	西(17)小山田	H8	2	80	3.4	0.05	2.2
	西(18)花園No.4	H8	2	80	4.996	0.24	2.2
	西(19)花園No.5	H8	2	80	7.22	0.022	2.2
	西(20)花園No.6	H8	2	80	11.78	0.077	2.2
	西(21)双子堤	H8	2	80	15.76	0.1	2.2
	西(22)花園No.7	H9	2	80	9.43	0.02	2.2
	西(23)花園No.8	H9	2	80	8.3	0.03	2.2
	西(24)花園3丁目No.1	H9	2	80	6.27	0.02	2.2
	西(25)島崎4丁目	H10	2	80	4.54	0.01	2.2
	西(26)花園3丁目No.2	H11	2	80	10	0.8	2.2

処理区	マンホールポンプ場	築造年	ポンプ能力				
			台数(台)	口径(mm)	揚程(m)	揚水量 (m^3／分)	出力(kW)
西部	西(27)島崎6丁目	H12	2	80	10.5	0.8	2.2
	西(28)島崎7丁目	H13	2	80	5.1	0.283	2.2
	西(29)花園7丁目	H13	2	80	9.2	0.282	2.2
	西(30)島崎5丁目No.1	H13	2	80	10	0.8	2.2
	西(31)城山大塘町	H14	2	80	4.89	0.45	2.2
	西(32)花園第3	H15	2	100	31	2.28	22
	西(33)戸坂町	H18	2	80	15.9	0.36	3.7
	西(34)島崎5丁目No.2	H18	2	65	9.5	0.16	1.5
	西(35)戸坂町No.2	H19	2	65	12.9	0.159	3.7
	西(36)谷尾崎町No.1	H19	2	65	10.1	0.159	2.2
	西(37)花園7丁目No.2	H20	2	65	5.4	0.159	1.5
	西(38)小島7丁目No.1	H20	2	65	5.9	0.159	1.5
	西(39)小島7丁目No.2	H21	2	100	6.8	0.822	2.2
	西(40)島崎5丁目No.3	H21	2	80	9	0.597	2.2
	西(41)横手No.3	H22	2	65	7.6	0.168	1.5
	西(42)上高橋1丁目	H23	2	65	7.7	0.283	1.5
	西(43)小島5丁目	H23	2	65	5.7	0.159	1.5
	西(44)島崎7丁目No.2	H24	2	65	5.9	0.159	1.5
	西(45)島崎6丁目No.2	H24	2	50	9	0.159	0.75
	西(46)谷尾崎町No.2	H24	2	65	13.3	0.159	3.7
	西(47)沖新町	H24	2	65	7.6	0.283	2.2
	西(48)池上町No.3	H25	2	65	8.9	0.159	2.2
	西(49)池上町No.4	H25	2	65	7.9	0.277	2.2
	西(50)池上町No.5	H25	2	100	18.1	1.35	7.5
	西(51)谷尾崎町No.3	H26	2	80	7.5	0.533	1.5
	西(52)谷尾崎町No.4	H26	2	65	4.7	0.176	1.5
	西(53)小島下町No.1	H26	2	80	19.6	0.478	5.5
	西(54)小島下町No.2	H26	2	80	8.2	0.636	2.2
	西(55)谷尾崎町No.5	H27	2	65	15.1	0.159	2.2
	西(56)西松尾町No.1	H27	2	80	16.8	0.562	5.5
	西(57)西松尾町No.2	H27	2	100	25	0.686	7.5
	西(58)西松尾町No.3	H27	2	100	5.9	0.845	3.7
	西(59)花園7丁目No.3	H28	2	50	15.8	0.04	0.75
	西(60)八分字町	H27	2	100	8	1.117	3.7
	西(61)花園7丁目No.4	H28	2	65	4.5	0.16	0.75
	西(62)島崎5丁目No.4	H29	2	50	9.4	0.16	0.75
	西(63)上高橋2丁目No.1	H30	2	65	7.3	0.159	0.75
	西(64)上高橋2丁目No.2	R2	2	50	7.6	0.159	0.75
	西(65)島崎7丁目No.3	H30	2	65	14.4	0.159	2.2
	西(66)島崎7丁目No.4	R1	2	50	5.216	0.159	0.4
	西(67)京町2丁目	R1	2	50	7.8	0.159	0.75
	西(68)西松尾町No.4	R2	2	65	5.6	0.159	0.75
	西(69)島崎5丁目No.5	R2	2	65	12.8	0.159	2.2
	西(70)谷尾崎町No.6	R2	2	65	7.1	0.159	0.75
	西(71)島崎7丁目No.5	R2	2	50	9.8	0.159	0.75
北部	北(2)一本木	H1	2	80	10.6	0.13	1.5
	北(5)新地No.2	H3	2	80	4.5	0.5	3.7
	北(6)泰勝寺	H3	2	80	8.079	0.543	2.2
	北(7)亀井No.1	H4	2	80	3.54	0.034	2.2
	北(8)亀井No.2	H4	2	80	5.92	0.352	2.2
	北(10)八景水谷	H5	2	80	3.14	0.88	2.2
	北(11)山の上	H6	2	100	13.28	0.8	3.7
	北(12)兎谷	H6	2	80	17.54	0.25	3.7
	北(13)八景水谷公園	H7	2	80	5.5	0.534	2.2
	北(14)万石No.1	H7	2	80	5.02	0.03	2.2
	北(15)池田2丁目公園前	H8	2	80	4.47	0.07	2.2
	北(16)鹿子木	H9	2	80		0.03	2.2
	北(17)万石No.2	H9	2	80	4.23	0.463	2.2
	北(18)津浦	H9	2	80	8.05	0.08	1.5
	北(19)西梶尾その1	H10	2	80	10.38	0.014	2.2
	北(20)楠野No.1	H10	2	80	6.92	0.114	1.5
	北(21)大蔵台	H10	2	80	13.63	0.277	3.7
	北(22)西梶尾その2	H10	2	80	5.98	0.05	2.2
	北(24)龍田8丁目No.1	H11	2	80	10.4	0.6	3.7
	北(25)龍田陳内4丁目	H12	2	65	19.6	0.283	3.7
	北(26)下硯川町	H12	2	80	10.5	0.8	2.2
	北(27)龍田9丁目	H12	2	80	7.5	0.6	2.2
	北(28)下硯川町No.2	H13	2	80	13.9	0.43	2.2
	北(29)龍田陳内3丁目	H13	2	80	7.7	0.02	2.2
	北(31)四方寄	H14	2	80	9	0.03	2.2
	北(32)梶尾町No.1	H14	2	80	7.5	0.28	2.2
	北(33)下硯川町No.3	H15	2	80	9.8	0.27	5.5
	北(36)楠原	H15	2	100	22	0.65	7.5
	北(37)楠野町No.2	H15	2	80	11.81	0.28	2.2
	北(38)梶尾町No.2	H15	2	65	6.2	0.28	1.5
	北(40)大窪1丁目	H17	2	80	8.5	0.47	1.5
	北(41)牧鶴	H18	2	100	22.5	1.06	11
	北(42)東平	H17	2	100	24	1.02	11
	北(43)楡木5丁目	H17	2	80	11.7	1.1	3.7
	北(44)龍田町弓削No.3	H18	2	80	13.5	0.283	2.2
	北(45)山室3丁目	H17	2	65	7	0.16	1.5
	北(46)山室6丁目	H18	2	80	12.5	0.628	3.7

処理区	マンホールポンプ場	築造年	ポンプ能力				
			台数(台)	口径(mm)	揚程(m)	揚水量 (m^3／分)	出力(kW)
北部	北(47)龍田もえぎ台	H13	2	80	21.1	0.18	5.5
	北(48)弓削団地	H19	2	65	5.2	0.159	1.5
	北(49)弓削神社	H19	2	65	8.7	0.159	1.5
	北(50)坪井6丁目	H19	2	65	8	0.159	1.5
	北(51)龍田4丁目	H20	2	100	15.6	0.667	5.5
	北(52)龍田町弓削2丁目	H20	2	80	17.6	0.283	3.7
	北(53)龍田5丁目	H21	2	65	9.4	0.283	2.2
	北(54)明徳町	H21	2	100	26.3	0.9	11
	北(55)兎谷No.2	H23	2	65	10.5	0.16	2.2
	北(56)四方寄No.2	H23	2	65	9.8	0.16	2.2
	北(57)龍田8丁目No.2	H23	2	65	10.1	0.214	2.2
	北(58)貢町	H24	2	65	8.6	0.159	2.2
	北(59)飛田4丁目	H26	2	65	7	0.159	1.5
	北(60)楡木6丁目	H29	2	65	7.4	0.28	1.5
	北(61)硯川町	H29	2	65	9.3	0.504	2.2
	北(63)硯川No.2	H30	2	65	13.3	0.442	3.7
	北(64)龍田2丁目	H30	2	50	6.9	0.159	0.75
	北(65)津浦No.2	H30	2	65	12.3	0.159	1.5
	北(66)麻生田2丁目	R1	2	50	4.6	0.159	0.4
	北(67)小糸山No.1	R1	2	65	21.4	0.159	3.7
	北(68)小糸山No.2	R1	2	80	22.1	0.159	5.5
富合	富(1)平原MPその1	H14	2	65	6.3	0.61	2.2
	富(2)平原MPその2	H16	2	50	9	0.2	0.75
	富(3)平原MPその3	H16	2	80	20.9	0.48	7.5
	富(4)榎津MPその1	H17	2	65	9.7	0.39	3.7
	富(5)榎津MPその2	H17	2	65	12	0.22	3.7
	富(6)木原MPその1	H18	2	65	12.1	0.17	3.7
	富(7)木原MPその2	H18	2	50	6.5	0.15	0.4
	富(8)廻江	H20	2	150	10.6	2	5.5
	富(9)清藤	H24	2	65	9.1	0.159	2.2
	富(10)大町No.1	H27	2	65	11.2	0.283	1.5
	富(11)大町No.2	H27	2	65	6.2	0.283	0.75
	富(12)大町No.3	H27	2	80	15.2	0.657	5.5
	富(13)志々水No.1	H30	2	80	20.6	0.634	5.5
	富(14)清藤No.2	H30	2	65	8.3	0.159	0.75
	富(15)小岩瀬	R2	2	65	8.5	0.159	1.5
	富(16)榎津No.3	R2	2	65	3.8	0.159	0.75
城南	城(1)隈庄	H11	2	50	4.2	0.336	0.75
	城(2)中宮地	H14	2	65	11.1	0.265	3.7
	城(3)沈目	H15	2	80	8.7	0.302	2.2
	城(4)沈目橋	H15	2	65	9.3	0.471	1.5
	城(5)宮地	H15	2	65	8.1	0.159	1.5
	城(6)今吉野	H20	2	50	5.7	0.162	0.75
	城(7)出水公民館前	H21	2	80	7.8	0.637	2.2
	城(8)出水	H21	2	80	25.6	0.283	7.5
	城(9)松ノ平	H21	2	65	5.9	0.16	1.5
	城(10)島田	H23	2	80	11.9	0.283	1.5
	城(11)下宮地	H24	2	80	8	0.283	1.5
	城(12)阿高No.1	H26	2	80	13.7	0.389	3.7
	城(13)阿高No.2	H26	2	80	17.7	0.539	5.5
	城(14)東阿高No.2	H29	2	65	6	0.163	0.75
	城(15)阿高No.3	H30	2	65	6.5	0.159	0.75
	城(16)東阿高No.1	H30	2	65	16.7	0.159	3.7
	城(17)赤見	H30	2	80	19.2	0.587	5.5
	城(18)東阿高No.3	H30	2	65	4.9	0.159	0.75
	城(19)舞原No.1	H30	2	65	6	0.159	0.75
	城(20)舞原No.2	H30	2	65	5	0.159	0.75
	城(21)阿高No.4	H30	2	65	7.6	0.159	1.5
	城(22)赤見No.2	R1	2	65	7.3	0.469	1.5
	城(23)東阿高No.4	R1	2	65	5.9	0.159	0.75
	城(24)下宮地No.2	R1	2	65	7.6	0.159	0.75
植木	植(1)仁連塔	H20	2	80	17.4	0.342	5.5
	植(2)岩野No.1	H23	2	100	18.2	1.548	7.5
	植(3)岩野No.2	H23	2	80	19.1	0.14	3.7
	植(4)広住No.1	H24	2	65	6.2	0.159	1.5
	植(5)広住No.2	H24	2	65	9.4	0.159	2.2
	植(6)舞尾	H25	2	80	15.2	0.636	5.5
	植(7)広住No.3	H26	2	80	28.5	0.265	7.5
	植(8)大和No.1	H26	2	100	33.9	1.375	18.5
	植(9)大和No.2	H26	2	100	15.4	1.378	7.5
	植(10)大和No.3	H26	2	100	14.2	1.519	7.5
	植(11)滴水	H27	2	65	11.4	0.16	1.5
	植(12)広住No.4	H27	2	65	12.5	0.16	1.5
	植(13)滴水No.2	H28	2	65	6.1	0.16	0.75
	植(14)舞尾No.2	H29	2	65	14.3	0.159	2.2
	植(15)広住No.5	H29	2	65	12	0.159	1.5
	植(16)広住No.6	H30	2	65	9.7	0.159	1.5
	植(17)大和団地	S49	3	100	12.5	1.12	5.9
	植(18)投刀塚	H30	2	100	28.9	0.636	11
	植(19)改寄町	H30	2	65	13.9	0.283	2.2
	植(20)改寄町No.2	R1	2	65	13	0.159	2.2
	植(21)鐙田No.1	R1	2	65	17.4	0.159	3.7
	植(22)鐙田No.2	R1	2	65	16.3	0.159	3.7
	植(23)鐙田No.3	R2	2	65	21.2	0.159	3.7
	植(24)岩野No.3	R2	2	80	15.7	0.826	5.5
合計	328	箇所					

7 マンホール数、汚水・雨水ます数

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
マンホール数	箇所	73,905	72,164	70,830	69,797	69,194
汚水・雨水ます数	箇所	166,356	164,260	162,614	161,197	160,396

8 災害用マンホールトイレ

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
災害用マンホールトイレ設置基数	基	240	190	140	90	65

9 浄化センター

現在、熊本市が管理する浄化センターは、中部・東部・南部・西部及び城南町の5処理区にそれぞれ配置し、管理運転を行っている。

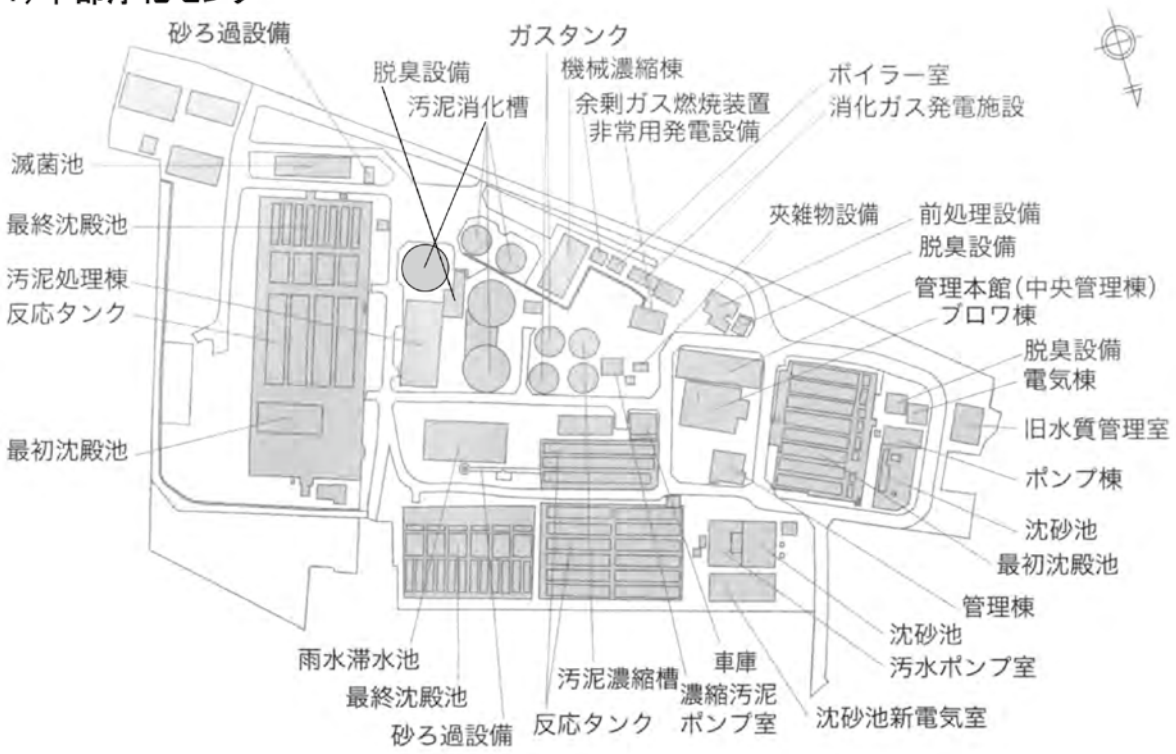
また、北部処理区及び植木処理区で排出される汚水は熊本県が管理する熊本北部浄化センター（熊本北部流域下水道）で、富合処理区の汚水は宇土市が管理する宇土終末処理場で、各々処理されている。

なお、河内処理区については、特定環境保全公共下水道での整備を予定している。

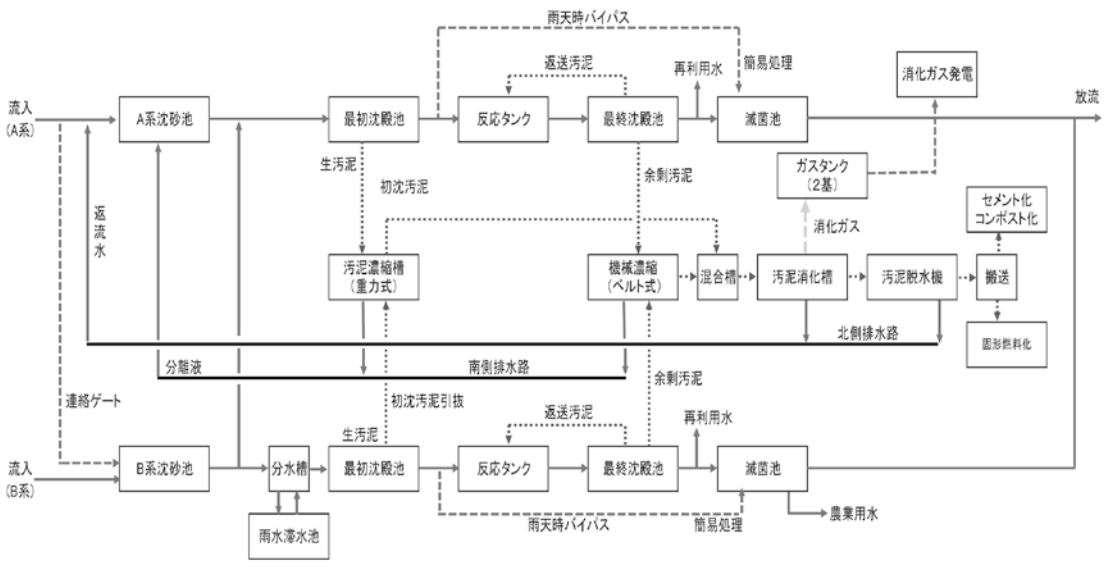
令和2年度末浄化センター現況

浄化センター名	全体計画処理水量（㎥/日）	現有処理能力（㎥/日）	計画敷地面積（㎡）	現有敷地面積（㎡）	処理方法	供用開始年月日	放流先の名称
中部浄化センター	67,100	64,500	76,100	76,100	標準活性汚泥法	昭和43年1月6日	白川
東部浄化センター	132,800	138,400	151,500	151,500	標準活性汚泥法	昭和47年12月1日	木山川
南部浄化センター	54,600	52,300	111,000	111,000	標準活性汚泥法	昭和62年4月1日	加勢川
西部浄化センター	35,600	23,400	120,700	120,700	標準活性汚泥法	平成14年3月31日	有明海
城南町浄化センター	7,300	4,700	29,000	29,000	オキシデーションディッチ法	平成10年12月1日	浜戸川

（1）中部浄化センター



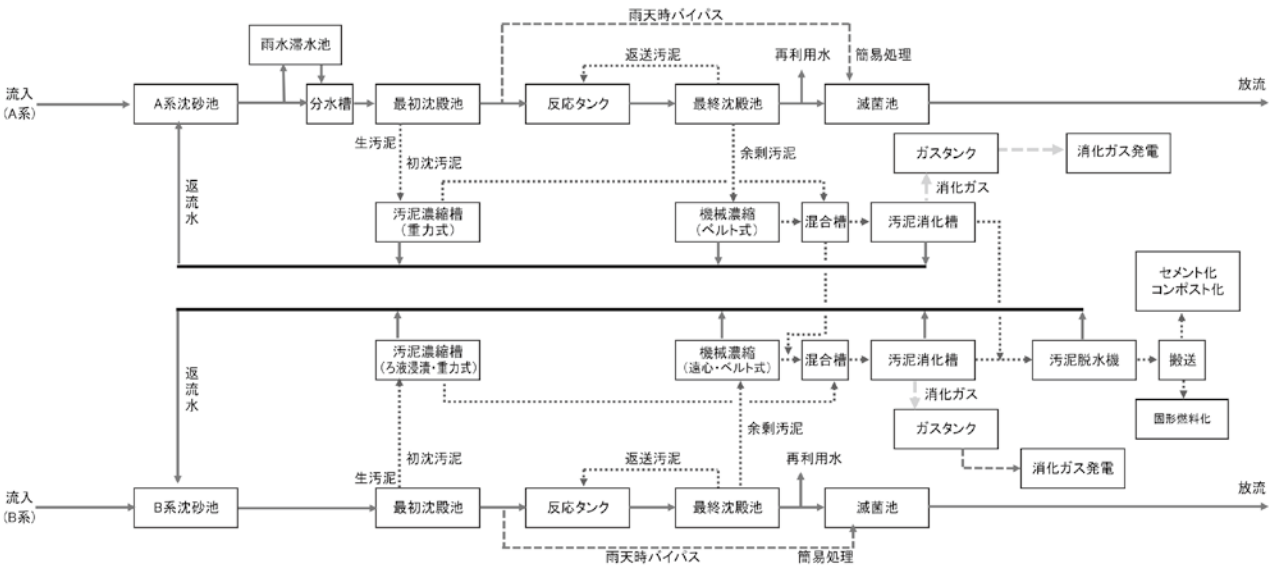
中部浄化センター処理系統図



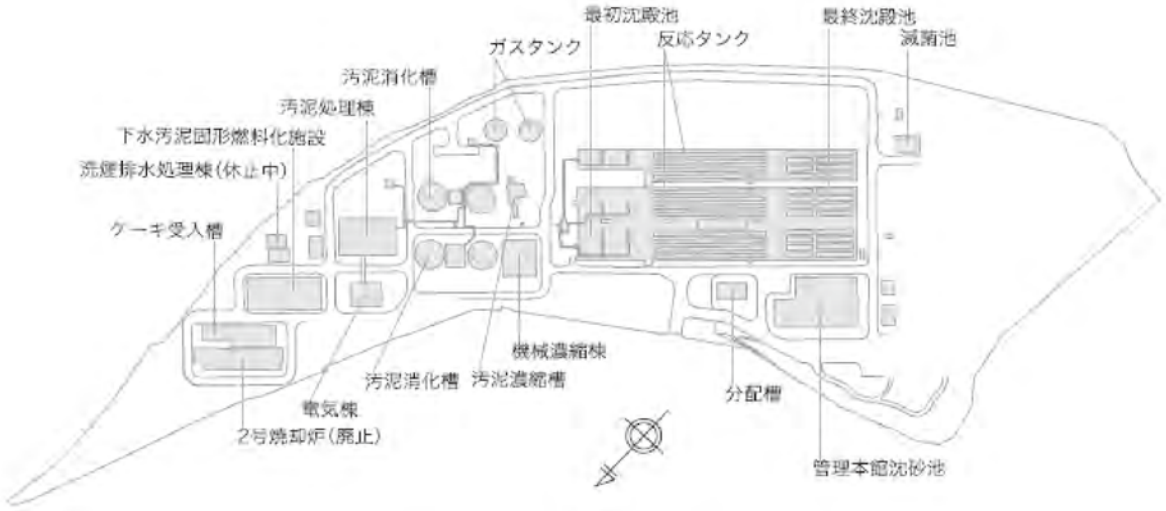
(2)東部浄化センター



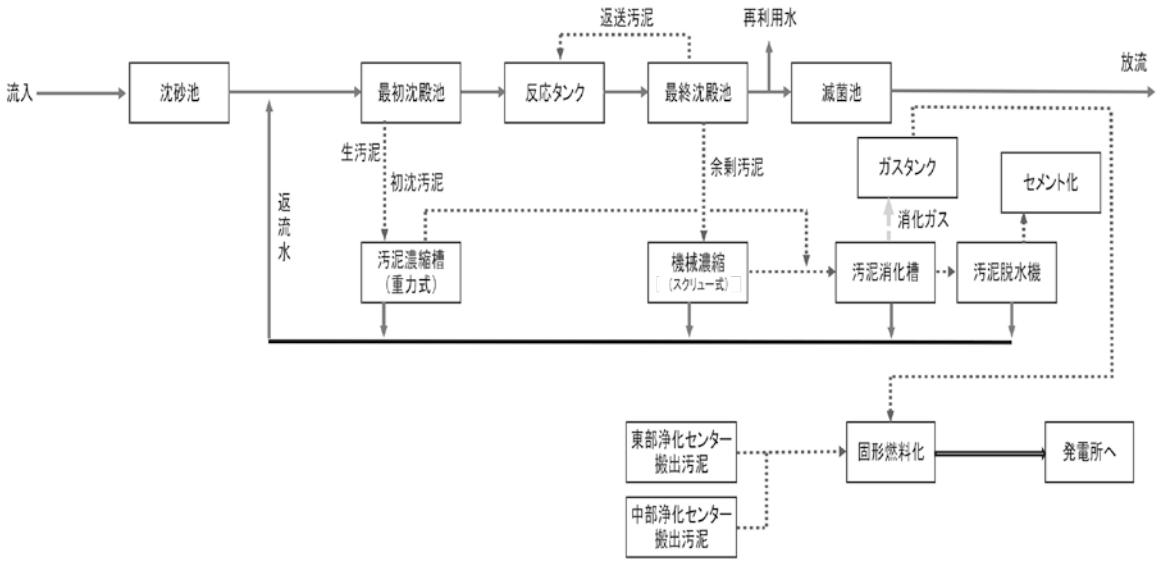
東部浄化センター処理系統図



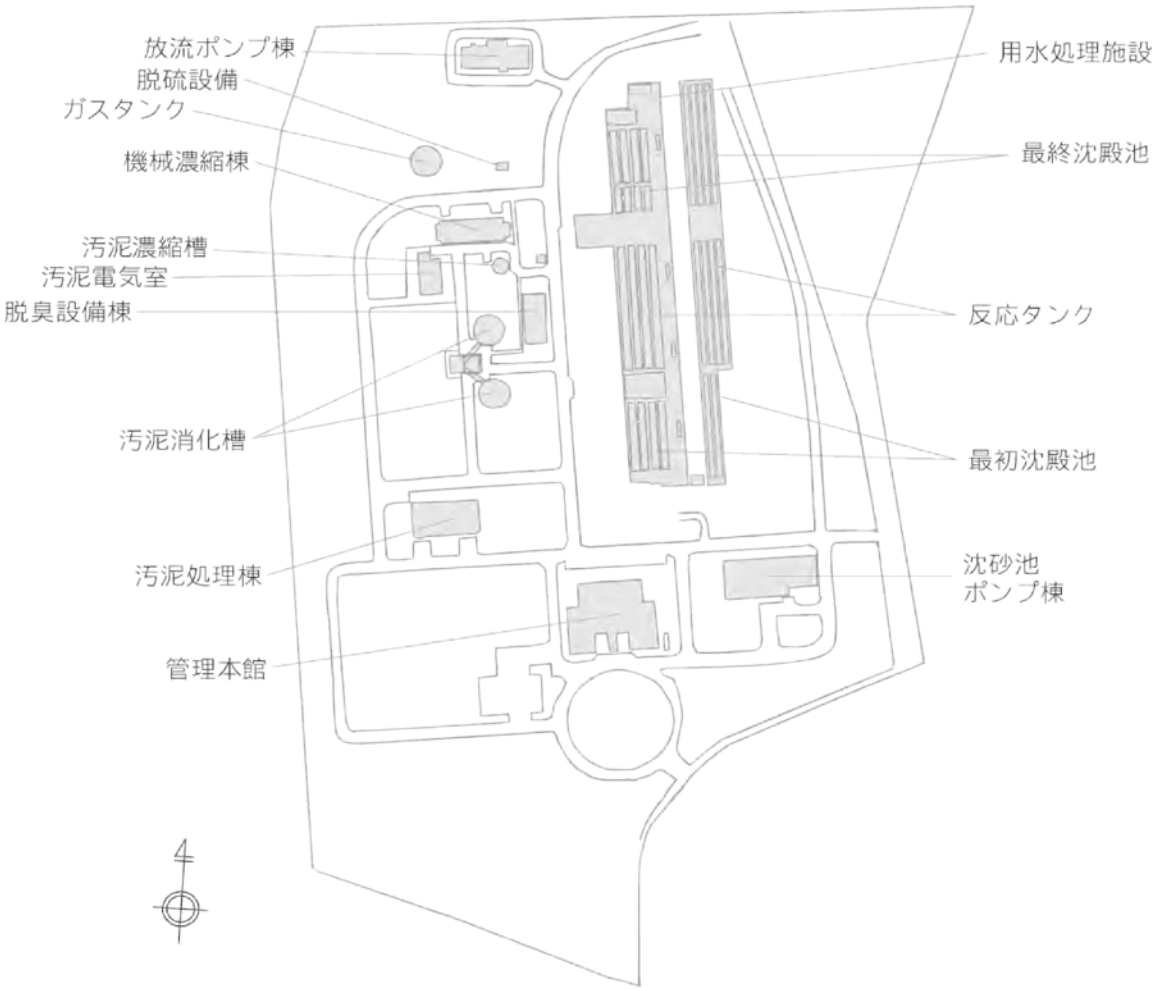
(3)南部浄化センター



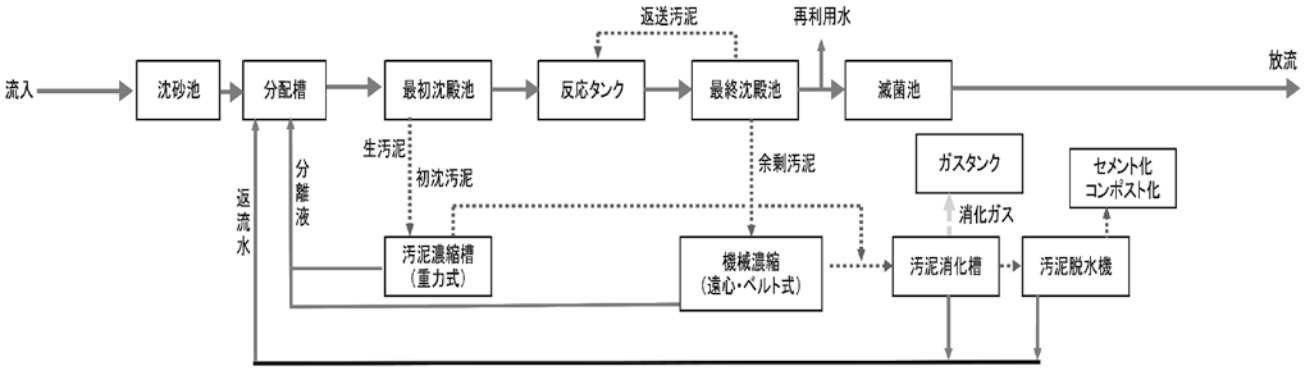
南部浄化センター処理系統図



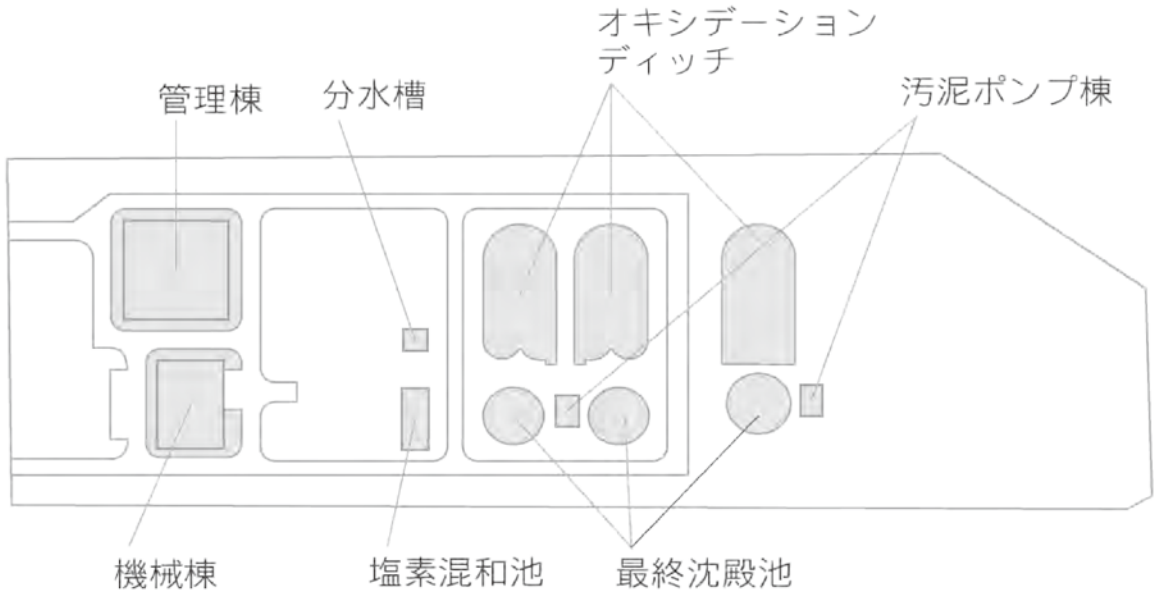
(4)西部浄化センター



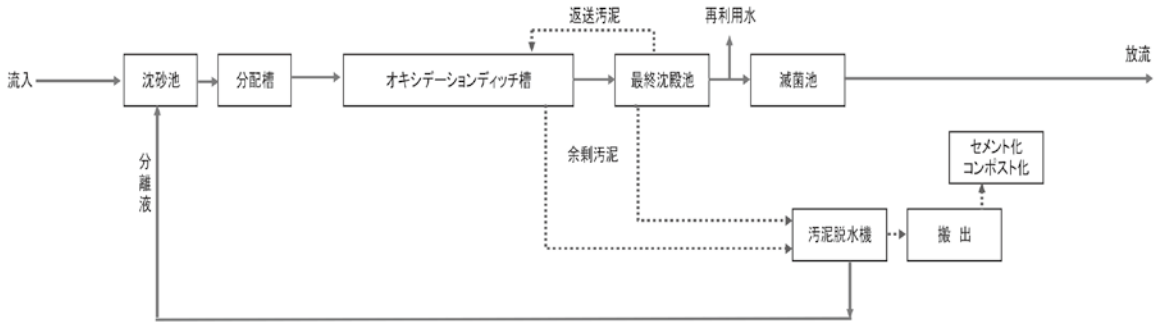
西部浄化センター処理系統図



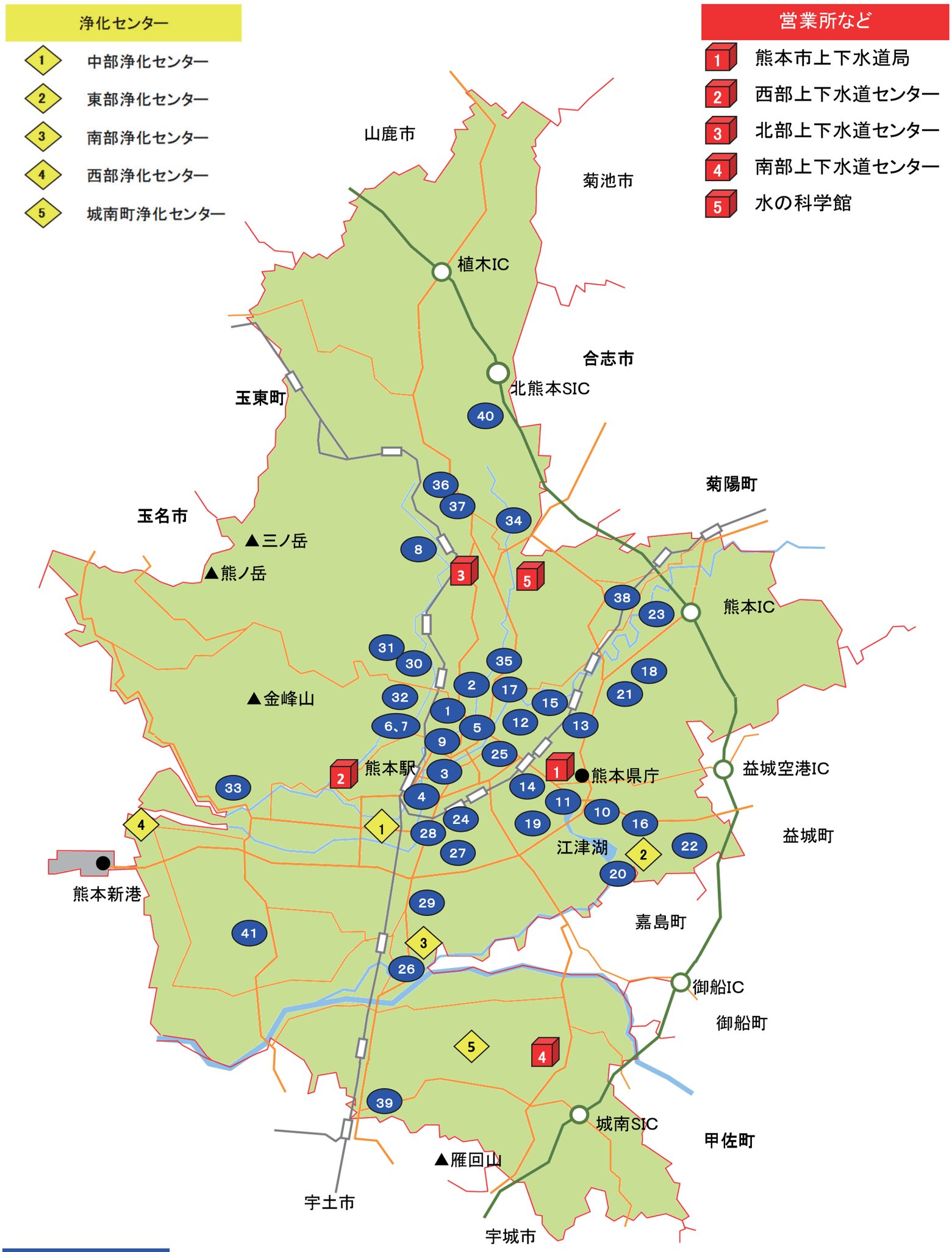
(5)城南町浄化センター



城南町浄化センター処理系統図



10　下水道施設位置図


浄化センター
1 中部浄化センター
2 東部浄化センター
3 南部浄化センター
4 西部浄化センター
5 城南町浄化センター
営業所など
1 熊本市上下水道局
2 西部上下水道センター
3 北部上下水道センター
4 南部上下水道センター
5 水の科学館
山鹿市
菊池市
植木IC
合志市
北熊本SIC
玉東町
菊陽町
玉名市
▲三ノ岳
▲熊ノ岳
▲金峰山
熊本駅
熊本県庁
熊本IC
益城空港IC
益城町
江津湖
熊本新港
嘉島町
御船IC
御船町
城南SIC
甲佐町
▲雁回山
宇土市
宇城市
ポンプ場
1 新花畑
2 坪井
3 本山
4 世安
5 花畑第2
6 島崎
7 新島崎
8 和泉
9 ※春日雨水
10 湖東
11 神水
12 戸井の外
13 渡瀬
14 出水
15 渡鹿
16 健軍
17 渡鹿第2
18 長嶺
19 江津
20 西無田
21 端地
22 沼山津
23 下津留
24 南熊本
25 菅原
26 大渡
27 流通団地
28 平田
29 南高江
30 花園
31 花園第2
32 ※小山田雨水
33 小島
34 飛田
35 坪井第2
36 井川道
37 西里
38 芭蕉鶴
39 富合
40 植木
41 内田
※雨水ポンプ場

令和３年度
熊本市公共下水道事業計画一般図



西部浄化センター

凡　例	
	整備済
	未整備（事業計画区域内）
	未整備（全体計画区域）
	処理区境界
	全体計画区域ライン
	事業計画区域ライン

Ⅳ 下水道の維持管理

1 下水道維持管理の概要

管渠の維持管理

本市の下水道管渠延長はおよそ2,718㎞である。この長年の歳月をかけてつくられた下水道管には、様々な原因によって破損や土砂、ゴミの堆積が生じ、下水の流れを損なう要因となる。このため点検、清掃、補修を定期的に行い下水道が正常に機能するよう努めている。

ポンプ場の維持管理

ポンプ場は汚水を処理場へ送り雨水を河川等へ排除する重要な施設であり、適正な運転がなされなければならない。日夜流入してくる汚水、雨水を速やかに排出し、その機能に異常がおきないよう定期的に巡回し、整備を行っている。

浄化センターの維持管理

浄化センターは汚水をきれいにする水処理施設と、その過程で発生する汚泥を減量化、安定化する 泥処理施設からなり、昼夜連続で運転を行っている。施設の機能が充分に発揮できるよう常に点検・整備し、日々の状況に応じた運転管理を行っている。また処理した水は水質分析を行い、水質基準にあった処理水を放流するよう監視している。

【参考】下水道法第8条に基づく下水処理場からの排水水質基準（平成16年4月1日改正）

項目 / 区分	pH	BOD5 (mg/l)	SS (mg/l)	大腸菌群数 (個/cm^3)
活性汚泥法による場合	5.8以上 8.6以下	15以下	40以下	3,000以下

※下水道法施行令の経過措置により、改正後の政令施行の際、現に存する公共下水道からの放流水の水質のBOD5に係る技術上の基準については、従前の20mg/l。ただし、政令の施行後に改築の工事が完了したものについては上記の基準を採用。

2 浄化センター・ポンプ場の施設機器更新率

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
下水道施設機器の更新が完了した施設数	9	75	70	63
下水道施設機器で更新が必要な施設数（H20～H31）（R2～R6）	36	84	84	84
浄化センター・ポンプ場の施設機器更新数※	25.0	89.3	83.3	75.0

※令和2年度以降はストックマネジメント計画に基づく更新数。令和元年度までは長寿命化計画に基づく更新率（%）を表しています。

3 下水道施設年間電力使用量

（kWh/年）

		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
中部浄化センター		7,406,005	7,786,498	7,715,708	7,413,314	7,340,676
	電力会社からの受電量	5,813,135	6,059,868	6,220,548	5,988,564	5,862,996
	消化ガス発電量※1	1,592,870	1,726,630	1,495,160	1,424,750	1,477,680
東部浄化センター		9,652,234	9,743,396	9,738,782	9,991,941	10,128,415
	電力会社からの受電量	5,508,332	5,616,762	5,869,840	6,684,360	7,364,160
	消化ガス発電量※2	4,143,902	4,126,634	3,868,942	3,307,581	2,764,255
南部浄化センター		6,920,160	7,179,404	7,138,608	7,353,144	7,297,800
他処理場及び維持補修センター		3,955,267	3,998,145	4,191,499	4,154,142	4,139,052
その他※3		5,239,363	5,239,362	4,800,700	4,769,317	4,801,257
合計		33,173,029	33,946,805	33,585,297	33,681,858	33,707,200

※1 平成25年度から消化ガス発電が稼働。 消化ガス発電量の分、電力会社からの受電電力量を削減している。

※2 平成28年度から消化ガス発電が稼働。 消化ガス発電量の分、電力会社からの受電電力量を削減している。

※3 その他は、中継ポンプ場、マンホールポンプ場、その他の施設。

4 管渠

		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
管渠清掃	延 長（m）	30,988	49,064	46,354	41,536	46,748
	浚渫土量(㎥)	179	281	264	363	406
人 孔	改 良(箇所)	1,051	1,122	740	926	929
	補 修(箇所)	2	0	2	8	0
汚水桝	改 良(箇所)	586	577	543	682	349
	新 設(箇所)	383	458	343	411	324
	詰り清掃(箇所)	229	214	68	71	66
雨水桝	改 良(箇所)	42	66	103	20	162
	新 設(箇所)	0	0	0	1	0
	詰り清掃(箇所)	62	107	10	19	31
その他	陥没処理(箇所)	31	27	21	30	618
	サイフォン処理(箇所)	53	67	71	78	84
	桝取付管補修(箇所)	57	144	188	134	19
	管内調査(m)	4,711	5,300	4,948	4,091	22,949
	路面復旧(㎡)	0	0	0	0	0

5 ポンプ場揚水量

処理区	ポンプ場	令和2年度 揚水量 汚水年総量(㎥/年)	令和2年度 揚水量 雨水年総量(㎥/年)	令和元年度 揚水量 汚水年総量(㎥/年)	令和元年度 揚水量 雨水年総量(㎥/年)	平成30年度 揚水量 汚水年総量(㎥/年)	平成30年度 揚水量 雨水年総量(㎥/年)	平成29年度 揚水量 汚水年総量(㎥/年)	平成29年度 揚水量 雨水年総量(㎥/年)
中部	花畑	—	—	—	—	—	—	—	—
	新花畑	3,810,180	1,007,240	4,290,550	836,650	4,306,780	804,820	4,208,430	746,320
	坪井	726,119	-	638,677	—	358,756	—	402,348	—
	本山	-	385,617	—	326,311	—	287,467	—	340,966
	世安	4,255,290	2,862,706	4,279,470	2,277,455	4,158,220	1,940,723	4,209,280	2,335,775
	花畑第2	-	28,008	—	34,488	—	25,560	—	25,920
	新島崎	2,347,950	—	2,225,300	—	2,025,000	—	2,035,512	—
	和泉	273,669	—	304,732	—	307,520	—	273,931	—
東部	湖東	15,208,320	—	15,083,210	—	15,140,180	—	15,401,860	—
	神水	180,984	—	170,523	—	165,717	—	169,596	—
	戸井の外	705,307	—	698,918	—	695,277	—	712,979	—
	渡瀬	3,843,315	—	3,733,254	—	3,820,499	—	3,849,488	—
	出水	933,943	—	888,711	—	898,127	—	912,578	—
	渡鹿	486,431	—	466,027	—	467,490	—	478,984	—
	健軍	359,094	—	342,600	—	336,819	—	341,550	—
	渡鹿第2	361,996	—	357,835	—	358,241	—	354,694	—
	長嶺	177,792	—	163,544	—	155,444	—	148,036	—
	江津	1,604,192	204,727	1,531,997	149,881	1,495,760	192,964	1,453,834	178,276
	西無田	148,555	—	139,951	—	137,385	—	143,124	—
	端地	270,233	—	267,058	—	356,490	—	363,943	—
	沼山津	816,106	—	762,974	—	768,931	—	922,763	—
	下津留	73,694	—	72,030	—	67,061	—	66,670	—
南部	南熊本	—	—	—	—	—	—	—	—
	菅原	270,267	—	262,226	—	259,524	—	261,979	—
	大渡	242,736	—	229,481	—	222,134	—	237,588	—
	流通団地	47,391	—	123,302	—	135,050	—	139,142	—
	平田	3,764,150	180,450	3,668,470	275,250	3,640,661	239,220	3,724,453	149,250
	南高江	3,129,274	—	3,396,373	—	3,657,309	—	3,678,369	—
西部	花園	645,915	—	636,137	—	643,606	—	671,549	—
	花園第2	255,474	—	248,375	—	254,807	—	251,542	—
	小島	179,994	—	169,369	—	165,588	—	163,109	—
	内田	7,778	—	3,221	—	188	—	—	—
北部	飛田	688,426	—	669,002	—	675,348	—	672,634	—
	坪井第2	519,570	—	480,494	—	484,305	—	489,651	—
	井川道	22,666	—	19,541	—	18,591	—	20,456	—
	西里	117,017	—	112,716	—	118,289	—	115,999	—
	芭蕉鶴	112,313	—	111,945	—	108,648	—	102,364	—
富合	富合	640,913	—	603,469	—	574,130	—	577,036	—
植木	植木	599,500	-	542,960	—	492,300	—	376,250	—
－	春日雨水	-	455,461	—	415,534	—	394,853	—	211,536
－	小山田雨水	-	151,633	—	60,885	—	64,530	—	33,210
－	新川橋	-	25,922	—	5,223	—	4,079	—	3,392
－	高橋稲荷ｹﾞｰﾄ	-	6,900	—	30	—	0	—	195
合計		47,826,554	5,308,664	47,694,442	4,381,707	47,470,175	3,954,216	47,931,721	4,024,840

6 年間処理水量・有収水量

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
流入水	―	―	―	―	―
晴天日平均下水量(m^3/日)	195,704	196,435	199,576	202,219	201,334
中部浄化センター	46,326	46,370	47,933	48,322	48,290
東部浄化センター	100,772	102,597	103,446	104,768	104,087
南部浄化センター	30,546	30,156	30,738	31,321	31,430
西部浄化センター	14,603	13,995	14,225	14,620	14,392
城南町浄化センター	3,457	3,317	3,234	3,188	3,135
日最大下水量(m^3/日) *1	583,763	620,560	565,941	638,695	555,486
中部浄化センター	176,358	171,330	168,310	185,561	151,461
東部浄化センター	281,880	330,269	278,269	325,618	287,268
南部浄化センター	88,380	95,190	90,470	119,860	94,865
西部浄化センター	31,187	32,612	29,919	31,166	47,552
城南町浄化センター	5,958	7,016	5,013	6,218	6,615
総処理量(m^3/年)	92,760,354	91,367,755	90,908,950	92,072,805	93,188,593
市浄化センター処理分	79,710,141	79,035,094	78,626,109	79,978,205	81,113,799
中部浄化センター	19,973,400	19,997,181	19,806,783	20,202,912	20,840,156
東部浄化センター	40,652,152	40,449,762	40,436,807	40,945,725	41,218,338
南部浄化センター	12,163,610	11,976,464	11,804,320	12,125,857	12,404,715
西部浄化センター	5,629,493	5,371,708	5,374,323	5,513,995	5,488,086
城南町浄化センター	1,291,486	1,239,979	1,203,876	1,189,716	1,162,504
市浄化センター以外処理分	13,050,213	12,332,661	12,282,841	12,094,600	12,074,794
熊本北部浄化センター	12,409,300	11,729,192	11,708,711	11,517,564	11,476,298
宇土終末処理場	640,913	603,469	574,130	577,036	598,496
汚水処理量(m^3/年)	85,825,572	85,442,734	85,918,695	86,802,018	86,747,704
市浄化センター処理分	72,775,359	73,110,073	73,635,854	74,707,418	74,672,910
中部浄化センター	16,908,990	16,971,420	17,495,545	17,637,530	17,625,850
東部浄化センター	36,781,780	37,550,502	37,757,790	38,240,320	37,991,755
南部浄化センター	12,163,610	11,976,464	11,804,320	12,125,857	12,404,715
西部浄化センター	5,629,493	5,371,708	5,374,323	5,513,995	5,488,086
城南町浄化センター	1,291,486	1,239,979	1,203,876	1,189,716	1,162,504
市浄化センター以外処理分	13,050,213	12,332,661	12,282,841	12,094,600	12,074,794
熊本北部浄化センター	12,409,300	11,729,192	11,708,711	11,517,564	11,476,298
宇土終末処理場	640,913	603,469	574,130	577,036	598,496
雨水処理量(m^3/年)	6,934,782	5,925,021	4,990,255	5,270,787	6,440,889
中部浄化センター	3,064,410	3,025,761	2,311,238	2,565,382	3,214,306
東部浄化センター	3,870,372	2,899,260	2,679,017	2,705,405	3,226,583
有収水量(m^3/年)	72,339,449	71,800,777	72,366,941	72,626,117	68,058,351
有収率(%) *2	84.3	84.0	84.2	83.7	78.5

*1 日最大下水量を示しているため、各浄化センターの合計値とは一致しない
*2 有収率は、有収水量/汚水処理水量で算出

日平均処理量(m^3/日)	218,384	215,943	215,414	219,118	222,230
中部浄化センター	54,722	54,637	54,265	55,350	57,096
東部浄化センター	111,376	110,518	110,786	112,180	112,927
南部浄化センター	33,325	32,723	32,341	33,222	33,986
西部浄化センター	15,423	14,677	14,724	15,107	15,036
城南町浄化センター	3,538	3,388	3,298	3,259	3,185

7 年間汚泥発生量・処分量

	令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
年間汚泥発生量	発生量 (m^3/年)	平均含水率 (%)	発生量 (m^3/年)	平均含水率 (%)	発生量 (m^3/年)	平均含水率 (%)	発生量 (m^3/年)	平均含水率 (%)	発生量 (m^3/年)	平均含水率 (%)
合計	3,342,741		3,590,477		3,433,729		3,254,273		3,217,374	
中部浄化センター	1,314,882	－	1,630,759	－	1,575,599	－	1,582,553	－	1,566,583	－
東部浄化センター	1,243,411	－	1,167,605	－	1,169,952	－	989,924	－	968,196	－
南部浄化センター	512,387	－	518,640	－	472,562	－	472,623	－	488,118	－
西部浄化センター	233,277	－	225,364	－	171,018	－	182,907	－	185,438	－
城南町浄化センター	38,783	－	48,109	－	44,598	－	26,266	－	9,039	－
最初沈殿池	2,327,109		2,532,521		2,360,315		2,204,206		2,218,079	
中部浄化センター	1,038,511	99.6	1,339,388	99.6	1,249,932	99.8	1,265,035	99.7	1,258,600	99.4
東部浄化センター	860,512	99.1	786,243	99.1	771,438	99.1	581,920	99.0	590,775	99.1
南部浄化センター	290,371	98.8	290,013	98.8	272,171	98.8	269,686	98.6	275,711	98.4
西部浄化センター	137,714	99.6	116,877	99.1	66,774	99.1	87,565	99.1	92,993	99.1
城南町浄化センター	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
最終沈殿池	1,015,632		1,057,956		1,073,414		1,050,067		999,295	
中部浄化センター	276,371	99.7	291,371	99.6	325,667	99.7	317,518	99.7	307,983	99.7
東部浄化センター	382,899	99.3	381,362	99.3	398,514	99.3	408,004	99.4	377,421	99.4
南部浄化センター	222,016	99.5	228,627	99.5	200,391	99.4	202,937	99.4	212,407	99.4
西部浄化センター	95,563	99.4	108,487	99.4	104,244	99.4	95,342	99.4	92,445	99.4
城南町浄化センター	38,783	99.6	48,109	99.7	44,598	99.7	26,266	99.3	9,039	98.6
年間処分量(脱水ケーキ)	処分量 (t/年)	平均含水率 (%)	処分量 (t/年)	平均含水率 (%)	処分量 (t/年)	平均含水率 (%)	処分量 (t/年)	平均含水率 (%)	処分量 (t/年)	平均含水率 (%)
合計	31,343		31,849		30,197		30,077		28,728	
中部浄化センター	6,078	80.3	7,094	80.0	7,413	80.3	7,115	80.2	6,854	79.4
東部浄化センター	15,316	79.1	14,333	79.6	12,113	80.2	12,217	80.4	11,704	80.3
南部浄化センター	6,389	79.8	6,855	80.2	7,212	80.3	7,478	81.4	6,852	80.3
西部浄化センター	2,699	80.8	2,726	80.9	2,716	80.8	2,620	80.9	2,677	80.3
城南町浄化センター	861	81.6	841	81.8	744	81.5	647	82.4	641	82.6
セメント化	8,381		7,988		7,853		9,207		8,592	
中部浄化センター	128		78		91		878		783	
東部浄化センター	1,810		1,019		485		724		892	
南部浄化センター	6,389		6,855		7,212		7,478		6,852	
西部浄化センター	54		36		37		117		65	
城南町浄化センター	0		0		29		9		0	
コンポスト(堆肥)化	6,918		7,586		6,325		4,643		4,518	
中部浄化センター	646		1,543		1,543		923		601	
東部浄化センター	2,766		2,512		1,387		580		665	
南部浄化センター	0		0		0		0		0	
西部浄化センター	2,645		2,690		2,680		2,503		2,611	
城南町浄化センター	861		841		716		637		641	
固形燃料化	16,044		16,275		16,020		16,226		15,617	
中部浄化センター	5,303		5,473		5,779		5,314		5,470	
東部浄化センター	10,740		10,802		10,241		10,912		10,147	
南部浄化センター	0		0		0		0		0	
西部浄化センター	0		0		0		0		0	
城南町浄化センター	0		0		0		0		0	

日平均処分量(t/日)	85.7	87.0	82.7	82.4	78.8
中部浄化センター	16.6	19.4	20.3	20.3	18.8
東部浄化センター	41.8	39.2	33.2	33.2	32.1
南部浄化センター	17.5	18.7	19.8	19.8	18.8
西部浄化センター	7.4	7.4	7.4	7.4	7.3
城南町浄化センター	2.4	2.3	2.0	2.0	1.8

*固形燃料化は、平成25年度から稼働開始。
*処分量の内訳と合計は少数点以下の端数の関係上一致しない場合がある。

8　浄化センター水質検査結果

中部浄化センター水質試験結果（A系）

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
流入水	4月	20.6	7.4	7.4	110	49	93	200,000	30.2	22.6	0.1	<0.1	7.5	3.2
	5月	24.0	11	7.4	190	87	320	280,000	59.7	48.6	0.1	<0.1	11.0	5.8
	6月	25.0	9.1	7.2	99	47	94	210,000	25.8	21.6	<0.1	<0.1	4.2	3.2
	7月	23.5	16	7.2	45	24	32	120,000	18.3	11.6	0.2	<0.1	6.5	1.9
	8月	26.4	8.0	7.2	94	41	62	170,000	26.5	22.1	<0.1	<0.1	4.5	3.3
	9月	25.8	9.1	7.1	280	110	520	160,000	28.4	12.3	<0.1	<0.1	16.1	4.4
	10月	25.0	7.4	7.1	120	49	84	230,000	28.3	22.0	<0.1	<0.1	6.3	3.3
	11月	23.0	9.1	7.2	92	36	54	110,000	27.3	20.5	<0.1	<0.1	6.8	3.3
	12月	20.7	8.6	7.6	120	47	100	180,000	32.2	23.4	0.1	<0.1	8.8	3.5
	1月	16.5	8.5	7.3	110	43	70	100,000	26.0	18.1	0.1	<0.1	7.8	2.8
	2月	19.3	6.0	7.1	120	230	1300	180,000	60.6	20.8	<0.1	<0.1	39.8	7.1
	3月	20.6	7.5	7.4	120	50	110	220,000	24.7	18.1	<0.1	<0.1	6.6	3.1

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
放流水	排水基準値	－	－	5.8～8.6	15以下	20以下	40以下	3,000以下	120以下	100以下			－	16以下
	4月	20.3	≧100	6.6	0.9	5.3	1.1	0	19.9	2.1	0.1	15.5	2.2	2.5
	5月	23.6	≧100	7.0	0.6	5.6	1.9	0	17.0	4.7	0.1	11.6	0.7	2.4
	6月	25.6	≧100	6.7	0.7	5.1	1.7	1	15.7	1.1	0.1	13.8	0.8	2.5
	7月	24.3	≧100	6.7	0.7	3.9	1.7	0	16.7	0.2	<0.1	15.8	0.7	1.7
	8月	27.7	≧100	6.7	0.5	5.2	1.6	0	13.8	0.5	<0.1	12.7	0.6	1.9
	9月	26.9	≧100	6.8	1.1	4.6	2.3	0	13.8	0.9	<0.1	12.2	0.7	2.0
	10月	25.4	≧100	6.9	0.6	5.2	1.7	0	17.5	5.0	0.1	11.8	0.6	2.2
	11月	23.0	≧100	6.9	0.5	4.9	1.0	0	16.2	1.3	<0.1	14.0	0.9	2.4
	12月	20.4	≧100	6.9	0.8	5.5	1.8	0	16.9	1.6	0.1	14.5	0.8	2.4
	1月	19.0	≧100	7.0	1.1	6.2	1.7	0	22.6	5.9	0.1	15.8	0.8	2.7
	2月	18.4	≧100	6.8	0.8	5.5	1.4	0	19.1	2.2	0.1	16.3	0.6	2.4
	3月	19.9	≧100	6.6	1.0	4.8	1.6	0	16.4	0.1	<0.1	15.7	0.6	2.4

中部浄化センター水質試験結果（B系）

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
流入水	4月	20.5	6.0	7.4	140	56	90	150,000	29.9	21.9	0.1	<0.1	8.0	3.4
	5月	23.9	6.6	7.4	140	63	110	240,000	29.1	22.3	<0.1	<0.1	6.8	3.6
	6月	25.3	5.5	7.3	190	82	180	220,000	24.5	20.2	0.1	<0.1	4.3	4.4
	7月	24.6	8.5	7.4	100	45	100	230,000	24.4	12.7	0.1	<0.1	11.6	2.8
	8月	27.2	5.3	7.2	160	64	150	420,000	28.6	20.0	<0.1	<0.1	8.6	3.8
	9月	26.2	6.8	7.3	120	51	130	160,000	20.9	13.3	0.1	<0.1	7.6	3.2
	10月	25.5	5.2	7.3	180	73	160	410,000	29.8	23.1	<0.1	<0.1	6.8	4.1
	11月	23.8	5.0	7.3	200	82	180	190,000	34.6	22.6	<0.1	<0.1	12.1	4.7
	12月	20.5	3.7	7.3	320	120	330	270,000	35.5	24.0	0.1	<0.1	11.4	5.6
	1月	17.1	4.0	7.4	240	110	300	190,000	30.2	19.5	0.2	<0.1	10.6	4.5
	2月	19.3	4.7	7.4	190	79	180	270,000	35.1	23.3	0.3	<0.1	11.6	4.5
	3月	20.9	5.3	7.5	160	68	150	280,000	30.6	19.9	<0.1	<0.1	10.7	4.1

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
放流水	排水基準値	－	－	5.8～8.6	15以下	20以下	40以下	3,000以下	120以下	100以下			－	16以下
	4月	20.2	≧100	6.7	1.9	6.2	2.2	1	16.0	0.2	0.1	14.4	1.4	1.9
	5月	23.6	≧100	6.9	1.2	5.6	2.6	0	12.3	0.3	0.1	11.4	0.6	2.1
	6月	25.8	≧100	6.9	2.5	5.9	3.2	0	15.0	0.3	0.1	13.9	0.9	2.3
	7月	24.3	≧100	7.0	2.3	4.9	3.5	0	12.1	0.1	<0.1	10.8	1.2	1.2
	8月	27.5	≧100	6.9	0.5	6.2	2.1	0	12.2	0.8	0.1	10.5	0.8	2.0
	9月	26.7	≧100	6.9	1.4	4.5	1.8	2	13.2	0.6	<0.1	12.0	0.7	2.0
	10月	25.2	≧100	6.9	1.3	4.7	2.0	0	13.5	0.2	<0.1	12.6	0.7	2.3
	11月	22.9	≧100	6.9	1.0	5.4	2.6	0	13.4	1.1	0.1	11.6	0.7	2.4
	12月	20.6	≧100	7.0	1.3	6.8	3.2	0	14.7	1.8	0.1	11.9	0.9	2.1
	1月	18.9	≧100	6.9	3.4	6.5	3.5	0	16.8	0.6	0.1	15.7	0.6	2.2
	2月	18.7	≧100	6.9	3.2	6.6	3.9	0	17.1	0.6	0.1	15.6	0.8	2.1
	3月	19.9	≧100	6.9	3.6	5.7	3.4	175	14.7	0.5	0.1	13.3	0.9	1.9

東部浄化センター水質試験結果（A系）

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
流入水	4月	21.4	5.7	7.8	140	70	100	150,000	42.1	34.5	0.2	<0.1	7.4	4.8
	5月	23.2	5.4	7.7	170	79	140	340,000	44.9	36.2	<0.1	<0.1	8.8	5.6
	6月	24.7	5.1	7.6	160	79	170	270,000	41.5	29.2	<0.1	<0.1	12.3	4.8
	7月	24.5	7.9	7.5	100	59	87	450,000	35.0	27.4	0.2	<0.1	7.5	3.9
	8月	26.1	5.8	7.5	150	70	110	220,000	40.9	32.6	<0.1	<0.1	8.3	5.3
	9月	25.3	6.9	7.6	120	62	110	400,000	36.0	31.6	0.3	<0.1	4.2	4.4
	10月	23.4	6.3	7.6	160	68	120	200,000	39.8	28.9	<0.1	<0.1	10.9	4.8
	11月	22.2	5.1	7.8	180	84	160	200,000	45.8	35.2	<0.1	<0.1	10.6	5.3
	12月	20.0	5.3	7.9	160	78	130	100,000	47.1	39.9	0.2	<0.1	7.1	5.2
	1月	19.4	5.9	7.9	160	74	160	180,000	40.0	30.6	0.6	<0.1	8.9	5.4
	2月	19.7	6.5	7.9	120	68	120	110,000	45.2	37.8	0.3	<0.1	7.1	4.5
	3月	20.7	6.3	7.8	130	71	100	160,000	42.4	33.3	0.3	<0.1	8.9	5.0

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
放流水	排水基準値	－	－	5.8～8.6	15以下	20以下	40以下	3,000以下	120以下	100以下			－	16以下
	4月	21.8	93	7.0	2.1	8.6	5.0	0	13.5	9.4	0.3	2.8	1.1	0.8
	5月	23.8	≧100	7.1	3.6	6.7	2.3	9	11.8	6.2	0.2	4.7	0.9	0.4
	6月	25.6	≧100	7.1	0.4	5.9	1.2	0	15.8	12.4	0.1	1.5	1.8	0.5
	7月	25.2	≧100	6.9	1.5	4.8	2.6	0	8.8	4.4	0.1	3.5	0.8	0.6
	8月	27.2	≧100	7.2	1.2	5.7	2.4	0	12.4	8.1	0.2	3.2	1.0	0.5
	9月	25.3	≧100	7.0	1.3	4.5	3.0	0	9.3	5.8	0.1	2.7	0.8	0.4
	10月	24.1	≧100	6.9	1.0	6.0	1.7	0	11.6	6.4	0.2	3.7	1.5	0.5
	11月	22.5	≧100	6.9	1.1	6.1	2.8	0	12.6	6.3	0.1	4.9	1.4	0.7
	12月	19.7	≧100	7.0	1.4	7.1	2.6	0	11.3	6.9	0.2	3.5	0.8	0.8
	1月	19.6	95	7.0	1.3	8.5	3.9	0	10.2	5.9	0.2	3.4	0.7	0.7
	2月	19.8	≧100	7.0	3.0	7.7	3.1	0	11.6	6.6	0.2	4.4	0.5	1.0
	3月	21.0	≧100	6.8	1.4	6.5	1.8	0	10.1	4.0	0.2	5.5	0.6	0.7

東部浄化センター水質試験結果（B系）

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
流入水	4月	21.2	4.0	7.8	210	92	160	270,000	43.1	35.2	<0.1	<0.1	8.0	5.6
	5月	23.4	4.5	7.7	190	98	190	320,000	45.9	36.0	<0.1	<0.1	9.9	5.9
	6月	25.1	5.0	7.6	210	91	210	420,000	45.3	36.8	<0.1	<0.1	8.6	6.1
	7月	25.3	4.9	7.6	190	84	210	480,000	44.2	34.3	<0.1	<0.1	10.0	5.4
	8月	26.0	5.2	7.5	180	78	180	330,000	44.8	34.2	<0.1	<0.1	10.6	5.4
	9月	25.4	5.5	7.6	180	82	190	220,000	38.1	32.5	0.3	<0.1	5.4	5.3
	10月	23.4	4.9	7.7	180	84	190	530,000	44.6	30.1	<0.1	<0.1	14.5	5.5
	11月	22.5	4.7	7.8	210	87	180	160,000	47.6	37.9	<0.1	<0.1	9.7	5.4
	12月	19.9	4.2	7.9	220	98	210	190,000	47.4	38.6	0.4	<0.1	8.5	6.1
	1月	19.4	4.8	7.9	190	95	200	240,000	44.7	33.4	0.3	<0.1	11.1	5.9
	2月	19.6	4.7	7.9	190	91	170	190,000	47.3	39.3	0.3	<0.1	7.8	5.6
	3月	20.8	4.8	7.8	190	88	150	190,000	44.5	34.2	0.2	<0.1	10.1	6.0

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
放流水	排水基準値	－	－	5.8～8.6	15以下	20以下	40以下	3,000以下	120以下	100以下			－	16以下
	4月	22.2	≧100	7.1	5.8	8.6	2.1	0	26.7	20.3	0.3	5.3	0.8	1.9
	5月	24.4	≧100	7.2	4.3	7.9	1.7	0	28.4	22.1	0.4	5.0	1.0	2.0
	6月	26.1	≧100	7.2	3.1	8.4	2.7	0	30.8	21.4	0.4	8.1	1.0	2.9
	7月	26.1	≧100	7.1	1.9	6.3	2.2	0	21.0	14.8	0.3	5.3	0.7	1.3
	8月	27.6	≧100	7.2	2.2	7.8	1.7	0	32.4	21.7	0.5	9.2	1.1	1.5
	9月	26.0	≧100	7.0	2.9	6.1	4.0	0	19.9	11.2	0.3	7.6	0.9	1.7
	10月	24.5	≧100	7.1	2.9	7.9	2.7	0	28.1	18.2	0.2	8.2	1.6	3.2
	11月	23.1	≧100	7.2	3.9	7.2	2.6	0	29.5	22.7	0.3	5.1	1.4	1.8
	12月	20.8	≧100	7.2	2.4	8.1	2.9	0	25.7	17.9	0.5	6.5	0.9	1.6
	1月	20.4	≧100	7.2	3.8	7.8	2.3	0	28.6	20.4	0.4	7.1	0.9	2.8
	2月	20.8	≧100	7.2	5.0	9.2	3.6	0	30.4	21.4	0.3	8.0	0.9	1.9
	3月	21.9	≧100	7.2	4.9	8.5	2.5	0	31.9	24.4	0.4	6.5	0.7	3.6

南部浄化センター水質試験結果

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素	全リン（mg/l）
流入水	4月	21.8	4.4	7.7	170	75	140	330,000	45.1	39.5	0.2	<0.1	5.5	4.9
	5月	23.8	5.0	7.7	190	87	160	210,000	50.4	46.5	<0.1	<0.1	4.0	5.6
	6月	24.8	5.0	7.6	170	83	180	270,000	51.3	41.7	<0.1	<0.1	9.6	5.7
	7月	25.5	6.8	7.6	140	61	130	190,000	37.4	28.3	<0.1	<0.1	9.1	4.0
	8月	26.9	6.7	7.6	150	65	110	200,000	47.6	39.8	<0.1	<0.1	7.8	5.2
	9月	26.0	8.5	7.6	120	56	120	380,000	37.2	34.2	0.2	<0.1	2.8	3.7
	10月	24.7	5.0	7.8	180	79	150	480,000	50.8	42.2	<0.1	<0.1	8.6	5.8
	11月	23.2	4.5	7.8	210	92	180	230,000	50.4	44.0	<0.1	<0.1	6.4	5.5
	12月	21.3	5.0	7.7	190	96	220	140,000	53.0	45.6	<0.1	<0.1	7.5	5.8
	1月	20.1	4.5	8.0	210	98	180	430,000	58.9	50.2	0.1	<0.1	8.7	6.2
	2月	20.6	6.8	7.7	140	71	100	130,000	48.6	43.5	<0.1	<0.1	5.2	4.8
	3月	21.5	4.2	7.7	210	89	220	190,000	52.4	42.2	0.2	<0.1	10.1	6.1

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
放流水	排水基準値	－	－	5.8～8.6	15以下	20以下	40以下	3,000以下	120以下	100以下			－	16以下
	4月	22.8	≧100	6.8	2.0	6.5	1.4	0	21.9	11.4	0.1	9.7	0.7	3.2
	5月	25.5	≧100	6.9	1.4	6.4	2.1	1	22.9	11.1	0.1	8.6	3.2	1.9
	6月	26.7	≧100	7.0	1.6	5.4	0.9	0	21.8	10.3	0.1	10.0	1.5	0.5
	7月	25.7	≧100	6.9	1.0	4.3	1.7	0	15.0	9.2	0.1	4.9	0.9	1.1
	8月	28.6	≧100	7.0	1.1	5.9	1.8	0	18.6	7.6	0.1	10.0	1.0	1.6
	9月	27.1	≧100	7.0	2.0	4.9	2.5	0	17.2	10.3	0.1	6.4	0.5	1.6
	10月	25.3	≧100	6.9	2.1	6.4	2.6	0	20.6	10.9	0.1	8.4	1.3	1.7
	11月	24.1	≧100	6.9	3.3	6.6	1.7	0	24.8	13.2	0.2	10.1	1.4	2.3
	12月	22.2	≧100	6.9	2.6	6.7	2.2	0	23.0	11.0	0.2	11.2	0.7	1.7
	1月	20.4	≧100	7.1	1.3	7.5	2.4	1	22.6	15.9	0.2	5.7	0.9	3.0
	2月	21.1	≧100	7.0	1.9	7.1	2.3	1	25.7	19.5	0.2	5.5	0.6	1.8
	3月	22.4	≧100	7.0	7.2	7.1	2.4	11	23.6	16.6	0.1	6.3	0.6	2.6

城南町浄化センター水質試験結果

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素	全リン（mg/l）
流入水	4月	20.2	3.6	8.0	240	120	260	210,000	51.7	48.5	<0.1	<0.1	3.2	7.3
	5月	23.1	4.0	7.7	240	120	250	300,000	52.2	43.5	<0.1	<0.1	8.8	7.8
	6月	24.6	5.4	7.7	250	120	270	480,000	54.0	43.9	<0.1	<0.1	10.1	6.3
	7月	25.7	5.6	7.6	230	99	260	390,000	47.3	43.3	<0.1	<0.1	4.0	6.9
	8月	27.6	4.8	7.6	180	98	240	200,000	52.5	48.0	<0.1	<0.1	4.5	7.3
	9月	26.0	5.3	7.7	200	96	260	260,000	47.5	44.4	<0.1	<0.1	3.1	7.0
	10月	23.8	4.1	7.7	220	110	260	380,000	53.0	42.0	<0.1	<0.1	11.1	7.0
	11月	21.4	4.3	7.9	240	110	240	140,000	56.6	54.1	<0.1	<0.1	2.5	7.4
	12月	19.2	4.3	8.1	200	110	260	100,000	54.7	47.5	0.1	<0.1	7.1	6.7
	1月	17.8	4.2	8.1	250	120	230	270,000	61.3	52.8	0.2	<0.1	8.4	7.9
	2月	17.9	4.1	8.1	240	120	270	190,000	62.7	56.3	0.2	<0.1	6.3	7.3
	3月	19.4	4.3	8.1	270	120	220	180,000	60.5	52.0	<0.1	<0.1	8.6	8.2

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm^3）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
放流水	排水基準値	－	－	5.8～8.6	15以下	20以下	40以下	3,000以下	120以下	100以下			－	16以下
	4月	20.1	≧100	7.4	2.3	5.8	2.6	24	1.4	0.4	<0.1	0.4	0.6	0.8
	5月	23.2	≧100	7.4	1.6	5.5	3.0	0	1.9	0.6	<0.1	0.3	1.0	1.0
	6月	25.9	≧100	7.5	0.9	5.4	2.4	0	2.4	0.5	<0.1	0.3	1.7	1.0
	7月	26.1	≧100	7.3	1.9	5.1	2.9	1	2.2	1.3	<0.1	0.3	0.6	1.6
	8月	28.4	≧100	7.5	0.8	4.9	2.2	0	2.1	1.2	<0.1	0.3	0.7	1.4
	9月	26.9	≧100	7.4	1.3	4.4	2.8	58	1.6	0.7	<0.1	0.2	0.7	1.7
	10月	24.1	≧100	7.4	1.2	4.7	2.0	0	2.6	0.4	<0.1	0.6	1.7	2.2
	11月	22.2	≧100	7.5	1.2	4.6	1.5	0	2.3	0.2	<0.1	0.7	1.4	1.6
	12月	19.2	≧100	7.4	1.0	5.3	2.1	0	1.9	1.0	<0.1	0.6	0.3	1.8
	1月	17.9	≧100	7.5	0.7	5.7	3.2	0	1.8	0.9	<0.1	0.5	0.4	1.4
	2月	18.2	≧100	7.4	1.6	6.2	3.6	0	1.6	1.0	<0.1	0.4	0.3	0.7
	3月	19.7	≧100	7.3	1.7	4.9	2.9	0	0.9	0.2	<0.1	0.4	0.4	1.1

西部浄化センター水質試験結果

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm³）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素	全リン（mg/l）
流入水	4月	21.1	8.5	7.2	74	40	52	90,000	24.5	22.0	<0.1	<0.1	2.5	2.6
	5月	22.8	6.0	7.1	420	220	820	450,000	66.6	25.2	<0.1	<0.1	41.4	9.5
	6月	24.9	10	7.3	67	37	51	240,000	23.2	18.8	<0.1	<0.1	4.4	2.6
	7月	25.1	7.2	7.1	91	43	73	130,000	26.0	17.3	<0.1	<0.1	8.7	2.7
	8月	27.2	8.5	7.2	67	37	46	120,000	23.7	19.2	<0.1	<0.1	4.6	2.6
	9月	27.8	8.2	7.3	69	39	57	120,000	24.6	22.0	<0.1	<0.1	2.6	3.0
	10月	26.1	8.4	7.2	77	44	57	180,000	26.2	22.7	<0.1	<0.1	3.6	2.7
	11月	24.2	7.5	7.2	67	41	50	110,000	25.0	19.1	<0.1	<0.1	5.9	2.7
	12月	22.3	8.3	7.3	69	40	51	120,000	26.9	20.6	<0.1	<0.1	6.3	2.6
	1月	20.5	8.4	7.3	73	42	49	80,000	25.0	18.8	<0.1	<0.1	6.2	2.4
	2月	20.7	8.5	7.3	70	38	45	110,000	23.6	21.7	<0.1	<0.1	1.9	2.6
	3月	21.2	9.4	7.3	70	53	95	90,000	22.0	16.7	<0.1	<0.1	5.3	2.5

採水箇所	試験時期	水温（度）	透視度（cm）	pH	BOD5（mg/l）	COD（mg/l）	SS（mg/l）	大腸菌群数（個/cm³）	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素（mg/l）	全リン（mg/l）
放流水	排水基準値	－	－	5.8～8.6	15以下	20以下	40以下	3,000以下	120以下	100以下			－	16以下
	4月	21.1	≧100	6.8	1.0	6.0	0.7	0	15.5	5.3	0.1	8.0	2.1	0.5
	5月	23.4	≧100	7.1	1.7	6.3	2.1	1	16.6	9.2	0.2	6.8	0.5	0.4
	6月	25.3	≧100	7.0	1.6	5.7	2.5	1	14.7	5.2	0.2	8.7	0.7	0.3
	7月	24.7	≧100	7.0	1.8	4.8	1.6	1	10.5	3.1	0.2	6.6	0.6	0.3
	8月	27.9	≧100	7.0	1.4	5.0	1.5	2	15.6	7.1	0.2	7.5	0.8	0.1
	9月	27.3	≧100	7.0	1.1	5.2	1.8	1	15.9	4.9	0.2	9.8	1.2	0.4
	10月	26.0	≧100	6.9	1.5	5.4	1.3	3	16.0	6.8	0.1	8.7	0.4	0.2
	11月	23.8	≧100	7.1	1.4	6.0	1.0	1	17.5	9.6	0.2	7.0	0.8	0.2
	12月	21.2	≧100	7.2	1.6	5.9	1.4	1	20.5	15.0	0.2	4.7	0.7	0.3
	1月	19.1	≧100	7.3	1.6	6.9	1.7	0	22.5	17.7	0.6	3.8	0.6	0.3
	2月	19.5	≧100	7.1	1.2	7.0	1.3	0	20.9	13.9	1.2	5.1	0.8	0.2
	3月	20.9	≧100	7.1	1.5	6.7	2.3	1	17.0	10.1	0.6	5.6	0.8	0.2

採水箇所	試験時期	－	透視度（cm）	－	－	COD（mg/l）	SS（mg/l）	－	全窒素（mg/l）	アンモニア性窒素（mg/l）	亜硝酸性窒素（mg/l）	硝酸性窒素（mg/l）	有機性窒素	全リン（mg/l）
放流水 ※24時間混合試料	4月	－	≧100	－	－	5.6	0.8	－	14.6	5.1	0.2	8.0	1.4	0.6
	5月	－	≧100	－	－	6.3	1.5	－	15.6	6.7	0.2	7.9	0.8	0.3
	6月	－	≧100	－	－	5.6	2.0	－	14.3	4.9	0.2	8.2	1.1	0.3
	7月	－	≧100	－	－	4.7	1.1	－	11.2	2.4	0.2	7.2	1.5	0.4
	8月	－	≧100	－	－	5.5	1.7	－	15.0	6.3	0.3	7.6	0.8	0.2
	9月	－	≧100	－	－	5.2	1.9	－	14.5	4.4	0.2	8.8	1.2	0.4
	10月	－	≧100	－	－	5.4	0.4	－	14.6	5.8	0.2	8.0	0.6	0.2
	11月	－	≧100	－	－	5.8	1.0	－	17.6	10.0	0.2	6.7	0.8	0.3
	12月	－	≧100	－	－	5.9	0.7	－	23.2	17.3	0.2	4.9	0.9	0.4
	1月	－	≧100	－	－	7.1	1.0	－	25.9	21.1	0.6	3.7	0.6	0.3
	2月	－	≧100	－	－	6.7	1.3	－	21.5	14.3	1.1	5.3	0.9	0.4
	3月	－	≧100	－	－	6.9	2.0	－	16.9	10.1	0.5	5.5	0.8	0.2

※24時間混合試料は、放流水を自動採水器で30分毎に24時間等量採水した、一日の平均により近い分析試料です。

Ⅴ 排水設備・受益者負担金

1 受益者負担金制度

下水道が整備されると地域の生活環境が改善され土地の便益性が高まる。
また、下水道事業は、道路、公園等の都市計画事業と異なって、整備された区域内の者のみ利益を受けることになることから、都市計画法第75条では、当該事業によって利益を受ける者があるときは、下水道建設費用の一部を利益を受ける者に負担させることができるとし、その徴収方法等については市町村等の条例等で定めると規定している。これが受益者負担金制度であり、市の条例(昭和50年制定)に基づき徴収しているものである。
ただし、土地の現況等によっては一定期間の徴収猶予が認められ、また、土地の利用状況により減免制度を設けている。

賦課対象者	下水道を整備する区域内の土地所有者。ただし、その土地に権利者がある場合は土地の所有者にかわり受益者となる。
単位負担金額	土地の面積1平方メートル当たり200円
納付方法	一括納付または3年分割(年4回)

2 排水設備工事受付状況

(単位:件)

年度・月次	件数			備考
	新設※1	改造※2	計	
令和2年度	3,174	1,028	4,202	
令和元年度	3,986	943	4,929	
平成30年度	4,414	727	5,141	
平成29年度	4,251	650	4,901	
平成28年度	3,041	606	3,647	
令和2年4月	318	97	415	
5月	316	103	419	
6月	308	77	385	
7月	278	73	351	
8月	214	70	284	
9月	250	78	328	
10月	296	88	384	
11月	242	85	327	
12月	228	74	302	
令和3年1月	209	84	293	
2月	214	67	281	
3月	301	132	433	

※1:新築 ※2:浄化槽廃止・汲取り改造・増改築・先行配管

3 受益者負担金及び分担金調定収納状況

令和3年3月31日現在

	調定額		収納額		収納率(%)	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数	金額
令和2年度	4,334	120,502,150	2,027	97,157,820	46.77%	80.63%
令和元年度	4,525	106,850,720	3,241	97,283,090	71.62%	91.05%
平成30年度	2,789	68,065,670	2,694	67,312,180	96.59%	98.89%
平成29年度	6,579	155,709,210	6,469	153,842,835	98.33%	98.80%
平成28年度	2,038	100,440,513	1,825	92,648,470	89.55%	92.24%

4 受益者負担金の減免制度

受益者負担金は、賦課区域内の全ての土地にかかるが、次のような土地にあてはまる場合は、一部または全部が減免される。減免を受けようとする者は、「減免申請書」の提出を必要とする。

減免の対象となる土地	減免の割合(%)
公共性のある私道敷で公道に準ずると認められるもの	100
神社・寺院・教会等が使用する境内地	50
墓地	100
消防格納庫	100
国・県・市が所有し、使用している土地	25～75
鉄道の所有又は使用している土地	25～100
公・私立学校・幼稚園又は社会福祉施設	75
公民館等地域の集会所の敷地	50

5 受益者負担金の徴収猶予

耕作中の農地や、受益者に火災などの不慮の事故が生じ、負担金の納付が困難な場合、一定期間の猶予が認められる。
猶予を受ける場合、「徴収猶予申請書」の提出を必要とする。

猶予の対象	猶予の原因	猶予の期間
農地・山林	現に耕作中の農地、または山林	3年（3年毎に現況調査をします）
生活困窮者	生活保護受給者であって保護証明が必要	毎年更新が必要です
裁判係争中の土地	土地の所有権等について裁判で争っている土地	3年（3年毎に現況調査をします）
地積未確定の土地	地積が確定していない土地	3年（3年毎に現況調査をします）
災害・盗難その他事故	火災などの被災者	1年 （同じ災害による猶予は3年を超えないこととします）

6 受益者負担金減免及び猶予状況

		人数（人）	筆数（筆）	面積（m^2）	金額（円）
令和2年度	減免	151	691	139,172.00	27,301,970
	猶予	19	24	10,872.92	2,174,560
令和元年度	減免	265	604	132,149.26	24,052,820
	猶予	30	51	38,735.92	6,219,450
平成30年度	減免	1169	1514	393,758.64	72,816,930
	猶予	16	30	16,757.13	2,451,420
平成29年度	減免	430	797	244,270.62	38,777,340
	猶予	18	28	18,909.37	3,669,730
平成28年度	減免	1	1	15,542.47	1,554,250
	猶予	0	0	0.00	0

7 私道内の公共下水道布設取扱

私道に面した家屋又は土地の所有者が共同排水設備の維持・管理等に対し公道に面した家屋との不公平を除くため、昭和53年に「私道に対する公共下水道布設取扱要綱」を策定し、公道から公道へ通り抜けた私道に対し、公費による公共下水道の布設を行ってきた。
また、平成7年1月23日より新たに袋小路私道にも適用範囲を広げた同名の新要綱を策定し、運用している。

条件	1.私道の両端又は一端が、公共下水道が設置されている道路(公共下水道の設置に係る工事の契約が締結されたものを含む。)に接続されていること。 2.私道の形態が明確かつ分筆され、地目が公衆用道路であること。 3.公共下水道の布設及び維持管理において、家屋等への影響がない道路幅員を有すること。 4.私道に面する土地が2筆以上あり、かつ1戸以上の建物が建っており、又は、建築予定であること。 5.公共下水道の設置又は維持管理について、所有権者及び占有者等全員が同意していること。 6.公共下水道が存置する期間、無償で使用できるもの（権利を移転する場合にあっても同様とする。）であること。 7.開発区域内道路にあっては、開発完了後3年を経過していること。

※平成30年4月1日　上記条件へ改正

私道の申請及び整備状況（平成8年度～令和2年度）

	事前調査受付件数	申請受付件数	布設件数	布設延長(m)
R2末時累計	1,754	1,491	1,420	70,516
令和2年度	34	32	35	2,026
令和元年度	50	38	40	2,072
平成30年度	37	32	42	1,868
平成29年度	51	37	15	682
平成28年度	29	24	6	284
平成8～27年度	1,553	1,328	1,282	63,584

令和3年3月31日現在

8 排水設備普及促進

公共下水道が整備されて、供用開始の告示がなされると供用区域の家屋所有者は6ヶ月以内に排水設備を設置し、くみ取り便所のある建物については3年以内に水洗化するよう法律で定められている。
本市においては水洗化を普及するため様々な制度を設け、処理区内の水洗化が促進されるよう指導等を行っている。

(1)水洗化の状況

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①水洗化戸数	戸	273,899	269,251	263,764	258,523	254,871
②普及戸数(処理区域内戸数)	戸	281,202	276,634	271,197	265,928	262,341
③水洗化率(戸数)(=①/②)	%	97.4	97.3	97.3	97.2	97.1
④現在水洗便所設置済人口	人	643,661	640,319	638,902	637,190	633,235
⑤処理区域内人口	人	660,810	657,885	656,907	655,441	651,795
⑥水洗化率(=④/⑤)	%	97.4	97.3	97.3	97.2	97.1

(2)共同排水設備設置への助成

公共下水道処理区域内の私道に面した家屋の水洗化を普及するため、昭和47年より「共同排水設備助成規則」(現昭和47年規則第30号)を設け、助成を行っている。また、平成21年4月に規則廃止、新たに「熊本市上下水道局共同排水設備助成要綱」を策定し、運用している。

条件	1.私道に所有者が異なる家屋が2つ以上接していること。 2.共同排水設備工事完了後、速やかに水洗便所に改造すること。 3.土地所有者が、共同排水設備の設置に同意していること。 4.市税及び下水道受益者負担金を滞納していないこと。

共同排水設備助成金交付状況(昭和47～令和2年度)

	申請件数(件)	施行延長(m)	助成金(円)
令和2年度末時累計	2,112	109,153.9	784,982,230
令和2年度	1	13.8	396,000
令和元年度	0	0.0	0
平成30年度	2	49.1	1,125,100
平成29年度	2	60.7	2,047,700
平成28年度	2	32.8	246,600
昭和47～平成27年度	2,105	108,997.5	781,166,830

令和3年3月31日現在

(3)改造資金の融資あっ旋及び利子補給(平成21年度新設)

公共下水道処理区域内において、自己資金のみでは排水設備工事費用を負担することが困難な者に対して、民間金融機関をあっ旋し、金融機関への償還が完了したあとに利子の全額を補給する制度を設けている。
*熊本市水洗便所改造資金融資あっ旋及び利子補給規程(制定　平成21年上下水道局規程第1号)

限度額	改造工事をしようとする便所1箇所(浄化槽の廃止にあたっては、当該浄化槽1基)につき330，000円以内
利子補給	金融機関への償還が完済したら、請求に基づき金融機関に支払った利子の全額を補給する
制度を利用できる人の資格	熊本市の処理区域内に住所を有し、改造工事をしようとする家屋に現に居住している人で次のいずれにも該当する人 1.処理区域内の家屋の所有者又は所有者の承諾を受けた所有者と生計を一にする人 2.融資を受けた改造資金の償還能力を有する人 3.市税及び受益者負担金を滞納していない人 4.取扱金融機関の融資条件に適合する人
償還期間及び方法	償還期間は36ヶ月以内で、支払方法は元利均等方式又はボーナス返済との併用方式による口座振替

改造資金貸付制度利用状況（平成20年度末を以って終了）

年度	くみ取り便所の改造			浄化槽の改造			貸付合計		
	件数	箇所	貸付金（千円）	件数	箇所	貸付金（千円）	件数	箇所	貸付金（千円）
H20年度	23	23	7,276	170	174	34,375	193	197	41,651
H19年度	36	45	12,167	171	173	35,173	207	218	47,340
H18年度	34	49	13,235	139	156	32,832	173	205	46,067
H17年度	45	48	14,331	112	126	25,555	157	174	39,886
H16年度	53	68	18,678	187	198	39,770	240	266	58,448
H15年度	88	121	33,121	303	349	67,359	391	470	100,480

融資あっ旋及び利子補給制度利用状況

年度	くみ取り便所の改造			浄化槽の改造			融資あっ旋合計			利子補給	
	件数	箇所	融資あっ旋額（千円）	件数	箇所	融資あっ旋額（千円）	件数	箇所	融資あっ旋額（千円）	件数	利子補給額（円）
令和2年度	1	1	330	2	2	300	3	3	630	6	146,733
令和元年度	1	1	330	3	3	940	4	4	1,270	3	63,772
平成30年度	0	0	0	2	2	530	2	2	530	6	158,351
平成29年度	2	2	630	2	2	420	4	4	1,050	9	163,807
平成28年度	0	0	0	3	3	580	3	3	580	12	265,506

（4）生活保護世帯に対する助成制度

公共下水道処理区域内において水洗化が速やかに行われるよう、生活保護世帯の水洗便所改造については、要綱を設け、助成を行っている。
＊熊本市生活保護世帯水洗便所改造助成金交付要綱

生活保護世帯等水洗便所改造助成金制度利用状況

年度	くみ取り便所の改造		
	件数	箇所	改造助成金（千円）
令和2年度	0	0	0
令和元年度	0	0	0
平成30年度	0	0	0
平成29年度	0	0	0
平成28年度	1	1	220

（5）排水設備工事店の届出及び指定

家庭や事業所の水洗化工事に際し悪質工事等を排除するため、熊本市下水道条例第7条により排水設備の新設等の工事を行う業者は管理者の指定を受けるよう規定している。
また、熊本市下水道条例施行規程第7条及び第8条に基づき、排水設備指定工事店指定申請書を管理者に提出しなければならない。

9 特定事業場等の排除下水の水質規制

下水道事業の目的の一つである良好な水環境を保全するために、終末処理場からの放流水質については、下水道法その他関係法令により水質基準が定められている。一方、工場・事業場等の排出水には、下水道施設を損傷したり、終末処理場で処理することが困難な物質が含まれていることがある。

終末処理場が放流水の水質基準を遵守するために、工場・事業場の排水について、下水道法及び熊本市下水道条例により、下記のとおり下水排除基準を定めており、これを監視するための立入検査等を行っている。

(1)下水道法及び熊本市下水道条例に基づく下水排除基準

令和3年3月31日現在

物質または項目＼対象者		特定事業場		非特定事業場	
		50m³/日以上	50m³/日未満	50m³/日以上	50m³/日未満
		許容限度	許容限度	許容限度	許容限度
生活環境項目等	温度	45	—	45	—
	水素イオン濃度(pH)	5～9	5～11	5～9	5～11
	生物化学的酸素要求量(BOD)	600	—	600	—
	浮遊物質量(SS)	600	—	600	—
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類)	5	20	5	20
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂)	30	—	30	—
	よう素消費量	220	—	220	—
	窒素含有量(全窒素)	—	—	—	—
	燐含有量(全燐)	—	—	—	—
	フェノール類	5	—	5	—
	銅及びその化合物	3	3	3	3
	亜鉛及びその化合物	※ 2	2	2	2
	鉄及びその化合物(溶解性)	10	—	10	—
	マンガン及びその化合物(溶解性)	10	—	10	—
	クロム及びその化合物	2	2	2	2
有害物質	カドミウム及びその化合物 ※2	0.03	0.03	0.03	0.03
	シアン化合物	1	1	1	1
	有機燐化合物	1	1	1	1
	鉛及びその化合物	0.1	0.1	0.1	0.1
	六価クロム化合物	0.5	0.5	0.5	0.5
	砒素及びその化合物	0.1	0.1	0.1	0.1
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005	0.005	0.005	0.005
	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと
	ポリ塩化ビフェニル	0.003	0.003	0.003	0.003
	トリクロロエチレン	0.1	0.1	0.1	0.1
	テトラクロロエチレン	0.1	0.1	0.1	0.1
	ジクロロメタン	0.2	0.2	0.2	0.2
	四塩化炭素	0.02	0.02	0.02	0.02
	1, 2-ジクロロエタン	0.04	0.04	0.04	0.04
	1, 1-ジクロロエチレン	1	1	1	1
	シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.4	0.4	0.4	0.4
	1, 1, 1-トリクロロエタン	3	3	3	3
	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.06	0.06	0.06	0.06
	1, 3-ジクロロプロペン	0.02	0.02	0.02	0.02
	チウラム	0.06	0.06	0.06	0.06
	シマジン	0.03	0.03	0.03	0.03
	チオベンカルブ	0.2	0.2	0.2	0.2
	ベンゼン	0.1	0.1	0.1	0.1
	セレン及びその化合物	0.1	0.1	0.1	0.1
	ほう素及びその化合物 ※3	10(230)	10(230)	10(230)	10(230)
	ふっ素及びその化合物 ※3	8(15)	8(15)	8(15)	8(15)
	1, 4-ジオキサン	0.5	0.5	0.5	0.5
	ダイオキシン類	10	10	10	10
	アンモニア性窒素等含有量	—	—	—	—

(備考)

1 単位について、水素イオン濃度は無単位、温度は℃、ダイオキシン類はpg-TEQ/L、その他はmg/Lです。

2 [ ]:基準値を超える水質の下水の排除が禁止されており、違反した場合は、直ちに罰せられます。

3 それ以外は基準値に適合した下水を排除できるように除外施設を設置するなどの必要な措置を講ずる義務があります。

※1:業種によっては暫定基準があります。(令和3年12月10日まで:金属鉱業、電気めっき業、下水道業)

※2:下水道法施行令の改正により、平成26年12月1日から0.1mg/Lから0.03mg/L以下に強化されました。業種によっては暫定基準があります。
(令和3年11月30日まで:金属鉱業)

※3:河川、湖沼等を放流先とする下水道へ下水を排除する場合の基準値で、( )内は海域を放流先とする下水道へ下水を排除する場合の基準値です。
業種によっては暫定基準があります。

（2）令和2年度事業場立入水質検査実施状況

特定施設番号	業種名	特定事業場数 R3.3.31現在	検査施設数	延検体数	基準超過検体数	基準超過項目
2	畜産食料品製造業	5	0	0	0	
3	水産食料品製造業	6	0	0	0	
4	野菜・果実保存食品製造業	5	1	1	0	
5	味噌・醤油・食酢製造業	10	0	0	0	
8	パン・菓子製造業・製餡業	1	0	0	0	
9	米菓子・麹製造業	0	0	0	0	
10	飲料製造業	5	1	2	0	
16	麺類製造業	4	1	2	0	
17	豆腐・煮豆製造業	5	0	0	0	
18-2	冷凍調理食品製造業	2	0	0	0	
19	紡績・繊維製品製造業	7	1	1	0	
22	木材薬品処理業の用に供する施設	1	0	0	0	
23	パルプ、紙又は紙加工品の製造業	1	0	0	0	
23-2	新聞・出版・印刷業	5	0	0	0	
47	医薬品製造業	1	1	4	0	
53	ガラス製品製造業	1	0	0	0	
63-2	空き瓶・卸売業の用に供する自動式洗びん施設	1	1	2	0	
65	酸・アルカリ表面処理施設	2	1	3	0	
66	電気めっき施設	6	6	9	0	
66-3	旅館業	4	3	8	1	動植物油脂（n-ヘキサン）
66-4	共同調理場	6	1	1	0	
66-5	弁当製造業	5	2	3	0	
66-6	飲食店	27	12	15	1	動植物油脂（n-ヘキサン）
66-7	そば・うどん・寿司店等	1	0	0	0	
67	洗濯業	46	3	3	0	
68	写真現像業	12	0	0	0	
68-2	病院（300床以上）	9	9	19	2	pH、生物化学的酸素要求量(BOD)
69	と畜業	0	0	0	0	
70-2	自動車分解整備業の用に供する洗車施設	6	0	0	0	
71	自動式車両洗浄施設	143	1	1	0	
71-2	試験・研究・検査業	34	8	12	1	生物化学的酸素要求量(BOD)、動植物油脂（n-ヘキサン）
71-3	一般廃棄物処理施設である焼却施設	1	0	0	0	
72	屎尿処理施設	0	0	0	0	
74	特定事業場から排出される水の処理施設	1	0	0	0	
非特定	その他	-	4	4	0	
計		363	56	90	5	

Ⅵ 下水道事業会計財務統計

1 経理状況

令和２年度の経理状況は、次のようになりました。
事業収益は193億1千2百万円で前年度に比べ6億6千万円（3.3%）の減収となりました。そのうちの下水道使用料は、102億4千7百万円で前年度に比べ1億4千6百万円（1.4%）の減収となりました。
また、事業費の主な内容は、職員給与費10億8千9百万円、維持管理費43億2千2百万円、減価償却費101億8千万円、企業債支払利息19億1千9百万円などであり、全体で175億3千5百万円となり、前年度に比べ3億8百万円（1.7%）の減少となりました。その結果、純利益は17億7千7百万円となり、前年度に比べ3億5千2百万円の減益となりました。
一方、資本的収入は、企業債85億7千8百万円、国及び一般会計補助金53億3千3百万円など合計140億3千6百万円となりました。
また、資本的支出は、建設改良費131億5千6百万円、企業債償還金89億9千1百万円で合計221億4千7百万円となりました。
この結果、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、81億1千1百万円となり、これについては、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7億1千5百万円、減債積立金26億円、繰越工事資金7千5百万円及び損益勘定留保資金47億2千1百万円で補てんしました。

2 予算決算対照表

(1) 収益的収入及び支出

区分	令和2年度		令和元年度	
	予算額	決算額	予算額	決算額
1 下水道事業収益	20,273,231,000	20,396,120,198	20,739,729,000	20,867,487,860
1 営業収益	12,226,061,000	12,285,139,554	12,198,874,000	12,322,652,053
2 営業外収益	8,023,510,000	8,074,881,211	8,428,683,000	8,417,383,204
3 特別利益	23,660,000	36,099,433	112,172,000	127,452,603
4 特別利益(災害)	0	0	0	0
1 下水道事業費用	18,465,953,000	17,903,739,630	18,763,521,000	18,180,061,495
1 営業費用	16,184,121,000	15,948,119,578	16,261,400,000	15,985,135,886
2 営業外費用	2,248,718,000	1,929,439,480	2,435,279,000	2,141,735,791
3 特別損失	28,114,000	26,180,572	61,842,000	53,189,818
4 予備費	5,000,000	0	5,000,000	0
5 特別損失(災害)	0	0	0	0
収益的収支差額	1,807,278,000	2,492,380,568	1,976,208,000	2,687,426,365

(2) 資本的収入及び支出

区分	令和2年度		令和元年度	
	予算額	決算額	予算額	決算額
1 資本的収入	18,835,936,000	14,035,642,679	21,257,046,000	15,407,161,751
1 企業債	10,726,200,000	8,397,200,000	11,977,700,000	8,237,000,000
2 企業債(雨水)	252,200,000	181,200,000	659,300,000	557,900,000
3 出資金	13,757,000	13,757,000	0	0
4 補助金	7,436,751,000	5,089,941,000	7,980,376,000	6,102,924,000
5 補助金(雨水)	259,372,000	205,621,000	518,808,000	387,315,000
6 負担金	147,656,000	147,657,050	120,862,000	122,001,151
7 固定資産売却代金	0	266,629	0	21,600
1 資本的支出	30,990,802,170	22,147,021,663	30,408,580,780	22,145,754,197
1 建設改良費	21,156,379,930	12,539,412,770	19,835,537,191	11,999,036,265
2 建設改良費(雨水)	833,231,240	616,418,447	1,685,623,589	1,269,477,076
3 企業債償還金	8,991,191,000	8,991,190,446	8,877,420,000	8,877,240,856
4 予備費	10,000,000	0	10,000,000	0
資本的収支差額	△ 12,154,866,170	△ 8,111,378,984	△ 9,151,534,780	△ 6,738,592,446
収益的収支と資本的収支差額	△ 10,347,588,170	△ 5,618,998,416	△ 7,175,326,780	△ 4,051,166,081

（税込、単位：円）

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
21,081,737,000	21,219,903,679	21,319,738,000	21,723,771,163	20,720,583,000	20,713,136,431
12,196,976,000	12,436,302,921	12,140,457,000	12,459,994,499	11,676,020,000	11,681,063,926
8,786,984,000	8,616,518,895	9,142,278,000	9,198,882,649	8,881,112,000	8,899,098,246
97,777,000	167,081,863	37,003,000	64,894,015	31,105,000	41,961,259
0	0	0	0	132,346,000	91,013,000
19,301,695,000	18,581,555,749	19,435,399,000	19,407,873,283	19,831,346,320	19,608,257,648
16,651,219,000	16,093,688,659	16,567,234,000	16,551,384,953	15,843,851,320	15,660,937,595
2,592,620,000	2,442,098,302	2,791,776,000	2,789,494,524	3,035,812,000	3,035,021,266
52,856,000	45,768,788	71,389,000	66,993,806	45,257,000	43,998,505
5,000,000	0	5,000,000	0	5,000,000	0
0	0	0	0	901,426,000	868,300,282
1,780,042,000	2,638,347,930	1,884,339,000	2,315,897,880	889,236,680	1,104,878,783

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
23,964,543,000	14,943,134,264	25,810,252,000	12,436,714,641	23,359,870,000	9,490,728,057
11,555,000,000	7,069,400,000	12,764,700,000	6,217,900,000	11,001,300,000	4,012,800,000
984,400,000	379,900,000	490,900,000	261,700,000	508,200,000	126,400,000
0	0	0	0	0	0
10,462,816,000	7,006,032,000	11,987,498,000	5,598,851,000	10,853,024,000	4,552,532,000
888,527,000	393,527,000	382,805,000	180,373,000	339,276,000	149,278,000
73,800,000	94,275,264	184,349,000	177,537,961	658,070,000	649,718,057
0	0	0	352,680	0	0
32,521,405,804	22,451,611,264	32,369,654,806	18,935,206,644	31,274,674,047	16,707,219,807
21,344,949,804	12,679,894,984	22,155,523,980	9,321,726,853	20,913,019,047	6,855,636,766
1,956,547,000	561,807,454	952,309,826	361,659,662	952,428,000	454,540,694
9,209,909,000	9,209,908,826	9,251,821,000	9,251,820,129	9,399,227,000	9,397,042,347
10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000	0
△ 8,556,862,804	△ 7,508,477,000	△ 6,559,402,806	△ 6,498,492,003	△ 7,914,804,047	△ 7,216,491,750

△ 6,776,820,804	△ 4,870,129,070	△ 4,675,063,806	△ 4,182,594,123	△ 7,025,567,367	△ 6,111,612,967

3 損益計算書

科目	令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比	金額	構成比
1 下水道事業収益	19,312,027,469	100.0	19,972,090,228	100.0
1 営業収益	11,261,240,926	58.3	11,431,368,855	57.2
1 下水道使用料	10,247,051,356	53.1	10,393,230,499	52.0
2 負担金	1,013,597,485	5.2	1,036,755,278	5.2
3 その他営業収益	592,085	0.0	1,383,078	0.0
2 営業外収益	8,016,812,662	41.5	8,415,303,623	42.2
1 受取利息	443,685	0.0	221,806	0.0
2 他会計補助金	2,789,117,000	14.4	3,007,749,000	15.1
3 補償金	1,884,633	0.0	0	0.0
4 雑収益	32,016,520	0.2	30,823,975	0.2
5 長期前受金戻入	5,193,350,824	26.9	5,376,508,842	26.9
3 特別利益	33,973,881	0.2	125,417,750	0.6
1 固定資産売却益	11,564,430	0.1	0	0.0
2 過年度損益修正益	4,702,178	0.0	4,160,781	0.0
3 その他特別利益	17,707,273	0.1	121,256,969	0.6
4 特別利益（災害）	0	0.0	0	0.0
1 国（県）補助金	0	0.0	0	0.0
2 他会計補助金	0	0.0	0	0.0
3 雑収益	0	0.0	0	0.0
1 下水道事業費用	17,534,982,176	100.0	17,842,672,154	100.0
1 営業費用	15,535,677,814	88.6	15,625,300,880	87.6
1 管渠費	797,796,300	4.5	771,928,475	4.3
2 ポンプ場費	387,819,769	2.2	390,423,195	2.2
3 処理場費	2,405,166,410	13.7	2,332,372,830	13.1
4 水質規制費	68,756,141	0.4	67,337,476	0.4
5 普及指導費	135,021,110	0.8	136,026,653	0.8
6 水洗化促進費	146,733	0.0	63,772	0.0
7 維持管理負担金	509,160,021	2.9	510,052,492	2.8
8 業務費	384,263,419	2.2	417,542,732	2.3
9 総係費	519,346,113	3.0	444,023,380	2.5
10 減価償却費	10,179,546,377	58.1	10,132,282,286	56.8
11 資産減耗費	148,655,421	0.8	423,247,589	2.4
2 営業外費用	1,974,836,066	11.2	2,167,669,822	12.1
1 支払利息及び企業債取扱諸費	1,919,373,123	10.9	2,114,569,305	11.9
2 雑支出	55,462,943	0.3	53,100,517	0.2
3 特別損失	24,468,296	0.2	49,701,452	0.3
1 固定資産売却損	0	0.0	56,000	0.0
2 過年度損益修正損	14,429,230	0.1	39,663,914	0.2
3 その他特別損失	10,039,066	0.1	9,981,538	0.1
4 特別損失（災害）	0	0.0	0	0.0
1 管渠費	0	0.0	0	0.0
2 ポンプ場費	0	0.0	0	0.0
3 処理場費	0	0.0	0	0.0
4 水質規制費	0	0.0	0	0.0
5 普及指導費	0	0.0	0	0.0
6 業務費	0	0.0	0	0.0
7 総係費	0	0.0	0	0.0
8 過年度損益修正損	0	0.0	0	0.0
当年度純利益	1,777,045,293		2,129,418,074	

（税抜、単位: 円、%）

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	構成比
20,374,526,948	100.0	20,871,882,940	100.0	19,917,854,302	100.0
11,595,437,124	56.9	11,613,083,542	55.7	10,890,252,631	54.7
10,521,225,082	51.6	10,595,550,266	50.8	9,894,211,743	49.7
1,072,774,038	5.3	1,015,592,659	4.9	995,460,173	5.0
1,438,004	0.0	1,940,617	0.0	580,715	0.0
8,615,115,708	42.3	9,198,494,010	44.0	8,896,775,933	44.7
629,477	0.0	155,683	0.0	0	0.0
3,151,937,000	15.5	3,584,869,000	17.2	3,736,562,000	18.8
34,593,148	0.2	0	0.0	0	0.0
28,181,149	0.1	32,549,899	0.1	37,239,266	0.2
5,399,774,934	26.5	5,580,919,428	26.7	5,122,974,667	25.7
163,974,116	0.8	60,305,388	0.3	39,812,738	0.2
0	0.0	0	0.0	0	0.0
76,163,612	0.4	19,936,463	0.1	24,558,071	0.1
87,810,504	0.4	40,368,925	0.2	15,254,667	0.1
0	0.0	0	0.0	91,013,000	0.4
0	0.0	0	0.0	60,014,000	0.3
0	0.0	0	0.0	26,871,000	0.1
0	0.0	0	0.0	4,128,000	0.0
18,196,164,734	100.0	18,855,700,053	100.0	18,989,521,937	100.0
15,788,466,985	86.8	16,241,980,065	86.2	15,355,001,616	80.9
794,110,680	4.4	899,142,970	4.8	732,245,938	3.9
456,174,911	2.5	496,640,169	2.6	517,743,266	2.7
2,223,439,284	12.2	2,258,574,259	12.0	2,235,036,896	11.8
71,855,855	0.4	72,643,072	0.4	80,443,097	0.4
146,040,919	0.8	144,290,310	0.8	164,688,299	0.9
180,659	0.0	180,186	0.0	344,888	0.0
513,717,020	2.8	511,315,898	2.7	572,900,544	3.0
388,924,067	2.1	396,817,409	2.1	407,765,983	2.1
452,529,639	2.5	484,634,908	2.6	541,225,007	2.9
10,112,893,189	55.6	10,058,409,045	53.3	10,001,090,739	52.7
628,600,762	3.5	919,331,839	4.9	101,516,959	0.5
2,363,880,578	13.0	2,550,584,406	13.5	2,784,887,251	14.7
2,317,328,529	12.7	2,512,950,437	13.3	2,735,525,036	14.4
46,552,049	0.3	37,633,969	0.2	49,362,215	0.3
43,817,171	0.2	63,135,582	0.3	41,244,127	0.2
0	0.0	0	0.0	0	0.0
37,431,921	0.2	54,276,222	0.3	37,582,837	0.2
6,385,250	0.0	8,859,360	0.0	3,661,290	0.0
0	0.0	0	0.0	808,388,943	4.2
0	0.0	0	0.0	592,904,419	3.1
0	0.0	0	0.0	3,276,758	0.0
0	0.0	0	0.0	159,184,411	0.8
0	0.0	0	0.0	1,620,368	0.0
0	0.0	0	0.0	3,272,731	0.0
0	0.0	0	0.0	31,903,973	0.2
0	0.0	0	0.0	12,322,979	0.1
0	0.0	0	0.0	3,903,304	0.0
2,178,362,214		2,016,182,887		928,332,365	

4 貸借対照表

勘定科目	借			
	令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比	金額	構成比
1 固定資産	278,822,583,642	94.8	276,550,735,899	95.1
(1) 有形固定資産	275,671,803,765	93.7	273,265,012,344	94.0
イ 土地	9,678,608,723	3.3	9,516,172,356	3.3
ロ 建物	6,000,949,019	2.0	6,320,717,062	2.2
ハ 構築物	229,217,827,415	77.9	226,909,602,143	78.0
ニ 機械及び装置	25,773,342,241	8.8	26,081,678,236	9.0
ホ 車両運搬具	8,960,707	0.0	10,661,707	0.0
ヘ 工具器具及び備品	46,989,852	0.0	44,160,963	0.0
ト リース資産	22,083,600	0.0	36,532,800	0.0
チ 建設仮勘定	4,923,042,208	1.7	4,345,487,077	1.5
(2) 無形固定資産	3,097,385,787	1.1	3,232,329,465	1.1
イ 施設利用権	3,097,385,787	1.1	3,232,329,465	1.1
(3) 投資その他の資産	53,394,090	0.0	53,394,090	0.0
イ 出資金	50,000,000	0.0	50,000,000	0.0
ロ 貸付金	3,394,090	0.0	3,394,090	0.0
2 流動資産	15,284,913,105	5.2	14,220,065,944	4.9
(1) 現金・預金	10,025,735,229	3.4	8,878,845,648	3.0
(2) 未収金	2,199,429,748	0.8	2,251,599,579	0.8
(3) 貯蔵品	8,296,208	0.0	16,192,397	0.0
(4) 前払金	3,051,451,920	1.0	3,073,428,320	1.1
資産合計	294,107,496,747	100.0	290,770,801,843	100.0

勘定科目	貸			
	令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比	金額	構成比
3 固定負債	126,070,833,434	42.8	126,707,901,919	43.6
(1) 企業債	124,832,787,989	42.4	125,321,343,527	43.1
(2) リース債務	8,397,840	0.0	24,291,960	0.0
(3) 引当金	1,229,647,605	0.4	1,362,266,432	0.5
4 流動負債	13,554,576,789	4.6	11,693,594,740	4.0
(1) 企業債	9,066,955,538	3.1	8,991,190,446	3.1
(2) リース債務	15,894,120	0.0	15,894,120	0.0
(3) 未払金	4,223,017,464	1.4	2,460,851,631	0.8
(4) 引当金	111,038,000	0.0	109,633,000	0.1
(5) その他流動負債	137,671,667	0.1	116,025,543	0.0
5 繰延収益	119,902,946,217	40.8	119,604,794,170	41.1
負債合計	259,528,356,440	88.2	258,006,290,829	88.7
6 資本金	24,907,324,710	8.5	22,764,149,636	7.8
(1) 自己資本金	24,907,324,710	8.5	22,764,149,636	7.8
7 剰余金	9,671,815,597	3.3	10,000,361,378	3.5
(1) 資本剰余金	5,294,770,304	1.8	5,270,943,304	1.8
イ 受贈財産評価額	371,923,323	0.1	371,923,323	0.1
ロ 補助金	4,899,019,981	1.7	4,899,019,981	1.7
ハ 負担金	23,827,000	0.0	0	0.0
(2) 利益剰余金	4,377,045,293	1.5	4,729,418,074	1.7
イ 当年度未処分利益剰余金	4,377,045,293	1.5	4,729,418,074	1.7
資本合計	34,579,140,307	11.8	32,764,511,014	11.3
負債・資本合計	294,107,496,747	100.0	290,770,801,843	100.0

（税抜、単位: 円、%）

方					
平成30年度		平成29年度		平成28年度	
金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	構成比
274,088,241,451	95.0	271,880,646,367	95.0	272,723,594,962	96.0
270,663,305,881	93.8	268,285,108,781	93.8	268,951,186,764	94.6
9,450,533,266	3.3	9,450,533,266	3.3	7,819,023,129	2.8
6,623,989,295	2.3	6,524,057,749	2.3	6,806,539,232	2.4
224,087,408,687	77.7	222,131,352,372	77.7	222,246,726,021	78.2
27,494,959,776	9.5	28,616,269,511	10.0	29,922,927,104	10.5
13,194,905	0.0	17,639,811	0.0	11,513,217	0.0
43,125,291	0.0	39,004,037	0.0	35,511,266	0.0
31,896,000	0.0	42,528,000	0.0	0	0.0
2,918,198,661	1.0	1,463,724,035	0.5	2,108,946,795	0.7
3,371,541,480	1.2	3,542,143,496	1.2	3,718,987,708	1.3
3,371,541,480	1.2	3,542,143,496	1.2	3,718,987,708	1.3
53,394,090	0.0	53,394,090	0.0	53,420,490	0.1
50,000,000	0.0	50,000,000	0.0	50,000,000	0.1
3,394,090	0.0	3,394,090	0.0	3,420,490	0.0
14,548,037,194	5.0	14,207,963,260	5.0	11,535,742,403	4.0
9,644,093,857	3.3	8,888,492,303	3.1	6,959,785,426	2.4
2,314,827,406	0.8	2,209,493,939	0.8	2,321,971,938	0.8
5,993,611	0.0	13,971,698	0.0	19,791,319	0.0
2,583,122,320	0.9	3,096,005,320	1.1	2,234,193,720	0.8
288,636,278,645	100.0	286,088,609,627	100.0	284,259,337,365	100.0

方					
平成30年度		平成29年度		平成28年度	
金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	構成比
127,127,678,422	44.0	128,623,002,605	45.0	131,432,880,570	46.2
125,525,455,887	43.5	126,945,574,829	44.4	129,675,883,656	45.6
22,965,120	0.0	34,447,680	0.0	0	0.0
1,579,257,415	0.5	1,642,980,096	0.6	1,756,996,914	0.6
12,781,525,629	4.5	13,201,385,663	4.6	11,658,312,143	4.1
8,869,418,942	3.1	9,209,908,826	3.2	9,251,820,128	3.3
11,482,560	0.0	11,482,560	0.0	0	0.0
3,699,800,879	1.3	3,765,018,716	1.3	2,216,057,541	0.8
104,879,000	0.1	114,915,000	0.1	114,170,000	0.0
95,944,248	0.0	100,060,561	0.0	76,264,474	0.0
118,102,442,240	40.9	115,817,951,219	40.5	115,430,820,960	40.6
258,011,646,291	89.4	257,642,339,487	90.1	258,522,013,673	90.9
20,585,787,422	7.1	18,569,604,535	6.5	17,641,272,170	6.2
20,585,787,422	7.1	18,569,604,535	6.5	17,641,272,170	6.2
10,038,844,932	3.5	9,876,665,605	3.4	8,096,051,522	2.9
5,260,482,718	1.8	5,260,482,718	1.8	4,567,719,157	1.6
361,462,737	0.1	361,462,737	0.1	361,254,176	0.1
4,899,019,981	1.7	4,899,019,981	1.7	4,206,464,981	1.5
0	0.0	0	0.0	0	0.0
4,778,362,214	1.7	4,616,182,887	1.6	3,528,332,365	1.3
4,778,362,214	1.7	4,616,182,887	1.6	3,528,332,365	1.3
30,624,632,354	10.6	28,446,270,140	9.9	25,737,323,692	9.1
288,636,278,645	100.0	286,088,609,627	100.0	284,259,337,365	100.0

5 キャッシュ・フロー計算書

項目	令和2年度
1.業務活動によるキャッシュ・フロー	8,529,858,146
当年度純利益	1,777,045,293
減価償却費	10,179,546,377
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 562,424
長期前受金戻入額	△ 5,193,350,824
受取利息及び受取配当金	△ 443,685
支払利息	1,919,373,123
固定資産売却益	△ 11,564,430
固定資産売却損	0
固定資産譲渡損	7,348
未収金の増減額(△は増加)	52,732,255
未払金の増減額(△は減少)	1,762,165,833
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,896,189
前払金の増減額(△は増加)	21,976,400
引当金の増減額(△は減少)	△ 131,334,827
その他流動負債の増減額(△は減少)	21,646,124
有形固定資産の除却	43,662,416
長期前受金収益化累計額の修正	△ 7,585
減価償却収益化累計額の修正	0
建設仮勘定の修正	1
小計	10,448,787,584
利息及び配当金の受取額	443,685
利息の支払額	△ 1,919,373,123
2.投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,983,935,119
有形固定資産の取得による支出	△ 12,012,672,440
無形固定資産の取得による支出	△ 64,077,101
固定資産の売却による収入	11,824,145
国庫補助金等による収入	3,486,051,000
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	1,833,338,000
負担金による収入	123,830,050
貸付金の増減額(△は増加)	0
特定収入見合い消費税(4条)	△ 362,228,773
3.財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 399,033,446
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	8,578,400,000
その他の企業債による収入	0
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 8,977,269,292
その他の企業債の償還による支出	△ 13,921,154
他会計からの出資による収入	13,757,000
4.資金増加額(又は減少額)	1,146,889,581
5.資金期首残高	8,878,845,648
6.資金期末残高	10,025,735,229

6 性質別支出状況

項　　目	令和2年度		令和元年度	
	金　額	構成比	金　額	構成比
1. 職員給与費	1,089,427,529	6.21	1,055,415,782	5.92
うち退職給付費	74,739,000	0.43	0	0.00
2. 維持管理費	4,322,166,851	24.65	4,490,703,329	25.16
動力費	304,041,359	1.73	328,865,943	1.84
薬品費	33,231,146	0.19	50,098,323	0.28
修繕及び材料費	473,636,543	2.70	444,881,972	2.49
流域下水道管理負担金	447,636,637	2.55	454,293,565	2.55
委託料	2,200,059,499	12.55	2,062,889,296	11.56
その他	863,561,667	4.93	1,149,674,230	6.44
3. 支払利息	1,919,373,123	10.95	2,114,569,305	11.85
4. 減価償却費	10,179,546,377	58.05	10,132,282,286	56.79
5. 特別損失	24,468,296	0.14	49,701,452	0.28
6. 特別損失(災害)	0	0.00	0	0.00
費用合計	17,534,982,176	100.00	17,842,672,154	100.00

※包括委託の拡大に伴って動力費が減少し、委託料が増加しています。総電力料金の

（税抜、単位：円）

令和元年度	平成30年度	平成29年度
5,416,148,386	7,803,718,091	8,127,379,151
2,129,418,074	2,178,362,214	2,016,182,887
10,132,282,286	10,112,893,189	10,058,409,045
△ 26,269,419	△ 86,515,385	△ 18,206,736
△ 5,376,508,842	△ 5,399,774,934	△ 5,580,919,428
△ 221,806	△ 629,477	△ 155,683
2,114,569,305	2,317,328,529	2,512,950,437
0	0	0
56,000	0	0
0	0	0
89,497,246	△ 18,818,082	130,684,735
△ 1,238,949,248	△ 65,217,837	1,548,961,175
△ 10,198,786	7,978,087	5,819,621
△ 490,306,000	512,883,000	△ 861,811,600
△ 215,093,983	△ 73,423,681	△ 113,873,818
20,081,295	△ 4,116,313	23,796,087
401,575,589	628,269,280	919,331,839
△ 157,786	11,198,553	△ 994,656
721,960	0	0
0	0	0
7,530,495,885	10,120,417,143	10,640,173,905
221,806	629,477	155,683
△ 2,114,569,305	△ 2,317,328,529	△ 2,512,950,437
△ 6,099,055,739	△ 5,287,507,711	△ 3,426,452,145
△ 12,209,016,211	△ 12,274,753,751	△ 9,014,235,100
△ 61,830,317	△ 30,994,884	△ 24,327,962
20,000	0	326,556
4,831,803,000	5,725,863,000	4,113,334,000
1,658,436,000	1,673,696,000	1,665,890,000
121,322,520	93,827,084	177,537,961
0	0	26,400
△ 439,790,731	△ 475,145,160	△ 345,004,000
△ 82,340,856	△ 1,760,608,826	△ 2,772,220,129
8,794,900,000	7,449,300,000	6,479,600,000
0	0	0
△ 8,877,078,038	△ 9,209,746,656	△ 9,251,658,607
△ 162,818	△ 162,170	△ 161,522
0	0	0
△ 765,248,209	755,601,554	1,928,706,877
9,644,093,857	8,888,492,303	6,959,785,426
8,878,845,648	9,644,093,857	8,888,492,303

（税抜、単位：円、%）

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	構成比
1,185,302,804	6.51	1,297,512,782	6.88	1,328,477,762	6.99
39,309,000	0.22	82,866,000	0.44	105,305,000	0.55
4,536,823,041	24.93	4,923,692,207	26.11	4,074,795,330	21.46
529,129,440	2.91	508,193,965	2.70	480,988,048	2.53
47,787,946	0.26	45,641,850	0.24	47,251,202	0.25
524,738,039	2.88	605,147,481	3.21	565,399,316	2.98
456,653,483	2.51	454,900,613	2.41	516,383,605	2.72
1,669,010,283	9.17	1,718,742,324	9.11	1,631,560,271	8.59
1,309,503,850	7.20	1,591,065,974	8.44	833,212,888	4.39
2,317,328,529	12.74	2,512,950,437	13.33	2,735,525,036	14.40
10,112,893,189	55.58	10,058,409,045	53.34	10,001,090,739	52.67
43,817,171	0.24	63,135,582	0.34	41,244,127	0.22
0	0.00	0	0.00	808,388,943	4.26
18,196,164,734	100.00	18,855,700,053	100.00	18,989,521,937	100.00

推移についてはP22（下水道の維持管理に関する指標）をご参照ください

7 経営分析

(1)施設の効率化

	項目	単位	算式	令和2年度	
1	施設利用率	%	現在晴天時平均処理量 / 現在処理能力(晴天時) × 100	195,704 / 283,300 × 100	69.1

(2)施設の効率性

2	使用料単価	円/m^3	使用料収入 / 年間有収水量	10,247,051,356 / 72,339,449	141.65
3	汚水処理原価	円/m^3	汚水処理費 / 年間有収水量	10,988,932,636 / 72,339,449	151.91
4	汚水処理原価(分流式経費を除く)	円/m^3	汚水処理費 / 年間有収水量	10,850,917,350 / 72,339,449	150.00
5	汚水処理原価(維持管理費)	円/m^3	汚水処理費 / 年間有収水量	4,676,657,153 / 72,339,449	64.65
6	汚水処理原価(資本費但し分流式経費を除く)	円/m^3	汚水処理費 / 年間有収水量	6,174,260,197 / 72,339,449	85.35
7	経費回収率(分流式経費を除く)	%	使用料収入 / 汚水処理費 × 100	10,247,051,356 / 10,850,917,350 × 100	94.4
8	使用料回収率(維持管理費)	%	使用料収入 / 汚水処理費(維持管理費) × 100	10,247,051,356 / 4,676,657,153 × 100	219.1
9	処理人口1人あたりの維持管理費(汚水分)	円/人	維持管理費(汚水分) / 現在処理区域内人口	4,676,657,153 / 660,810	7,077
10	処理人口1人あたりの資本費(汚水分但し分流式経費を除く)	円/人	資本費(汚水分) / 現在処理区域内人口	6,174,260,197 / 660,810	9,343
11	処理人口1人あたりの管理運営費(汚水分但し分流式経費除く)	円/人	管理運営費(汚水分) / 現在処理区域内人口	10,850,917,350 / 660,810	16,421
12	職員1人あたりの処理区域人口	人	現在処理区域内人口 / 職員数	660,810 / 161	4,104
13	職員給与費対営業収益比率	%	職員給与費 / 営業収益－受託工事収益 × 100	1,089,427,529 / 11,261,240,926 × 100	9.7

(3)財政状況の健全性

14	総収支比率	%	総収益 / 総費用 × 100	19,312,027,469 / 17,534,982,176 × 100	110.1
15	経常収支比率	%	経常収益 / 経常費用 × 100	19,278,053,588 / 17,510,513,880 × 100	110.1
16	利子負担率	%	支払利息＋企業債取扱諸費 / 企業債＋他会計借入金＋一時借入金 × 100	1,919,373,123 / 133,899,743,527 × 100	1.43
17	自己資本構成比率	%	自己資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益 / 負債資本合計 × 100	154,482,086,524 / 294,107,496,747 × 100	52.5
18	固定資産対長期資本比率	%	固定資産 / 固定負債＋資本金＋剰余金 × 100	278,822,583,642 / 160,649,973,741 × 100	173.6

令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	指標の説明
69.3	70.1	71.1	71.4	現在晴天時平均処理水量を現在処理能力(晴天時)で除したものである。施設がどの程度利用されているのかを示す。

144.75	145.39	145.89	145.38	有収水量1㎥あたり、どれだけの収益を得ているかを示す値。 経営上は汚水処理原価を著しく下回るのは好ましくない。
154.27	157.28	161.70	166.89	有収水量1㎥あたり、どれだけの汚水処理費用が掛かるかを示す値。 低いほど汚水処理経費が抑制されたことを示す(平成25年度までは国庫補助金分についてみなし償却を実施、26年度からは長期前受金戻入分を控除)。
150.00	150.00	150.00	150.83	上記指標の計算過程において、汚水処理経費から分流式下水道経費の公費負担分を控除した値(平成25年度までは国庫補助金分についてみなし償却を実施、26年度からは長期前受金戻入分を控除)。
62.75	62.38	64.51	66.21	汚水処理原価のうち、維持管理費を示す値。 維持管理費とは、職員人件費を初め、動力費、薬品費、施設修理費、管渠清掃費など。
87.25	87.62	85.49	84.62	汚水処理原価のうち、資本費を示す値(平成25年度までは国庫補助金分についてみなし償却を実施、26年度からは長期前受金戻入分を控除)。 資本費とは、減価償却費(企業債償還元金)と企業債支払利息。
93.8	96.9	97.3	96.4	汚水処理に要する費用を、下水道使用料でどの程度回収できたかを示す割合で、101%以上であれば、汚水処理に要する費用を使用料収入で賄われていて、経営の健全性を示す(平成25年度までは国庫補助金分についてみなし償却を実施、26年度からは長期前受金戻入分を控除)。
230.7	233.1	226.2	219.6	使用料回収率のうち、維持管理費に占める割合。
6,848	6,872	7,148	6,914	処理区域内人口1人あたりの維持管理費のうち汚水処理にかかる費用。 使用料により回収すべき汚水処理費分に限った費用。
9,522	9,653	9,473	8,835	処理区域内人口1人あたりの資本費のうち汚水処理にかかる費用。 使用料により回収すべき汚水処理費分に限った費用。
16,371	16,524	16,621	15,749	処理区域内人口1人あたりの維持管理費と資本費のうち汚水処理にかかる費用。 使用料により回収すべき汚水処理費分に限った費用。
4,086	3,981	3,789	3,682	処理区域内人口を職員数で除したもの。
9.2	10.2	11.2	12.2	営業収益に対する職員給与費の割合である。営業収益が職員にどの程度分配されているかを示している。

111.9	112.0	110.7	104.9	総収益と総費用の比率を表したものである。100%未満であると総収支が赤字であることを示している。
111.5	111.3	110.7	109.1	経常収益と経常費用の比率を表したものである。100%未満であると経常収支が赤字であることを示している。 ※経常収益＝営業収益＋営業外収益、経常費用＝営業費用＋営業外費用
1.57	1.72	1.85	1.97	有利子の負債及び借入資本金に対する支払利息の割合であり、外部利子の平均利率を表す。 利子負担率が高くなるとその後の経営を圧迫する要因の一つとなる。
52.4	51.5	50.4	49.7	負債資本に占める自己資本の割合であり、財政状態の長期的な安全性を見る指標である。
173.4	173.7	173.1	173.5	自己資本構成比率と同じく、事業の固定的・長期的安全性を見る指標で、資金が長期的に拘束される固定資産が、どの程度自己資本や長期借入金によって調達されているかを示す。 100%以上の場合、固定資産の一部が一時借入金等の流動資産によって調達されており、不良債務発生の原因となる。

第４章　共通統計



江津湖空撮写真

Ⅰ　災害に強い上下水道の確立

【水道】

1　災害対策用貯水施設

施設名	貯水量（m^3）	緊急遮断弁		備考
		出側	入側	
1　一本木水源地（調整池）	350	○		
2　八景水谷水源地（調整池）	500	○		
3　立田山配水池	12,600	○		
4　健軍配水場（配水池）	12,000	○	○	備品倉庫あり
5　高遊原配水池	11,000	○		
6　小山山配水池	1,400	○		
7　池上水源地（調整池）	500	○		
8　城山水源地（調整池）	500	○		
9　川尻水源地（配水池）	4,000		○	
10　岩倉山配水池	3,200	○		
11　改寄配水場（配水池）	1,250	○		
12　西梶尾配水場（配水池）	500	○		
13　貢水源地（調整池）	250	○		
14　和泉配水池	4,400	○		
15　徳王配水池	2,600	○		
16　川床配水池	250	○		
17　上松尾第2加圧所（調整池）	250	○		
18　平山配水池	400	○		
19　戸島送水場（調整池）	3,000	○		
20　岳加圧所	150			地震計により送水ポンプを停止させ対応
21　白浜配水池	150	○		
22　島崎配水池	800	○		
23　南部送水場	1,000	○		
24　舞原配水場	400	○		
令和2年度　24 箇所	61,450	－	－	－
令和元年度　24 箇所	61,450	－	－	－
平成30年度　23 箇所	61,050	－	－	－
平成29年度　23 箇所	61,050	－	－	－
平成28年度　22 箇所	60,050	－	－	－

2　非常用発電・予備電力施設

施設名	発電機				2回線受電		
	出力	容量			種別	常用	予備
	PS	kVA	kW	台数			
1　麻生田送水場	950	750	600	1			
2　麻生田第3水源地	300	250	200	1			
3　麻生田第4水源地	300	250	200	1			
4　一本木送水場	610	500	400	1			
5　八景水谷送水場	680	625	500	1			
6　健軍水源地	3,620	3,000	2,400	1	特高（22kV）	西部線	
7　秋田配水場	3,620	3,000	2,400	1	特高（22kV）	西部線	（1回線受電）
8　託麻送水場					予乙	弓削SS－戸島線	益城SS－北線
9　託麻第4水源地	405	300	240	1			
10　託麻第6水源地	242	200	160	1			
11　戸島送水場	1,490	1,250	1,000	1	高圧	九州電力線	東部環境工場線
12　川尻配水場		375	300	1			
13　池上送水場					予乙	春日SS－池上線	日吉SS－田崎線
14　城 山送水場	365	300	240	1			
15　改寄配水場	365	300	240	1			
16　改寄第2水源地	63	50	40	1			
17　貢送水場	320	250	200	1			
18　岳加圧ポンプ所	136	125	100	1			
19　上松尾第1加圧所	240	200	160	1			
20　上松尾第2加圧所	240	200	160	1			
21　南部送水場		330	264	1			
22　舞原水源地	107	90	72	1			
23　舞原配水場	107	90	72	1			
24　高水源地		45	36	1			
25　碇水源地		45	36	1			
26　一木配水場・第1水源地		200	160	1			
27　一木第3水源地		65	52	1			
28　山本第1水源地		40	32	1			
29　山本第2水源地		150	120	1			
30　山本配水場		150	120	1			
31　木留送水場・第1水源地		150	120	1			
32　富応加圧所		65	52	1			

※庄口水源地は健軍水源地発電機により運用可能。沼山津送水場は秋田配水場発電機により運用可能。

3 耐震性貯水槽

施設名		貯水量（m^3）	所管
1 楠中央公園		100	消防局
2 錦ヶ丘公園		100	東部土木センター
3 渡鹿公園		100	東部土木センター
4 秋津中央公園		100	消防局
5 蓮台寺公園		100	西部土木センター
6 八王寺中央公園		100	東部土木センター
7 白川公園		100	消防局
8 平成中央公園		100	西部土木センター
9 池上中央公園		60	西部土木センター
令和2年度	9 箇所	860	
令和元年度	9 箇所	860	
平成30年度	9 箇所	860	
平成29年度	9 箇所	860	
平成28年度	9 箇所	860	

※上下水道局は、消防局、公園管理部局より委託を受け点検を行っている。

4 応急給水設備

令和2年度					令和元年度	平成30年度
名称	形状	数量	計	合計		
給水タンク	アルミタンク容量1,000ﾘｯﾄﾙ	17台	17,000ﾘｯﾄﾙ	265,100ﾘｯﾄﾙ	17,000ﾘｯﾄﾙ	17,000ﾘｯﾄﾙ
	折りたたみ式タンク容量1,000ﾘｯﾄﾙ	17個	17,000ﾘｯﾄﾙ		17,000ﾘｯﾄﾙ	17,000ﾘｯﾄﾙ
給水車	積載容量3,400ﾘｯﾄﾙ	1台	15,100ﾘｯﾄﾙ		15,100ﾘｯﾄﾙ	15,100ﾘｯﾄﾙ
	積載容量2,000ﾘｯﾄﾙ	5台				
	積載容量1,700ﾘｯﾄﾙ	1台				
非常用水袋	容量6ﾘｯﾄﾙ	36,000袋	216,000ﾘｯﾄﾙ		264,480ﾘｯﾄﾙ	398,160ﾘｯﾄﾙ
応急給水装置	A型 SUS製 40A 給水栓 4個付×2基	4組			4組	4組
	B型 SS製 40A 給水栓 2個付×3基	4組			4組	4組
	C型 SUS製 65A 給水栓 4個付×2基	9組			9組	9組
	C型 SUS製 65A 給水栓 3個付×2基	11組			11組	11組
	D型 VP製 20A 給水栓 2個付	2個			2個	2個
	T型 消火栓直結型 給水栓 2個付	18本			18本	18本
緊急作業車	1.25トン積みトラック	3台			3台	3台

5 応急給水施設密度

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①応急給水施設数	箇所	24	24	23	23	22
②給水区域面積	km^2	324.16	324.16	324.16	324.16	323.49
③応急給水施設密度（＝①/②）	箇所/$100km^2$	7.4	7.4	7.1	7.1	6.8

※平成27年度までは応急給水施設数に、他部署所管の耐震性貯水槽（9箇所）を含める。



応急給水塔



折りたたみ式タンク

6 配水池耐震化率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①耐震対策の施された配水池有効容量	m^3	197,430	197,430	197,430	195,430	195,598
②配水池等有効容量	m^3	216,425	216,425	216,671	214,960	211,171
③配水池耐震化率（＝①/②）	%	91.2	91.2	91.1	90.9	92.6

※ 平成28年度からはガイドラインの改訂により、対象とする施設をランクAに限定し、緊急貯水槽は含まない。

※ 平成27年度までは旧市内のみ。（緊急貯水槽を含む）（富合町、城南町、植木町を除く）

7 浄水施設耐震化率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①耐震対策の施された浄水施設能力	m^3	285,800	285,800	284,800	286,250	284,900
②全浄水施設能力	m^3	317,244	317,244	316,658	313,197	301,300
③浄水施設耐震化率（＝①/②）	%	90.1	90.1	89.9	91.4	94.6

※ 平成27年度までは旧市内のみ。（富合町、城南町、植木町を除く）

8 ポンプ所耐震化率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①耐震対策の施されたポンプ所能力	m^3	530,765	530,765	528,465	545,400	542,300
②耐震化対象ポンプ所能力	m^3	704,220	704,220	702,220	717,964	694,500
③ポンプ所耐震化率（＝①/②）	%	75.4	75.4	75.3	76.0	78.1

※ 平成28年度からはガイドラインの改訂により、対象とする施設をランクAに限定とした。

※ 平成27年度までは旧市内のみ。（富合町、城南町、植木町を除く）

9 耐震適合性のある基幹管路の割合

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①耐震適合性を有する基幹管路	m	265,844	262,064	261,088	221,905	218,600
②基幹管路延長	m	334,071	336,504	335,452	296,456	294,098
③耐震適合性のある基幹管路の割合（＝①/②）	%	79.6	77.9	77.8	74.9	74.3

10 水道管路の耐震化率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①耐震管延長	m	1,048,787	949,948	904,872	860,008	806,271
②管路延長	m	3,550,158	3,507,738	3,482,001	3,448,874	3,414,260
③水道管路の耐震化率（＝①/②）	%	29.5	27.1	26.0	24.9	23.6

【下水道】

11　下水道ポンプ場及び浄化センターの耐震化率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①耐震化済施設数	箇所	67	59	53	52	51
②施設数	箇所	198	201	201	200	200
③耐震化率（＝①/②）	%	33.8	29.4	26.4	26.0	25.5

12　下水道管路の耐震化率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①耐震管延長	km	1,018	948	918	900	875
②管路更生延長	km	33	13	11	8	5
③管路延長	km	2,664	2,595	2,555	2,537	2,512
④下水道管路の耐震化率（＝①+②/③）	%	39.4	37.0	36.3	35.8	35.0

13　浸水対策における重点6地区の対策率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①重点6地区の改善排水面積	ha	690.5	508.4	508.4	508.4	508.4
②重点6地区の総排水面積	ha	1,175.6	1,175.6	1,175.6	1,175.6	1,175.6
③重点6地区の対策率（＝①/②）	%	58.7	43.2	43.2	43.2	43.2

（参考）重点6地区一覧

排水区名	主な地名
加勢川第6排水区	若葉・秋津新町・東町
井芹川第9排水区	花園3丁目
井芹川第8・第10排水区	上熊本
加勢川第5排水区	出水・国府
坪井川第3排水区	高橋・城山大塘
鶯川第2排水区	桜木・花立



雨水貯留管

Ⅱ　水循環の保全

1　白川中流域水田を活用した地下水かん養事業

水道水源である地下水を保全するために、また、熊本市地下水保全条例や熊本県地下水保全条例上の地下水大規模採取者としての責務を果たすため、平成16年5月17日に熊本市長と締結した「白川中流域水田を活用した地下水かん養事業に関する協定書」に基づき、熊本市長が実施する白川中流域水田を活用した地下水かん養事業に参画し、事業に必要な経費の一部を負担している。

年度	湛水のべ面積（ha）	推定かん養量（万㎥）	うち水道事業会計寄与	助成金（千円）※一般会計	水田湛水助成金（千円）	事務助成金（千円）	うち水道事業会計負担金（千円）
令和2年度	492	1,477	679.2	47,393	42,683	4,710	21,800
令和元年度	383	1,149	551.5	41,073	36,363	4,710	19,715
平成30年度	405	1,215	558.9	42,245	37,535	4,710	19,433
平成29年度	359	1,077	506.2	39,272	34,562	4,710	18,458
平成28年度	48	144	67.7	6,708	4,358	2,350	3,152

2　水源かん養林の整備による地下水かん養

熊本市が平成16年2月に「熊本市水源かん養林整備方針」を策定し、水源地帯を抱える上流域自治体と連携しながら地域が必要とする山林のあり方と本市が目的とする水源かん養林とを調整しながら水源かん養機能に重点をおいた森林整備を進めている。平成27年4月1日に熊本市長と締結した「水源かん養林整備事業に関する協定書」に基づき、熊本市長が実施する水源かん養林整備事業に参画し、事業に必要な経費の一部（事業費から国庫補助等を差し引いた額の2分の1）を負担している。令和2年度の負担金は14,314千円、推定かん養量（局寄与分）は30万㎥となっている。

3　阿蘇郡西原村の国有林を活用した水源かん養林の整備

熊本市水道創設90周年事業として、林野庁の「法人の森林」制度を活用し、水源かん養林「熊本市水道の森」の整備を実施した。かん養林の面積は3.04ha、推定かん養量は年間2,060㎥となっている。

4　直結給水率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①直結給水件数	件	276,038	270,075	264,689	260,056	256,681
②給水件数	件	348,671	343,705	339,539	335,976	332,573
直結給水率（＝①/②）	%	79.2	78.6	78.0	77.4	77.2

5 下水処理水の再利用

農業用水としての処理水の再利用

熊本市の南西部、白川と坪井川の間に挟まれた石塘堰樋土地改良区（対象水田面積225ha）では河川流量の減少や河川改修等による取水性の悪化から度々干ばつ被害に悩まされ、慢性的な水不足が生じていた。そこで安定した農業用水確保策として処理水再利用の要請があり、昭和51年度から処理場内の試験田において6年間、さらに現地で3年間の実証試験を経て昭和60年から中部浄化センターの処理水を農業用水として供給している。



再利用の様子

浄化センターでの処理水の再利用

浄化センター内での使用水量を抑えるため、砂ろ過した後、場内の様々な場所において処理水の再利用を進めている。今後、よりいっそうの再利用に努めていく。

（m^3/年）

年度	農業用水	浄化センター	中部浄化センター	東部浄化センター	南部浄化センター	西部浄化センター	城南町浄化センター	合計
令和2年度	6,782,557	3,607,457	1,370,310	988,181	427,641	811,229	10,096	10,390,014
令和元年度	4,879,646	3,733,902	1,381,325	996,077	498,937	824,348	33,215	8,613,548
平成30年度	4,888,927	2,673,935	1,376,569	1,030,540	108,905	155,116	2,805	7,562,862
平成29年度	7,397,610	2,531,518	1,297,774	981,399	102,208	143,367	6,770	9,929,128
平成28年度	7,678,658	2,617,399	1,329,859	1,038,383	89,378	146,963	12,816	10,296,057

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
処理水利用量	m^3	10,390,014	7,562,862	9,929,128	10,296,057	8,678,829
総処理水量	m^3	79,710,141	78,484,342	79,840,938	81,094,241	77,584,690
再生水の使用率	%	13.0	9.6	12.4	12.7	11.2

※再生水の使用率＝処理水利用量/総処理水量
※総処理水量は、市浄化センターの処理水量
※令和元年度より処理水の再利用量の算出方法を変更し統一しています。

6 汚水処理率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①行政区域内人口（住民基本台帳）	人	731,426	731,572	731,933	732,217	731,754
②下水道処理人口	人	660,810	657,885	656,907	655,441	651,795
③農業集落排水施設等整備済人口	人	3,952	3,974	4,129	4,205	4,288
④合併処理浄化槽設置済人口	人	45,378	44,499	44,732	45,105	45,940
⑤コミュニティプラント設置済人口	人	0	0	0	0	0
⑥汚水処理人口（＝②+③+④+⑤）	人	710,140	706,358	705,768	704,751	702,023
⑦汚水処理人口普及率（＝⑥/①）	%	97.1	96.6	96.4	96.2	95.9

※住民基本台帳人口により算出（平成23年度までは、外国人登録数は含まない）

7 高度処理人口普及率

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①高度処理を実施している人口	人	0	0	0	0	0
②行政区域内人口	人	731,426	731,933	732,217	731,754	733,638
③高度処理人口普及率（=①/②）	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Ⅲ　資源・エネルギーの循環促進

1　エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

工場等に係る事業の名称	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
上下水道局全体	t-CO_2	26,600	23,220	33,778	36,513	40,233
上水道事業	t-CO_2	15,358	14,234	19,440	20,814	22,735
下水道事業（下水道処理施設維持管理事業）	t-CO_2	11,121	8,868	13,946	15,078	16,785
管理事業を行う本社等	t-CO_2	121	118	392	620	712

2　配水量1m^3あたり二酸化炭素排出量

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①水道事業に係る二酸化炭素排出量	t-CO_2	15,358	14,234	19,440	20,814	22,735
②配水量	m^3	79,709,537	79,709,537	80,608,326	81,431,915	82,269,843
③配水量1m^3あたり二酸化炭素排出量	g-CO_2/m^3	179	179	241	256	276

※単位に注意　①/②×10^6

3　処理人口1人あたり温室効果ガス排出量

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①下水道事業に係る温室効果ガス排出量	t-CO_2	19,494	14,710	19,751	22,367	20,894
②処理区域内人口	人	660,810	657,885	656,907	655,441	651,795
③処理人口1人あたり温室効果ガス排出量	kg-CO_2/人	29.5	22.4	30.1	34.1	32.1
④総処理水量（市営浄化センターのみ）	m^3	79,710,141	79,035,094	78,626,109	79,978,205	81,113,799
⑤処理水量1m^3あたり温室効果ガス排出量	g-CO_2/m^3	245	186	251	280	258

※単位に注意　③＝①/②×10^3　⑤＝①/④×10^6

※エネルギー使用に伴う排出量だけでなく、汚泥の焼却等により生じる排出量も含む。

4　水道施設における自然エネルギー発電量

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
水道施設における自然エネルギー発電量	kWh	263,293	237,809	273,634	271,098	240,104
設置箇所数	箇所	6	6	6	6	6

※太陽光発電設備の設置箇所は、上下水道局本館・上下水道局別館・八景水谷送水場・亀井送水場・熊本市水の科学館。

※小水力発電の設置箇所は、戸島送水場。

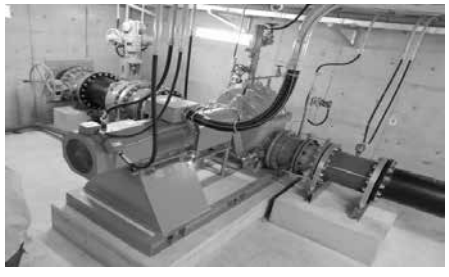

上下水道局本館


上下水道局別館


八景水谷送水場


亀井送水場


熊本市水の科学館


戸島送水場

5 汚泥の有効利用

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
①汚泥発生量	t	31,343	31,849	30,198	30,077	28,728
②セメント化	t	8,381	7,988	7,853	9,207	8,592
③コンポスト(堆肥)化	t	6,918	7,586	6,325	4,643	4,518
④固形燃料化	t	16,044	16,275	16,020	16,226	15,617
⑤汚泥の有効利用量(＝②+③+④)	t	31,343	31,849	30,198	30,077	28,728
汚泥の有効利用率(＝⑤/①)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※温室効果ガス削減のため、汚泥固形燃料化施設を南部浄化センター内に建設。
(平成24年度の固形燃料化は試運転のため、有効利用に含めない。)
※平成25年4月から南部浄化センター内において、汚泥固形燃料化施設(50t／日)の運転を開始し、セメント化、コンポス
せて有効利用率(汚泥リサイクル率)100%を達成した。
※処分量の内訳と合計は少数点以下の端数の関係上一致しない場合がある。



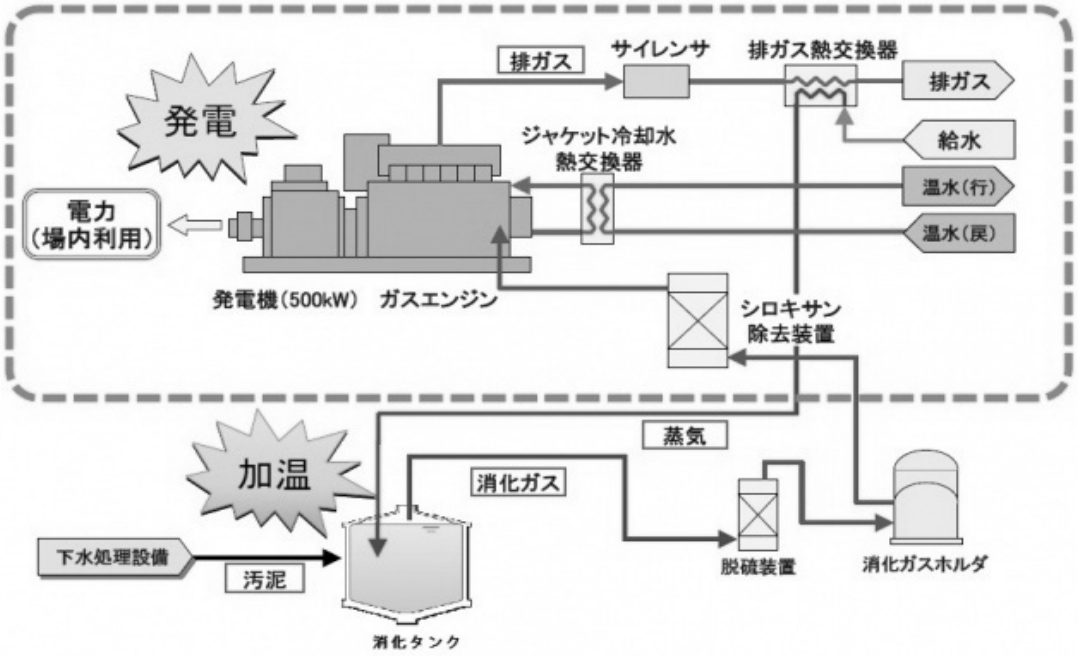
固形燃料化施設



燃料化物(炭化固形物)

6 下水汚泥消化ガス発電

消化ガスとは、下水処理で発生した汚泥が消化槽の中で微生物により分解されるときに発生するメタンとCO_2を含んだ
性ガスのことです。
熊本市の浄化センターでは、消化ガスを消化タンクの加温や給湯などに使用していますが、処理場経費のさらなる削減
室効果ガス排出削減を目指し、平成25年度より中部浄化センターにおいて、また平成28年度より東部浄化センターにお
消化ガスを利用した発電を開始しました。



消化ガス発電のしくみ(中部浄化センター)

Ⅳ　お客さまを真ん中にした事業運営

1　上下水道施設見学者数

（単位：人）

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
水道施設の見学者数	82	2,012	3,353	3,293	2,555
下水道施設の見学者数	0	2,596	2,307	2,041	1,434
水の科学館来館者数	31,855	91,153	127,282	108,481	95,939
合計	31,937	95,761	132,942	113,815	99,928

※水道施設見学者数：水道の普及啓発に係る施設見学等
※下水道施設見学者数：下水道の普及啓発に係る施設見学等
※水の科学館来館者数：水の科学館への来館者数

2　出前教室等参加者数

（単位：人）

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
水道出前教室	1,714	2,190	1,684	1,945	3,332
下水道出前教室	1,666	1,028	1,450	1,845	2,944
合計	3,380	3,218	3,134	3,790	6,276

3　ホームページ閲覧数

	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
ホームページ閲覧者数	人	226,994	167,862	162,669	156,658	462,619
ホームページ閲覧数	件	755,822	576,509	566,153	576,430	2,104,339



4 アンケート回答数

（単位：件、%）

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
水道の普及啓発に伴うアンケート（件）	147	444	495	469	176
下水道の普及啓発に伴うアンケート（件）	0	0	23	63	64
水の科学館でのアンケート（件）	222	294	282	373	287
上下水道に関するアンケート（件）	1,382	1,212	1,215	1,194	1,250
情報提供満足度（%）※	40.0	38.1	36.0	36.3	36.8
広報活動の認知度（%）※	89.0	86.7	88.1	94.6	90.5
合計（件）	1,751	1,950	2,015	2,099	1,777

※各設問について、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した人の合計を示す

5 パンフレット等の作成状況

（単位：部）

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
上下水道局だより※	－	－	－	－	－
上下水道のしおり	2,000	2,000	2,000	2,000	1,500
熊本市の水道	0	2,000	0	2,000	0
熊本市の下水道	1,000	1,000	1,000	0	2,000
下水道のしくみと助成	0	0	0	0	2,000
蛇口から聞こえる熊本の水道の物語	0	0	0	0	0
熊本市上下水道ガイド	0	0	0	0	5,000
わたしたちの水道	0	0	0	0	0
わたしたちの水道（八景水谷水源地）	0	0	0	0	0
健軍水源地の概要	0	0	0	0	0
くらしと下水道	0	0	0	0	0
つないで、使って！下水道	0	0	0	0	0

※上下水道局だよりは平成26年度から地域情報誌に掲載。

Ⅴ 検針・水道料金・下水道使用料

1 検針状況

区分 年度・月	人員	検針件数（件）	完全検針件数（件）	事故件数内訳(件) 積荷	留守	埋り	位置不明	その他	計	検針率	一人一日平均件数（件）	一人一月平均件数（件）
令和2年度	1,091	1,946,359	1,945,908	117	163	6	12	153	451	99.98%	207	1,785
令和2年4月	94	159,704	159,681	5	9	0	3	6	23	99.99%	215	1,699
5月	92	163,597	163,553	8	22	1	0	13	44	99.97%	199	1,778
6月	92	160,204	160,189	1	5	0	1	8	15	99.99%	219	1,741
7月	91	164,009	163,968	10	14	2	1	14	41	99.98%	201	1,802
8月	92	160,094	160,060	6	5	0	1	22	34	99.98%	224	1,740
9月	91	164,162	164,102	14	26	2	0	18	60	99.96%	199	1,804
10月	90	159,976	159,953	8	9	0	1	5	23	99.99%	209	1,778
11月	90	164,512	164,458	20	13	1	2	18	54	99.97%	198	1,828
12月	90	160,033	160,001	11	7	0	1	13	32	99.98%	211	1,778
令和3年1月	91	164,338	164,279	10	28	0	0	21	59	99.96%	199	1,806
2月	87	160,560	160,540	11	7	0	1	1	20	99.99%	212	1,846
3月	91	165,170	165,124	13	18	0	1	14	46	99.97%	203	1,815
令和元年度	1,092	1,920,528	1,920,069	143	157	6	18	135	459	99.98%	201	1,759
平成30年度	1,020	1,881,971	1,881,536	102	121	12	21	179	435	99.98%	203	1,846
平成29年度	1,030	1,855,463	1,855,089	136	93	6	12	85	332	99.98%	195	1,802
平成28年度	1,026	1,866,527	1,862,299	315	188	19	15	3,636	4,173	99.77%	200	1,819

2 水道料金累積収納状況

年度	調定額 件数(件)	調定額 金額(円)	収納額 件数(件)	収納額 金額(円)	収納率(%) 件数	収納率(%) 金額
令和2年度	3,693,704	12,639,537,688	3,170,838	10,909,364,498	85.84	86.31
令和元年度	3,646,029	12,580,475,125	3,641,512	12,571,587,403	99.88	99.93
平成30年度	3,598,148	12,612,136,860	3,593,619	12,603,946,874	99.87	99.94
平成29年度	3,562,027	12,724,846,239	3,558,309	12,717,915,691	99.90	99.95
平成28年度	3,396,306	11,762,544,516	3,392,639	11,755,552,902	99.89	99.94

*令和2年度の収納額は、令和3年3月31日現在であり、東地区2月検針調定分は3月と4月に、西地区3月検針調定分は、4月と5月が納入期となり、納入期限が未到来のため、収納率が低くなっている。

*調定額は、洗管用水道料金等を含む。「4 収納方法別調定件数」の合計は、毎月の請求処理日時点(洗管用水道料金等を含まない)の統計のため一致しない。

3 下水道使用料累積収納状況

年度	調定額 件数(件)	調定額 金額(円)	収納額 件数(件)	収納額 金額(円)	収納率(%) 件数	収納率(%) 金額
令和2年度	3,378,319	11,269,930,548	2,905,323	9,747,830,088	86.00	86.49
令和元年度	3,324,796	11,273,721,351	3,319,618	11,259,352,346	99.84	99.87
平成30年度	3,272,830	11,342,137,154	3,267,916	11,334,349,458	99.85	99.93
平成29年度	3,229,083	11,418,546,246	3,225,029	11,411,556,136	99.87	99.94
平成28年度	3,079,480	10,633,295,680	3,075,432	10,625,807,991	99.87	99.93

*令和2年度の収納額は、令和3年3月31日現在であり、東地区2月検針調定分は3月と4月に、西地区3月検針調定分は、4月と5月が納入期となり、納入期限が未到来のため、収納率が低くなっている。

4 水道料金収納方法別調定件数

年度	口座制 件数(件)	口座制 %	納付制 件数(件)	納付制 %	合計 件数(件)
令和2年度	2,904,993	80.67	696,098	19.33	3,601,091
令和元年度	2,858,435	80.48	693,252	19.52	3,551,687
平成30年度	2,815,772	80.32	689,872	19.68	3,505,644
平成29年度	2,782,389	80.14	689,414	19.86	3,471,803
平成28年度	2,666,207	80.35	652,071	19.65	3,318,278

5 水道料金改定の変遷

区分＼実施年月日		T13.10.1	S2.5.1		S18.7.1	S21.4.1
家事用水	最低料金	月12m³以下 1円2銭	月12m³以下 96銭	基本料金	10 m³ 以下 1 円	統合 最低料金制を廃止
	超過料金	200m³以下 1m³ 8.5銭	100m³以下 1m³ 8銭	超過料金	1 m³ に付 10 銭	
		201m³以上 1m³ 6.8銭	101m³以上 1m³ 6.4銭			
営業用水	最低料金	月12m³以下 1円2銭	月40m³以下 2円80銭	基本料金	40 m³ 以下 3 円 60 銭	使用料 1m³ に付 20銭
	超過料金	200m³以下 1m³ 8.5銭	200m³以下 1m³ 7銭	超過料金	1 m³ に付 9 銭	
		201m³以上 1m³ 6.8銭	201m³以上 1m³ 5.6銭			
汽車用水	最低料金	月12m³以下 78銭	月500m³以下 32円50銭	基本料金	500 m³ 以下 45 円	
	超過料金	200m³以下 1m³ 6.5銭	500m³以下 1m³ 6.5銭	超過料金	1 m³ に付 9 銭	
		201m³以上 1m³ 5.2銭	501m³以上 1m³ 5.2銭			
湯屋用水	最低料金	月12m³以下 54銭	月200m³以下 9円	基本料金	200 m³ 以下 12 円	最低料金制を廃止
	超過料金	200m³以下 1m³ 4.5銭	200m³以下 1m³ 4.5銭	超過料金	1 m³ に付 6 銭	1m³に付 12銭
		201m³以上 1m³ 3.6銭	201m³以上 1m³ 3.6銭			
一時用水	1m³に付	16銭	左同	1m³に付	20 銭	40銭
娯楽用水	1m³に付	28銭	〃	1m³に付	35 銭	70銭
共用（公設）	最低料金	月6.5m³以下 39銭	〃	基本料金	6.5 m³ 以下 48 銭	廃止
	超過料金	6.5m³を超える 1m³ 6銭	〃	超過料金	1 m³ に付 8 銭	1m³に付 16銭
共用（私設）	最低料金	月6.5m³以下 52銭	〃	基本料金	6.5 m³ 以下 60 銭	廃止
	超過料金	6.5m³を超える 1m³ 8銭	〃	超過料金	1 m³ に付 10 銭	1m³に付 20銭
水道料金納付方法		年4期納付制	左同	納付方法	昭和10年度より月納集金制に改正	昭和19年度より年6期集金制に改正
備考			家事用水のみ値下げ	備考		最低料金制を廃止し給水栓1個に付20銭を徴収

※制定当時は、計量制と定額制の2本立であり、定額制は1戸5人までは1カ月1円、1人増す毎に15銭、 支栓1個増す毎に20銭、浴槽1個30銭。

S22.3.1	S22.6.1	S22.11.1	S23.10.1	S25.2.1	S26.12.1	S28.6.1	S33.4.1	S38.11.1
1m³に付 50銭	1m³に付 1円 20銭	1m³に付 3円 60銭	1m³に付 7円	基本水量 8m³ 基本料金 80円 超過料金 1m³ 10円	8m³ 96円 1m³ 13円	8m³ 120円 1m³ 17円	8m³ 180円 1m³ 22円	8m³ 240円 1m³ 32円
—	—	—	—	基本水量150m³ 基本料金975円	150m³ 1,170円	150m³ 1,460円	150m³ 1,500円	150m³ 2,000円
1m³に付 30銭	1m³に付 72銭	1m³に付 2円 20銭	1m³に付 4円 50銭	超過料金1m³ 6円50銭	1m³ 8円50銭	1m³ 11円	1m³ 11円	1m³ 15円
1円	2円 20銭	7円 20銭	14円 50銭	20円	25円	30円	40円	55円
1円75銭	4円 20銭	12円	24円	40円	50円	60円	80円	廃止
—	—	—	—	基本水量6m³ 基本料金48円	6m³ 55円	6m³ 70円	統合 基本水量	
1m³に付 40銭	1m³に付 96銭	1m³に付 3円	1m³に付 6円	超過料金1m³ 8円	1m³ 10円	1m³ 13円	6m³ 基本料金	6m³
—	—	—	—	基本水量6m³ 基本料金60円	6m³ 72円	6m³ 90円	90円 超過料金	120円
1m³に付 50銭	1m³に付 1円 20銭	1m³に付 3円 60銭	1m³に付 7円	超過料金1m³ 10円	1m³ 13円	1m³ 17円	1m³ 16円	1m³ 22円
左同	左同	左同	左同	左同	左同	毎月集金制に改正	左同	左同
給水栓 1個に付50銭	左同1円	左同1円	左同2円	左同 2円 基本料金制を実施	取付水栓料 廃止		改定率平均 26.20%	改定率平均 41.30%

実施年月日		昭和48年4月1日			昭和51年1月1日				
区分 / 口径別		基本料金	従量料金（1m³につき）		基本料金	従量料金（1m³につき）			
			第一段	第二段		第一段	第二段	第三段	第四段
一般用	13mm	8m³以下 280円	9m³以上 30m³以下 40円	31m³以上 41円	8m³以下 360円	9m³以上 20m³以下 58円	21m³以上 30m³以下 65円	31m³以上 40m³以下 73円	41m³以上 83円
	20mm				8m³以下 380円	9m³以上 20m³以下 60円	21m³以上 30m³以下 68円	31m³以上 40m³以下 77円	41m³以上 88円
	25mm								
	40mm	1,000円	30m³以下 40円	31m³以上 41円	1,400円	20m³以下 68円	21m³以上 50m³以下 78円	51m³以上 100m³以下 89円	101m³以上 101円
	50mm	1,500円			2,100円				
	75mm	3,000円			4,200円				
	100mm	5,000円			7,000円				
	150mm	10,000円			14,000円				
浴場営業用		150m³以下 2,000円	151m³以上 15円		150m³以下 2,600円	151m³以上 20円			
共用給水装置		1戸につき 6m³以下 120円	7m³以上 22円		1戸につき 6m³以下 150円	基本水量を超える水量　30円			
一時用		1m³につき　95円			1m³につき　200円				
私設消火栓		口径50mm未満・演習20分以内 1個1回につき300円 口径50mm以上・演習20分以内 1個1回につき600円			左　同				
連合専用給水装置		1戸につき、一般用の料金を適用する。			左　同				
備考		用途別料金体系を廃止、口径別料金体系を採用、浴場営業用、一時用、共用栓については、用途別を存置し料金を据置。 一般用料金は、従量制を設定 逓増料金方式を採用。 前受料金制を廃止。			口径区分を現行の6区分を7区分（13mmを独立）に改定、従量料金も2段階を4段階とし、逓増方式を強化。				
料金徴収方法		集金制、納付制、銀行口座振替制、各毎月。（昭和39．8採用）			左　同				
改定率		総合平均28.8%　家庭用22.2% （原案）34.98%			総合平均74%　家庭用38.9% （原案）74%				

昭和53年2月1日					昭和59年2月1日					平成元年4月1日
基本料金	従量料金(1m³につき)				基本料金	従量料金(1m³につき)				
	第一段	第二段	第三段	第四段		第一段	第二段	第三段	第四段	
8m³以下 400円	9m³以上 20m³以下 70円	21m³以上 30m³以下 80円	31m³以上 40m³以下 90円	41m³以上 100円	8m³以下 580円	9m³以上 20m³以下 100円	21m³以上 30m³以下 120円	31m³以上 40m³以下 130円	41m³以上 150円	料金は、左記料金表の基本料金と従量料金との合計額に100分の103を乗じて得た額(1円未満の端数は、切り捨て)とする。
8m³以下 500円					8m³以下 730円					
8m³以下 700円					8m³以下 1,030円					
1, 800円	50m³以下 100円	51m³以上 100m³以下 110円	101m³以上 500m³以下 120円	501m³以上 135円	2, 800円	50m³以下 150円	51m³以上 100m³以下 160円	101m³以上 500m³以下 180円	501m³以上 210円	
4, 000円					6, 200円					
7, 000円					11, 000円					
12, 000円					19, 000円					
25, 000円					40, 000円					
150m³以下 3, 000円	151m³以上 20円				150m³以下 4, 000円	151m³以上 40円				
1戸につき 6m³以下 200円	基本水量を超える水量 30円				1戸につき 6m³以下 300円	基本水量を超える水量 50円				
1m³につき 240円					1m³につき 360円					
左 同					左 同					
左 同					左 同					
口径13、20、25mmの基本料金について、各々格差を設けた。 従量料金については、口径13～25mmと、40mm以上の2区画とし、ともに逓増方式を更に強化。					料金体系は、前回を踏襲した。料金水準につき、生活用水と浴場営業用の改定率の緩和を図り、共同住宅料金の適正化を実施。					平成元年8月請求分から適用
左 同					左 同					左 同
総合平均 22.46% 家庭用 17.8% (原案)22.46%					総合平均 48.67% 家庭用 43.55% (原案)48.67%					総合平均 3.00%

実施年月日		平成4年2月1日								平成9年4月1日
区分 / 口径別		基本料金	従量料金(1m³につき)							
			第一段		第二段		第三段		第四段	
一般用	13mm	10m³以下 1,050円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円
	20mm	10m³以下 1,390円	11～20	135	21～30	160	31～40	185	41以上	220
	25mm	10m³以下 1,840円								
	40mm	3,850円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円
	50mm	8,350円								
	75mm	14,850円	1～50	220	51～100	240	101～500	260	501以上	290
	100mm	25,600円								
	150mm	55,000円								
浴場営業用		150m³以下 5,200円	151m³以上　1m³につき　55円							
共用給水装置		1戸につき 6m³以下 400円	基本水量を超える水量　1m³につき　65円							
一時用			1m³につき　525円							
私設消火栓			口径50mm未満演習20分以内1個1回につき　300円 口径50mm以上演習20分以内1個1回につき　600円							
連合専用給水装置			1戸につき一般用の料金を適用する。							
備考			料金体系は、前回を踏襲した。但し口径13mm～25mmの基本水量分については、8m³から10m³へ変更した。 また、生活用水と浴場営業用については、改定率の緩和を図った。 ※税抜表示 料金は、料金表の基本料金と従量料金との合計額に100分の103を乗じて得た額(1円未満の端数は、切り捨て)とする。							平成9年8月請求分から適用
料金徴収方法			集金制、納付制、銀行口座振替制、各毎月							左　同
改定率 (消費税抜き額により算出)			総合平均　45.58%　家庭用　34.74% (原案)45.58%							総合平均 2.00%

※ 連合栓給水装置について平成9年度条例改定時に「1戸につき口径13ミリメートルの一般用の料金を適用する」に変更。

実施年月日		平成21年9月1日									
区分 / 口径別		基本料金	従量料金（1m³につき）								
			第一段		第二段		第三段		第四段		第五段	
一般用	13mm	945円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円
	20mm	1,302円	1～10	15.75	11～20	141.75	21～30	168	31～40	194.25	41以上	231
	25mm	1,774.5円										
	40mm	4,042.5円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円		
	50mm	8,767.5円										
	75mm	15,592.5円	1～50	231	51～100	252	101～500	273	501以上	304.5		
	100mm	26,880円										
	150mm	57,750円										
浴場営業用		150m³以下 5,460円	151m³以上　1m³につき　57.75円									
一時用			1m³につき　551.25円									
私設消火栓			口径50mm未満演習20分以内1個1回につき　315円 口径50mm以上演習20分以内1個1回につき　630円									
備考			(1)基本水量制の廃止 (2)使用開始及び使用廃止時の料金算定方法の改正（日割計算方式） (3)水道料金の総額表示 (4)共用給水装置の用途廃止 (5)連合専用給水装置の用途廃止 ※税込表示 料金は、料金表の基本料金と従量料金との合計額（1円未満の端数切り捨て）									
料金徴収方法			納付制、銀行口座振替制、各毎月									
改定率			—									

実施年月日		平成26年4月1日									
区分 / 口径別		基本料金	従量料金（1m³につき）								
			第一段		第二段		第三段		第四段		第五段	
一般用	13mm	972円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円
	20mm	1,339.2円	1～10	16.2	11～20	145.8	21～30	172.8	31～40	199.8	41以上	237.6
	25mm	1,825.2円										
	40mm	4,158円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円		
	50mm	9,018円										
	75mm	16,038円	1～50	237.6	51～100	259.2	101～500	280.8	501以上	313.2		
	100mm	27,648円										
	150mm	59,400円										
浴場営業用		150m³以下 5,616円	151m³以上　1m³につき　59.4円									
一時用			1m³につき　567円									
私設消火栓			口径50mm未満演習20分以内1個1回につき　324円 口径50mm以上演習20分以内1個1回につき　648円									
備考			消費税率改定に伴う水道料金等の改定 平成26年8月請求分から適用 ※税込表示 料金は、料金表の基本料金と従量料金との合計額（1円未満の端数切り捨て）									
料金徴収方法			納付制、銀行口座振替制、各毎月									
改定率			—									

実施年月日		令和元年10月1日									
区分 / 口径別		基本料金	従量料金（1m³につき）								
			第一段		第二段		第三段		第四段		第五段	
一般用	13mm	990円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円
	20mm	1,364円	1～10	16.5	11～20	148.5	21～30	176	31～40	203.5	41以上	242
	25mm	1,859円										
	40mm	4,235円	m³	円	m³	円	m³	円	m³	円		
	50mm	9,185円										
	75mm	16,335円	1～50	242	51～100	264	101～500	286	501以上	319		
	100mm	28,160円										
	150mm	60,500円										
浴場営業用		150m³以下 5,720円	151m³以上　1m³につき　60.5円									
一時用			1m³につき　577.5円									
私設消火栓			口径50mm未満演習20分以内1個1回につき　330円 口径50mm以上演習20分以内1個1回につき　660円									
備考			消費税率改定に伴う水道料金等の改定 令和2年2月請求分から適用 ※税込表示 料金は、料金表の基本料金と従量料金との合計額（1円未満の端数切り捨て）									
料金徴収方法			納付制、銀行口座振替制、各毎月									
改定率			—									

6 共同住宅の料金

（1）各戸にメーターを設置するもの

各戸ごとに当該メーター口径により算出した額（1円未満は切り捨て）とする。

（2）各戸にメーターを設置していないもの

当該共同住宅の総使用水量をその戸数で除して得た水量を基礎とし、各戸毎に水道料金表の一般用 メーター口径20mmの規定を適用して算出した額の合計額（1円未満は、切り捨て）とする。

7 量水器

(1)年度別設置数

(単位:個)

口径＼年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
13mm	227,003	222,842	219,520	215,563	216,412
20mm	90,362	88,993	87,394	85,210	84,067
25mm	6,598	6,579	6,576	6,510	6,574
40mm	2,168	2,137	2,098	2,074	2,066
50mm	851	852	848	844	831
75mm	322	321	321	320	326
100mm	54	55	55	57	58
150mm	8	8	7	7	9
合 計	327,366	321,787	316,819	310,585	310,343

(2)購入状況

口径＼年度	購入数(個)					購入金額(千円)				
	R2年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	R2年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度
13mm	5,500	6,514	7,950	6,600	6,900	10,560	13,914	16,937	14,242	15,095
20mm	3,016	3,000	5,700	3,010	5,820	7,829	8,133	15,896	8,436	16,024
25mm	240	2	282	280	500	829	9	1,009	998	1,863
40mm	0	240	90	110	131	0	2,739	1,043	1,247	1,499
50mm	140	42	190	235	85	6,697	2,060	10,157	12,944	4,544
75mm	60	0	65	75	45	4,422	0	5,321	5,792	3,694
100mm	10	0	6	15	10	1,265	0	680	1,912	1,404
150mm	0	1	2	5	1	0	245	481	1,156	248
合 計	8,966	9,799	14,285	10,330	13,492	31,602	27,100	51,524	46,727	44,371

(3)量水器出入庫管理状況

(単位:件)

	据付個数	取付		取外		取替		購入	修理	廃棄
		件数	うち委託	件数	うち委託	件数	うち委託	個数	個数	個数
令和2年度	327,366	10,975	2,769	6,350	5,327	41,949	41,674	8,966	46,220	6,931
13mm	227,003	7,761	1,638	4,222	3,490	26,663	26,404	5,500	29,700	5,250
20mm	90,362	2,990	1,105	1,949	1,730	13,922	13,909	3,016	15,000	1,300
25mm	6,598	153	22	129	86	968	967	240	1,040	160
40mm	2,168	59	4	38	16	210	208	0	480	60
50mm	851	9	0	9	4	131	131	140	0	120
75mm	322	3	0	2	1	40	40	60	0	26
100mm	54	0	0	1	0	15	15	10	0	15
150mm	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度	321,787	12,161	2,159	6,775	5,519	39,224	39,050	9,799	43,000	10,348
平成30年度	316,819	11,795	2,018	5,130	3,401	43,039	42,506	14,285	37,800	6,735
平成29年度	310,585	12,054	2,728	10,961	9,210	39,941	39,448	10,330	36,050	5,892
平成28年度	310,343	10,745	3,508	12,252	10,323	40,386	39,935	13,492	40,110	7,151

(4)量水器改良工事施工状況

(単位:件)

種別＼施工	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
位置変更	0	0	0	0	0
位置上げ	0	1	0	0	0
量水器箱取付	0	0	0	0	0
改造 その他	0	0	0	3	0
合 計	0	1	0	3	0

8 下水道使用料改定の変遷

		昭和34年8月	昭和51年10月		昭和59年4月	昭和64年1月	平成元年4月
水道水による汚水	一般家庭用及び営業用	水道料金の １７％	基本使用料8m³まで 80円	一般用	基本使用料8m³まで 150円	基本使用料 8m³まで 300円	同左
			9m³以上10m³まで 1m³につき10円		9m³以上 10m³まで 1m³につき20円	9m³以上 20m³まで 1m³につき40円	同左
			11m³以上20m³まで 1m³につき20円		11m³以上 20m³まで 1m³につき25円		
			21m³以上30m³まで 1m³につき21円		21m³以上 50m³まで 1m³につき30円	21m³以上 50m³まで 1m³につき50円	同左
			31m³以上50m³まで 1m³につき23円				
			51m³以上 1m³につき25円		51m³以上 200m³まで 1m³につき35円	51m³以上 200m³まで 1m³につき60円	同左
	一般家庭の兼用公衆浴場と	水道料金の １７％	基本使用料8m³まで 80円		201m³以上 1m³につき40円	201m³以上 500m³まで 1m³につき70円	同左
			9m³以上10m³まで 1m³につき10円			501m³以上 1m³につき80円	同左
			11m³以上20m³まで 1m³につき20円				
			21m³以上 1m³につき5円				
	公衆浴場	水道料金の １７％	1m³につき 5円	公衆浴場	1m³につき 5円	1m³につき 5円	同左
水道水以外による汚水	家庭用	１世帯につき （５人まで）30円 １人増すごとに5円	１世帯につき 80円	家庭用	１世帯につき 150円	１世帯につき 300円	同左
	営業用	1m³につき 3円	1m³につき 6円	営業用	2000m³まで 1m³につき15円	水道水による汚水 一般用と同様	同左
					2001m³以上 5000m³まで 1m³につき30円		
					5001m³以上 1m³につき40円		
	公衆浴場	1m³につき 2円	1m³につき 5円	公衆浴場	1m³につき 5円	1m³につき 5円	同左
消費税等				消費税等			※税抜表示 料金は、上記料金表の基本料金と従量料金との合計額に100分の103を乗じて得た額(1円未満の端数は、切り捨て)とする。
改定率		－	172.00%		68.50%	93.60%	3.00%

*水道水以外による汚水：井戸水、温泉水など

8 下水道使用料改定の変遷(つづき)

		平成5年6月	平成9年5月	平成13年4月	平成17年11月	平成21年9月
水道水による汚水	一般用	基本使用料 10m³まで 400円	基本使用料 10m³まで 600円	基本使用料 10m³まで 800円	基本使用料 10m³まで 990円	基本使用料 850円
						1m³以上 10m³まで 1m³につき14円
		11m³以上 20m³まで 1m³につき50円	11m³以上 20m³まで 1m³につき70円	11m³以上 20m³まで 1m³につき90円	11m³以上 20m³まで 1m³につき125円	11m³以上 20m³まで 1m³につき125円
		21m³以上 50m³まで 1m³につき65円	21m³以上 50m³まで 1m³につき90円	21m³以上 50m³まで 1m³につき115円	21m³以上 50m³まで 1m³につき165円	21m³以上 50m³まで 1m³につき165円
		51m³以上 200m³まで 1m³につき85円	51m³以上 200m³まで 1m³につき125円	51m³以上 200m³まで 1m³につき165円	51m³以上 200m³まで 1m³につき200円	51m³以上 200m³まで 1m³につき200円
		201m³以上 500m³まで 1m³につき100円	201m³以上 500m³まで 1m³につき150円	201m³以上 500m³まで 1m³につき200円	201m³以上 500m³まで 1m³につき240円	201m³以上 500m³まで 1m³につき240円
		501m³以上 2000m³まで 1m³につき120円	501m³以上 2000m³まで 1m³につき185円	501m³以上 2000m³まで 1m³につき250円	501m³以上 2000m³まで 1m³につき280円	501m³以上 2000m³まで 1m³につき280円
		2001m³以上 1m³につき140円	2001m³以上 1m³につき220円	2001m³以上 1m³につき300円	2001m³以上 1m³につき325円	2001m³以上 1m³につき325円
	公衆浴場	1m³につき 5円	1m³につき 5円	1m³につき 10円	1m³につき 12円	1m³につき 12円
水道水以外による汚水	家庭用	1世帯につき 500円	1世帯につき 1,000円	1世帯につき 1,300円	1世帯につき 1,700円	1世帯につき 1,700円
	営業用	水道水による汚水 一般用と同様	水道水による汚水 一般用と同様	水道水による汚水 一般用と同様	水道水による汚水 一般用と同様	水道水による汚水 一般用と同様
	公衆浴場	1m³につき 5円	1m³につき 5円	1m³につき 10円	1m³につき 12円	1m³につき 12円
消費税等		※税抜表示 料金は、上記料金表の基本料金と従量料金との合計額に100分の103を乗じて得た額(1円未満の端数は、切り捨て)とする。	※税抜表示 料金は、上記料金表の基本料金と従量料金との合計額に100分の105を乗じて得た額(1円未満の端数は、切り捨て)とする。	※税抜表示 料金は、上記料金表の基本料金と従量料金との合計額に100分の105を乗じて得た額(1円未満の端数は、切り捨て)とする。	※税込表示 料金は、上記料金表の基本料金と従量料金との合計額	※税込表示 料金は、上記料金表の基本料金と従量料金との合計額
		37.33%	44.91%	30.58%	18.54%	−

*水道水以外による汚水:井戸水、温泉水など

平成26年4月	令和元年10月
基本使用料 874.28円	基本使用料 890.47円
1m³以上 10m³まで 1m³につき14.39円	1m³以上 10m³まで 1m³につき14.65円
11m³以上 20m³まで 1m³につき128.57円	11m³以上 20m³まで 1m³につき130.95円
21m³以上 50m³まで 1m³につき169.71円	21m³以上 50m³まで 1m³につき172.85円
51m³以上 200m³まで 1m³につき205.71円	51m³以上 200m³まで 1m³につき209.51円
201m³以上 500m³まで 1m³につき246.85円	201m³以上 500m³まで 1m³につき251.42円
501m³以上 2000m³まで 1m³につき287.99円	501m³以上 2000m³まで 1m³につき293.32円
2001m³以上 1m³につき334.28円	2001m³以上 1m³につき340.47円
1m³につき 12.34円	1m³につき 12.56円
(1)メーターが設置してある場合:メーターで計量した使用水量により算定 (2)メーターがない場合:使用人数及び用途に応じた認定水量により算定 (別表1,2により算定)	(1)メーターが設置してある場合:メーターで計量した使用水量により算定 (2)メーターがない場合:使用人数及び用途に応じた認定水量により算定 (別表1,2により算定)
水道水による汚水 一般用と同様	水道水による汚水 一般用と同様
1m³につき 12.34円	1m³につき 12.56円
※税込表示 料金は、上記料金表の基本料金と従量料金との合計額	※税込表示 料金は、上記料金表の基本料金と従量料金との合計額
−	−

別表1

使用人数	1人	2人	3人	4人	5人
人員割認定水量	9㎥	15㎥	20㎥	24㎥	28㎥

※ 4人以上の場合は、3人の水量に1人増加するごとに4㎥を加えた水量。

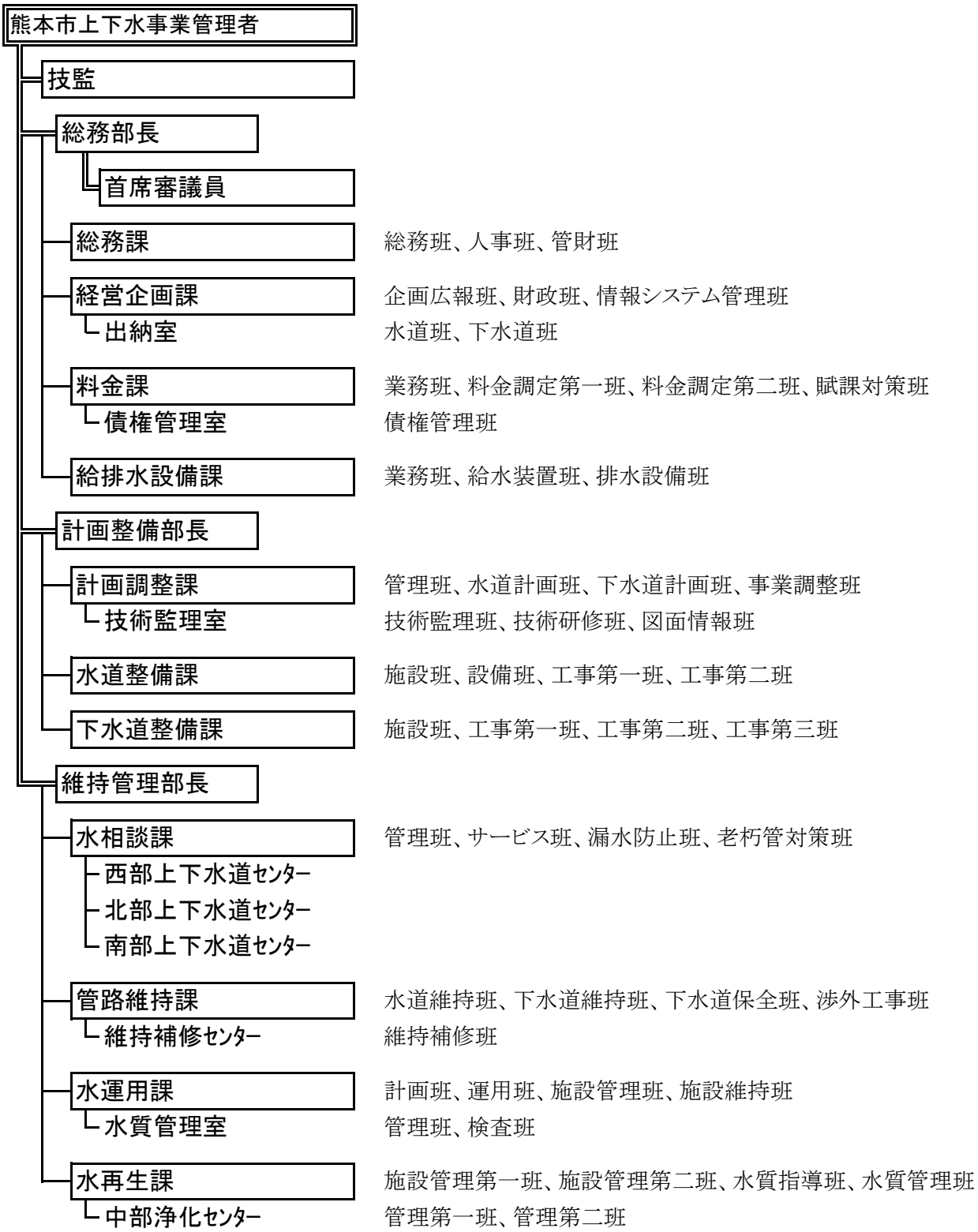
別表2

使用人数		1人	2人	3人	4人	5人
認定水量人員・用途別	トイレ	2㎥	4㎥	6㎥	7㎥	8㎥
	風呂	2㎥	3㎥	4㎥	5㎥	6㎥
	炊事	2㎥	3㎥	4㎥	5㎥	6㎥
	洗濯	2㎥	3㎥	4㎥	5㎥	6㎥
	洗顔その他	1㎥	2㎥	2㎥	2㎥	2㎥

※ 4人以上の場合は、3人の水量に1人増加するごとに用途に応じ、
トイレ1㎥、風呂1㎥、炊事1㎥、洗濯1㎥を加えた水量。

Ⅵ 組織・機構

1 機構図（令和3年3月31日現在）



2 事務分掌（令和3年3月31日現在）

総務課

1 局内事務の総合的調整及び連絡調整に関すること。
2 条例及び規程の制定改廃に関すること。
3 文書の収発及び管理に関すること。
4 公印の管理に関すること。
5 日本水道協会及び熊本県下水道協会に関すること。
6 熊本市上下水道サービス公社に関すること。
7 危機管理及び災害対策に関すること。
8 不用品の処分に関すること。
9 請負工事等の入札及び契約に関すること。
10 組織に関すること。
11 職員の任免、服務、分限、賞罰その他身分取扱いに関すること。
12 研修に関すること。
13 職員の給与及び退職手当に関すること。
14 職員の安全衛生及び福利厚生に関すること。
15 局有財産の取得、管理及び処分に関すること（他の課又は室の所管に属する事務を除く。）。
16 庁舎の維持管理に関すること（他の課又は室の所管に属する事務を除く。）。
17 公用車の管理に関すること。
18 職員の安全運転及び交通事故処理に関すること。

経営企画課

1 事業経営の企画、調整、調査、分析及び改善に関すること。
2 市議会に関すること。
3 熊本市上下水道事業運営審議会に関すること。
4 事業統計に関すること。
5 広報及び広聴に関すること。
6 水の科学館に関すること。
7 財政計画に関すること。
8 企業債に関すること。
9 予算に関すること。
10 工業用水道事業に関すること(他の課又は室の所管に属する事務を除く。)。
11 情報化施策の推進及び調整に関すること。
12 情報システムの総括に関すること。
13 出納室に関すること。

出納室

1 決算に関すること。
2 支払の審査及び執行に関すること。
3 出納預託に関すること。
4 現金及び有価証券等の出納及び保管に関すること。
5 資金運用及び一時借入金に関すること。
6 固定資産に関すること。
7 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。

料金課

1 水道及び下水道の使用の開始及び休止に関すること。
2 使用水量（水道に係るものに限る。）及び排除汚水量の計量及び認定に関すること。
3 水道料金及び下水道使用料（以下「水道料金等」という。）の調定及び減免に関すること。
4 水道料金等の転居等清算に関すること。
5 水道料金等の収納に関すること。
6 水道料金等の還付及び充当に関すること。
7 量水器に関すること。
8 債権管理室に関すること。

債権管理室

1 水道料金等の滞納整理に関すること。
2 水道料金の未納による給水停止の執行及び解除に関すること。
3 水道料金等の不納欠損処分に関すること。
4 債権の管理及び滞納整理対策等の総合的企画及び調整に関すること。
5 債権を保有する所管課への助言及び指導等の支援に関すること。
6 上下水道事業管理者が特に必要と認めた局の債権（以下「引継債権」という。）の滞納整理に関すること。

7　引継債権に係る訴訟、和解、調停及び放棄に関すること。

給排水設備課

1　給水装置工事及び給水施設工事に関すること。
2　指定給水装置工事事業者及び排水設備指定工事店に関すること。
3　加入金(受託給水装置工事に伴うものを除く。)及び手数料の収納に関すること。
4　下水道事業受益者負担金及び区域外流入分担金に関すること。
5　水洗便所改造資金に関すること。
6　排水設備に関すること。
7　給水設備の確認に関すること。
8　配管図面の交付に関すること。

計画調整課

1　水道事業の認可、下水道事業の事業計画の策定及び変更並びに工業用水道事業法(昭和33年法律第84号)に基づく届出に関すること。
2　水道施設、工業用水道施設及び下水道施設の整備に係る計画及び調整に関すること。
3　西部浄化センター処理水放流に伴う水産振興事業に関すること。
4　下水道資源の有効活用に関すること。
5　下水道雨水事業の整備に係る調整に関すること。
6　技術監理室に関すること。
7　課内、水道整備課及び下水道整備課の庶務に関すること。

技術監理室

1　工事の検査に関すること。
2　工事監理の指導及び技術研修に関すること。
3　工事の技術基準、積算基準等に関すること。
4　配管図面に関すること(他課の所管に属する事務を除く。)。
5　下水道台帳に関すること。

水道整備課

1　水道施設及び工業用水道施設の整備工事に関すること。

下水道整備課

1　下水道施設の整備工事に関すること。
2　下水道雨水事業に関すること。
3　私道への下水道布設に関すること。
4　花園・島崎地区浸水対策施設技術検証委員会に関すること。

水相談課

1　水道施設管路、工業用水道施設管路及び給水管の漏水防止に関すること。
2　給水装置及び給水施設に係る苦情、相談等の受付並びにそれらへの対応に関すること。
3　下水道管渠施設及び排水設備に係る苦情、相談等の受付並びにそれらへの初期対応に関すること。
4　配水管布設工事についての要望及び相談に関すること。
5　老朽給水管の更新に関すること。
6　貯蔵品の経理及び保管に関すること。
7　西部上下水道センター、北部上下水道センター及び南部上下水道センターに関すること。
8　課内、管路維持課、水運用課及び水再生課の庶務に関すること。

西部上下水道センター、北部上下水道センター及び南部上下水道センター

1　工業用水道に係る使用水量の計量及び認定に関すること(南部上下水道センターに限る。)。
2　工業用水道料金に関すること(南部上下水道センターに限る。)。
3　貯蔵品の保管及び受払に関すること。
4　水道施設、工業用水道施設(南部上下水道センターに限る。)及び下水道施設の異常、故障等に係る初期対応に関すること。
5　水道施設管路、工業用水道施設管路(南部上下水道センターに限る。)及び給水管の維持管理に関すること。
6　水道施設管路、工業用水道施設管路(南部上下水道センターに限る。)及び給水管の漏水防止に関すること。
7　給水施設(南部上下水道センターに限る。)及び給水装置に係る苦情、相談等の受付並びにそれらへの対応に関すること。
8　下水道管渠施設及び排水設備に係る苦情、相談等の受付並びにそれらへの初期対応に関すること。
9　受託給水装置工事に伴う加入金に関すること(北部上下水道センターに限る。)。
10　受託給水工事費に関すること(北部上下水道センターに限る。)。

管路維持課

1　水道施設管路及び付帯施設、工業用水道施設管路及び付帯施設並びに給水管の維持管理に関すること。

2　貯蔵品の受払に関すること。
3　下水道管渠施設の維持管理に関すること。
4　水防業務の統括に関すること。
5　水道施設管路、工業用水道施設管路、下水道管渠施設及び給水管の移設の渉外に関すること。
6　維持補修センターに関すること。

維持補修センター
1　下水道管渠施設の維持管理作業に関すること。
2　貯蔵品の保管に関すること。

水運用課
1　水運用センターの維持管理に関すること。
2　水源の整備計画及び維持管理に関すること。
3　観測井のデータ分析及び維持管理に関すること。
4　水源地、配水池、加圧ポンプ所及び路上局の維持管理に関すること。
5　配水系統及び水圧の管理に関すること。
6　地下水障害に関すること。
7　水質管理室に関すること。

水質管理室
1　水道及び工業用水道の水質検査に関すること。
2　水道及び工業用水道に係る水質の調査及び研究に関すること。

水再生課
1　公共下水の終末処理に関すること。
2　放流水の水質に関すること。
3　マンホールポンプ及び浄化センターに属さないポンプ場等の管理に関すること。
4　浄化センターに関すること。
5　事業所排水の水質指導に関すること。
6　下水道の水質検査及び汚泥の分析に関すること。
7　下水道に係る水質の調査及び研究に関すること。
8　下水汚泥固形燃料化施設に関すること。
9　西部汚水1号幹線伏越施設の管理に関すること。
10　家畜排せつ物液、し尿及び浄化槽汚泥の処分に関すること。

中部浄化センター
1　中部浄化センターの維持管理(し尿等処理を含む。)に関すること。
2　中部処理区中継ポンプ場の維持管理に関すること。

3 職員数及び配置

（令和3年3月31日現在）

	水道事業会計						下水道事業会計						合計
				うち損益勘定職員						うち損益勘定職員			
	事務職	技術職	合計	事務職	技術職	合計	事務職員	技術職員	合計	事務職	技術職	合計	
技監	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
総務部長	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
首席審議員	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
総務課	11	0	11	11	0	11	4	0	4	4	0	4	15
総務班	5	0	5	5	0	5	2	0	2	2	0	2	7
人事班	3	0	3	3	0	3	1	0	1	1	0	1	4
管財班	3	0	3	3	0	3	1	0	1	1	0	1	4
経営企画課	14	0	14	14	0	14	7	0	7	7	0	7	21
企画広報班	7	0	7	7	0	7	2	0	2	2	0	2	9
財政班	3	0	3	3	0	3	2	0	2	2	0	2	5
情報ｼｽﾃﾑ管理班	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	2
出納室	3	0	3	3	0	3	2	0	2	2	0	2	5
水道班	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3
下水道班	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2	2
料金課	20	0	20	20	0	20	13	0	13	13	0	13	33
業務班	8	0	8	8	0	8	1	0	1	1	0	1	9
料金調定第一班	8	0	8	8	0	8	0	0	0	0	0	0	8
料金調定第二班	0	0	0	0	0	0	6	0	6	6	0	6	6
賦課対策班	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	0	3	3
債権管理室	4	0	4	4	0	4	3	0	3	3	0	3	7
債権管理班	4	0	4	4	0	4	3	0	3	3	0	3	7
給排水設備課	16	6	22	16	6	22	8	0	8	8	0	8	30
業務班	6	1	7	6	1	7	0	0	0	0	0	0	7
給水装置班	10	5	15	10	5	15	0	0	0	0	0	0	15
排水設備班	0	0	0	0	0	0	8	0	8	8	0	8	8
計画整備部長	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
計画調整課	5	10	15	2	5	7	3	13	16	1	2	3	31
管理班	3	1	4	0	0	0	2	1	3	0	0	0	7
水道計画班	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
下水道計画班	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	5
事業調整班	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	5
技術監理室	2	5	7	2	5	7	1	2	3	1	2	3	10
技術監理班	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	1	1	3
技術研修班	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
図面情報班	2	1	3	2	1	3	1	1	2	1	1	2	5
水道整備課	0	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
施設班	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
設備班	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
工事第一班	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
工事第二班	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
下水道整備課	0	0	0	0	0	0	0	30	30	0	0	0	30
施設班	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	10
工事第一班	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	7
工事第二班	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	7
工事第三班	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	6
維持管理部長	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
水相談課	12	22	34	12	21	33	6	0	6	6	0	6	40
管理班	3	2	5	3	2	5	3	0	3	3	0	3	8
サービス班	4	1	5	4	0	4	0	0	0	0	0	0	5
漏水防止班	0	8	8	0	8	8	0	0	0	0	0	0	8
老朽管対策班	1	4	5	1	4	5	0	0	0	0	0	0	5
西部上下水道ｾﾝﾀｰ	1	3	4	1	3	4	1	0	1	1	0	1	5
北部上下水道ｾﾝﾀｰ	2	2	4	2	2	4	1	0	1	1	0	1	5
南部上下水道ｾﾝﾀｰ	1	2	3	1	2	3	1	0	1	1	0	1	4
管路維持課	0	17	17	0	17	17	0	29	29	0	29	29	46
水道維持班	0	7	7	0	7	7	0	1	1	0	1	1	8
下水道維持班	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	6	6	6
下水道保全班	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	6	6	6
渉外工事班	0	10	10	0	10	10	0	0	0	0	0	0	10
維持補修ｾﾝﾀｰ	0	0	0	0	0	0	0	16	16	0	16	16	16
維持補修班	0	0	0	0	0	0	0	16	16	0	16	16	16
水運用課	1	37	38	1	37	38	0	0	0	0	0	0	38
計画班	1	9	10	1	9	10	0	0	0	0	0	0	10
運用班	0	16	16	0	16	16	0	0	0	0	0	0	16
施設管理班	0	3	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
施設維持班	0	3	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
水質管理室	0	6	6	0	6	6	0	0	0	0	0	0	6
管理班	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
検査班	0	4	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4
水再生課	0	0	0	0	0	0	0	47	47	0	47	47	47
施設管理第一班	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	10	10	10
施設管理第二班	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	5	5	5
水質指導班	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	2
水質管理班	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	4	4	4
中部浄化ｾﾝﾀｰ	0	0	0	0	0	0	0	26	26	0	26	26	26
管理第一班	0	0	0	0	0	0	0	22	22	0	22	22	22
管理第二班	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	4	4	4
合計	81	124	205	78	88	166	41	120	161	39	78	117	366

＊　管理者及び再任用短時間職員（57人）を除き、再任用フルタイム職員（5名）を含む。課長補佐以上は、それぞれの筆頭班に含む。兼務職は、それぞれ兼務職に含む。

4 勤続年数別職員構成

（令和3年3月31日現在）

年数別	事務職員		技術職員		全職員	
	職員数(人)	比率(%)	職員数(人)	比率(%)	職員数(人)	比率(%)
1 年未満	0	0.0	1	0.4	1	0.3
1 年以上 ～ 3 年未満	6	4.9	26	10.7	32	8.7
3 年以上 ～ 5 年未満	5	4.1	20	8.2	25	6.8
5 年以上 ～ 10 年未満	10	8.2	46	18.9	56	15.3
10 年以上 ～ 15 年未満	6	4.9	26	10.7	32	8.7
15 年以上 ～ 20 年未満	10	8.2	7	2.9	17	4.6
20 年以上 ～ 25 年未満	11	9.0	9	3.7	20	5.5
25 年以上 ～ 30 年未満	24	19.7	29	11.9	53	14.5
30 年以上 ～ 35 年未満	19	15.6	41	16.8	60	16.4
35 年以上	31	25.4	39	16.0	70	19.1
計	122	100.0	244	100.0	366	100.0
平均年数	24年8月		19年0月		20年10月	

＊ 管理者及び再任用短時間職員(57人)を除き、再任用フルタイム職員(5人)を含む。
＊ 業務職員は技術職員に含む。

5 年齢別職員構成

（令和3年3月31日現在）

年齢別	事務職員		技術職員		全職員	
	職員数(人)	比率(%)	職員数(人)	比率(%)	職員数(人)	比率(%)
20 歳未満	1	0.8	3	1.2	4	1.1
20 歳以上 ～ 25 歳未満	6	4.9	15	6.1	21	5.7
25 歳以上 ～ 30 歳未満	5	4.1	28	11.5	33	9.0
30 歳以上 ～ 35 歳未満	7	5.7	48	19.7	55	15.0
35 歳以上 ～ 40 歳未満	7	5.7	22	9.0	29	7.9
40 歳以上 ～ 45 歳未満	11	9.0	7	2.9	18	4.9
45 歳以上 ～ 50 歳未満	22	18.0	27	11.1	49	13.4
50 歳以上 ～ 55 歳未満	22	18.0	43	17.6	65	17.8
55 歳以上 ～ 60 歳未満	30	24.6	32	13.1	62	16.9
60 歳以上	11	9.0	19	7.8	30	8.2
計	122	100.0	244	100.0	366	100.0
平均年齢	47歳5月		42歳0月		43歳10月	

＊ 管理者及び再任用短時間職員(57人)を除き、再任用フルタイム職員(5人)を含む。
＊ 業務職員は技術職員に含む。

Ⅵ 組織・機構

1 機構図（令和3年4月1日現在）

- 熊本市上下水事業管理者
  - 総務部長
    - 総務課 — 総務班、人事班、管財班
    - 経営企画課 — 企画広報班、財政班、情報化推進班
      - 出納室 — 水道班、下水道班
    - 料金課 — 業務班、料金調定第一班、料金調定第二班、賦課対策班
      - 債権管理室 — 債権管理班
    - 給排水設備課 — 業務班、給水装置班、排水設備班
  - 計画整備部長
    - 計画調整課 — 管理班、水道計画班、下水道計画班、事業調整班
      - 技術監理室 — 技術監理班、技術研修班、図面情報班
    - 水道整備課 — 施設班、設備班、工事第一班、工事第二班
    - 下水道整備課 — 施設班、工事第一班、工事第二班、工事第三班
  - 維持管理部長
    - 水道維持課 — 管理班、漏水防止班、保全班、老朽管対策班、渉外工事班
      - 西部上下水道センター
      - 北部上下水道センター
      - 南部上下水道センター
    - 下水道維持課 — 維持班、指導班、保全班
      - 維持補修センター — 維持補修班
    - 水運用課 — 計画班、運用班、施設管理班、施設維持班
      - 水質管理室 — 管理班、検査班
    - 水再生課 — 施設管理第一班、施設管理第二班、水質指導班、水質管理班
      - 中部浄化センター — 管理第一班、管理第二班

2 事務分掌（令和3年4月1日現在）

総務課

1 局内事務の総合的調整及び連絡調整に関すること。
2 条例及び規程の制定改廃に関すること。
3 文書の収発及び管理に関すること。
4 公印の管理に関すること。
5 日本水道協会及び熊本県下水道協会に関すること。
6 熊本市上下水道サービス公社に関すること。
7 危機管理及び災害対策に関すること。
8 不用品の処分に関すること。
9 請負工事等の入札及び契約に関すること。
10 組織に関すること。
11 職員の任免、服務、分限、賞罰その他身分取扱いに関すること。
12 研修に関すること。
13 職員の給与及び退職手当に関すること。
14 職員の安全衛生及び福利厚生に関すること。
15 局有財産の取得、管理及び処分に関すること（他の課又は室の所管に属する事務を除く。）。
16 庁舎の維持管理に関すること（他の課又は室の所管に属する事務を除く。）。
17 公用車の管理に関すること。
18 職員の安全運転及び交通事故処理に関すること。

経営企画課

1 事業経営の企画、調整、調査、分析及び改善に関すること。
2 市議会に関すること。
3 熊本市上下水道事業運営審議会に関すること。
4 熊本市上下水道局指定管理者候補者選定委員会に関すること。
5 事業統計に関すること。
6 広報及び広聴に関すること。
7 水の科学館に関すること。
8 財政計画に関すること。
9 企業債に関すること。
10 予算に関すること。
11 工業用水道事業に関すること(他の課又は室の所管に属する事務を除く。)。
12 情報化施策の推進及び調整に関すること。
13 情報システムの総括に関すること。
14 出納室に関すること。

出納室

1 決算に関すること。
2 支払の審査及び執行に関すること。
3 出納預託に関すること。
4 現金及び有価証券等の出納及び保管に関すること。
5 資金運用及び一時借入金に関すること。
6 固定資産に関すること。
7 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。

料金課

1 水道及び下水道の使用の開始及び休止に関すること。
2 使用水量及び排除汚水量の計量及び認定に関すること。
3 水道料金、工業用水道料金及び下水道使用料（以下「水道料金等」という。）の調定及び減免に関すること。
4 水道料金等の転居等清算に関すること。
5 水道料金等の収納に関すること。
6 水道料金等の還付及び充当に関すること。
7 量水器に関すること。
8 債権管理室に関すること。

債権管理室

1 水道料金等の滞納整理に関すること。
2 水道料金及び工業用水道料金の未納による給水停止の執行及び解除に関すること。
3 水道料金及び下水道使用料の不納欠損処分に関すること。
4 債権の管理及び滞納整理対策等の総合的企画及び調整に関すること。
5 債権を保有する所管課への助言及び指導等の支援に関すること。

6　上下水道事業管理者が特に必要と認めた局の債権（以下「引継債権」という。）の滞納整理に関すること。
7　引継債権に係る訴訟、和解、調停及び放棄に関すること。

給排水設備課

1　給水装置工事及び給水施設工事に関すること。
2　指定給水装置工事事業者及び排水設備指定工事店に関すること。
3　加入金(受託給水装置工事に伴うものを除く。)及び手数料の収納に関すること。
4　下水道事業受益者負担金及び区域外流入分担金に関すること。
5　水洗便所改造資金に関すること。
6　排水設備に関すること。
7　給水設備の確認に関すること。
8　配管図面の交付に関すること。

計画調整課

1　水道事業の認可、下水道事業の事業計画の策定及び変更並びに工業用水道事業法(昭和33年法律第84号)に基づく届出に関すること。
2　水道施設、工業用水道施設及び下水道施設の整備に係る計画及び調整に関すること。
3　配水管布設工事についての要望及び相談に関すること。
4　西部浄化センター処理水放流に伴う水産振興事業に関すること。
5　下水道資源の有効活用に関すること。
6　下水道雨水事業の整備に係る調整に関すること。
7　技術監理室に関すること。
8　課内、水道整備課及び下水道整備課の庶務に関すること。

技術監理室

1　工事の検査に関すること。
2　工事監理の指導及び技術研修に関すること。
3　工事の技術基準、積算基準等に関すること。
4　熊本市上下水道管路情報システムの運用、管理及びデータ活用に関すること。
5　熊本市上下水道管路情報システムの情報セキュリティに関すること。
6　水道配管に係る占用許可の更新に関すること。

水道整備課

1　水道施設及び工業用水道施設の整備工事に関すること。

下水道整備課

1　下水道施設の整備工事に関すること。
2　下水道雨水事業に関すること。
3　私道への下水道布設に関すること。
4　花園・島崎地区浸水対策施設技術検証委員会に関すること。

水道維持課

1　水道施設管路、工業用水道施設管路及び給水管の維持管理に関すること。
2　給水装置及び給水施設に係る苦情、相談等の受付並びにそれらへの対応に関すること。
3　老朽給水管の更新に関すること。
4　水道施設管路、工業用水道施設管路及び給水管の移設の渋外に関すること。
5　配水管布設審査会による布設工事に関すること。
6　貯蔵品の経理及び保管に関すること。
7　給水車及びその装備品の維持管理に関すること。
8　西部上下水道センター、北部上下水道センター及び南部上下水道センターに関すること。
9　課内、下水道維持課、水運用課及び水再生課の庶務に関すること。

西部上下水道センター、北部上下水道センター及び南部上下水道センター

1　水道施設管路、工業用水道施設管路（南部上下水道センターに限る。）及び給水管の維持管理に関すること。
2　水道施設管路、工業用水道施設管路（南部上下水道センターに限る。）及び給水管の移設の渋外に関すること。
3　給水装置及び給水施設（南部上下水道センターに限る。）に係る苦情、相談等の受付並びにそれらへの対応に関すること。
4　下水道管路施設及び排水設備に係る苦情、相談等の受付並びにそれらへの初期対応に関すること。
5　貯蔵品の保管及び受払に関すること。
6　給水車及びその装備品の維持管理に関すること。
7　受託給水装置工事に伴う加入金及び工事費に関すること（北部上下水道センターに限る。）。

下水道維持課

1　下水道管路施設の維持管理に関すること。
2　下水道管路施設に係る法定事務に関すること。
3　下水道管路施設の改築及び更新に関すること。
4　下水道管路施設の不明水対策に関すること。
5　下水道管路施設の包括的民間委託の導入に関すること。
6　水防業務の統括に関すること。
7　下水道管路施設の移設の渉外に関すること。
8　維持補修センターに関すること。

維持補修センター

1　下水道管路施設の維持管理作業に関すること。
2　貯蔵品の保管及び受払に関すること。

水運用課

1　水運用センターの維持管理に関すること。
2　水源の整備計画及び維持管理に関すること。
3　観測井のデータ分析及び維持管理に関すること。
4　水源地、配水池、加圧ポンプ所及び路上局の維持管理に関すること。
5　配水系統及び水圧の管理に関すること。
6　地下水障害に関すること。
7　水質管理室に関すること。

水質管理室

1　水道及び工業用水道の水質検査に関すること。
2　水道及び工業用水道に係る水質の調査及び研究に関すること。

水再生課

1　公共下水の終末処理に関すること。
2　放流水の水質に関すること。
3　マンホールポンプ及び中継ポンプ場等の管理に関すること。
4　浄化センターに関すること。
5　事業場排水の水質指導に関すること。
6　下水道の水質検査及び汚泥の分析に関すること。
7　下水道に係る水質の調査及び研究に関すること。
8　下水汚泥固形燃料化施設に関すること。
9　西部汚水1号幹線伏越施設の管理に関すること。
10　家畜排せつ物液、し尿及び浄化槽汚泥の処分に関すること。

中部浄化センター

1　中部浄化センターの維持管理(し尿等処理を含む。)に関すること。
2　中部処理区中継ポンプ場の維持管理に関すること。

3 職員数及び配置

（令和3年4月1日現在）

	水道事業会計						下水道事業会計						合計
				うち損益勘定職員						うち損益勘定職員			
	事務職	技術職	合計	事務職	技術職	合計	事務職員	技術職員	合計	事務職	技術職	合計	
総務部長	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
総務課	13	0	13	13	0	13	4	0	4	4	0	4	17
総務班	6	0	6	6	0	6	2	0	2	2	0	2	8
人事班	4	0	4	4	0	4	1	0	1	1	0	1	5
管財班	3	0	3	3	0	3	1	0	1	1	0	1	4
経営企画課	13	0	13	13	0	13	8	0	8	8	0	8	21
企画広報班	5	0	5	5	0	5	2	0	2	2	0	2	7
財政班	3	0	3	3	0	3	3	0	3	3	0	3	6
情報化推進班	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1	0	1	3
出納室	3	0	3	3	0	3	2	0	2	2	0	2	5
水道班	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3
下水道班	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2	2
料金課	20	0	20	20	0	20	12	0	12	12	0	12	32
業務班	8	0	8	8	0	8	1	0	1	1	0	1	9
料金調定第一班	8	0	8	8	0	8	0	0	0	0	0	0	8
料金調定第二班	0	0	0	0	0	0	5	0	5	5	0	5	5
賦課対策班	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	0	3	3
債権管理室	4	0	4	4	0	4	3	0	3	3	0	3	7
債権管理班	4	0	4	4	0	4	3	0	3	3	0	3	7
給排水設備課	13	5	18	13	5	18	8	1	9	8	1	9	27
業務班	5	1	6	5	1	6	0	0	0	0	0	0	6
給水装置班	8	4	12	8	4	12	0	0	0	0	0	0	12
排水設備班	0	0	0	0	0	0	8	1	9	8	1	9	9
計画整備部長	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
計画調整課	6	13	19	3	5	8	2	13	15	0	2	2	34
管理班	3	1	4	0	0	0	2	1	3	0	0	0	7
水道計画班	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
下水道計画班	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	5
事業調整班	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	5
技術監理室	3	5	8	3	5	8	0	2	2	0	2	2	10
技術監理班	0	3	3	0	3	3	0	1	1	0	1	1	4
技術研修班	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
図面情報班	3	0	3	3	0	3	0	1	1	0	1	1	4
水道整備課	0	29	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
施設班	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
設備班	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
工事第一班	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
工事第二班	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
下水道整備課	0	0	0	0	0	0	0	30	30	0	0	0	30
施設班	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	10
工事第一班	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	7
工事第二班	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	7
工事第三班	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	6
維持管理部長	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
水道維持課	9	40	49	9	40	49	6	0	6	6	0	6	55
管理班	4	2	6	4	2	6	3	0	3	3	0	3	9
漏水防止班	2	8	10	2	8	10	0	0	0	0	0	0	10
保全班	0	8	8	0	8	8	0	0	0	0	0	0	8
老朽管対策班	1	5	6	1	5	6	0	0	0	0	0	0	6
渉外工事班	0	7	7	0	7	7	0	0	0	0	0	0	7
西部上下水道センター	1	4	5	1	4	5	1	0	1	1	0	1	6
北部上下水道センター	1	3	4	1	3	4	1	0	1	1	0	1	5
南部上下水道センター	0	3	3	0	3	3	1	0	1	1	0	1	4
下水道維持課	0	0	0	0	0	0	0	28	28	0	28	28	28
維持班	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	7	7	7
指導班	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3	3
保全班	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	5	5	5
維持補修センター	0	0	0	0	0	0	0	13	13	0	13	13	13
維持補修班	0	0	0	0	0	0	0	13	13	0	13	13	13
水運用課	1	40	41	1	40	41	0	0	0	0	0	0	41
計画班	1	9	10	1	9	10	0	0	0	0	0	0	10
運用班	0	16	16	0	16	16	0	0	0	0	0	0	16
施設管理班	0	4	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4
施設維持班	0	4	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4
水質管理室	0	7	7	0	7	7	0	0	0	0	0	0	7
管理班	0	4	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4
検査班	0	3	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
水再生課	0	0	0	0	0	0	0	46	46	0	46	46	46
施設管理第一班	0	0	0	0	0	0	0	9	9	0	9	9	9
施設管理第二班	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	6	6	6
水質指導班	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	2
水質管理班	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3	3
中部浄化センター	0	0	0	0	0	0	0	26	26	0	26	26	26
管理第一班	0	0	0	0	0	0	0	21	21	0	21	21	21
管理第二班	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	5	5	5
合計	76	128	204	73	91	164	40	119	159	38	77	115	363

＊　管理者及び再任用短時間職員（63人）を除き、再任用フルタイム職員（8人）を含む。課長補佐以上は、それぞれの筆頭班に含む。兼務職は、それぞれ兼務職に含む。

4 勤続年数別職員構成

（令和3年4月1日現在）

年数別	事務職員		技術職員		全職員	
	職員数(人)	比率(%)	職員数(人)	比率(%)	職員数(人)	比率(%)
1 年未満	4	3.4	17	6.9	21	5.8
1 年以上 ～ 3 年未満	6	5.2	26	10.5	32	8.8
3 年以上 ～ 5 年未満	5	4.3	22	8.9	27	7.4
5 年以上 ～ 10 年未満	9	7.8	48	19.4	57	15.7
10 年以上 ～ 15 年未満	6	5.2	25	10.1	31	8.5
15 年以上 ～ 20 年未満	11	9.5	9	3.6	20	5.5
20 年以上 ～ 25 年未満	11	9.5	10	4.0	21	5.8
25 年以上 ～ 30 年未満	25	21.6	25	10.1	50	13.8
30 年以上 ～ 35 年未満	18	15.5	36	14.6	54	14.9
35 年以上	21	18.1	29	11.7	50	13.8
計	116	100.0	247	100.0	363	100.0
平均年数	22年9月		16年4月		18年5月	

＊ 管理者及び再任用短時間職員(63人)を除き、再任用フルタイム職員(8人)を含む。
＊ 業務職員は技術職員に含む。

5 年齢別職員構成

（令和3年4月1日現在）

年齢別	事務職員		技術職員		全職員	
	職員数(人)	比率(%)	職員数(人)	比率(%)	職員数(人)	比率(%)
20 歳未満	1	0.9	7	2.8	8	2.2
20 歳以上 ～ 25 歳未満	9	7.8	21	8.5	30	8.3
25 歳以上 ～ 30 歳未満	6	5.2	32	13.0	38	10.5
30 歳以上 ～ 35 歳未満	8	6.9	53	21.5	61	16.8
35 歳以上 ～ 40 歳未満	7	6.0	21	8.5	28	7.7
40 歳以上 ～ 45 歳未満	11	9.5	9	3.6	20	5.5
45 歳以上 ～ 50 歳未満	21	18.1	27	10.9	48	13.2
50 歳以上 ～ 55 歳未満	23	19.8	37	15.0	60	16.5
55 歳以上 ～ 60 歳未満	29	25.0	33	13.4	62	17.1
60 歳以上	1	0.9	7	2.8	8	2.2
計	116	100.0	247	100.0	363	100.0
平均年齢	45歳4月		39歳8月		41歳6月	

＊ 管理者及び再任用短時間職員(63人)を除き、再任用フルタイム職員(8人)を含む。
＊ 業務職員は技術職員に含む。

第５章　工業用水道事業統計



工業用水道配水池

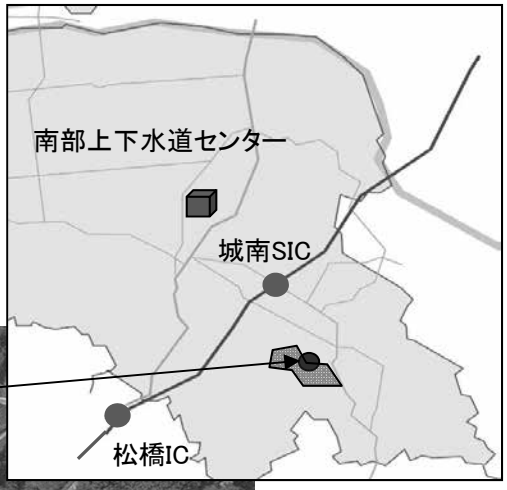
Ⅰ　工業用水道事業統計

1　工業用水道事業の概要

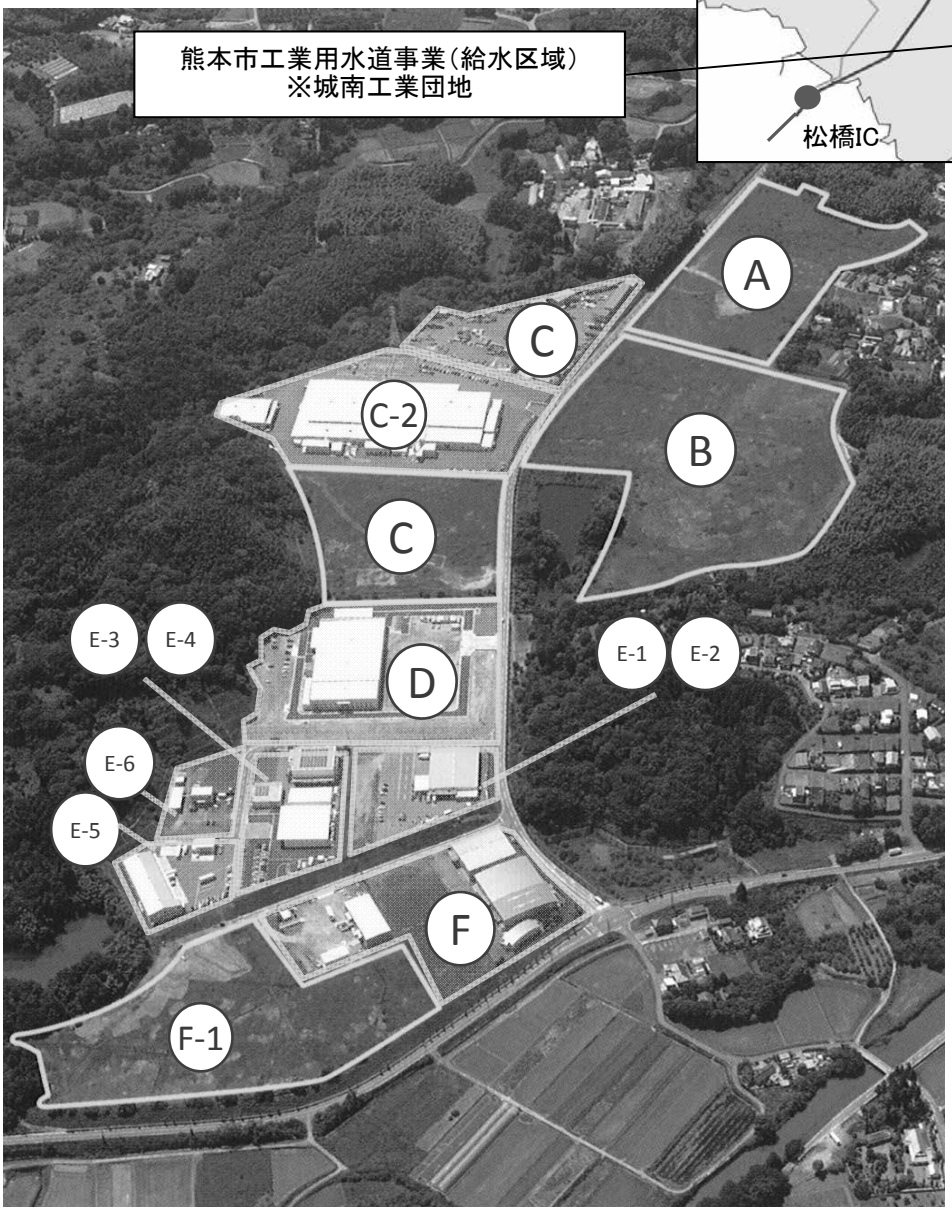
所在地
熊本市南区城南町藤山・鰐瀬（塚原古墳群東側）

総面積
42.6ha（工業用地31.2ha）

施設能力
1,000m³/日



（令和3年3月31日現在）



2　工業用水道事業の届出

平成21年12月18日	給水開始届出書を経済産業省に提出。
平成22年　1月　1日	城南町工業用水道事業会計設置。
平成22年　3月23日	下益城郡城南町・鹿本郡植木町と合併。
平成22年　3月23日	熊本市水道事業、簡易水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例施行。熊本市工業用水道事業会計設置。

3 業務指標

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
給水事業所数	11	11	11	12
配水量(m^3)	37,555	38,048	40,883	42,563
有収水量(m^3)	59,539	57,310	59,558	61,980

*配水量及び有収水量は、各給水事業所の基本使用水量と超過水量の合計

4 工事

該当なし

5 料金

	1m^3あたり料金
基本料金	55円
特定料金	55円
超過料金	110円

*1円未満の端数は切り捨て

6 財務統計

(1)予算決算対照表

収益的収入及び支出	令和2年度		令和元年度	
	予算額	決算額	予算額	決算額
1 事業収益	6,533,000	5,677,165	6,236,000	5,515,636
1 営業収益	3,366,000	3,487,739	3,125,000	3,326,210
2 営業外収益	3,167,000	2,189,426	3,111,000	2,189,426
3 特別利益	0	0	0	0
4 特別利益(災害)	0	0	0	0
2 事業費用	6,533,000	5,294,709	6,236,000	5,045,778
1 営業費用	6,073,000	5,136,312	5,777,000	4,888,179
2 営業外費用	160,000	158,397	145,000	144,100
3 特別損失	0	0	14,000	13,499
4 予備費	300,000	0	300,000	0
5 特別損失(災害)	0	0	0	0
収益的収支差額	0	382,456	0	469,858

資本的収入及び支出	令和2年度		令和元年度	
	予算額	決算額	予算額	決算額
1 資本的収入	0	0	0	0
1 企業債	0	0	0	0
2 補助金	0	0	0	0
2 資本的支出	775,000	170,387	650,000	16,170
1 建設改良費	150,000	45,430	150,000	16,170
2 企業債償還金	125,000	124,957	0	0
3 予備費	500,000	0	500,000	0
資本的収支差額	△ 775,000	△ 170,387	△ 650,000	△ 16,170

収益的収支と資本的収支差額	△ 775,000	212,069	△ 650,000	453,688

(2)損益計算書

	令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
1 事業収益	5,360,237	100.0	5,244,904	100.0	5,324,943	100.0	6,178,112	100.0
1 営業収益	3,170,675	59.2	3,055,360	58.3	3,307,210	62.1	3,382,460	54.7
1 給水収益	3,170,675	59.2	3,055,360	58.3	3,307,210	62.1	3,382,460	54.7
2 その他営業収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2 営業外収益	2,189,562	40.8	2,189,544	41.7	2,017,733	37.9	2,795,652	45.3
1 他会計補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2 国(県)補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	777,834	12.6
3 長期前受金戻入	2,189,426	40.8	2,189,426	41.7	2,017,603	37.9	2,017,603	32.7
4 雑収益	136	0.0	118	0.0	130	0.0	215	0.0
3 特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1 過年度損益修正益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4 特別利益(災害)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1 他会計補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2 事業費用	4,981,911	100.0	4,776,516	100.0	4,528,125	100.0	4,792,761	100.0
1 営業費用	4,981,814	100.0	4,762,917	99.7	4,528,032	100.0	4,735,045	98.8
1 原水費	1,356,454	27.2	1,174,330	24.6	1,258,436	27.8	1,288,205	26.9
2 配水費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	45,751	1.0
3 給水費	38,361	0.8	17,883	0.4	0	0.0	92,426	1.9
4 業務費	0	0.0	0	0.0	5,559	0.1	0	0.0
5 総係費	1,120,679	22.5	1,106,037	23.1	1,061,692	23.5	1,106,318	23.1
6 減価償却費	2,466,320	49.5	2,464,667	51.6	2,202,345	48.6	2,202,345	45.9
2 営業外費用	97	0.0	100	0.0	93	0.0	57,716	1.2
1 支払利息及び企業債取扱諸費	97	0.0	100	0.0	93	0.0	99	0.0
2 雑支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0	57,617	1.2
3 特別損失	0	0.0	13,499	0.3	0	0.0	0	0.0
1 過年度損益修正損	0	0.0	13,499	0.3	0	0.0	0	0.0
4 特別損失(災害)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1 原水費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
当期純利益(損失)	378,326		468,388		796,818		1,385,351	
前年度繰越利益剰余金	0		0		0		0	
その他未処分利益剰余金変動額	0		0		0		0	
当年度未処分利益剰余金	378,326		468,388		796,818		1,385,351	

平成28年度
12
40,850
58,204

（税込 単位：円）

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
6,481,000	5,589,385	6,151,000	6,448,489	13,221,000	9,711,612
3,500,000	3,571,782	3,500,000	3,653,052	3,212,000	3,481,597
2,981,000	2,017,603	2,651,000	2,795,437	3,135,000	2,080,015
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	6,874,000	4,150,000
6,481,000	4,661,596	6,151,000	5,055,180	13,421,000	9,667,748
6,080,000	4,641,503	5,660,000	4,865,181	5,934,000	4,165,383
101,000	20,093	191,000	189,999	113,000	0
0	0	0	0	0	0
300,000	0	300,000	0	300,000	0
0	0	0	0	7,074,000	5,502,365
0	927,789	0	1,393,309	△ 200,000	43,864

平成30年度		平成29年度		平成28年度	
予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
4,630,378	4,221,878	6,500,000	22,166	6,500,000	900,000
0	0	1,300,000	0	1,300,000	900,000
4,630,378	4,221,878	5,200,000	22,166	5,200,000	0
6,532,760	5,989,980	7,150,000	129,600	7,760,000	561,870
6,032,760	5,989,980	6,650,000	129,600	7,260,000	561,870
0	0	0	0	0	0
500,000	0	500,000	0	500,000	0
△ 1,902,382	△ 1,768,102	△ 650,000	△ 107,434	△ 1,260,000	338,130

△ 1,902,382	△ 840,313	△ 650,000	1,285,875	△ 1,460,000	381,994

（税抜 単位：円・%）

平成28年度	
金額	構成比
9,391,784	100.0
3,224,150	34.3
3,218,150	34.3
6,000	0.0
2,017,634	21.5
0	0.0
－	－
2,017,603	21.5
31	0.0
0	0.0
0	0.0
4,150,000	44.2
4,150,000	44.2
9,389,540	100.0
4,076,423	43.4
1,095,622	11.7
0	0.0
0	0.0
0	0.0
825,374	8.8
2,155,427	22.9
218,334	2.3
0	0.0
218,334	2.3
0	0.0
0	0.0
5,094,783	54.3
5,094,783	54.3
2,244	
365,856	
0	
368,100	

(3)貸借対照表

(税抜 単位:円・%)

勘定科目	借方									
	令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
1 固定資産	50,029,093	73.2	52,454,113	74.6	54,917,579	76.3	51,573,646	74.0	53,655,991	76.3
(1) 有形固定資産	50,029,093	73.2	52,454,113	74.6	54,917,579	76.3	51,573,646	74.0	53,655,991	76.3
イ 土地	1,498,985	2.2	1,498,985	2.1	1,498,985	2.1	1,498,985	2.2	1,498,985	2.2
ロ 建物	2,208,650	3.2	2,264,467	3.2	2,320,284	3.2	23,284	0.0	23,284	0.0
ハ 構築物	41,687,701	61.0	43,773,165	62.3	45,858,629	63.7	47,944,093	68.8	50,029,557	71.1
ニ 機械及び装置	4,633,757	6.8	4,917,496	7.0	5,239,681	7.3	2,107,284	3.0	2,104,165	3.0
2 流動資産	18,355,399	26.8	17,860,144	25.4	17,062,076	23.7	18,141,347	26.0	16,697,910	23.7
(1) 現金・預金	18,071,786	26.4	17,583,753	25.0	16,794,798	23.3	16,840,358	24.1	12,180,917	17.3
(2) 未収金	283,613	0.4	276,391	0.4	267,278	0.4	281,469	0.4	4,516,993	6.4
(3) 前払金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1,019,520	1.5	0	0.0
資産合計	68,384,492	100.0	70,314,257	100.0	71,979,655	100.0	69,714,993	100.0	70,353,901	100.0

勘定科目	貸方									
	令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
3 固定負債	750,074	1.1	875,043	1.2	1,000,000	1.4	1,000,000	1.4	1,000,000	1.4
(1) 企業債	675,065	1.0	787,539	1.1	900,000	1.3	900,000	1.3	900,000	1.3
(2) その他企業債	75,009	0.1	87,504	0.1	100,000	0.1	100,000	0.1	100,000	0.1
4 流動負債	293,301	0.4	286,997	0.4	106,400	0.1	530,100	0.8	557,280	0.8
(1) 企業債	112,473	0.2	112,461	0.2	－	－	－	－	－	－
(2) その他企業債	12,496	0.0	12,496	0.0	－	－	－	－	－	－
(3) 未払金	168,332	0.2	162,040	0.2	106,400	0.1	530,100	0.8	557,280	0.8
5 繰延収益	43,367,022	63.4	45,556,448	64.8	47,745,874	66.3	45,854,330	65.8	47,851,409	68.0
6 資本金	18,946,166	27.7	18,477,778	26.3	17,680,960	24.6	16,295,609	23.4	16,293,365	23.2
7 剰余金	5,027,929	7.4	5,117,991	7.3	5,446,421	7.6	6,034,954	8.6	4,651,847	6.6
(1) 資本剰余金	4,270,798	6.3	4,270,798	6.1	4,270,798	6.0	4,270,798	6.1	4,270,798	6.1
イ 受贈財産評価額	4,270,798	6.3	4,270,798	6.1	4,270,798	6.0	4,270,798	6.1	4,270,798	6.1
(2) 利益剰余金	757,131	1.1	847,193	1.2	1,175,623	1.6	1,764,156	2.5	381,049	0.5
イ 減債積立金	240,899	0.4	365,856	0.5	365,856	0.5	365,856	0.5	－	－
ロ 利益積立金	12,949	0.0	12,949	0.0	12,949	0.0	12,949	0.0	12,949	0.0
ハ 当年度未処分利益剰余金	503,283	0.7	468,388	0.7	796,818	1.1	1,385,351	2.0	368,100	0.5
負債・資本合計	68,384,492	100.0	70,314,257	100.0	71,979,655	100.0	69,714,993	100.0	70,353,901	100.0

(4)キャッシュ・フロー計算書

(税抜 単位：円)

項目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	654,290	803,655	1,591,571
当年度純利益	378,326	468,388	796,818
減価償却費	2,466,320	2,464,667	2,202,345
長期前受金戻入金	△ 2,189,426	△ 2,189,426	△ 2,017,603
支払利息	97	100	93
未収金の増減額(△は増加)	△ 7,222	△ 9,113	14,191
前払金の増減(△は増加)	0	0	1,019,520
未払金の増減額(△は減少)	6,292	55,640	△ 83,500
減価償却費の修正(特別損失)	0	13,499	0
その他流動負債の増減額(△は減少)	0	0	△ 340,200
利息の支払額	△ 97	△ 100	△ 93
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 41,300	△ 14,700	△ 99,476
国庫補助金による収入	0	0	4,221,878
特定収入見合消費税(4条分)	0	0	△ 312,731
有形固定資産の取得による支出	△ 41,300	△ 14,700	△ 5,546,278
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 124,957	0	0
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 112,462	0	0
その他の企業債の償還による支出	△ 12,495	0	0
4. 資金増加額(又は減少額)	488,033	788,955	△ 45,560
5. 資金期首残高	17,583,753	16,794,798	16,840,358
6. 資金期末残高	18,071,786	17,583,753	16,794,798

令和２年度版　熊本市上下水道事業年報

編集・発行　　熊本市上下水道局総務部経営企画課
〒862-8620
熊本市中央区水前寺六丁目2-45
電話番号　096-381-4330

令和３年（2021年）11月発行